MITSUBISHI ELECTRIC

2026年度版

中温用パッケージエアコン
技術マニュアル

室内ユニット
- PLZG−P2～5MHA
- PCZG−P2～5MKA14
- PCZG−P8・10MBA10
- PCZG−P2～5MHA15

室外ユニット
- PUZG−MP2MKA3
- PUZG−MP3MHA3
- PUZG−MP4・5MLA3
- PUZG−MP8・10MKA
- PUG−MP2MKA3
- PUG−MP3MHA3
- PUG−MP4・5MLA3
- PUG−MP8・10MKA

リモコン
- PAR−48MA

目　次

Ⅰ．製品の特長

1．運転使用温度範囲……4

Ⅱ．製品仕様

1．外形寸法図……5
（1）室内ユニット……5
（2）室外ユニット……8
2．電気配線図……10
（1）室内ユニット……10
（2）室外ユニット……14
3．冷媒回路図……18
（1）室内ユニット……18
（2）室外ユニット……18

Ⅲ．据付・施工関連

1．室外ユニットの設置……20
（1）特殊環境対応室外ユニットの仕様……20
（2）集中ドレン排水……24
（3）防雪対策……25
（4）強風対策……25
2．試運転……26
3．MA スマートリモコン (PAR-48MA) による操作・設定……29
（1）リモコン画面の流れ……29
（2）ハイパワー運転……30
（3）タイマー設定……31
（4）週間スケジュール設定……33
（5）室外サイレントモード設定……34
（6）制限設定……35
（7）省エネ設定……36
（8）エネルギー管理表示設定……39
（9）上下風向角度の固定設定のしかた……41
(10) 冷風防止ベーン設定方法 ……42
(11) 風速自動静音設定 ……44
(12) 運転データ収集機能 ……45
(13) スマートメンテナンス機能 ……46
(14) ローテーション設定 ……49
4．ユニットの機能選択……50
（1）ワイヤードリモコンによる機能選択……50
（2）霜取り制御切替（標準／北陸仕様）……53
5．特殊機能……54
（1）吸込グリルの昇降操作のしかた……54
（2）低騒音優先（室外サイレント）モード……57
（3）デマンド機能……57
（4）分ダクト……58
6．故障診断……59
（1）室外ユニットによる点検表示機能……59
（2）室外ユニット運転モニター機能 ……60
（3）リモコンによる自己診断……63

Ⅳ. 製品データ

1．能力特性 …… 68
（1）能力線図 …… 68
（2）配管長による能力変化 …… 70
（3）運転状態確認 …… 72
2．運転音測定位置 …… 73
3．運転音特性 …… 74
（1）室内ユニット (SPL) …… 74
（2）室外ユニット (SPL) …… 77
（3）室内ユニット (PWL) …… 79
（4）室外ユニット (PWL) …… 82
4．分ダクト …… 84
5．温度・気流分布図 …… 87
6．吹出し風速及び到達距離 …… 92
7．重心位置 …… 93
8．高調波抑制 …… 95

Ⅴ. システム関連

1．システムコントロール一覧 …… 96
A．1リモコン（標準的）制御運転 …… 98
B．2リモコン制御運転 …… 98
C．グループ制御運転 …… 99
D．停電自動復帰運転 …… 101
E．離れた部屋から個別制御運転 …… 101
F．遠方／手元併用制御運転 …… 102
G．パルス信号による運転 …… 104
H．外部信号による制御と遠方表示（モニター信号）への取出し … 105
（1）「A 制御遠方表示キット」（別売形名 PAC-SE56RM）の場合 … 105
（2）「A 制御運転表示キット」（別売形名 PAC-SF40RM）の場合 … 113
（3）「遠方表示用アダプタ」（別売形名 PAC-SA88HA）の場合 … 115
I．タイマー運転 …… 115
J．エアコン周辺機器との連動運転 …… 116
K．信号の取り出し方法 …… 118
L．温度センサーの外付け方法 …… 118
M．集中管理 …… 119
2．システムコントロール具体例 …… 120
（1）コインタイマーと連動させる方法 …… 120
（2）火災報知器と連動してエアコンを停止する方法 … 121

• 参考資料 …… 122

Ⅰ. 製品の特長

1. 運転使用温度範囲

■中温用パッケージエアコンの運転使用温度範囲

		室　内	天井内 ※1	室　外
冷房	乾球温度	10～30℃	～30℃	－5～43℃ ※2
	湿球温度	6～22.5℃	～RH80%	－
暖房	乾球温度	10～28℃	－	－20～21℃
	湿球温度	－	－	－20～15℃

※1 天吊形、厨房用＜天吊形＞など露出タイプは除く。天井内の温湿度が30℃ DB,RH80%を超えると思われる場合は、室内ユニットおよび冷媒配管の結露を防止するため、天井内の換気や市販の断熱材／テープを用いて断熱の強化が必要です。
※2 別売のエアガイドで室外ユニット吸込温度－15℃までの年間冷房運転可能です。

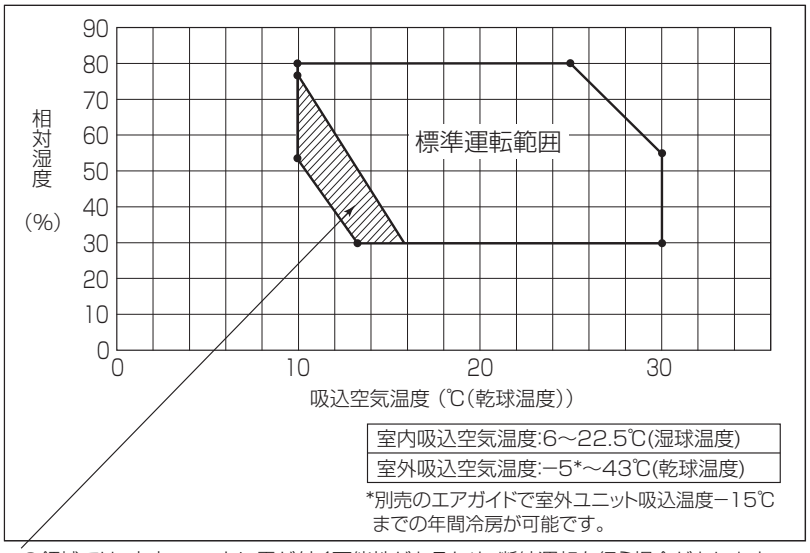
■リモコンによる設定可能室内温度範囲

モード	温度設定
冷房	10～30℃ ※3
暖房	10～28℃ ※3
冷暖自動	10～28℃ ※3

※3 電算室、各種実験・測定室等においては、電算機・精密機器等が結露するおそれがありますので、吹き出し温度が低くなる設定温度 14℃未満でのご使用はお控えください。
MA スムースリモコンは 8℃まで設定可能ですが、空調機の使用温度範囲に従い、設定温度 10℃以上でご使用ください。
また、システムコントローラーからの設定温度は手元リモコンでの設定温度範囲とは異なる場合があります。

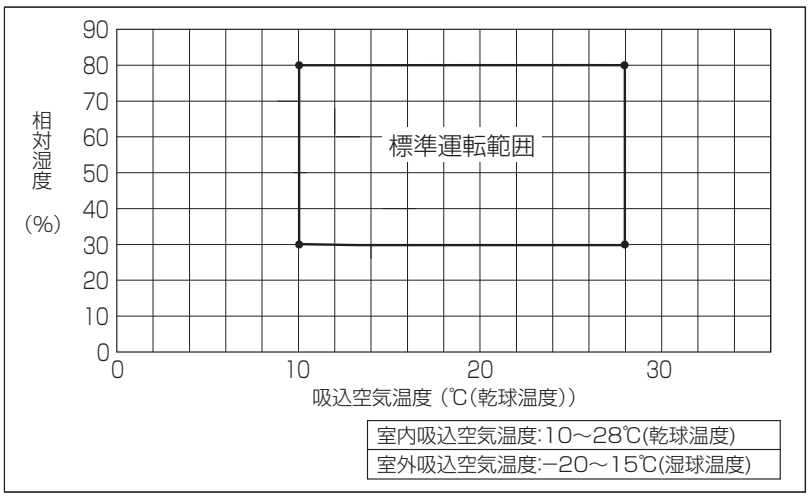
■運転使用温度範囲

●冷房時



この領域では、室内ユニットに霜が付く可能性があるため、断続運転を行う場合があります。
その際、約3分～9分間送風運転を行います。

●暖房時



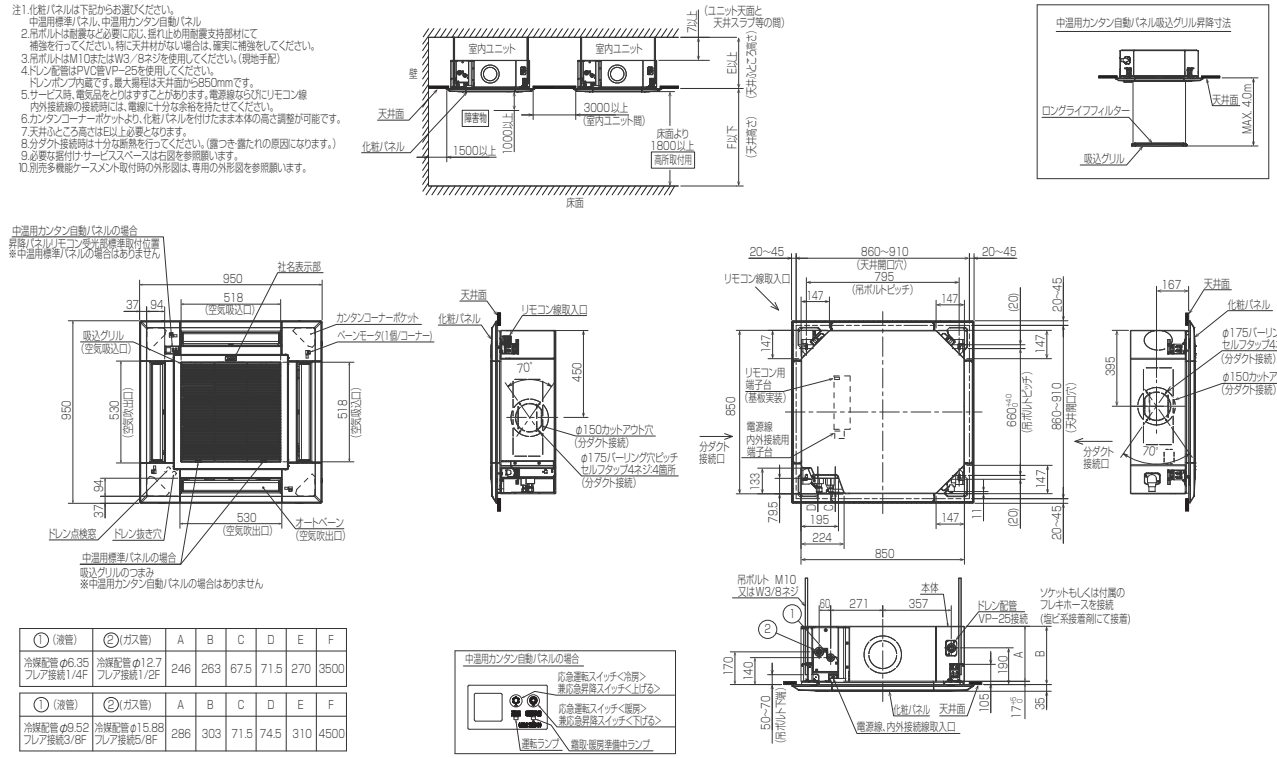
Ⅱ．製品仕様

1．外形寸法図

（1）室内ユニット

■4方向天井カセット形（i-スクエアタイプ）

PLZG-P2, 3, 4, 5MHA



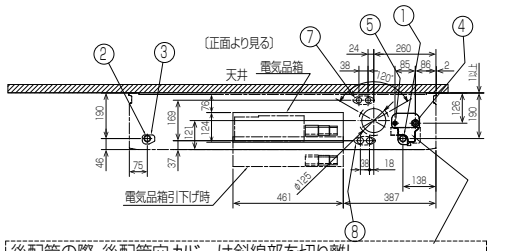
①(液管)	②(ガス管)	A	B	C	D	E	F
冷媒配管 φ6.35 フレア接続1/4F	冷媒配管 φ12.7 フレア接続1/2F	246	263	67.5	71.5	270	3500

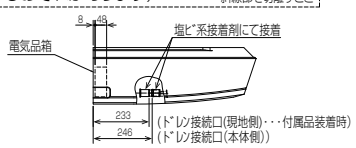
①(液管)	②(ガス管)	A	B	C	D	E	F
冷媒配管 φ9.52 フレア接続3/8F	冷媒配管 φ15.88 フレア接続5/8F	286	303	71.5	74.5	310	4500

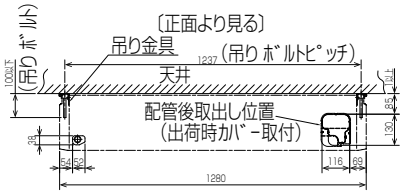
■天吊形

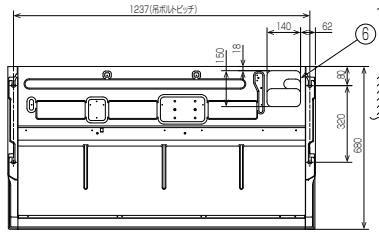
PCZG-P2MKA14

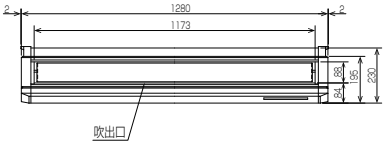
①ドレン配管接続口(内径φ26)
②ドレン配管接続口(左出し用)
③左側ドレン配管後取出し用ノックアウト穴
④冷媒配管接続口(ガス管側/フレア接続)
⑤冷媒配管接続口(液管側/フレア接続)
⑥ドレン配管上取出し用ノックアウト穴
⑦電線取出し用ノックアウト穴 2-φ22.2
⑧電線取出し用ノックアウト穴 2-φ26

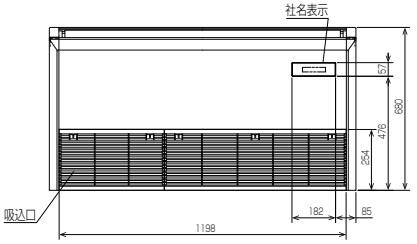


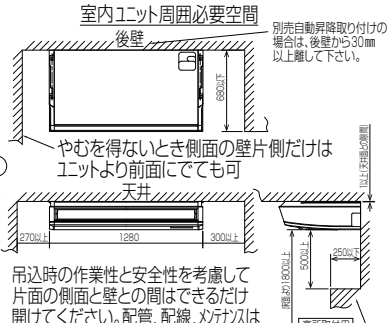


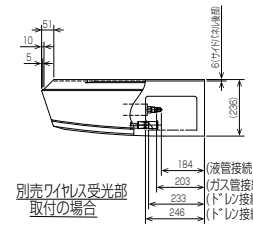


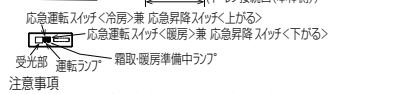






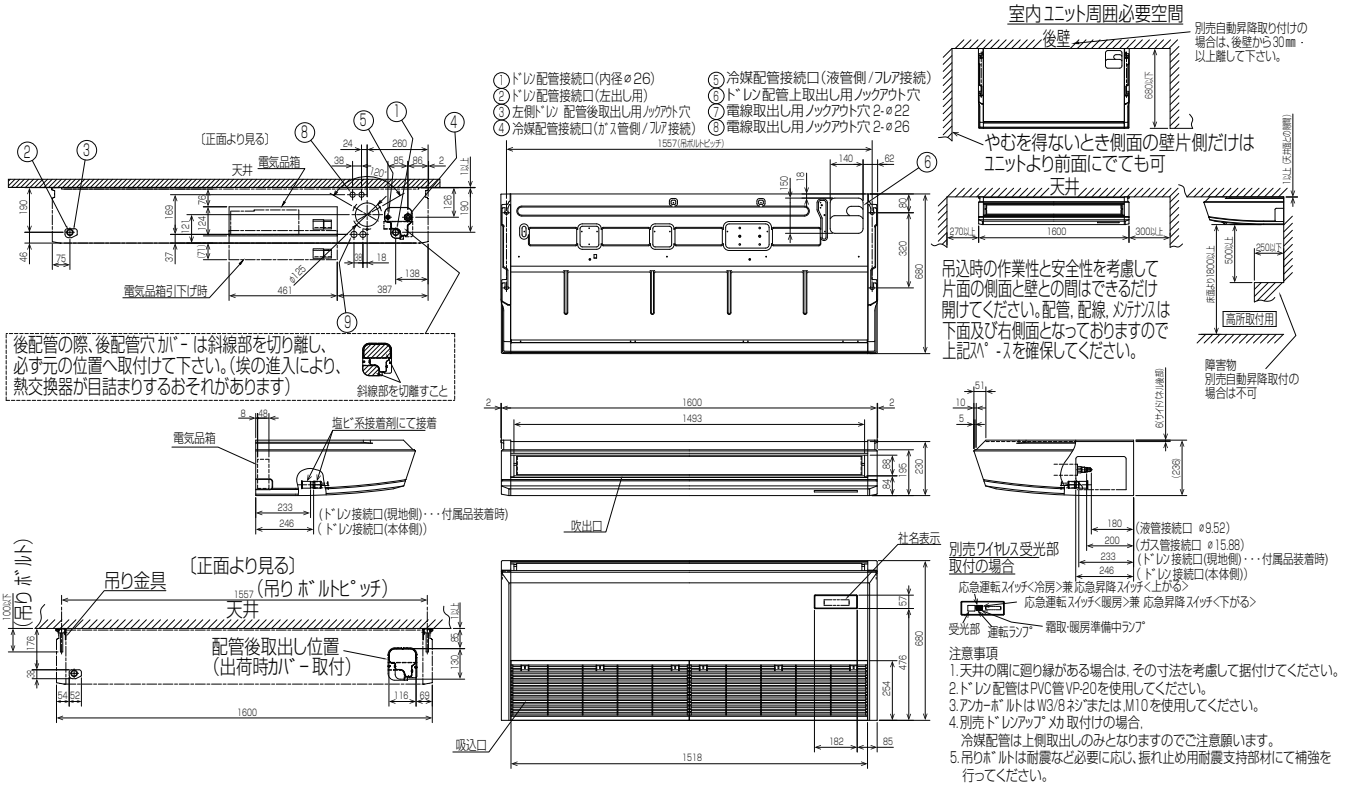






注意事項
1.天井の隅に廻り縁がある場合は，その寸法を考慮して据付けてください。
2.ドレン配管はPVC管VP-20を使用してください。
3.アンカーボルトはW3/8ネジまたは,M10を使用してください。
4.別売ドレンアップ装置取付けの場合,
冷媒配管は上側取出しのみとなりますのでご注意願います。
5.吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。

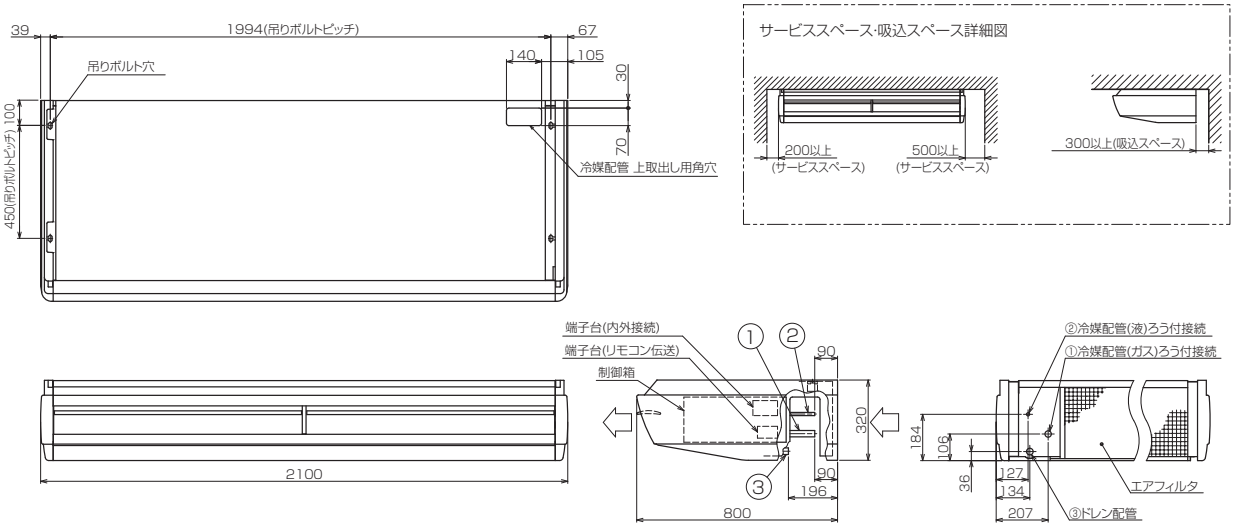
■天吊形
PCZG-P3, 4, 5MKA14



注意事項
1. 天井の隅に廻り縁がある場合は, その寸法を考慮して据付けてください。
2. ﾄﾞﾚﾝ配管はPVC管VP-20を使用してください。
3. ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄはW3/8ﾈｼﾞまたはM10を使用してください。
4. 別売ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟｷｯﾄ取付けの場合,
冷媒配管は上側取出しのみとなりますのでご注意願います。
5. 吊りﾎﾞﾙﾄは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。

■天吊形
PCZG-P8, 10MBA10

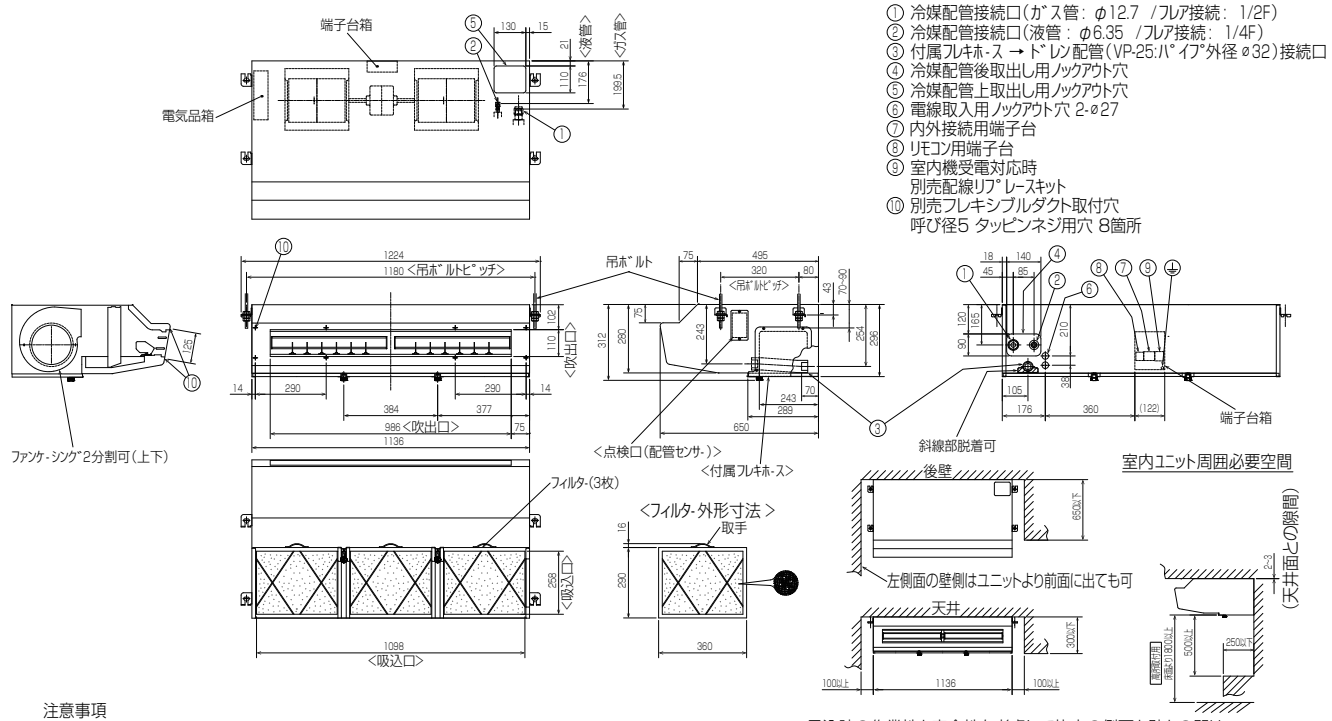
注1.吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。
2.吊りボルトおよび振れ止め用耐震支持部材はM10を使用してください。
(現地御手配)



機　種	①ガス配管サイズ	②液配管サイズ	③ドレン配管
PCZG-P8MBA10	φ25.4	φ9.52	ドレン配管接続口 ジョイントソケット VP-20<付属>
PCZG-P10MBA10		φ12.7	

■厨房用

PCZG-P2MHA15

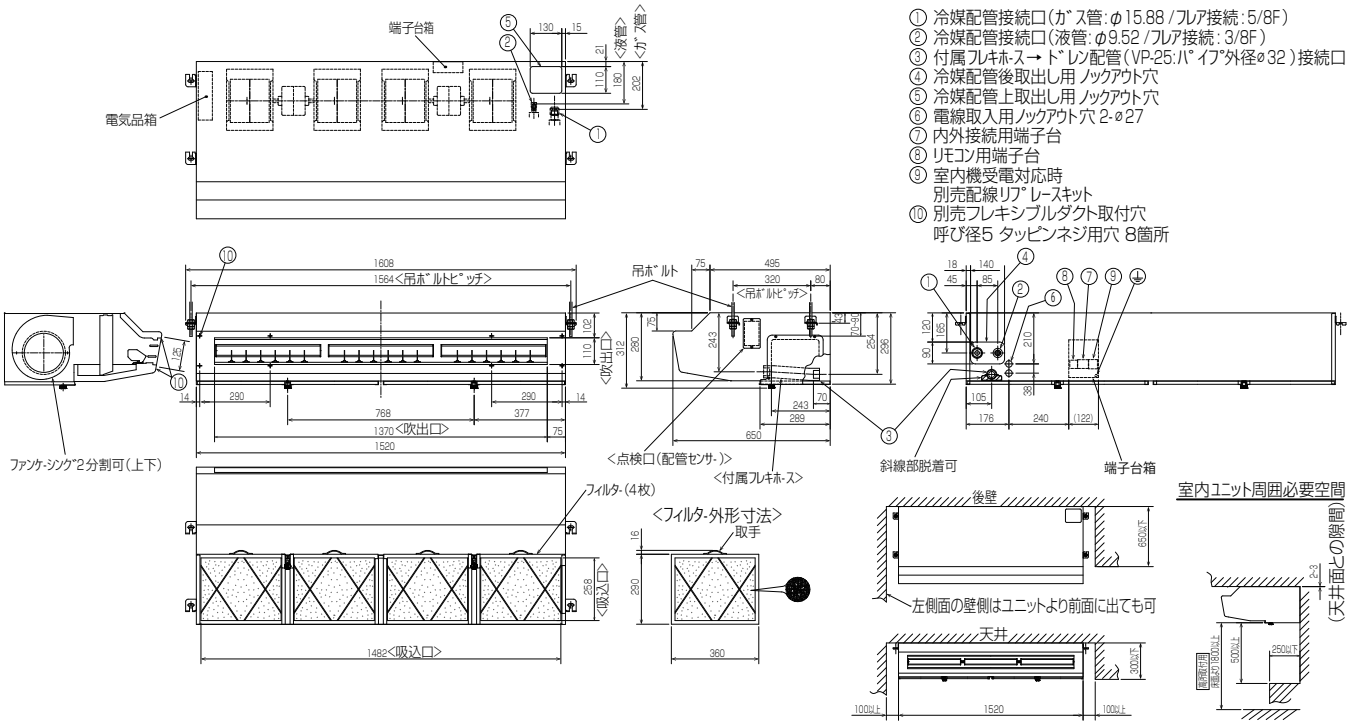


① 冷媒配管接続口(ガス管: φ12.7 /フレア接続: 1/2F)
② 冷媒配管接続口(液管: φ6.35 /フレア接続: 1/4F)
③ 付属フレキホ-ス → ドレン配管(VP-25:パイプ外径ø32)接続口
④ 冷媒配管後取出し用ノックアウト穴
⑤ 冷媒配管上取出し用ノックアウト穴
⑥ 電線取入用ノックアウト穴 2-ø27
⑦ 内外接続用端子台
⑧ リモコン用端子台
⑨ 室内機受電対応時
別売配線リプレースキット
⑩ 別売フレキシブルダクト取付穴
呼び径5 タッピンネジ用穴 8箇所

注意事項
1. 天井の隅に廻り縁がある場合は、その寸法を考慮して据付けしてください。
2. 吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。
3. 吊りボルトはステンレス製のW3/8ネジまたは、M10を使用してください。(現地手配)
4. ドレン配管はPVC管VP-25を使用してください。
5. ワイヤードリモコンは、別売対応となります。
6. 外郭(上面、背面除く)のステンレスは、SUS430系です。
7. 本図内容は、改良のため予告無く変更する場合があります。

吊込時の作業性と安全性を考慮して片方の側面と壁との間は
できるだけ空けてください。配管、配線、メンテナンスは下面及び
右側面となっておりますので上記スペースを確保してください。

PCZG-P3, 4, 5MHA15



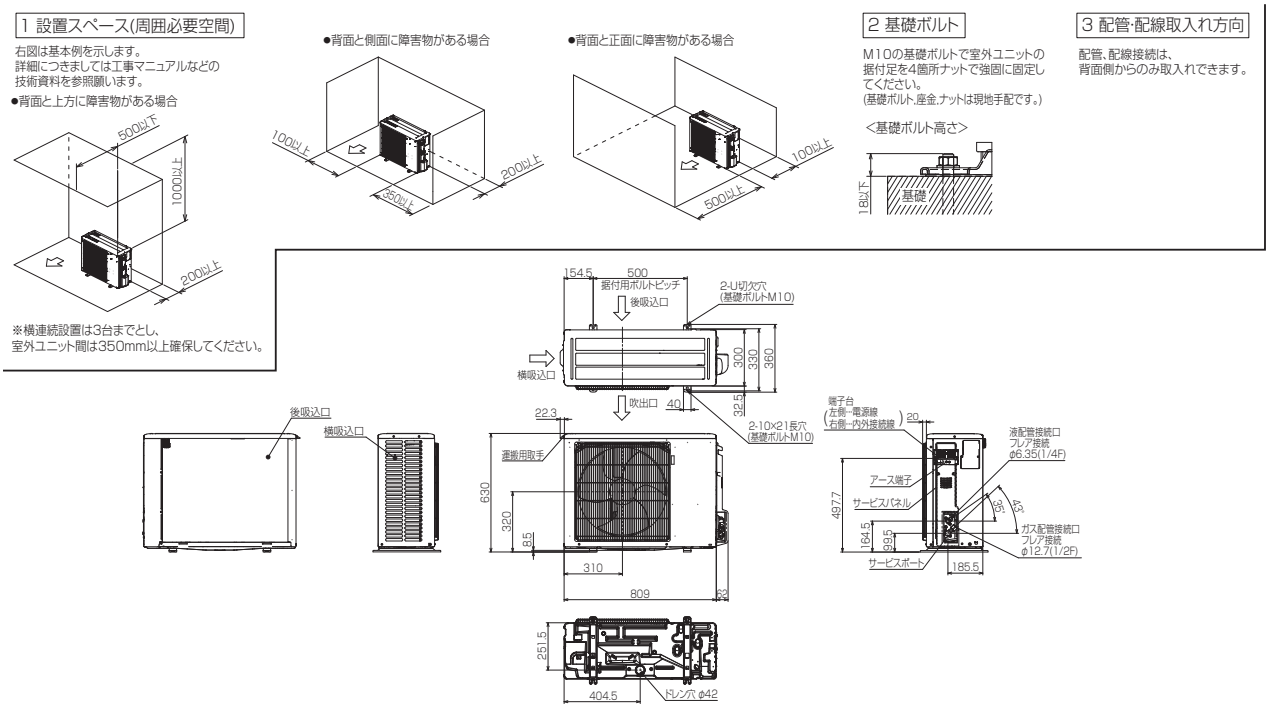
① 冷媒配管接続口(ガス管:φ15.88 /フレア接続:5/8F)
② 冷媒配管接続口(液管:φ9.52 /フレア接続:3/8F)
③ 付属フレキホ-ス→ドレン配管(VP-25:パイプ外径ø32)接続口
④ 冷媒配管後取出し用 ノックアウト穴
⑤ 冷媒配管上取出し用 ノックアウト穴
⑥ 電線取入用ノックアウト穴 2-ø27
⑦ 内外接続用端子台
⑧ リモコン用端子台
⑨ 室内機受電対応時
別売配線リプレースキット
⑩ 別売フレキシブルダクト取付穴
呼び径5 タッピンネジ用穴 8箇所

注意事項
1. 天井の隅に廻り縁がある場合は、その寸法を考慮して据付けしてください。
2. 吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。
3. 吊りボルトはステンレス製のW3/8ネジまたは、M10を使用してください。(現地手配)
4. ドレン配管はPVC管 VP-25を使用してください。
5. ワイヤードリモコンは、別売対応となります。
6. 外郭(上面、背面除く)のステンレスは、SUS430系です。
7. 本図内容は、改良のため予告無く変更する場合があります。

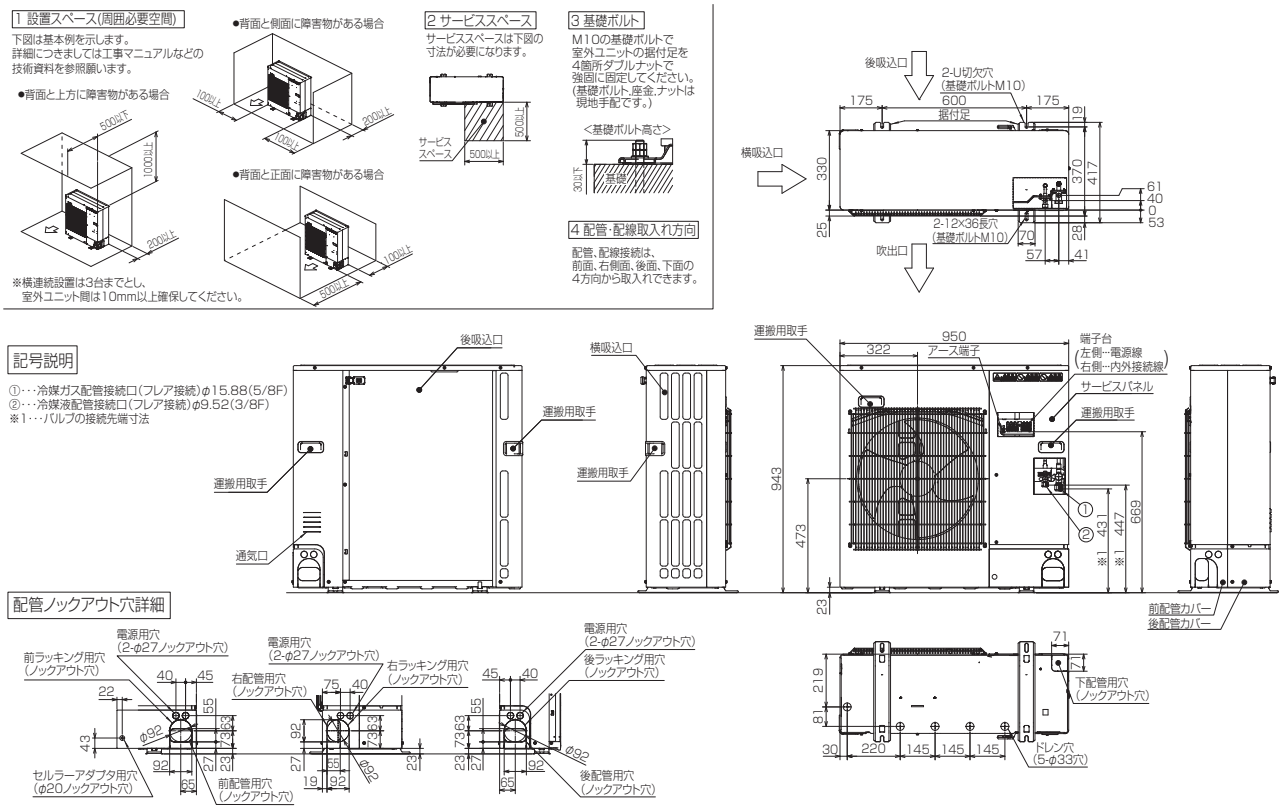
吊込時の作業性と安全性を考慮して片方の側面と壁との間は
できるだけ空けてください。配管、配線、メンテナンスは下面及び
右側面となっておりますので上記スペースを確保してください。

（2）室外ユニット

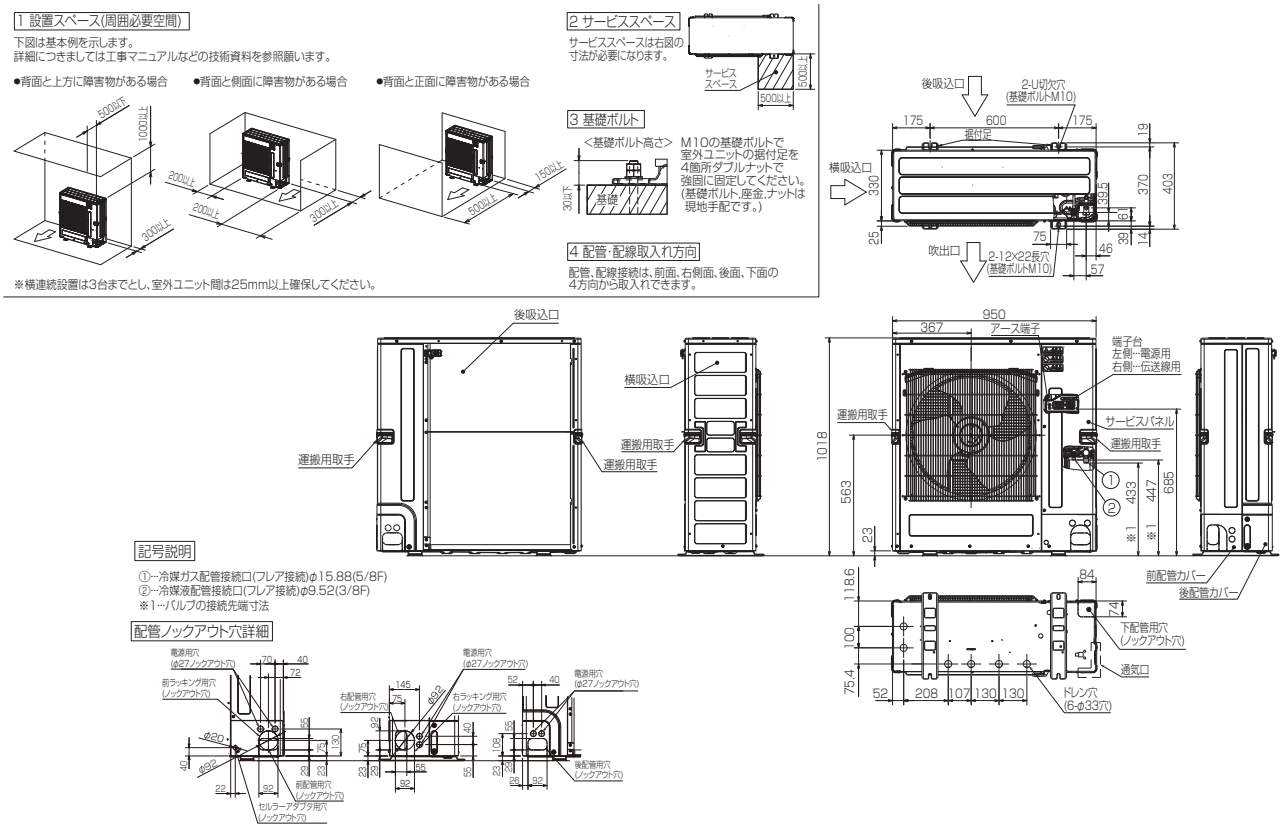
■ PU(Z)G-MP2MKA3



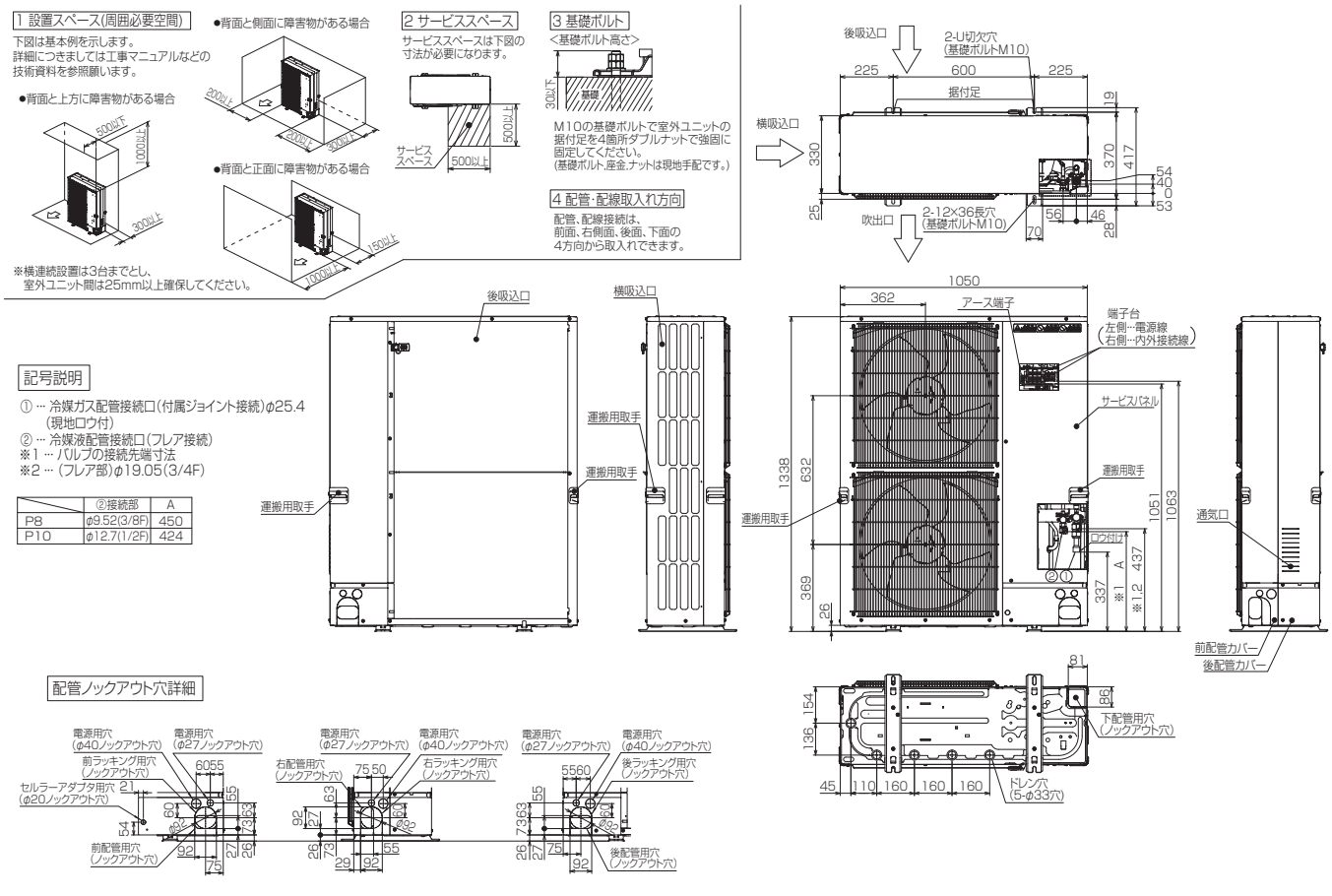
■ PU(Z)G-MP3MHA3



■ PU(Z)G-MP4,5MLA3



■ PU(Z)G-MP8, 10MKA



	②接続部	A
P8	φ9.52(3/8F)	450
P10	φ12.7(1/2F)	424

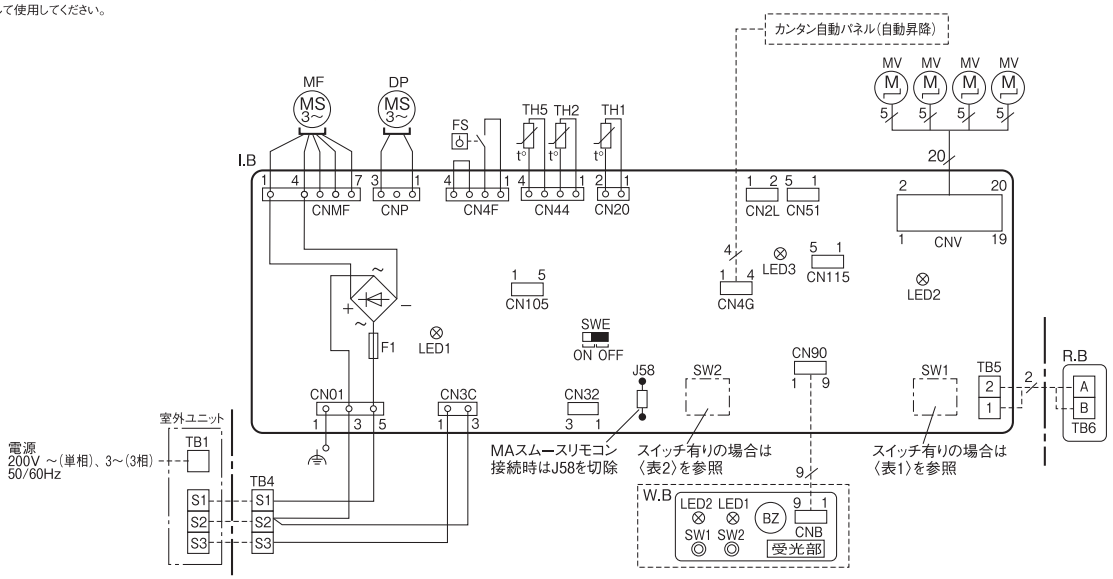
2. 電気配線図

（1）室内ユニット

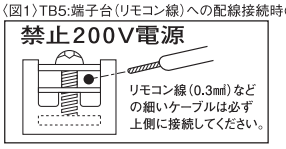
■4方向天井カセット形（i-スクエアタイプ）

PLZG-P2, 3, 4, 5MHA

【注意】 1. □□□は端子台、□□, ⊙⊙⊙はコネクターを示します。
2. 内外接続線は極性がありますので番号（S1、S2、S3）に従い配線してください。
3. TB4（端子台）にはAC200Vが印加されますのでご注意ください。
4. TB5（端子台）へ動力線は絶対に接続しないでください。その他の注意事項は、図1を参照してください。
5. 室外ユニットのサービスの際は、室外ユニットの電気配線図を参照してください。
※1:本図は、内外接続線（AC200V仕様）が電源と信号の重畳方式の配線図を示します。
内外別受電方式の工事をした場合は、図2になります。
本機の電源方式については、電気配線工事の際に貼り付ける注意ラベル（付属品同梱）を参照してください。
6. 本配線図の■はスイッチの位置を示します。
7. JEMA標準HA端子を使用する場合は、CN51に別売HA端子接続用ケーブル（PAC-SK31HN）を
接続して使用してください。



〈図1〉TB5:端子台（リモコン線）への配線接続時の注意



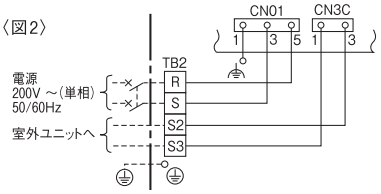
〈表1〉SW1:機種設定（スイッチ有りの場合）

機種	SW1
PLZG-P.MHA	1 2 3 4 5 6 ON OFF

〈表2〉SW2:能力設定（スイッチ有りの場合）

形名能力	SW2	形名能力	SW2	形名能力	SW2	形名能力	SW2
2形	1 2 3 4 5 ON OFF	3形	1 2 3 4 5 ON OFF	4形	1 2 3 4 5 ON OFF	5形	1 2 3 4 5 ON OFF

〈図2〉



【自己診断】
リモコンによる自己診断方法については技術資料等を参照してください。
点検コードと不具合内容は下表をご覧ください。

点検コード	不具合内容	点検コード	不具合内容
P1	吸込センサー異常	PB（Pb）	室内ファンモーター異常
P2	配管（液管）センサー異常	PL	冷媒回路異常
P4	ドレンフロートスイッチコネクター（CN4F）外れ	E0～E5	リモコン一室内ユニット間の通信異常
P5	ドレンオーバーフロー保護作動	E6～EF	室内ユニット一室外ユニット間の通信異常
P6	凍結／過昇保護作動	EH	パネル通信異常
P8	配管温度異常	FB（Fb）	室内制御基板異常
P9	配管（二相管）センサー異常	U※，F※（※は英数字）（FBを除く）	室外ユニットの不具合
PA	漏水異常（冷媒系）		室外ユニットの電気配線図を参照してください

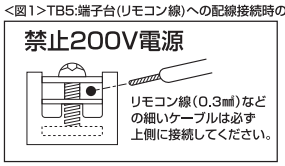
【記号説明】

記号	名称	記号	名称
I.B	室内制御基板	TB1	端子台（室外:電源及び内外接続線）
F1	ヒューズ（T6.3AL250V）	TB2	端子台（室内:電源（別売））
CN2L	コネクター（別売:ロスナイ、遠方表示キット）	TB4	端子台（室内:内外接続線）
CN32	コネクター（別売:遠方発停アダプター）	TH1	サーミスター（室内吸込温度検知） 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
CN51	コネクター（集中管理／JEMA標準HA端子-A）		
CN105	コネクター	TH2	サーミスター（室内配管（液管）温度検知） 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
CN115	コネクター		
LED1	発光ダイオード（マイコン電源）	TH5	サーミスター（室内配管（二相管）温度検知） 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）		
LED3	発光ダイオード（室内外通信）	別売部品 W.B	ワイヤレスリモコン受光基板
SW1	スイッチ（機種設定〈表1〉参照）	別売部品 BZ	ブザー
SW2	スイッチ（能力設定〈表2〉参照）	別売部品 LED1	発光ダイオード（運転表示:ミドリ）
SWE	コネクター（通常／応急運転切換）	別売部品 LED2	発光ダイオード（暖房準備中表示:オレンジ）
TB5	端子台（リモコン線）	別売部品 SW1	応急運転（暖房/下がる）
MF	送風機用モーター	別売部品 SW2	応急運転（冷房/上がる）
MV	ベーン用モーター	別売部品 R.B	ワイヤードリモコン
DP	ドレンアップメカ	別売部品 TB6	端子台（リモコン線）
FS	ドレンフロートスイッチ		

【応急運転】
1. ワイヤードリモコンが故障したとき、他に不具合箇所がなければ室内制御基板の応急切換コネクター（SWE）をONに設定すると、室内ユニットの応急運転となります。応急運転中の室内ユニットは以下の運転状態となります。
（1）室内ファン強風運転　（2）ドレンアップメカ運転
※昇降パネルリモコン受光部を据付している場合は、受光部スイッチを長押し（2秒以上）することで、冷房/暖房運転が可能です。
2. 冷房または暖房の応急運転を行なう場合、室内制御基板上のコネクター（SWE）設定と室外ユニットの応急運転が必要です。室外ユニットの応急運転方法については室外ユニットの電気配線図を参照してください。
3. 応急運転を行なうときの確認項目と注意事項
（1）以下の場合、応急運転はできません。
・室外ユニットに異常がある場合
・室内送風機に異常がある場合
・自己診断でドレンオーバーフロー保護作動を検知したとき
（2）応急運転は電源発停による連続運転となります。リモコンでのON/OFFまたは温調等は作動しません。
（3）暖房応急運転中に室外ユニットが霜取運転を開始すると冷風を吹出しますので長時間の運転はしないでください。
（4）冷房応急運転は最長10時間以内としてください。室内ユニットの熱交換器が凍結する恐れがあります。
（5）応急運転終了後はコネクター設定等を元の状態に戻してください。
（6）応急運転時はベーン動作しないため手動でゆっくり適切な位置に設定してください。

■天吊形
PCZG-P2, 3, 4, 5MKA14

<図1>TB5:端子台(リモコン線)への配線接続時の注意



【記号説明】

記号	名称	記号	名称
I.B	室内制御基板	TB5	端子台(リモコン線)
FUSE	ヒューズ(T6.3AL250V)	TH1	サーミスター(室内吸込温度検知) 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
CN105	コネクター		
CN115	コネクター	TH2	サーミスター(室内配管(液管)温度検知) 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
CN2L	コネクター(別売：ロスナイ、遠方表示キット)		
CN32	コネクター(別売：遠方発停アダプター)	TH5	サーミスター(室内配管(二相管)温度検知) 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
CN51	コネクター(集中管理/JEMA標準HA端子-A)		
LED1	発光ダイオード(マイコン電源)	R.B	ワイヤードリモコン
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)	TB6	端子台(リモコン線)
LED3	発光ダイオード(室内外通信)	W.B	ワイヤレスリモコン受光基板
X2	リレー(別売：ドレンアップメカ)	BZ	ブザー
SW1	スイッチ(機種設定<表1>参照)	LED1	発光ダイオード(運転表示：ミドリ)
SW2	スイッチ(能力設定<表2>参照)	LED2	発光ダイオード(暖房準備中表示：オレンジ)
SW5	スイッチ(機能設定<表3>参照)	SW1	応急運転(暖房/下がる)
SWE	コネクター(通常／応急運転切換)	SW2	応急運転(冷房/上がる)
MF	送風機用モーター	ドレンアップメカ	
MV	ベーン用モーター	DP	ドレンアップメカ
TB1	端子台(室外：電源及び内外接続線)	FS	ドレンフロートスイッチ
TB2	端子台(室内：電源(別売))	U.B	自動昇降キット制御基板
TB4	端子台(室内：内外接続線)		

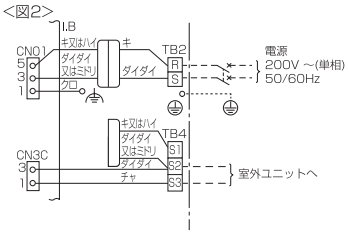
【注意】

1. □□□ は端子台、□、○○○ はコネクターを示します。
2. 内外接続線は極性がありますので番号(S1、S2、S3)に従い配線してください。
3. TB4(端子台)にはAC200Vが印加されますのでご注意ください。
4. TB5(端子台)へ動力線は絶対に接続しないでください。その他の注意事項は、本配線図内左上にある図1を参照してください。
5. 室外ユニットのサービスの際は、室外ユニットの電気配線図を参照してください。

※1：本図は、内外接続線(AC200V仕様)が電源と信号の重畳方式の配線図を示します。
内外別受電方式の工事をした場合は、図2になります。
本機の電源方式については、電気配線工事の際に貼り付ける注意ラベル（付属品同梱）を参照してください。

6. 本配線図の■はスイッチの位置を示します。
7. JEMA標準HA端子を使用する場合は、CN51に別売HA端子接続用ケーブル(PAC-SK31HN)を接続して使用してください。

<図2>



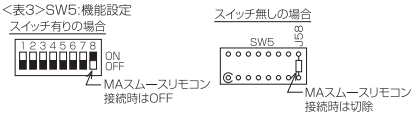
<表1>SW1:機種設定(スイッチ有りの場合)

機種	SW1
PCZG-P, MKA	1 2 3 4 5 ON OFF

<表2>SW2:能力設定(スイッチ有りの場合)

形名能力	SW2	形名能力	SW2
2形	1 2 3 4 5 ON OFF	3形	1 2 3 4 5 ON OFF
4形	1 2 3 4 5 ON OFF	5形	1 2 3 4 5 ON OFF

<表3>SW5:機能設定



【自己診断】

リモコンによる自己診断方法については技術資料等を参照してください。
点検コードと不具合内容は下表をご覧ください。

点検コード	不具合内容	点検コード	不具合内容
P1	吸込センサー異常	PL	冷媒回路異常
P2	配管(液管)センサー異常	E0～E5	リモコン一室内ユニット間の通信異常
P4	ドレンフロートスイッチコネクター(CN4F)外れ	E6～EF	室内ユニット一室外ユニット間の通信異常
P5	ドレンオーバーフロー保護作動	FB(Fb)	室内制御基板異常
P6	凍結／過昇保護作動	U✻、F✻（✻は英数字 内除く）	室外ユニットの不具合 室外ユニットの電気配線図を参照してください
P8	配管温度異常		
P9	配管(二相管)センサー異常		
PA	漏水異常(冷媒系)		
PB(Pb)	室内ファンモーター異常		

【応急運転】

1. ワイヤードリモコンが故障したとき、他に不具合箇所がなければ室内制御基板の応急切換コネクター(SWE)をONに設定すると、室内ユニットの応急運転となります。応急運転中の室内ユニットは以下の運転状態となります。
   (1)室内ファン強風運転　(2)ドレンアップメカ運転(別売)
   ※なお、ワイヤレスリモコン受光部を据付している場合、室内ユニットのワイヤレス受光部スイッチを長押し(2秒以上)することで、冷房/暖房運転が可能です。
2. 冷房または暖房の応急運転を行う場合、室内制御基板上のコネクター(SWE)設定と室外ユニットの応急運転が必要です。室外ユニットの応急運転方法については室外ユニットの電気配線図を参照してください。
3. 応急運転を行うときの確認項目と注意事項
   (1) 以下の場合、応急運転はできません。
   ・室外ユニットに異常がある場合
   ・室内送風機に異常がある場合
   ・自己診断でドレンオーバーフロー保護作動を検知したとき(別売ドレンアップメカ)
   (2) 応急運転は電源発停による連続運転となります。リモコンでのON/OFFまたは温調等は作動しません。
   (3) 暖房応急運転中に室外ユニットが霜取運転を開始すると冷風を吹出しますので長時間の運転はしないでください。
   (4) 冷房応急運転は最長10時間以内としてください。室内ユニットの熱交換器が凍結する恐れがあります。
   (5) 応急運転終了後はコネクター設定などを元の状態に戻してください。
   (6) 応急運転時はベーン動作しないため手動でゆっくり適切な位置に設定してください。

■天吊形
PCZG-P8, 10MBA10

室内ユニット記号説明

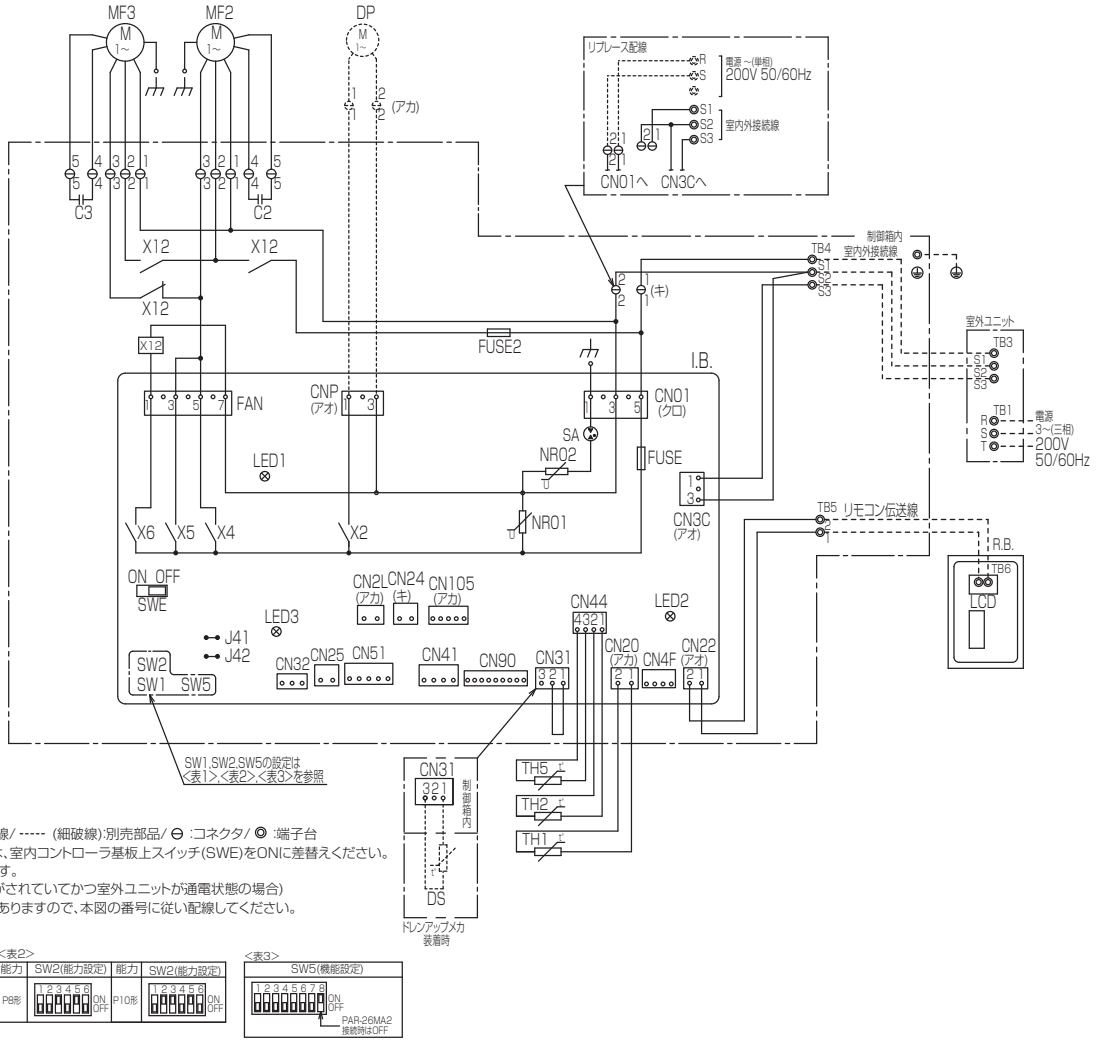
記号	名称
I.B.	室内コントローラ基板
FUSE	ヒューズ<6.3A>
FAN	コネクタ(送風機用電動機)
CNP	コネクタ(ドレンポンプ)
CN2L	コネクタ(別売:ロスナイ,遠方表示キット)
CN3C	コネクタ(室内外通信線)
CN4F	コネクタ(ベーン用,ミントスイッチ)
CN01	コネクタ(電源)
CN20	コネクタ(室内温度用サーミスタ)
CN22	コネクタ(リモコン)
CN24	コネクタ(ベーン信号)
CN25	コネクタ
CN31	コネクタ(ドレンセンサ)
CN32	コネクタ(別売:遠方発停用アダプタ)
CN41	コネクタ(別売:JEMA標準I/A端子A)
CN44	コネクタ(液管/二相管温度用サーミスタ)
CN51	コネクタ(集中管理)
CN90	コネクタ(別売:ワイヤレス受光基板)
CN105	コネクタ
J41,42	スイッチ(ワイヤレスペアナンバー設定)
NR01,02	バリスタ
SA	アレスタ
SW1	スイッチ(機種設定<表1参照>)
SW2	スイッチ(能力設定<表2参照>)
SW5	スイッチ(機能設定<表3参照>)
SWE	スイッチ(応急運転)
X2	リレー(ドレンポンプ)
X4	リレー(送風機用電動機:微風)
X5	リレー(送風機用電動機:弱風)
X6	リレー(送風機用電動機:強風)
C2,3	コンデンサ(送風機用電動機)
MF2,3	送風機用電動機
TB1	端子台(室外:電源)
TB3	端子台(室外:内外接続)
TB4	端子台(室内:内外接続)
TB5	端子台(室内:リモコン伝送線)
TH1	サーミスタ(室内吸込温度検知) 0℃/15kΩ,25℃/5.4kΩ
TH2	サーミスタ(室内配管<液管>温度検知) 0℃/15kΩ,25℃/5.4kΩ
TH5	サーミスタ(室内配管<二相管>温度検知) 0℃/15kΩ,25℃/5.4kΩ
X12	補助継電器(室内送風機:強風)
FUSE2	ヒューズ<10A>
ドレンアップ力	(別売)
DP	ドレンポンプ
DS	ドレンセンサ

室内基板サービス用LEDの動作説明

記号	正常時のLED動作
LED1	主電源(室内機200V)印加時→点灯
LED2	リモコン給電時→点灯
LED3	室内外通信時→点滅

リモコン記号説明

記号	名称
R.B.	リモコン基板
TB6	端子台(室内ユニット接続)
LCD	液晶表示器



注1. 記号説明
--- (太破線):現地配線/ ----- (細破線):別売部品/ ⊖ :コネクタ/ ◎ :端子台
2.ドレンポンプ試運転時は、室内コントローラ基板上スイッチ(SWE)をONに差替えください。
ドレンポンプがまわります。
(但し、室内外渡り配線がされていてかつ室外ユニットが通電状態の場合)
3.室内外接続線には極性がありますので、本図の番号に従い配線してください。

<表1>
SW1(機種設定)



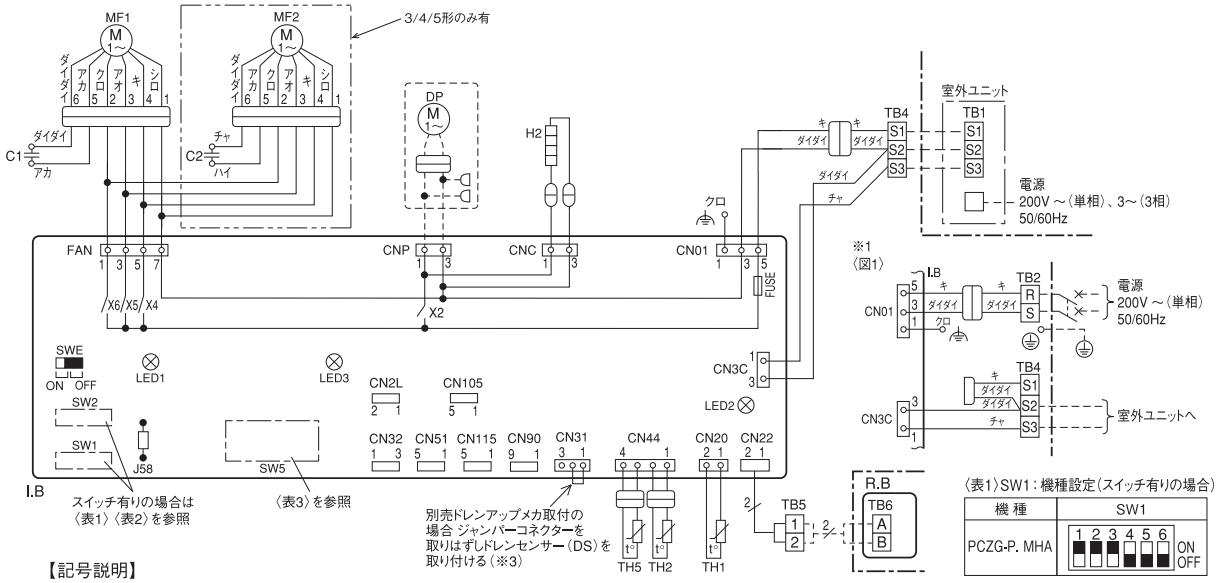
<表2>

能力	SW2(能力設定)	能力	SW2(能力設定)
P8形		P10形	

<表3>
SW5(機能設定)

■厨房用

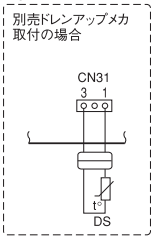
PCZG-P2, 3, 4, 5MHA15



【記号説明】

記号	名称	記号	名称
I.B	室内制御基板	MF1,MF2	送風機用モーター
FUSE	ヒューズ（T6.3AL250V）	C1,C2	コンデンサー（送風機用モーター）
CN2L	コネクター（別売：ロスナイ、遠方表示キット）	H2	防露ヒーター
CN32	コネクター（別売：遠方発停用アダプター）	TB1	端子台（室外：電源及び内外接続線）
CN51	コネクター（集中管理/JEMA標準HA端子-A）	TB2	端子台（室内：電源（別売））
CN105	コネクター	TB4	端子台（室内：内外接続線）
CN115	コネクター	TB5	端子台（リモコン線）
LED1	発光ダイオード（マイコン電源）	TH1	サーミスター（室内吸込温度検知） 0℃/15kΩ、25℃/5.4kΩ
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）		
LED3	発光ダイオード（室内外通信）	TH2	サーミスター（室内配管〈液管〉温度検知） 0℃/15kΩ、25℃/5.4kΩ
X2	リレー（防露ヒーター/ドレンアップメカ）		
X4	リレー（送風機用モーター：微風）	TH5	サーミスター（室内配管〈二相管〉温度検知） 0℃/15kΩ、25℃/5.4kΩ
X5	リレー（送風機用モーター：弱風）		
X6	リレー（送風機用モーター：強風）	別売 R.B	ワイヤードリモコン
SW1	スイッチ（機種設定〈表1〉参照）	別売 TB6	端子台（リモコン線）
SW2	スイッチ（能力設定〈表2〉参照）	別売 ドレンアップメカ	
SW5	スイッチ（機能設定）	別売 DP	ドレンアップメカ
SWE	コネクター（通常/応急運転切換）	別売 DS	ドレンセンサー

※3



〈表1〉SW1：機種設定（スイッチ有りの場合）

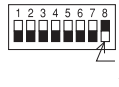
機種	SW1
PCZG-P. MHA	1 2 3 4 5 6 ON OFF

〈表2〉SW2：能力設定（スイッチ有りの場合）

能力	SW2
2形	1 2 3 4 5 6 ON OFF
3形	1 2 3 4 5 6 ON OFF
4形	1 2 3 4 5 6 ON OFF
5形	1 2 3 4 5 6 ON OFF

〈表3〉SW5：機能設定

スイッチ有りの場合



MAスムースリモコン
接続時はOFF

スイッチ無しの場合

MAスムースリモコン接続時は
J58を切除

【注意】

1. □□□は端子台、□□□□、○○○はコネクターを示します。
2. 内外接続線は極性がありますので番号（S1、S2、S3）に従い配線してください。
3. 室外ユニットのサービスの際は、室外ユニットの電気配線図を参照してください。
4. 本図は、内外接続線（AC200V仕様）が電源と信号の重量方式の配線図を示します。

※1：内外別受電方式の工事をした場合は、図1になります。

※2：本機の電源方式については、電気配線工事の際に貼り付ける注意ラベル（付属品同梱）を参照してください。

5. 本配線図の■はスイッチの位置を示します。
6. JEMA標準HA端子を使用する場合は、CN51に別売HA端子接続用ケーブル（PAC-SK31HN）を接続して使用してください。

【自己診断】

リモコンによる自己診断方法については技術資料等を参照してください。
点検コードと不具合内容は、右表をご覧ください。

点検コード	不具合内容	点検コード	不具合内容
P1	吸込センサー異常	PA	漏水異常（冷媒系）
P2	配管（液管）センサー異常	PL	冷媒回路異常
P4	ドレンセンサー異常	E0～E5	リモコン一室内ユニット間の通信異常
P5	ドレンオーバーフロー保護作動	E6～EF	室内ユニット一室外ユニット間の通信異常
P6	凍結／過昇保護作動	FB（Fb）	室内制御基板異常
P8	配管温度異常	U*，F*（*は英数字 Fb除く）	室外ユニットの不具合 室外ユニットの電気配線図を参照してください
P9	配管（二相管）センサー異常		

【応急運転】

1. ワイヤードリモコンまたは室内ユニットのマイコンが故障したとき、他に不具合箇所がなければ室内制御基板の応急切換コネクター（SWE）をON側に設定すると、室内ユニットの応急運転となります。
   応急運転中の室内ユニットは、以下の運転状態となります。
   ⑴室内ファン強風運転
   ⑵ドレンアップメカ運転

2. 冷房または暖房の応急運転を行う場合、室内制御基板のコネクター（SWE）設定と室外ユニットの応急運転が必要です。
   室外ユニットの応急運転方法については、室外ユニットの電気配線図を参照してください。

3. 応急運転を行うときの確認項目と注意事項
   ⑴以下の場合応急運転はできません。
   ・室外ユニットに異常がある場合
   ・室内送風機に異常がある場合
   ・自己診断でドレンオーバーフロー保護作動を検知した場合
   ⑵応急運転は電源発停による連続運転となります。
   リモコンでのON／OFFまたは温調等は作動しません。
   ⑶暖房応急運転中に室外ユニットが霜取運転を開始すると冷風を吹出しますので長時間の運転はしないでください。
   ⑷冷房応急運転は最長10時間以内としてください。
   室内ユニットの熱交換器が凍結する恐れがあります。
   ⑸応急運転終了後はコネクター設定などを元の状態に戻してください。

（2）室外ユニット

PU(Z)G-MP2MKA3

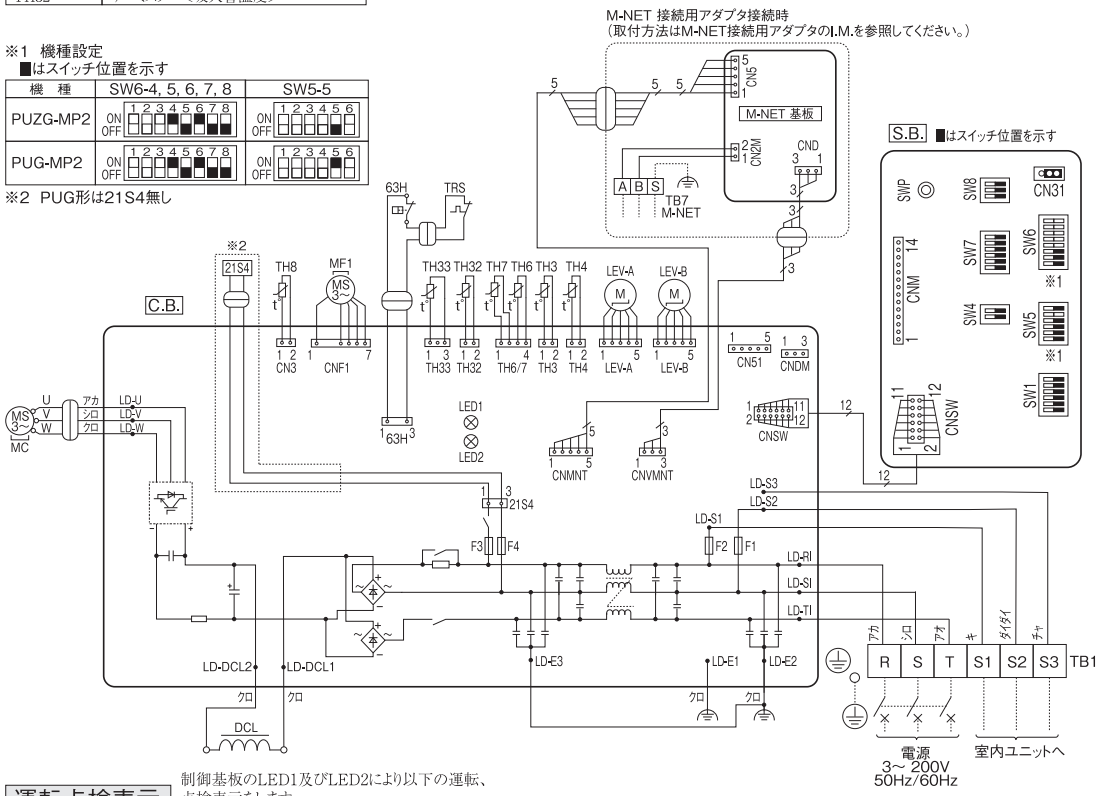
記号説明

記　号	名　称	記　号	名　称	記　号	名　称
TB1	端子台＜電源、内外接続線＞	TH33	サーミスター＜圧縮機シェル温度＞	S.B.	スイッチ基板
MC	圧縮機用電動機	LEV-A, LEV-B	電子膨張弁	SW1	スイッチ＜強制霜取り、異常履歴リセット、冷媒アドレス＞
MF1	送風機用電動機	DCL	リアクトル	SW4	スイッチ＜試運転＞
21S4	四方弁＜連続通電式＞ ※2	C.B.	制御基板	SW5	スイッチ＜機能切換、機種設定＞※1
63H	高圧圧力開閉器	F1, F2	ヒューズ＜T10AL250V＞	SW6	スイッチ＜機能切換、機種設定＞※1
TRS	サーマルプロテクター	F3, F4	ヒューズ＜T3.15AL250V＞	SW7	スイッチ＜機能切換＞
TH3	サーミスター＜室外液管温度＞	CNMNT	コネクター＜別売M-NET接続用アダプタ基板接続(制御信号)＞	SW8	スイッチ＜機能切換＞
TH4	サーミスター＜吐出温度＞	CNVMNT	コネクター＜別売M-NET接続用アダプタ基板接続(電源)＞	SWP	スイッチ＜ポンプダウン＞
TH6	サーミスター＜室外二相管温度＞	CNDM	コネクター＜オプション接続(接点入力)＞	CN31	コネクター＜応急運転＞
TH7	サーミスター＜外気温度＞	CN51	コネクター＜オプション接続(信号出力)＞	CNM	コネクター＜A制御サービス点検キット＞
TH8	サーミスター＜放熱板温度＞	CNSW	コネクター＜スイッチ基板接続＞	CNSW	コネクター＜制御基板接続＞
TH32	サーミスター＜吸入管温度＞				

※1　機種設定
■はスイッチ位置を示す

機　種	SW6-4, 5, 6, 7, 8	SW5-5
PUZG-MP2	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6
PUG-MP2	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6

※2　PUG形は21S4無し



運転点検表示

制御基板のLED1及びLED2により以下の運転、点検表示をします。
LED1が点灯しない場合:基板に電源が供給されていません。

	LED1(ミドリ)	LED2(アカ)	内　容	コ　ー　ド
電源投入時	電源有=点灯 電源無=消灯	点灯		−⇔−(点滅)
通常時	電源有=点灯 電源無=消灯	運転=点灯 停止=消灯		C4, H6など 運転状態表示
異常時 (点滅します)	1回点滅	2回点滅	コネクター(63H)オープン、 サーマルプロテクター(TRS)オープン	F5
	2回点滅	1回点滅	室内接続台数オーバー、 内外接続線誤配線	EA, Eb, EC
		2回点滅	内外通信異常	E6, E7, E8, E9
		3回点滅	リモコン通信異常	E0, E3, E4, E5
		4回点滅	組合せ異常、未定義異常	EE, EF
		5回点滅	シリアル通信異常	Ed
	3回点滅	1回点滅	冷媒不足異常、 吐出/圧縮機シェル温度異常、 低吐出スーパーヒート異常	U2, U7
		2回点滅	高圧圧力異常、低圧圧力異常	U1, UL
			サーマルプロテクター(TRS)オープン	U1
		3回点滅	室外ファンモーター回転数異常、 冷房過昇保護	U8, Ud
		4回点滅	パワーモジュール異常、 圧縮機過電流遮断(過負荷、ロック)	U6, UF
			電流センサー異常	UH
			圧縮機過電流遮断異常	UP
		5回点滅	吐出管/圧縮機シェルサーミスター (TH4/TH33)のオープン/ショート	U3
			室外サーミスター (TH3/TH6/TH7/TH8/TH32)のオープン/ショート	U4
		6回点滅	放熱板温度異常	U5
		7回点滅	電圧異常、T相欠相、 電流センサー異常	U9
	4回点滅	1回点滅	室内吸込センサー異常	P1
			室内配管(液管)センサー(TH2)異常、 室内配管(二相管)センサー(TH5)異常	P2, P9
		2回点滅	室内ドレンセンサー(DS)異常、 室内ドレンオーバーフロー保護	P4, P5
		3回点滅	室内凍結(冷房時)、過昇保護(暖房時)	P6
		4回点滅	室内配管温度異常	P8
		5回点滅	室内ファンモーター異常	Pb

M-NET 接続用アダプタ

記　号	名　称
TB7	端子台＜M-NET接続線＞
CN5	コネクター＜室外制御基板接続(制御信号)＞
CND	コネクター＜室外制御基板接続(電源)＞
CN2M	コネクター＜端子台TB7接続＞

記号説明

記　号	名　称
TB1	端子台<電源、内外接続線>
MC	圧縮機用電動機
MF1	送風機用電動機
21S4	四方弁<ラッチ式> ※2
63H	高圧圧力開閉器
TRS	サーマルプロテクター
TH3	サーミスター<室外液管温度>
TH4	サーミスター<吐出温度>
TH6	サーミスター<室外二相管温度>
TH7	サーミスター<外気温度>
TH8	サーミスター<放熱板温度>
TH32	サーミスター<吸入管温度>
TH33	サーミスター<圧縮機シェル温度>
LEV-A, LEV-B	電子膨張弁
DCL	リアクトル

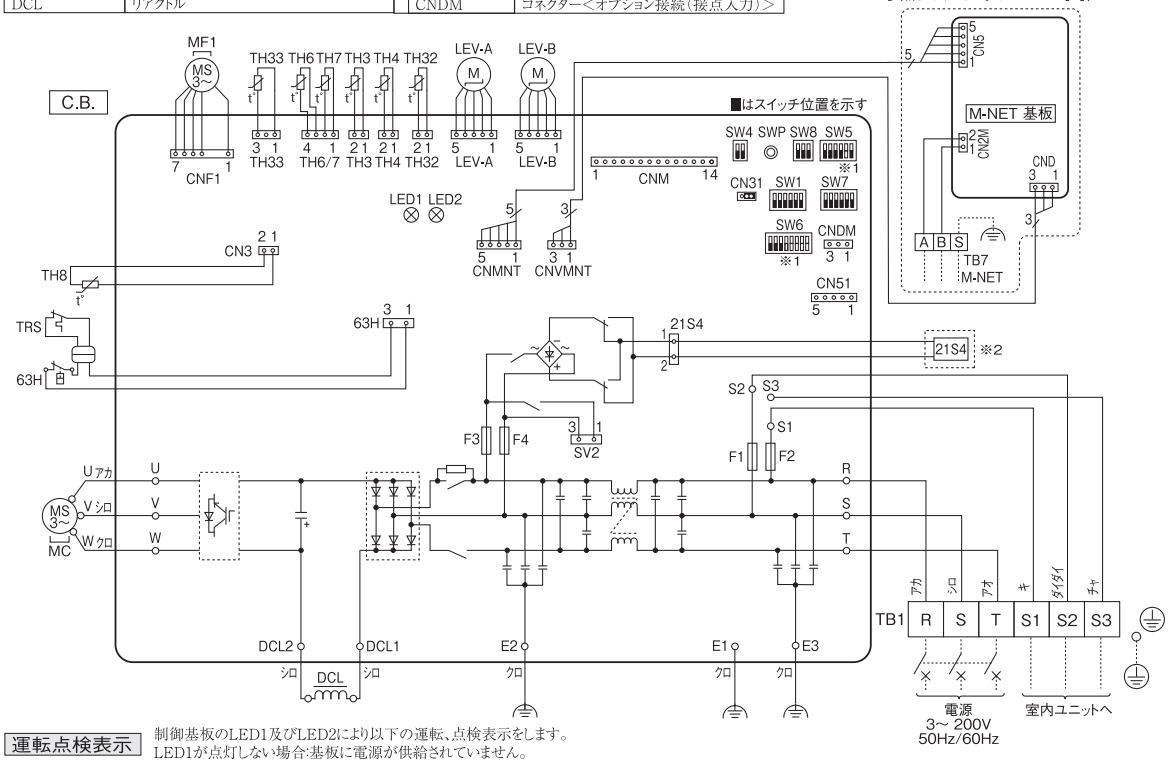
記　号	名　称
C.B.	制御基板
F1, F2	ヒューズ<T10AL250V>
F3, F4	ヒューズ<T3.15AL250V>
SW1	スイッチ<強制霜取り, 異常履歴リセット, 冷媒アドレス>
SW4	スイッチ<試運転>
SW5	スイッチ<機能切換, 機種設定> ※1
SW6	スイッチ<機能切換, 機種設定> ※1
SW7	スイッチ<機能切換>
SW8	スイッチ<機能切換>
SWP	スイッチ<ポンプダウン>
CN31	コネクター<応急運転>
CNM	コネクター<A制御サービス点検キット>
CNMNT	コネクター<別売M-NET接続用アダプタ基板接続(制御信号)>
CNVMNT	コネクター<別売M-NET接続用アダプタ基板接続(電源)>
CNDM	コネクター<オプション接続(接点入力)>

記　号	名　称
CN51	コネクター<オプション接続(信号出力)>
SV2	コネクター<オプション接続(ベースヒーター)>

M-NET 接続用アダプタ

記　号	名　称
TB7	端子台<M-NET接続線>
CN5	コネクター<室外制御基板接続(制御信号)>
CND	コネクター<室外制御基板接続(電源)>
CN2M	コネクター<端子台TB7接続>

M-NET 接続用アダプタ接続時
(取付方法はM-NET接続用アダプタのI.M.を参照してください。グループは[2])



運転点検表示　制御基板のLED1及びLED2により以下の運転、点検表示をします。
LED1が点灯しない場合:基板に電源が供給されていません。

	LED1(ミドリ)	LED2(アカ)	内　容	コ　ー　ド
電源投入時	電源有=点灯 電源無=消灯	点灯		−⇔−(点滅)
通常時	電源有=点灯 電源無=消灯	運転=点灯 停止=消灯		C4, H6など 運転状態表示
異常時 (点滅します)	1回点滅	2回点滅	コネクター(63H)オープン, サーマルプロテクター(TRS)オープン	F5
	2回点滅	1回点滅	室内接続台数オーバー, 内外接続線誤配線	EA, Eb, EC
		2回点滅	内外通信異常	E6, E7, E8, E9
		3回点滅	リモコン通信異常	E0, E3, E4, E5
		4回点滅	組合せ異常, 未定義異常	EE, EF
		5回点滅	シリアル通信異常	Ed
	3回点滅	1回点滅	冷媒不足異常/吐出/圧縮機シェル温度異常, 低吐出スーパーヒート異常	U2, U7
		2回点滅	高圧圧力異常, 低圧圧力異常	U1, UL
			サーマルプロテクター(TRS)オープン	U1
		3回点滅	室外ファンモーター回転数異常, 冷房過昇保護	U8, Ud
		4回点滅	パワーモジュール異常, 圧縮機過電流遮断(過負荷, ロック)	U6, UF
			電流センサー異常	UH
			圧縮機過電流遮断異常	UP
		5回点滅	吐出管/圧縮機シェルサーミスター(TH4/TH33)のオープン/ショート	U3
			室外サーミスター(TH3/TH6/TH7/TH8/TH32)のオープン/ショート	U4
		6回点滅	放熱板温度異常	U5
		7回点滅	電圧異常, T相欠相, 電流センサー異常	U9
	4回点滅	1回点滅	室内吸込センサー異常	P1
			室内配管(液管)センサー(TH2)異常, 室内配管(二相管)センサー(TH5)異常	P2, P9
		2回点滅	室内ドレンセンサー(DS)異常, 室内ドレンオーバーフロー保護	P4, P5
		3回点滅	室内凍結(冷房時), 過昇保護(暖房時)	P6
		4回点滅	室内配管温度異常	P8
		5回点滅	室内ファンモーター異常	Pb

※1 機種設定
■はスイッチ位置を示す

機　種	SW6-4, 5, 6, 7, 8	SW5-5
PUZG-MP3	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6
PUG-MP3	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6

※2 PUG形は21S4無し

記号説明

記　号	名　称
TB1	端子台<電源、内外接続線>
MC	圧縮機用電動機
MF	送風機用電動機
21S4	四方弁<ラッチ式> ※2
63H	高圧圧力開閉器
TRS	サーマルプロテクター
TH3	サーミスター<室外液管温度>
TH4	サーミスター<吐出温度>
TH6	サーミスター<室外二相管温度>
TH7	サーミスター<外気温度>
TH8	サーミスター<放熱板温度>
TH32	サーミスター<吸入管温度>
TH33	サーミスター<圧縮機シェル温度>
LEV-A, LEV-B	電子膨張弁
DCL	リアクトル

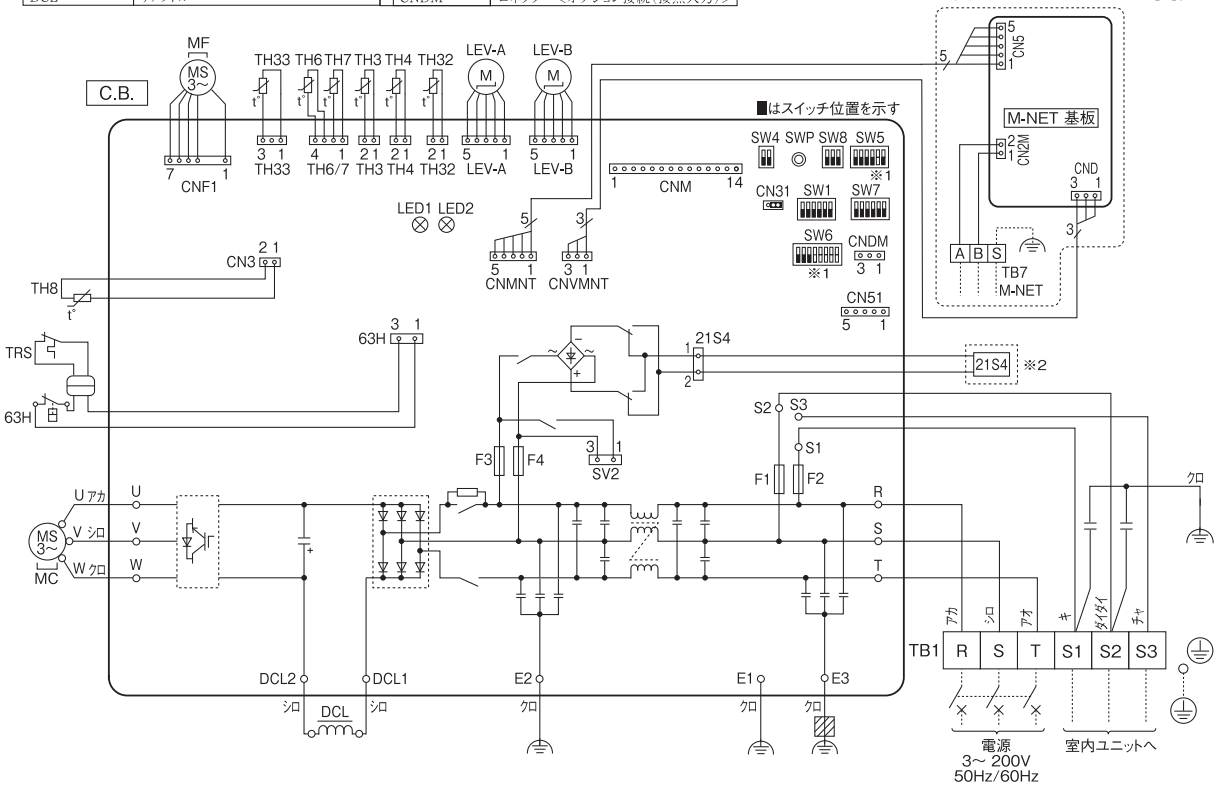
記　号	名　称
C.B.	制御基板
F1, F2	ヒューズ<T10AL250V>
F3, F4	ヒューズ<T3.15AL250V>
SW1	スイッチ<強制霜取り, 異常履歴リセット, 冷媒アドレス>
SW4	スイッチ<試運転>
SW5	スイッチ<機能切換, 機種設定> ※1
SW6	スイッチ<機能切換, 機種設定> ※1
SW7	スイッチ<機能切換>
SW8	スイッチ<機能切換>
SWP	スイッチ<ポンプダウン>
CN31	コネクター<応急運転>
CNM	コネクター<A制御サービス点検キット>
CNMNT	コネクター<別売M-NET接続用アダプタ基板接続(制御信号)>
CNVMNT	コネクター<別売M-NET接続用アダプタ基板接続(電源)>
CNDM	コネクター<オプション接続(接点入力)>

記　号	名　称
CN51	コネクター<オプション接続(信号出力)>
SV2	コネクター<オプション接続(ベースヒーター)>

M-NET 接続用アダプタ

記　号	名　称
TB7	端子台<M-NET接続線>
CN5	コネクター<室外制御基板接続(制御信号)>
CND	コネクター<室外制御基板接続(電源)>
CN2M	コネクター<端子台TB7接続>

M-NET 接続用アダプタ接続時
(取付方法はM-NET接続用アダプタの
I.M.を参照してください。グループは[3])



運転点検表示　制御基板のLED1及びLED2により以下の運転、点検表示をします。
LED1が点灯しない場合:基板に電源が供給されていません。

	LED1(ミドリ)	LED2(アカ)	内　容	コ　ー　ド
電源投入時	電源有=点灯 電源無=消灯	点灯		−⇔−(点滅)
通常時	電源有=点灯 電源無=消灯	運転=点灯 停止=消灯		C4, H6など 運転状態表示
異常時 (点滅します)	1回点滅	2回点滅	コネクター(63H)オープン, サーマルプロテクター(TRS)オープン	F5
	2回点滅	1回点滅	室内接続台数オーバー, 内外接続線誤配線	EA, Eb, EC
		2回点滅	内外通信異常	E6～E9
		3回点滅	リモコン通信異常	E0, E3～E5
		4回点滅	組合せ異常, 未定義異常	EE, EF
		5回点滅	シリアル通信異常	Ed
	3回点滅	1回点滅	冷媒不足異常/吐出/圧縮機シェル温度異常, 低吐出スーパーヒート異常	U2, U7
		2回点滅	高圧圧力異常, 低圧圧力異常	U1, UL
			サーマルプロテクター(TRS)オープン	U1
		3回点滅	室外ファンモーター回転数異常, 冷房過昇保護	U8, Ud
		4回点滅	パワーモジュール異常, 圧縮機過電流遮断(過負荷, ロック)	U6, UF
			電流センサー異常	UH
			圧縮機過電流遮断異常	UP
		5回点滅	吐出管/圧縮機シェルサーミスター(TH4/TH33)のオープン/ショート	U3
			室外サーミスター(TH3/TH6/TH7/TH8/TH32)のオープン/ショート	U4
		6回点滅	放熱板温度異常	U5
		7回点滅	電圧異常, T相欠相, 電流センサー異常	U9
	4回点滅	1回点滅	室内吸込センサー異常	P1
			室内配管(液管)センサー(TH2)異常, 室内配管(二相管)センサー(TH5)異常	P2, P9
		2回点滅	室内ドレンセンサー(DS)異常, 室内ドレンオーバーフロー保護	P4, P5
		3回点滅	室内凍結(冷房時), 過昇保護(暖房時)	P6
		4回点滅	室内配管温度異常	P8
		5回点滅	室内ファンモーター異常	Pb

※1　機種設定
■はスイッチ位置を示す

機　種	SW6-4, 5, 6, 7, 8	SW5-5
PUZG-MP4	ON / OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON / OFF 1 2 3 4 5 6
PUZG-MP5	ON / OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	
PUG-MP4	ON / OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON / OFF 1 2 3 4 5 6
PUG-MP5	ON / OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	

※2　PUG形は21S4無し

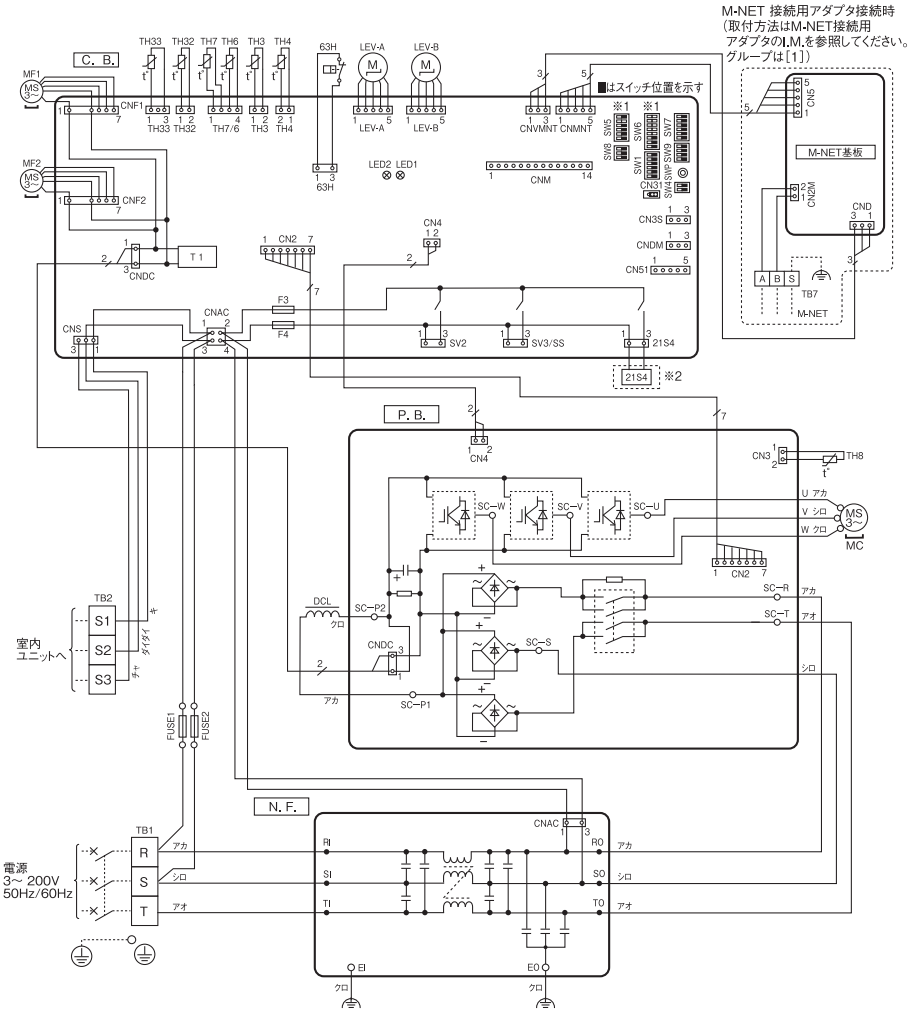
電気配線図

記号説明

記号	名称
TB1	端子台<電源R, S, T>
TB2	端子台<内外接続線S1, S2, S3>
MC	圧縮機用電動機
MF1, MF2	送風機用電動機
21S4	四方弁<連続通電式> ※2
63H	高圧圧力開閉器
TH3	サーミスター<室外液管温度>
TH4	サーミスター<吐出温度>
TH6	サーミスター<室外二相管温度>
TH7	サーミスター<外気温度>
TH8	サーミスター<放熱板温度>
TH32	サーミスター<吸入管温度>
TH33	サーミスター<圧縮機シェル温度>
LEV-A, LEV-B	電子膨張弁
DCL	リアクトル
FUSE1, FUSE2	ヒューズ<T15AL250V>
P.B.	パワー基板
C.B.	制御基板
F3,F4	ヒューズ<T6.3AL250V>
SW1	スイッチ<強制霜取り, 異常履歴リセット, 冷媒アドレス>
SW4	スイッチ<試運転>
SW5	スイッチ<機能切換, 機種設定> ※1
SW6	スイッチ<機能切換, 機種設定> ※1
SW7	スイッチ<機能切換>
SW8	スイッチ<機能切換>
SW9	スイッチ<機能切換>
SWP	スイッチ<ポンプダウン>
CN31	コネクター<応急運転>
SV2	コネクター<オプション接続(パースヒーター)>
SV3/SS	コネクター<オプション接続>
CNM	コネクター<A制御サービス点検キット>
CNMNT	コネクター<別売M-NET接続用アダプタ基板接続(制御信号)>
CNVMNT	コネクター<別売M-NET接続用アダプタ基板接続(電源)>
CN3S	コネクター<オプション接続(接点入力)>
CNDM	コネクター<オプション接続(接点入力)>
CN51	コネクター<オプション接続(信号出力)>
N.F.	ノイズフィルター基板

M-NET 接続用アダプタ

記号	名称
TB7	端子台<M-NET接続線>
CN5	コネクター<室外制御基板接続(制御信号)>
CND	コネクター<室外制御基板接続(電源)>
CN2M	コネクター<端子台TB7接続>



運転点検表示

制御基板のLED1及びLED2により以下の運転、点検表示をします。
LED1が点灯しない場合:基板に電源が供給されていません。

	LED1(ミドリ)	LED2(アカ)	内容	コード
電源投入時	電源有=点灯 電源無=消灯	点灯		−⇔−(点滅)
通常時	電源有=点灯 電源無=消灯	運転=点灯 停止=消灯		C4, H6など 運転状態表示
異常時 (点滅します)	1回点滅	2回点滅	コネクター(63H)オープン	F5
	2回点滅	1回点滅	室内接続台数オーバー, 内外接続線誤配線	EA, Eb, EC
		2回点滅	内外通信異常	E6, E7, E8, E9
		3回点滅	リモコン通信異常	E0, E3, E4, E5
		4回点滅	組合せ異常, 未定義異常	EE, EF
		5回点滅	シリアル通信異常	Ed
	3回点滅	1回点滅	吐出/圧縮機シェル温度異常, 冷媒不足異常, 低吐出スーパーヒート異常	U2, U7
		2回点滅	高圧圧力異常, 低圧圧力異常	U1, UL
		3回点滅	室外ファンモーター回転数異常, 冷房過昇保護	U8, Ud
		4回点滅	パワーモジュール異常, 圧縮機過電流遮断(過負荷, ロック)	U6, UF
			電流センサー異常(P.B.)	UH
			圧縮機過電流遮断異常	UP
		5回点滅	吐出管/圧縮機シェルサーミスター(TH4/TH33)のオープン/ショート	U3
			室外サーミスター(TH3/TH6/TH7/TH8/TH32)のオープン/ショート	U4
		6回点滅	放熱板温度異常	U5
		7回点滅	電圧異常, T相欠相, 電流センサー異常	U9
	4回点滅	1回点滅	室内吸込センサー異常	P1
			室内配管(液管)センサー(TH2)異常, 室内配管(二相管)センサー(TH5)異常	P2, P9
		2回点滅	室内ドレンセンサー(DS)異常, 室内ドレンオーバーフロー保護	P4, P5
		3回点滅	室内凍結(冷房時), 過昇保護(暖房時)	P6
		4回点滅	室内配管温度異常	P8
		5回点滅	室内ファンモーター異常	Pb

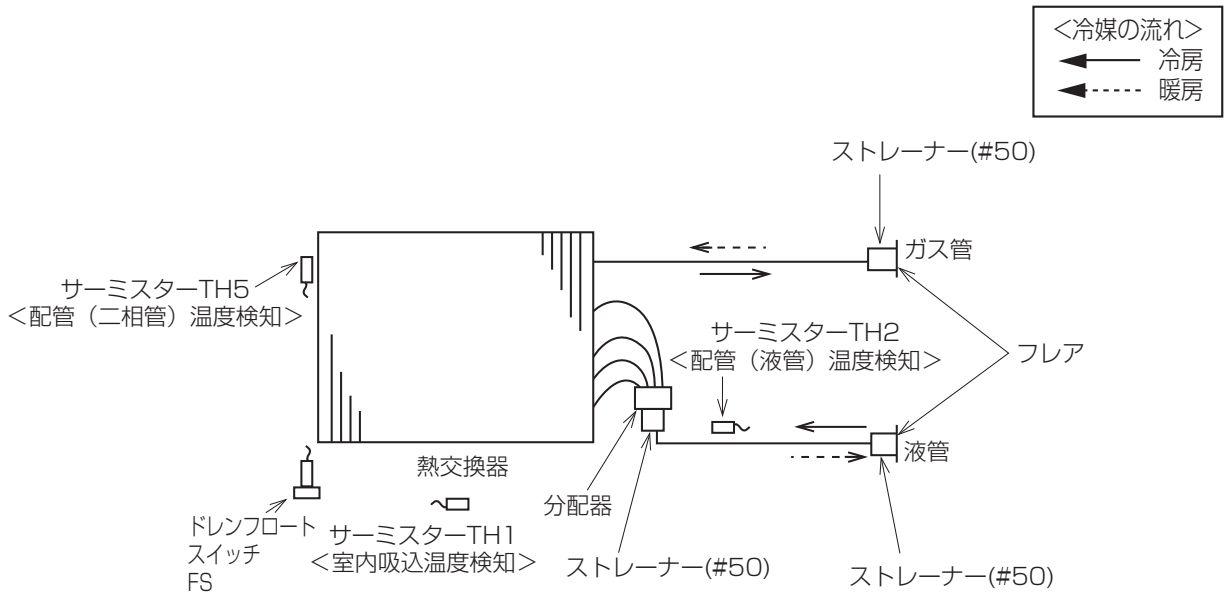
※1 機種設定
■はスイッチ位置を示す

機種	SW6-4, 5, 6, 7, 8	SW5-5
PUZG-MP8	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 OFF	ON 1 2 3 4 5 6 OFF
PUZG-MP10	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 OFF	ON 1 2 3 4 5 6 OFF
PUG-MP8	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 OFF	ON 1 2 3 4 5 6 OFF
PUG-MP10	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 OFF	ON 1 2 3 4 5 6 OFF

※2 PUG形は21S4無し

3. 冷媒回路図

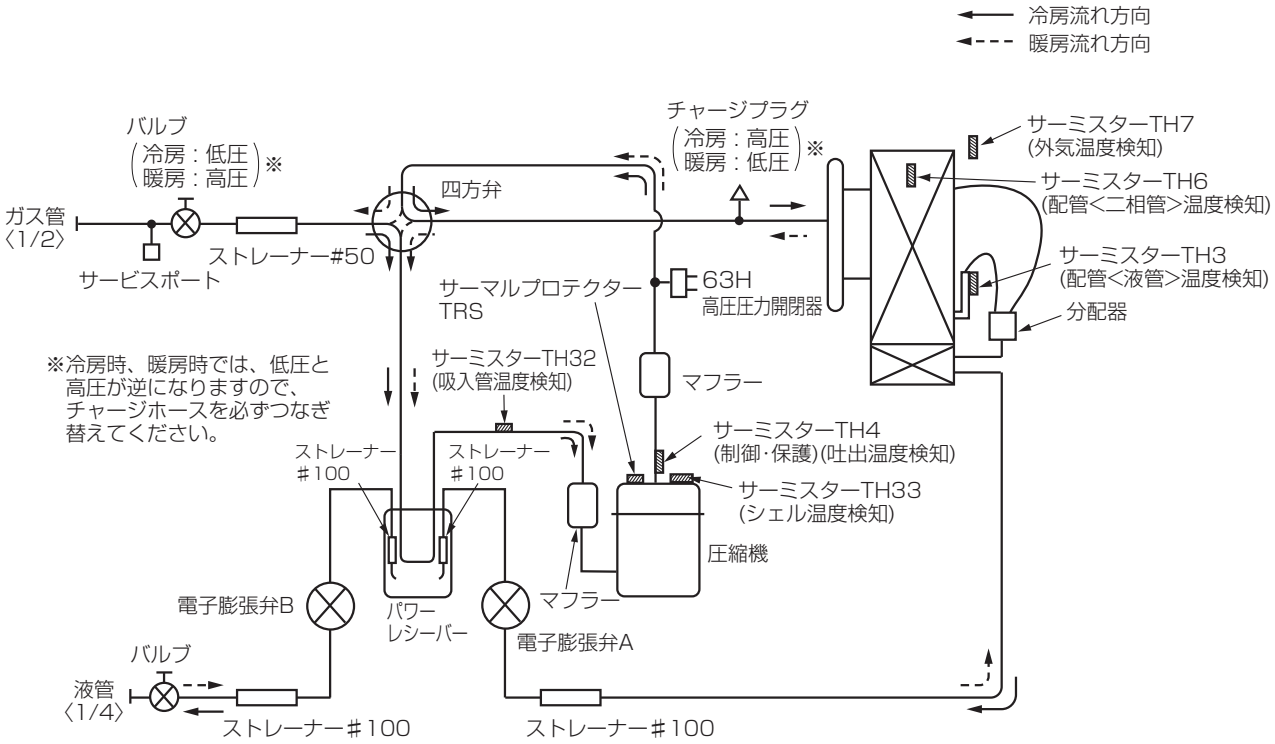
（1）室内ユニット



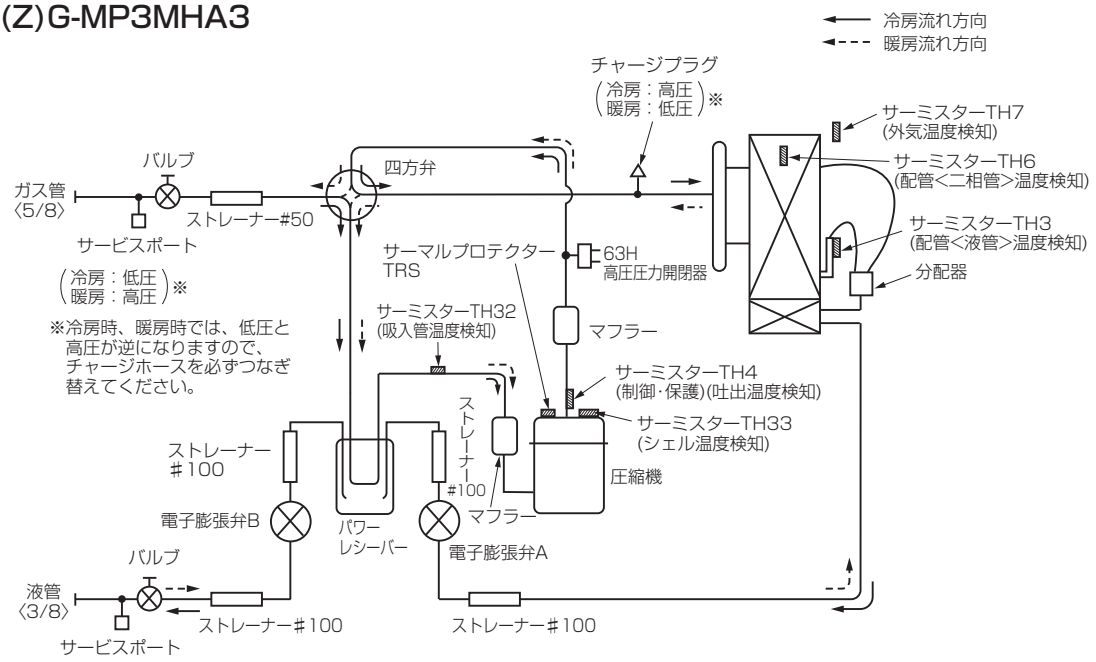
（図は一例です）

（2）室外ユニット

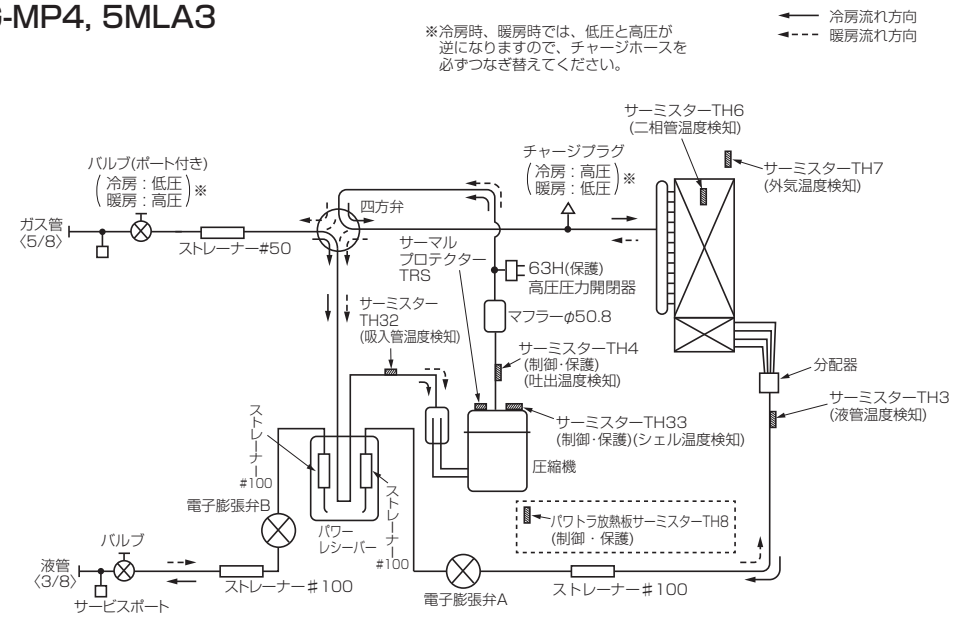
■ PU(Z)G-MP2MKA3



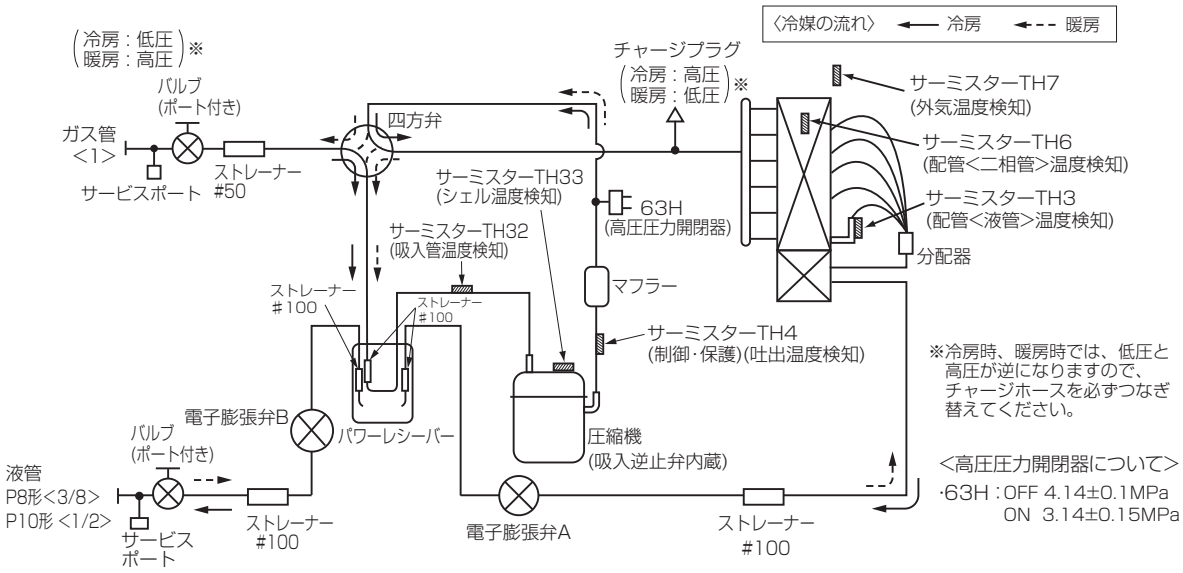
■ PU(Z)G-MP3MHA3



■ PU(Z)G-MP4, 5MLA3



■ PU(Z)G-MP8, 10MKA



Ⅲ．据付・施工関連

1．室外ユニットの設置

（1）特殊環境対応室外ユニットの仕様（海岸地帯向け）

スリム室外ユニットでは、主に硫黄系ガスの雰囲気などには防食仕様品を、海岸地帯には耐塩害仕様品を下記の内容で用意致しておりますので、仕様確認の上ご用命ください。
なお、耐塩害仕様につきましては、耐塩害仕様 (－BS)、耐重塩害仕様 (－BSG) を受注生産品として用意しております。
「耐塩害仕様・耐重塩害仕様室外ユニット」は日本冷凍空調工業会 JRA9002 に基づいています。

（下記：日本冷凍空調工業会 空調機器の耐塩害試験基準 JRA9002 より）

防食仕様

仕様区分	適用	処理仕様
1. 防食仕様	硫黄系ガス雰囲気などのある地域 1. 化学・薬品工場 2. 工場、学校などの実験室で硫黄系薬品を使用する場所 3. 都市公害地(車の排ガスの影響のある場所)	1. 配管溶接部にエポキシ樹脂塗装 2. アルミフィンに防食・親水性処理
2. 重防食仕様	上記に更に酸、アルカリ雰囲気のある地域 1. 下水処理場 2. 動物園飼育室 3. メッキ・エッチング工場など	1. 外装パネル部の防食強化 （内外 1 回アクリル＋ポリエステル樹脂塗装） 2. モーターサポート、セパレーター、配管支持材の端面部、配管溶接部にエポキシ樹脂塗装 3. アルミフィンに防食・親水性処理

（重）防食仕様であっても腐食や発錆に対して万全ではありません。設置する場所や設置後のメンテナンスに十分留意してください。

耐塩害仕様

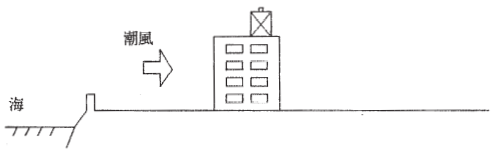
耐塩害仕様　潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所に設置する仕様を耐塩害仕様という（図１）。

耐重塩害仕様　潮風の影響を受ける場所に設置する仕様を耐重塩害仕様という。但し、塩分を含んだ水が直接機器にかからないものとする（図２）。

図１.



図２.



（１）「潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所」とは、以下の箇所をいう。
①潮風に対して建物の影で海塩粒子が室外機に直接当たらないところ。
（２）「潮風の影響を受ける場所」とは、以下の箇所をいう。
①建物の表（海岸面）で海塩粒子が室外機に直接当たるところ。
②室外機設置場所付近のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多いところ。
（３）耐塩害仕様、耐重塩害仕様の選択は、設置環境により条件が変わる場合（例えば季節風、台風の影響の強い地域）を除き、概ね次のような目安としている。

仕　様	設置場所条件	処理仕様
1．耐塩害仕様	1.室外機が雨で洗われる場所 2.潮風の当たらないところ 3.室外機の設置場所から海までの距離が約300ｍを超え１㎞以内 4.室外機が建物の影になる場所	1. 外装パネル部の防錆力強化(内外 1 回アクリル＋ポリエステル樹脂塗装) 2. モーターサポート、セパレーター、配管支持材の端面部にエポキシ樹脂塗装 3. アルミフィンに防食・親水性処理
2．耐重塩害仕様	1.室外機に雨があまりかからない場所 2.潮風が直接当たるところ 3.室外機の設置場所から海までの距離が約300ｍ以内 4.室外機が建物の表（海岸面）になる場所 5.室外機設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所	1. 外装パネル部の防錆力強化(内外 1 回、外２回アクリル＋ポリエステル樹脂塗装) 2. モーターサポート、セパレーター、配管支持材の端面部にエポキシ樹脂塗装 3. アルミフィンに防食・親水性処理

（４）設置距離目安　　設置環境により条件が変わります。

■直接潮風が当たるところ

	設置距離目安 300m	500m	1km	備考
①内海に面する地域	H	L	－	瀬戸内海
②外洋に面する地域	H		L	
③沖縄、離島	H			

H；耐重塩害仕様
L；耐塩害仕様

■直接潮風が当たらないところ

	設置距離目安 300m	500m	1km	備考
①内海に面する地域	L	－		瀬戸内海
②外洋に面する地域	H	L		
③沖縄、離島	H		L	

H；耐重塩害仕様
L；耐塩害仕様

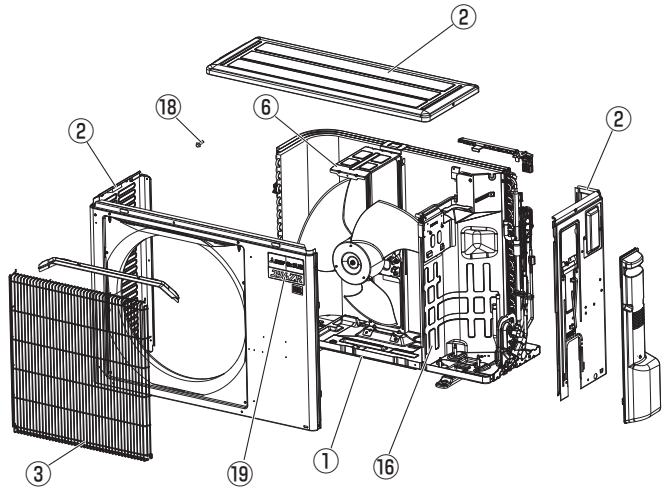
■（重）防食・耐（重）塩害仕様一覧

PUZG-MP2MKA3 形 , PUG-MP2MKA3 形

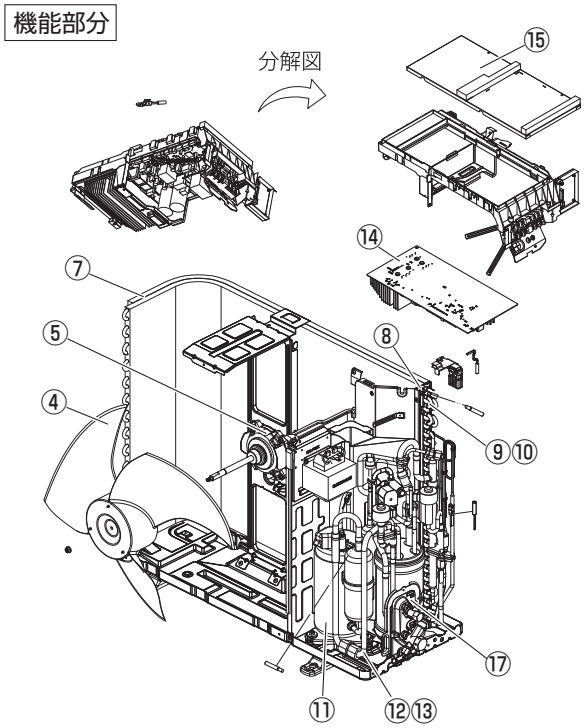
図示番号	区分名	部品名		素材仕様	標準	防食	重防食	耐塩害	耐重塩害	表面処理仕様
①	外装パネル	本体ベース		アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板	○					－
						○	○	○		アクリル樹脂塗装 / 内外面 1 回塗装
									○	アクリル樹脂塗装 / 内面 2 回 , 外面 1 回塗装
②		パネル（上面･側面･後面）		合金化亜鉛メッキ鋼板	○	○				ポリエステル系樹脂塗装（塗装鋼板）
							○	○		アクリル+ポリエステル樹脂塗装 / 内外面 1 回塗装
									○	アクリル+ポリエステル樹脂塗装 / 内面 1 回 , 外面 2 回塗装
③		グリル		SWM 鉄線	○	○	○	○	○	ポリエチレン樹脂コーティング
④	送風機	プロペラファン		ポリプロピレン樹脂成形品	○	○	○	○	○	－
⑤		モーター	フレーム部	モールド仕様（不飽和ポリエステル樹脂）	○	○	○	○	○	－
			シャフト部	S38C または S45C	○	○	○	○	○	防錆油塗布
⑥		モーターサポート		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				－
							○	○	○	板金端面にエポキシ樹脂塗装
⑦	熱交換器	フィン		アルミ板	○					－
						○	○	○	○	防食･親水性処理フィン（ビニル系またはアクリル系樹脂塗装）
⑧		側板		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	○	○	クロムフリー被膜処理
⑨		配管		リン脱酸銅管（C1220T）	○	○		○	○	－
							○			エポキシ樹脂塗装
⑩		配管溶接部		ロウ材 : リン銅ロウ	○			○	○	－
						○	○			エポキシ樹脂塗装
⑪	冷媒配管	圧縮機		熱間圧延鋼板	○	○	○	○	○	機種により塗装が異なります。
⑫		配管		リン脱酸銅管（C1220T）	○	○		○	○	－
							○			エポキシ樹脂塗装
⑬		配管溶接部		ロウ材 : リン銅ロウ	○			○	○	－
						○	○			エポキシ樹脂塗装
⑭	電気品箱	プリント基板		ガラスコンポジット CEM-3	○	○	○	○	○	主回路部品及び狭パターン、基板裏面（放熱部等を除く）のコーティング
⑮		電気品箱		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	○	○	クロムフリー被膜処理
⑯	その他	セパレーター		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				クロムフリー被膜処理
							○	○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装
⑰		配管支持板		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				クロムフリー被膜処理
							○	○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装
⑱		ネジ（外装）		SWCH18A（鉄製）	○	○	○	○	○	高耐食被膜処理
⑲		ラベル				○				防食仕様
							○			重防食仕様
								○		JRA 耐塩害仕様
									○	JRA 耐重塩害仕様

※この図は一例です。

外観部分



機能部分



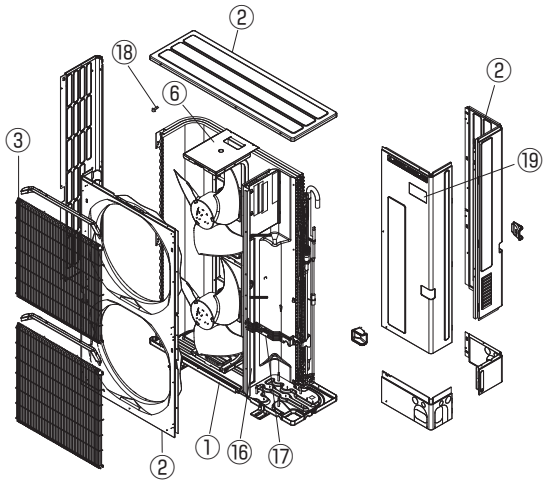
■（重）防食・耐（重）塩害仕様一覧

PUZG-MP3MHA3 形 , PUZG-MP8･10MKA 形
PUG-MP3MHA3 形 , PUG-MP8･10MKA 形

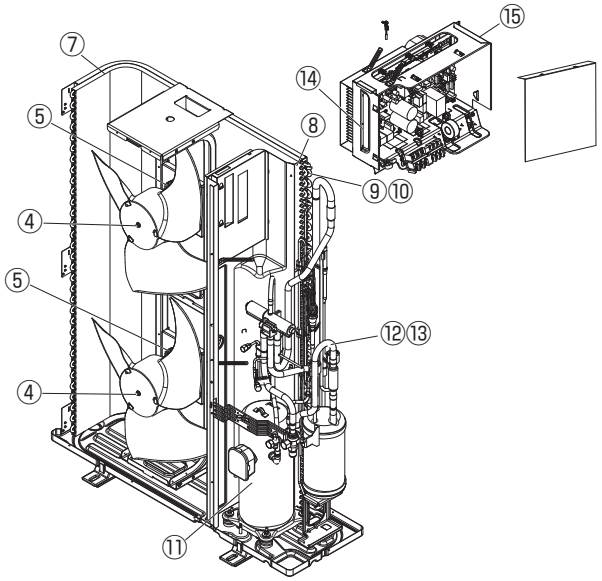
図示番号	区分名	部品名		素材仕様	標準	防食	重防食	耐塩害	耐重塩害	表面処理仕様
①	外装パネル	本体ベース		アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板	○					－
						○	○	○		アクリル樹脂塗装 / 内外面 1 回塗装
									○	アクリル樹脂塗装 / 内面 2 回 , 外面 1 回塗装
②		パネル（上面･側面･後面）		合金化亜鉛メッキ鋼板	○	○				ポリエステル系樹脂塗装（塗装鋼板）
							○	○		アクリル＋ポリエステル樹脂塗装 / 内外面 1 回塗装
									○	アクリル＋ポリエステル樹脂塗装 / 内面 1 回 , 外面 2 回塗装
③		グリル		SWM 鉄線	○	○	○	○	○	ポリエチレン樹脂コーティング
④	送風機	プロペラファン		ポリプロピレン樹脂成形品	○	○	○	○	○	－
⑤		モーター	フレーム部	モールド仕様（不飽和ポリエステル樹脂）または溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	○	○	機種によってモーターのフレーム材質が異なります。
			シャフト部	S45C または S35C	○	○	○	○	○	防錆油塗布
⑥		モーターサポート		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				－
							○	○	○	板金端面にエポキシ樹脂塗装
⑦	熱交換器	フィン		アルミ板	○					－
						○	○	○	○	防食･親水性処理フィン（ビニル系またはアクリル系樹脂塗装）
⑧		側板		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	○	○	クロムフリー被膜処理
⑨		配管		リン脱酸銅管（C1220T）	○	○		○	○	－
							○			エポキシ樹脂塗装
⑩		配管溶接部		ロウ材 : リン銅ロウ	○			○	○	－
						○	○			エポキシ樹脂塗装
⑪	冷媒配管	圧縮機		熱間圧延鋼板	○	○	○	○	○	機種により塗装が異なります。
⑫		配管		リン脱酸銅管（C1220T）	○	○		○	○	－
							○			エポキシ樹脂塗装
⑬		配管溶接部		ロウ材 : リン銅ロウ	○			○	○	－
						○	○			エポキシ樹脂塗装
⑭	電気品箱	プリント基板		ガラスコンポジット CEM-3	○	○	○	○	○	主回路部品及び狭パターン、基板裏面（放熱部等を除く）のコーティング
⑮		電気品箱		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	○	○	クロムフリー被膜処理
⑯	その他	セパレーター		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				クロムフリー被膜処理
							○	○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装
⑰		配管支持板		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				クロムフリー被膜処理
							○	○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装
⑱		ネジ（外装）		SWCH18A（鉄製）	○	○	○	○	○	高耐食被膜処理
⑲		ラベル				○				防食仕様
							○			重防食仕様
								○		ＪＲＡ耐塩害仕様
									○	ＪＲＡ耐重塩害仕様

※この図は一例です。
PUZG-MP3MHA3,PUG-MP3MHA3 はファンが 1 つです。

外観部分



機能部分



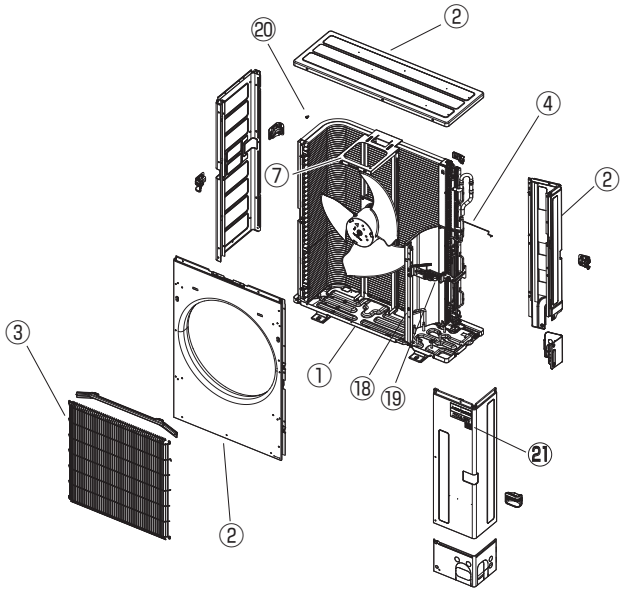
■(重)防食・耐(重)塩害仕様一覧

PUZG-MP4･5MLA3 形, PUG-MP4･5MLA3 形

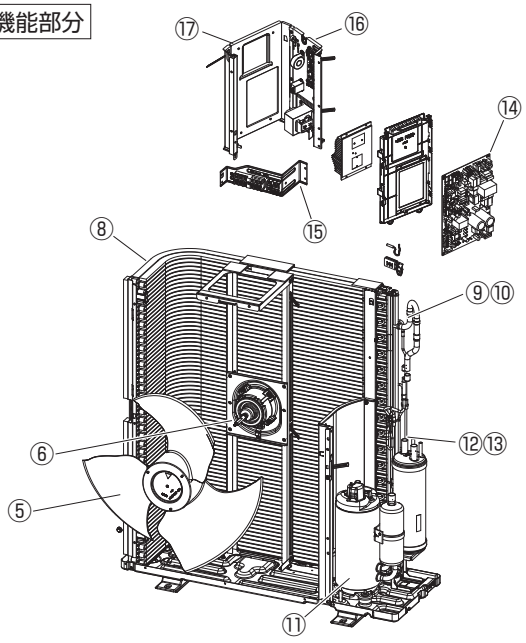
図示番号	区分名	部品名		素材仕様	標準	防食	重防食	耐塩害	耐重塩害	表面処理仕様
①	外装パネル	本体ベース		アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板	○					−
						○	○	○		アクリル樹脂塗装 / 内外面 1 回塗装
									○	アクリル樹脂塗装 / 内面 2 回, 外面 1 回塗装
②		パネル(上面･側面･後面)		合金化亜鉛メッキ鋼板	○	○				ポリエステル系樹脂塗装(塗装鋼板)
							○	○		アクリル+ポリエステル樹脂塗装 / 内外面 1 回塗装
									○	アクリル+ポリエステル樹脂塗装 / 内面 1 回, 外面 2 回塗装
③		グリル		SWM 鉄線	○	○	○	○	○	ポリエチレン樹脂コーティング
④		サポートワイヤ		SWM 鉄線	○	○	○	○	○	ポリエチレン樹脂コーティング
⑤	送風機	プロペラファン		ポリプロピレン樹脂成形品	○	○	○	○	○	−
⑥		モーター	フレーム部	モールド仕様：不飽和ポリエステル樹脂 ブラケット：溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	○	○	機種によってモーターのフレーム材質が異なります。
			シャフト部	S45C	○	○	○	○	○	防錆油塗布
⑦		モーターサポート		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				−
				アルミ亜鉛メッキ鋼板			○	○	○	板金端面にエポキシ樹脂塗装
⑧	熱交換器	本体部(フィン、管)		アルミ(亜鉛防食層)	○	○	○	○	○	−
⑨		側板		アルミ板	○	○	○	○	○	−
⑩		配管溶接部		ロウ材 : アルミロウ	○	○	○	○	○	−
⑪	冷媒配管	圧縮機		熱間圧延鋼板	○	○	○	○	○	機種により塗装が異なります。
⑫		配管		リン脱酸銅管(C1220T)	○	○		○	○	−
							○			エポキシ樹脂塗装
⑬		配管溶接部		ロウ材 : リン銅ロウ	○			○	○	−
						○	○			エポキシ樹脂塗装
⑭	電気品箱	プリント基板		ガラスコンポジット CEM-3	○	○	○	○	○	主回路部品及び狭パターン、基板裏面(放熱部等を除く)のコーティング
⑮		電気品箱		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	○	○	クロムフリー被膜処理
⑯		電気品箱		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	○	○	クロムフリー被膜処理
⑰		電気品箱		溶融亜鉛メッキ鋼板	○					クロムフリー被膜処理
						○	○	○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装
⑱	その他	セパレーター		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				クロムフリー被膜処理
							○	○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装
⑲		配管支持板		溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○				クロムフリー被膜処理
							○	○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装
⑳		ネジ(外装)		SWCH18A(鉄製)	○	○	○	○	○	高耐食被膜処理
㉑		ラベル				○				防食仕様
							○			重防食仕様
								○		JRA 耐塩害仕様
									○	JRA 耐重塩害仕様

※この図は一例です。

外観部分



機能部分



（2）集中ドレン排水

別売部品を用いて、室外ユニットより生ずるドレン水を集中排水することができます。

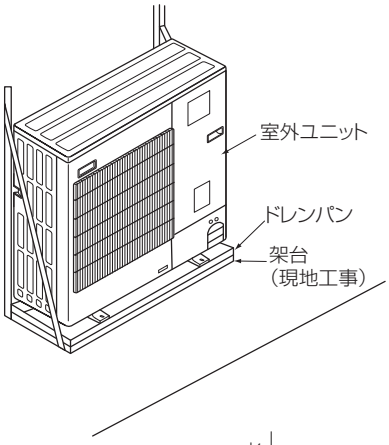
■集中排水ドレンパンを用いてのドレン処理

型　名	適用機種
PAC-SG63DP	中温用パッケージエアコン　PU(Z)G-MP2MKA3
PAC-SG64DP	中温用パッケージエアコン　PU(Z)G-MP3MHA3, PU(Z)G-MP4·5MLA3
PAC-SH97DP	中温用パッケージエアコン　PU(Z)G-MP8·10MKA

なお、集中排水ドレンパンの取付けの際には、次の点にご留意ください。

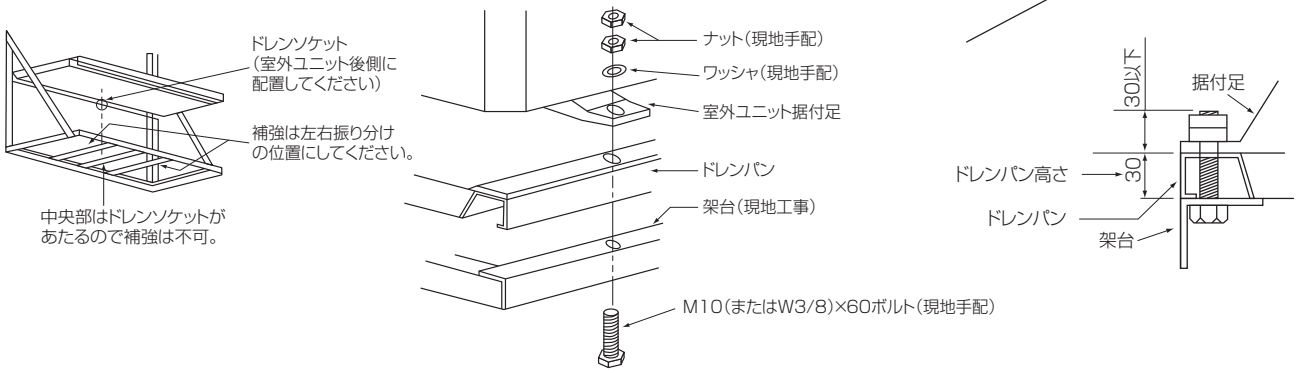
1）寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
2）本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが30mm高くなります。
3）本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
4）本品の前側に水が溜まらないように、若干、後ろ下がりにして施工してください。

取付方法



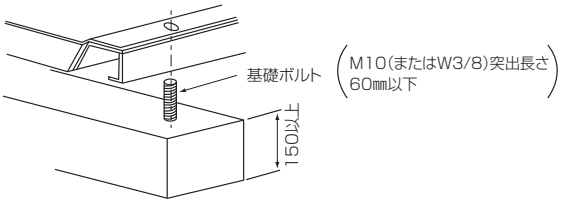
【据付用架台に取付けの場合】

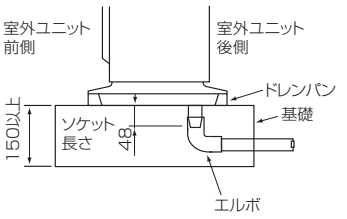
1）据付用架台は、室外ユニット本体およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
2）ドレンパンのドレンソケットは長手方向中央部にありますので、架台の製作時にはソケットと架台部材が干渉しないようにしてください。
3）ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用架台には室外ユニット本体据付用ピッチにてφ13程度の穴をあけてください。
4）架台とドレンパン、室外ユニット本体を下図のように共締めにて強固に締結してください（4箇所）。なお、ボルトの長さは下図のように60mm以下としてください。



【基礎に取付の場合】

1）ドレン集中処理が必要で、基礎に据付ける場合、基礎の地上部高さは下図のように150mm以上としてください。
これ以下ですとドレン排水用ソケットの突出長さが48mmですので、ドレン配管施工ができなくなります。

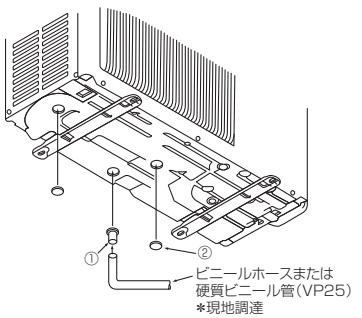




■ドレンソケットを用いてのドレン処理

型 名	適用機種
PAC-SJ08DS	中温用パッケージアコン　PU(Z)G-MP2MKA3
PAC-SJ73DS	中温用パッケージアコン　PU(Z)G-MP3MHA3,PU(Z)G-MP4·5MLA3,PU(Z)G-MP8·10MKA

室外ユニット底面にある数箇所のドレン排水用丸穴のうち1箇所にドレンソケットを取付け、他の穴をドレンキャップで塞いで集中排水します。
なお、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。



（3）防雪対策

別売の防雪フードで降雪地域での室外ユニットへの雪進入を控えます。
本製品については、三菱電機システムサービス (株)、(株) ヤブシタまでお問い合わせください。

●三菱電機システムサービス (株) 製 室外ユニット防雪フード（ステンレス製）

	PU(Z)G-MP2MKA3	PU(Z)G-MP3MHA3	PU(Z)G-MP4·5MLA3	PU(Z)G-MP8MKA PU(Z)G-MP10MKA
吹出	AGJS-29F	AGJS-22F	AGJS-30F	AGJS-28F （2 台 1 セット）
吸込側 (後)	AGJS-29B	AGJS-22B	AGJS-30B	AGJS-28B1
吸込側 (横)	AGJS-29S	AGJS-22S	AGJS-30S	AGJS-28S1
吹出・吸込セット	AGJS-29FBS	AGJS-22FBS	AGJS-30FBS	AGJS-28FB1S1

※鋼板製もご用意しております。

●(株) ヤブシタ製 室外ユニット防雪フード（ステンレス製）

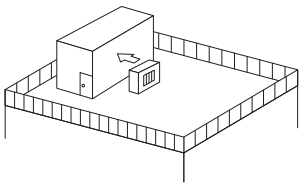
	PU(Z)G-MP2MKA3	PU(Z)G-MP3MHA3	PU(Z)G-MP4·5MLA3	PU(Z)G-MP8MKA PU(Z)G-MP10MKA
吹出	MOPAC-S05-F-S-02	MOPAC-S06-F-S-02	MOPAC-S07-F-S-02	MOPAC-S33-F-S-02
吸込側 (後)	MOPAC-S05-B-S-02	MOPAC-S03-B-S-02	MOPAC-S07-B-S-02	MOPAC-S33-B-S-02
吸込側 (横)	MOPAC-S05-L-S-02	MOPAC-S03-L-S-02	MOPAC-S07-L-S-02	MOPAC-S33-L-S-02
吹出・吸込セット	MOPAC-S05-ST-S-02	MOPAC-S08-ST-S-02	MOPAC-S07-ST-S-02	MOPAC-S33-ST-S-02

※鋼板製もご用意しております。沿岸部など潮風の影響を受ける場所には耐塩害・耐重塩害仕様をお勧めします。

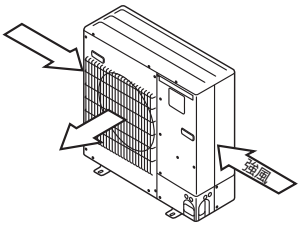
（4）強風対策

据付場所が屋上や周囲に建物などがない場合などで、強い風が直接製品に吹き付けることが予想される時には、製品の吹出口に強い風が当たらないようにしてください。強い風が製品の吹出口に直接吹き付けると、必要な風量が確保できなくなり運転に支障をきたします。

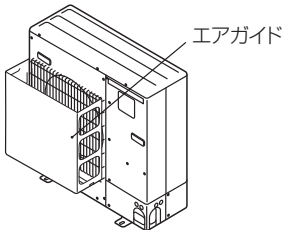
1．近くに壁などがある場合には、壁面に吹出口が向くようにする。この時壁面までの距離は 50cm 程度にする。



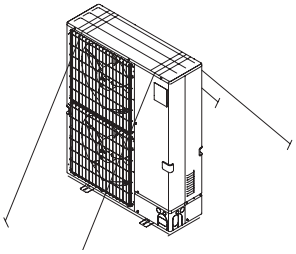
2．吹きさらしのような場所で風向きがわかっている時には、製品の吹出口を風向と直角になるようにする。



3．台風等の強風が吹出口に吹付けるような据付場所には、別売エアガイドを取付けてください。



4．屋上や周囲に建物などがなく台風などの強風にさらされる場合は、製品をワイヤーロープなどで固定してください。



2. 試運転

■試運転の前に

- ●室内・室外ユニット据付け・配管・配線作業終了後、冷媒洩れ・各配線の緩みおよび極性間違いがないか今一度確認してください。
- ●室外ユニットの電源端子盤（R，S，T）と大地間を 500 V メガーで計って、1.0MΩ以上あることを確認してください。（※）室内外接続用端子台（S1，S2，S3）とリモコン用端子盤（1，2）には絶対にかけないでください。故障の原因になります。
- ●電源を入れる前に室外ユニット基板の試運転スイッチ（SW4）が OFF であることを確認してください。
- ●圧縮機保護のため運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。
- ●機種により風量設定・停電自動復帰などの機能を切り換える必要がある場合は、リモコンによる機能選択を参照して設定変更してください。

■試運転方法

試運転前に必ず取扱説明書を一読ください。（特に安全のために必ず守ることの項目）

ワイヤードリモコンによる試運転方法

手順 1 電源を入れます。

- ●**リモコン** システム立上げモードになり、リモコンの電源ランプ（ミドリ）と "Please Wait" が点滅表示されます。点滅表示中はリモコンからの操作ができません。"Please Wait" が消灯してから操作してください。電源投入後、"Please Wait" は約 2 分間表示されます。
- ●**室内基板** LED1 が点灯、LED2 が点灯（アドレス 0 の場合）、または消灯（アドレス 0 以外の場合）、LED3 が点滅します。
- ●**室外基板** LED1（ミドリ）と LED2（アカ）が点灯表示します。（システム立上げモード終了後に LED2 は消灯します。）デジタル表示の場合は[—]と[—]が 1 秒ごとに交互に表示されます。

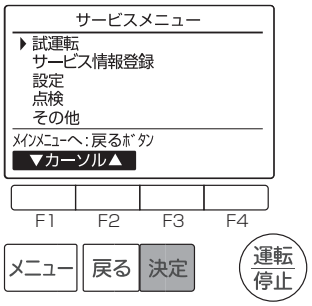
【手順 2】以降の操作により正常に動作しない場合は下記原因が考えられますので原因を取り除いてください。
（下表の症状は試運転モードでの判定です。なお、表中の " 立上げ " とは上記 LED の表示を意味しています。）

症状		原因
リモコン表示	室外基板 LED 表示 < >内はデジタル表示の場合	
リモコンが "Please Wait" 表示して操作ができない	"立上げ" 表示後、ミドリのみ点灯 < 00 >	●電源投入後約 2 分間は、システム立上げ中で "Please Wait" を表示します（正常動作）
電源投入後約 3 分間 "Please Wait" 表示し、その後エラーコードを表示する	"立上げ" 表示後、ミドリ 1 回 / アカ 1 回の交互点滅 < F1 >	●室外ユニット端子盤（R，S，T と S1，S2，S3）の誤接続
	"立上げ" 表示後、ミドリ 1 回 / アカ 2 回の交互点滅 < F3，F5，F9 >	●室外ユニット保護装置コネクタのオープン
リモコンの運転／停止ボタンを ON しても表示がでない（運転ランプが点灯しない）	"立上げ" 表示後、ミドリ 2 回 / アカ 1 回の交互点滅 < EA，Eb >	●内外接続線配線間違い（S1，S2，S3 の極性間違い） ●リモコン線ショート
	"立上げ" 表示後、ミドリのみ点灯 < 00 >	●アドレス 0 の室外ユニットがない（アドレスが 0 以外になっている） ●リモコン線断線
リモコン運転操作しても運転表示するが、その後すぐ消える	"立上げ" 表示後、ミドリのみ点灯 < 00 >	●機能選択解除後、約 30 秒間は運転できません（正常動作）

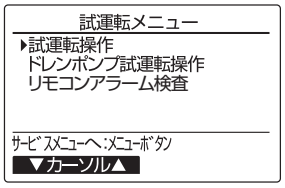
手順 2 リモコンを『試運転』に切り換えます。

《PAR-48MA の場合》

①サービスメニュー画面で「試運転」を選択し 決定 ボタンを押します。



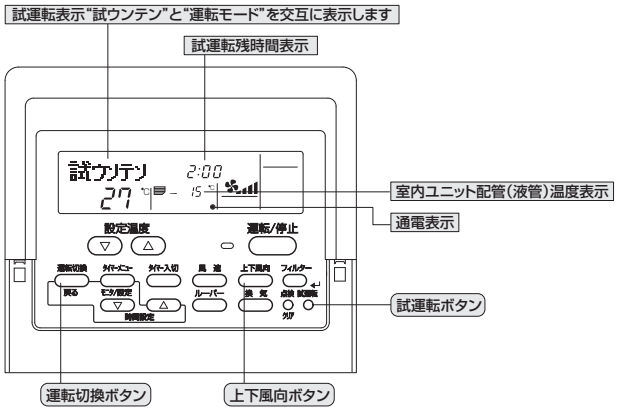
②試運転メニューが表示されますので、「試運転操作」を選択し 決定 ボタンを押します。



③試運転が開始され、試運転操作画面が表示されます。



《PAR-26MA2 の場合》



①試運転 ボタンを 2 度押します。
試ウンテン と設定されている運転モードを交互に表示します。

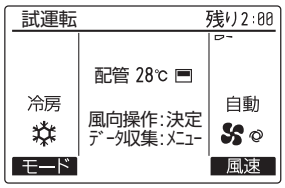
お願い

フィルターをはずしたまま運転をしないでください。内部に油・ゴミが詰まり、故障の原因になります。

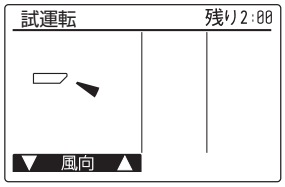
手順３　試運転操作を行い、吹出し温度・オートベーンの確認をします。

《PAR-48MA の場合》

①[F1]ボタンを押して運転切換を行います。
【冷房運転】
冷風の吹出しを確認します。
【暖房運転】
温風の吹出しを確認します。



②[決定]ボタンを押して風向操作画面にし、[F1][F2]ボタンでオートベーンの確認をします。
[戻る]ボタンで試運転操作画面に戻ります。



《PAR-26MA2 の場合》

①[運転切換]ボタンを押して運転切換を行います。
【冷房運転】
冷風の吹出しを確認します。
【暖房運転】
温風の吹出しを確認します。

②[上下風向]ボタンを押して、オートベーンの動作を確認します。

手順４　室外ユニットのファン運転を確認します。

室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。そのため外気の状態によってファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止、または逆回転となることがありますが、異常ではありません。

手順５　試運転の終了

[運転 / 停止]ボタンを押して試運転を終了させます。

※ボタンを押して終了させない場合、2 時間の切タイマーが作動し 2 時間後に自動的に停止します。
※リモコンに異常が表示された場合は下表をご覧ください。

液晶表示	不具合内容	液晶表示	不具合内容	液晶表示	不具合内容
P1	吸込センサー異常	P8	配管温度異常	E0 ～ E5	リモコン一室内ユニット間の通信異常
P2	配管(液管)センサー異常	P9	配管(二相管)センサー異常	E6 ～ EF	室内ユニット一室外ユニット間の通信異常
P4	ドレンフロートスイッチコネクタ外れ(CN4F)またはドレンセンサー異常	PA	漏水異常(冷媒系)		
		PB(Pb)	室内ファンモータ異常	EE	内外組合わせ異常
P5	ドレンオーバーフロー保護作動	PL	冷媒回路異常	U＊, F＊ ＊は英数字 (Fb 除く)	室外ユニットの不具合 室外ユニットの電気配線図を参照してください
P6	凍結 / 過昇保護作動	FB(Fb)	室内制御基板異常		

室内基板上の LED 表示(LED1, 2, 3)の内容は下表をご覧ください。

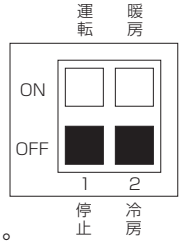
LED1(マイコン電源)	制御用電源の有無を表示しています。常時点灯していることを確認してください。
LED2(リモコン給電)	ワイヤードリモコンへの給電有無を表示しています。室外ユニットアドレス“0”に接続された室内ユニットのみ点灯します。
LED3(室内外通信)	室内ユニット一室外ユニット間の通信を表示しています。 常時点滅していることを確認してください。

室外ユニットによる試運転方法

＜試運転開始、終了について＞

試運転操作は、室内ユニット , 室外ユニットのどちらからでも行えます。

- 室内ユニットからの操作 ····· 室内ユニット添付の据付工事説明書により試運転を行ってください。
- 室外ユニットからの操作 ····· 室外基板上のディップスイッチ SW4 にて試運転開始､終了および運転モード(冷房、暖房)の設定を行います。
  ① SW4-2 にて運転モード(冷房、暖房)を設定してください。
  ② SW4-1 を ON にすることで SW4-2 の運転モードに従い、試運転が開始されます。
  ③ SW4-1 を OFF にすることで試運転を終了します。
- 電源投入後に機械室付近から『カチ、カチ』という小さな音がすることがありますが、電子膨張弁が、開度合わせのために作動しているもので、製品の異常ではありません。
- 圧縮機起動後に数秒間、機械室付近から『カチャ、カチャ』という音がすることがありますが、配管内の差圧が少ないために逆止弁内部の弁体から発生するものであり、製品の異常ではありません。

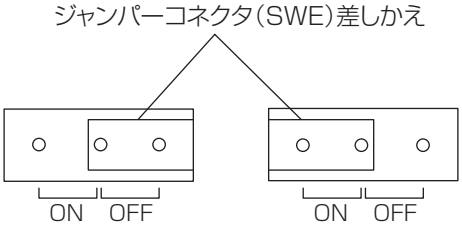


<SW4>

※試運転中は SW4-2 にて運転モードを途中で変えることはできません。
（試運転モードを変える時は SW4-1 にて一旦停止し、運転モードを変えた後、再度 SW4-1 で試運転を開始します。）

ドレンポンプの試運転方法

室内ユニットのみ据付けた状態でドレンポンプの運転確認をすることができます。
室内ユニット端子台 TB4 の S1、S2 へ AC200V を接続し、室内ユニット制御基板にある応急運転切換スイッチ（コネクタ）「SWE」を ON 側に設定してください。これによりドレンポンプと室内送風機が運転します。
※運転確認後「SWE」を必ず OFF にしてください。



MA スマートリモコンによるドレンポンプ試運転方法

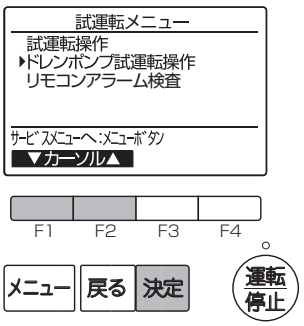
●室内ユニットのファンを動かさずに、ドレンポンプだけを運転させることができます。室内・室外の電気工事が完了した後、実施してください。
※室内ユニットの据付説明書に従い、ドレン排水が確実に行われること、配管接続部から水漏れのないことを確認してください。

手順 1 「ドレンポンプ試運転操作」を選択します。

サービスメニュー画面にて「試運転」を選択します。

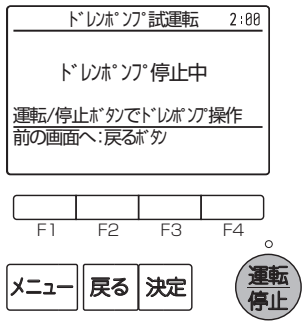
①［F1］［F2］ボタン「ドレンポンプ試運転操作」を選択します。

②［決定］ボタンを押します。
▶**ドレンポンプ試運転操作画面**が表示されます。

①


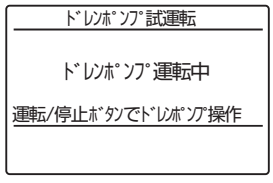
手順 2 ドレンポンプ試運転を開始します。

③（運転停止）ボタンを押します。
▶ドレンポンプ試運転の準備を行い、試運転が開始されます。

③


手順 3 ドレンポンプの運転状態を確認をします。

④ドレンポンプの運転状態を確認します。

④


手順 4 ドレンポンプ試運転を終了します。

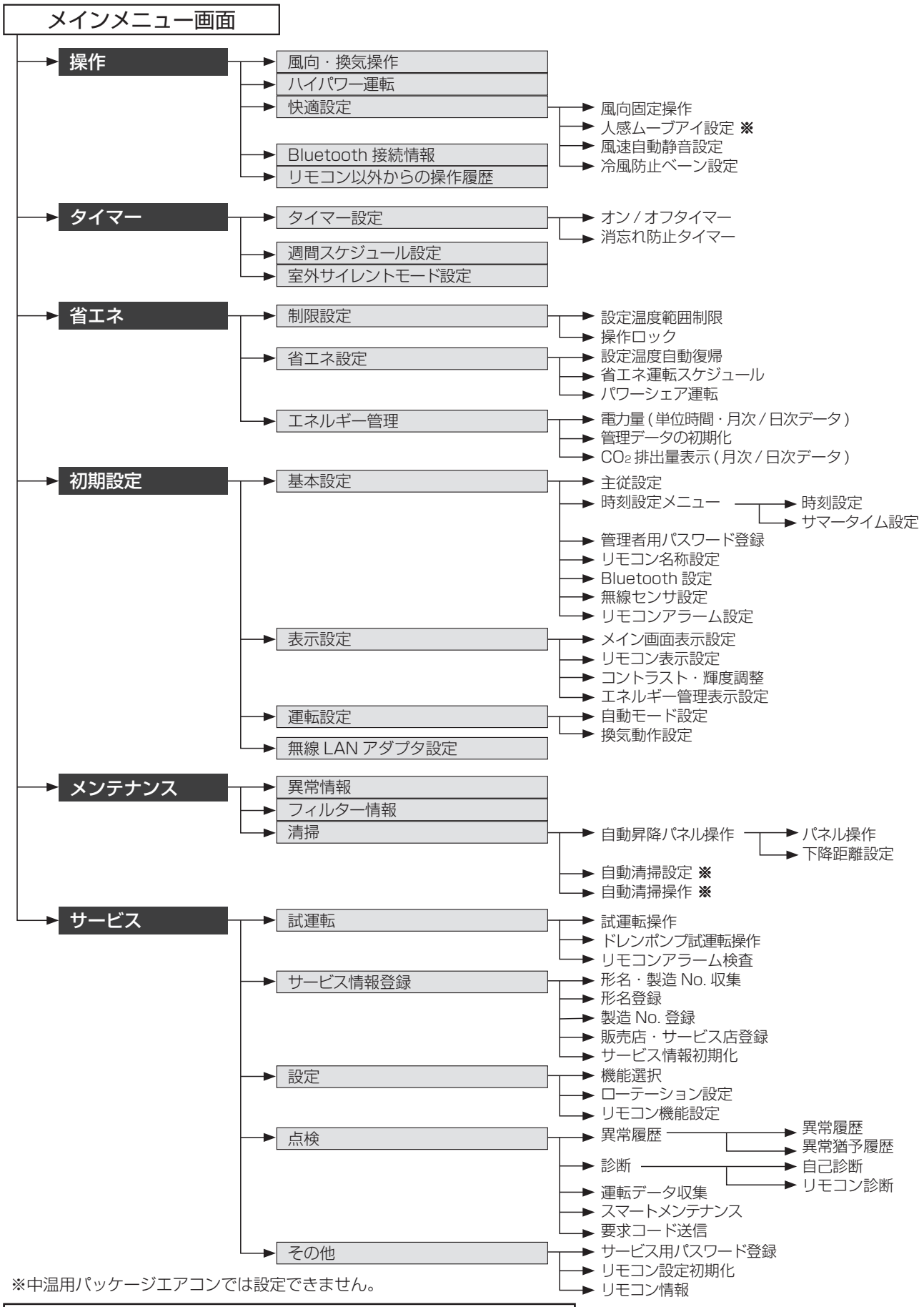
⑤（運転停止）ボタンを押します。
▶ドレンポンプ試運転終了処理を行い、**手順2**の画面に戻ります。

※ドレンポンプ試運転は 2 時間で自動的に停止します。

3．MAスマートリモコン（PAR-48MA）による操作・設定

（1）リモコン画面の流れ

リモコンの操作ボタン説明はリモコンの取扱説明書を参照してください。



※中温用パッケージエアコンでは設定できません。

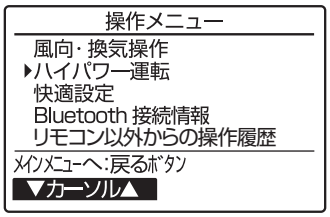
室内ユニット・室外ユニットの機種により、設定できない項目があります。

（2）ハイパワー運転

ハイパワー運転は 30 分間能力を上げて運転し、すばやく快適な室温にします。30 分経過後、または 30 分経過する前に運転モード切換操作、風速切換操作を行うと、通常運転に戻ります。

手順 1 「ハイパワー運転」を選択します。

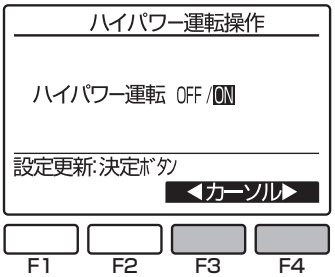
▶「冷房」「暖房」「自動」運転中に、**メインメニュー画面から「操作」→「ハイパワー運転」**を選択し、決定ボタンを押します。

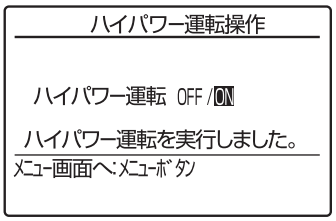


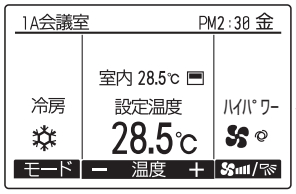
手順2 「ハイパワー運転」を ON にします。

▶F3 F4 ボタンで、「ON」を選択し決定ボタンを押します。

▶設定が確定されます。







←「**ハイパワー運転**」設定が有効のとき、詳細メイン画面に ﾊｲﾊﾟﾜｰ が表示されます。

(3) タイマー設定

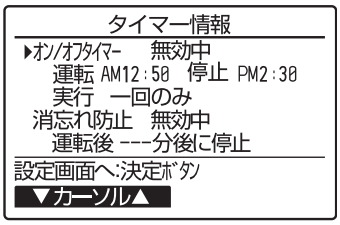
オン / オフタイマーの設定方法

毎日同じ時間に運転 / 停止する場合(繰返し)や、当日だけ運転 / 停止する場合(1 回のみ)に設定します。
運転 / 停止それぞれ 1 回ずつ設定できます。

手順 1 「オン / オフタイマー」を選択します。

▶**メインメニュー画面で「タイマー設定」**を選択します。
※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。(初期値 : [0000])

▶ F1 F2 ボタンで、「オン / オフタイマー」を選択し、 決定 ボタンを押します。



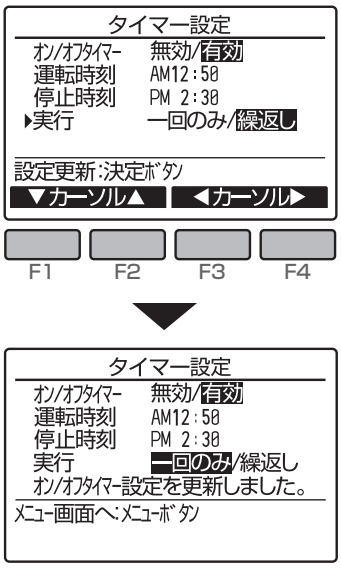
《現在の設定状況が表示されます》

手順2 無効 / 有効・運転開始時刻 / 停止時刻・実行回数を設定します。

▶ F1 F2 ボタンで変更したい項目を選択します。

▶ F3 F4 ボタンで希望の設定に切り換えます。

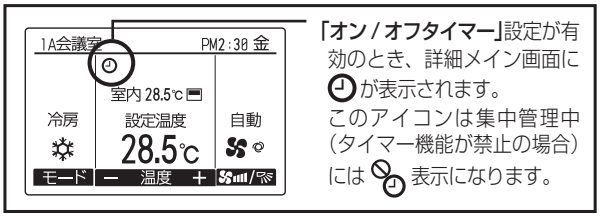
■オン / オフタイマーの設定
[無効] / [有効]
■「運転時刻 / 停止時刻」の設定
5 分単位で設定できます。ボタンを押し続けると連続で数字が変わります。
■「実行」の設定
[一回のみ] / [繰返し]



▶ 決定 ボタンを押します。

▶設定確定画面が表示されます。

以下の場合、「オン / オフタイマー」設定は実行されません。
オン / オフタイマー無効中・異常中・点検中(サービスメニュー内)・試運転中・リモコン診断中・時刻未設定・機能選択中・集中管理中(運転 / 停止またはタイマー機能が禁止の場合)



「オン / オフタイマー」設定が有効のとき、詳細メイン画面に が表示されます。
このアイコンは集中管理中(タイマー機能が禁止の場合)には 表示になります。

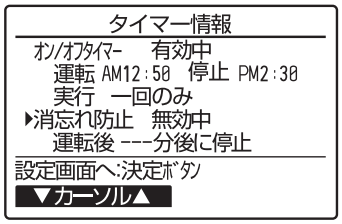
消忘れ防止タイマーの設定方法

設定した時間に運転を自動停止します。

手順 1 「消忘れ防止タイマー」を選択します。

▶**メインメニュー画面で「タイマー設定」**を選択します。
※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。(初期値 : [0000])

▶[F1] [F2] ボタンで、「消忘れ防止」を選択し、[決定] ボタンを押します。



《現在の設定状況が表示されます》

手順2 無効 / 有効・タイマー時間を設定します。

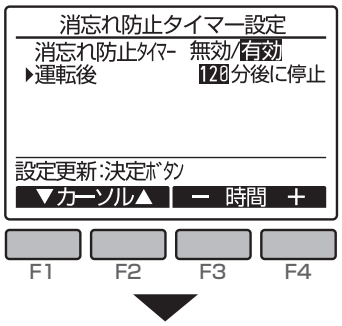
▶[F1] [F2] ボタンで変更したい項目を選択します。

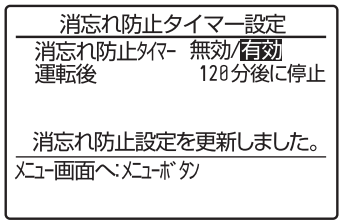
▶[F3] [F4] ボタンで希望の設定に切り換えます。

■「消忘れ防止タイマー」の設定
[無効] / [有効]
■「運転後」の設定範囲
30 ～ 240 分、10 分単位で設定できます。

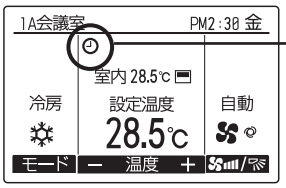
▶ [決定] ボタンを押します。

▶設定確定画面が表示されます。





以下の場合、「消忘れタイマー」 設定は実行されません。
消忘れ防止タイマー無効中・異常中・点検中(サービスメニュー内)・試運転中・リモコン診断中・機能選択中・集中管理中(運転 / 停止またはタイマー機能が禁止の場合)



「消忘れ防止タイマー」設定が有効のとき、詳細メイン画面に が表示されます。
このアイコンは集中管理中(タイマー機能が禁止の場合)には 表示になります。

（4）週間スケジュール設定

曜日ごとに運転 / 停止・設定温度をスケジュール設定します。週間スケジュールは 2 種設定できます。（例：夏用、冬用スケジュール等）

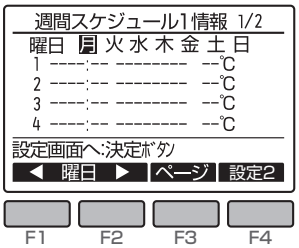
オン / オフタイマー有効中、「週間スケジュール設定」は実行されません。

手順 1　週間スケジュール情報が表示されます。

タイマーメニュー画面にて「週間スケジュール設定」を選択し、決定 ボタンを押します。

※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。（初期値：[0000]）

▶《現在の設定状況が表示されます》
F1 F2 ボタンで、月～日曜日までの設定内容が確認できます。
F3 ボタンで 5 ～ 8 パターンを表示します。
F4 ボタンで設定 2 の設定状況が表示されます。



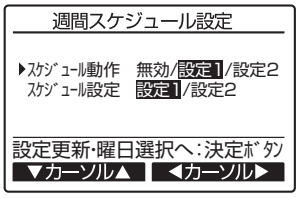
▶ 決定 ボタンを押し、設定画面に進みます。

※集中管理中（運転 / 停止、設定温度、運転モードが禁止の場合）でも、週間スケジュール運転は実行されますが、禁止されている設定内容は実行されません。

手順 2　無効 / 有効 を設定します。

▶ F3 F4 ボタンで「 設定 1」、「 設定 2」を選択し、 決定 ボタンを押します。

▶スケジュールの設定内容を変更する場合は、 F1 F2 ボタンで「 スケジュール設定 」を選択し、 F3 F4 ボタンで「 設定 1」、「 設定 2」を選択します。



手順 3　設定する曜日を選択します。

▶ F1 F2 ボタンで曜日を選択、 F3 ボタンで設定する曜日を確定し、
決定 ボタンを押します。（曜日は複数選択できます）

※曜日ごとに 8 パターンまで設定できます。



手順 4　時刻・運転 / 停止・設定温度を設定します。

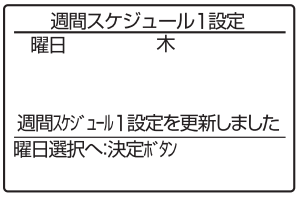
▶ F1 ボタンでパターンを選択し、 F2 ボタンで「時刻」「運転 / 停止 / 自動 / 換気弱 / 換気強 / 換気停止」「設定温度」を選択します。

▶ F3 F4 ボタンでご希望の設定に切り換え、 決定 ボタンを押します。

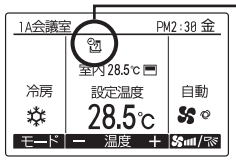
■「 時刻 」の設定
5 分単位で設定できます。ボタンを押し続けると連続で数字が変わります。
■「 運転 / 停止 」の設定　[運転] [停止] [自動] [換気弱] [換気強] [換気停止]
接続ユニットにより選択内容が異なります。
■「温度」の設定
設定範囲：10℃～ 28℃

※室内ユニットと換気装置の機種により、「換気弱 / 換気強 / 換気停止」が設定されている場合でも設定と異なる動作をすることがあります。
- 機種選択：風量 1 段で「換気弱」が設定されている場合、換気弱パターンが実行されると換気風量は強で動作します。
- 換気単独停止不可のシステムで、空調機の運転中に「換気停止」が設定されている場合、換気停止パターンを実行しません。





以下の場合、「週間スケジュール運転」設定は実行されません。
オン / オフタイマー有効中・週間スケジュール無効中・異常中・点検中（サービスメニュー内）・試運転中・リモコン診断中・時刻未設定・機能選択中・集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）



当日実行する週間スケジュール設定があるとき、詳細メイン画面に が表示されます。
このアイコンは、オン / オフタイマー有効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）は表示されません。

（5）室外サイレントモード設定

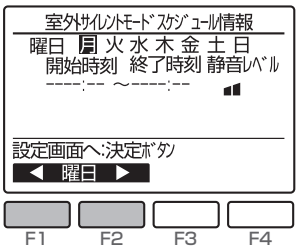
静音性を優先して運転する時間帯を設定します。1 週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻を設定します。
静音レベルは「中」「静」から設定します。
※低騒音優先のため、能力がセーブされます。能力不足を感じた場合は室外サイレントモードを解除してください。

手順 1　室外サイレントモードスケジュール情報が表示されます。

メインメニュー画面から「タイマー」→「室外サイレントモード設定」を選択し、
決定 ボタンを押します。
※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。(初期値 : [0000])

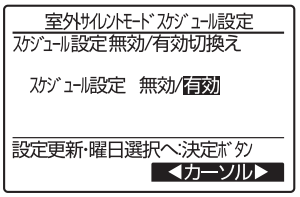
▶《現在の設定状況が表示されます》
F1 F2 ボタンで、月～日曜日までの設定内容が確認できます。

▶ 決定 ボタンを押し、設定画面に進みます。



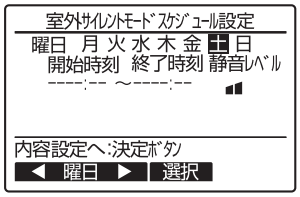
手順 2　無効 / 有効 を設定します。

▶ F3 F4 ボタンで「 無効/有効 」を選択し、 決定 ボタンを押します。



手順 3　設定する曜日を選択します。

▶ F1 F2 ボタンで曜日を選択、 F3 ボタンで設定する曜日を確定し、
決定 ボタンを押します。(曜日は複数選択できます)



手順 4　開始時刻・終了時刻・静音レベルを設定します。

▶ F1 F2 ボタンで変更したい項目を選択します。

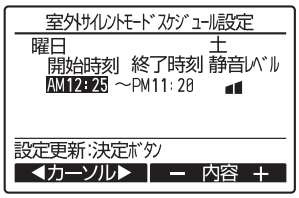
▶ F3 F4 ボタンでご希望の設定に切り換え、 決定 ボタンを押します。

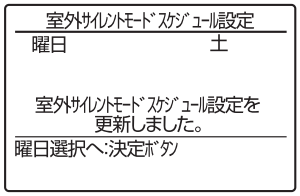
■「開始時刻」の設定
5 分単位で設定できます。ボタンを押し続けると連続で数字が変わります。

■「終了時刻」の設定
5 分単位で設定できます。ボタンを押し続けると連続で数字が変わります。
※曜日をまたいだ設定も可能です。その場合、開始時刻が選択曜日となり、終了時刻が翌曜日となります。

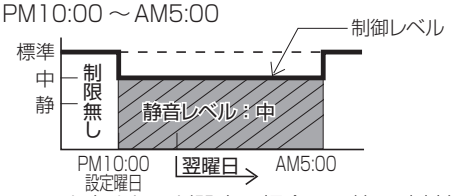
■「静音レベル」の設定
[中] / [静]
※ [標準] は工場出荷時の通常レベルです。

標準※	中	静
▰▰▰	▰▰	▰



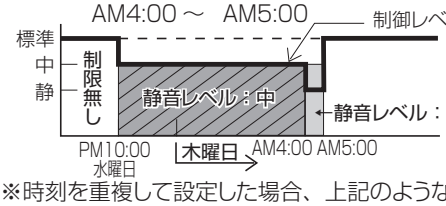


《使用例 1》
開始時刻　終了時刻　静音レベル：中
PM10:00 ～AM5:00



※日にちをまたいだ設定の場合、開始の時刻を該当曜日に設定します。

《使用例 2》
水曜日：開始時刻　終了時刻　静音レベル：中
PM10:00 ～AM5:00
木曜日：開始時刻　終了時刻　静音レベル：静
AM4:00 ～ AM5:00



※時刻を重複して設定した場合、上記のような制御内容になります。

（6）制限設定

運転モードごとに、設定温度範囲の制限ができます。

《設定温度範囲制限の設定方法》

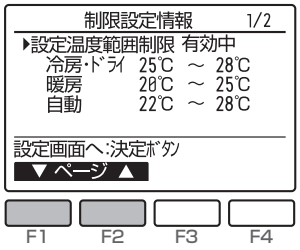
手順 1 「設定温度範囲制限」を選択します。

メインメニュー画面にて「省エネ」を選択し、決定ボタンを押します。

※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。(初期値 : [0000])

省エネメニュー画面で「制限設定」を選択し、決定ボタンを押します。

▶ F1 F2 ボタンで「設定温度範囲制限」を選択し、決定ボタンを押します。



手順 2 無効 / 有効・設定温度制限値を設定します。

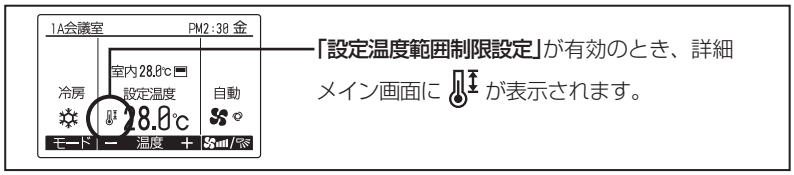
▶ F1 ボタンで変更したい項目を選択、 F2 ボタンで上下限値を選択、 F3 F4 ボタンでご希望の温度に切り換え、決定ボタンを押します。

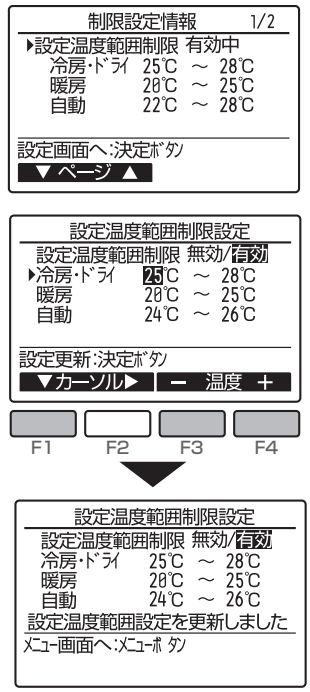
■「設定温度範囲制限」の設定　[無効] / [有効]
■「冷房・ドライ」の設定　上下限値 (1℃単位) を設定します。
■「暖房」の設定　上下限値 (1℃単位) を設定します。
■「自動」の設定　上下限値 (1℃単位) を設定します。

【設定温度範囲制限の設定範囲(中温機種の場合)】

モード	下限値	上限値
冷房・ドライ	10～30℃	30～10℃
暖房	10～28℃	28～10℃
自動	10～28℃	28～10℃

※設定範囲は接続されるユニット(スリム機種・マルチ機種・中温機種など)により異なります。





《操作ロックの設定方法》

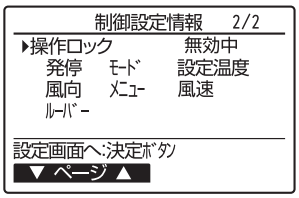
運転停止・運転モード・設定温度・風向を各々について操作を制限することができます。

手順 1 「操作ロック」を選択します。

メインメニュー画面にて「制限設定」を選択し、決定ボタンを押します。

※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。(初期値 : [0000])

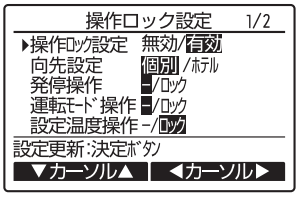
▶ F1 F2 ボタンで「操作ロック」を選択し、決定ボタンを押します。

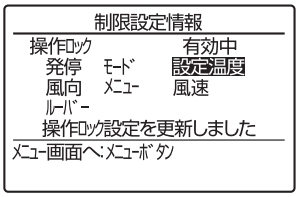


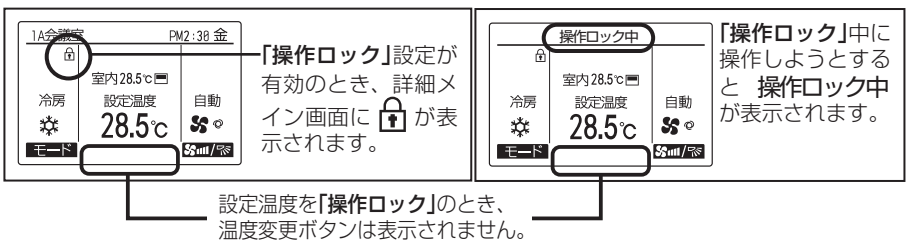
手順 2 「操作ロック」の項目を設定します。

▶ F1 F2 ボタンで変更したい項目を選択、 F3 F4 ボタンでご希望の設定に切り換え、決定ボタンを押します。

■「操作ロック」の設定 － [無効] / [有効]
■向先設定 － [個別] / [ホテル]
■発停操作
■運転モード操作
■設定温度操作
■風向操作
■メニュー操作
■風速操作
■ルーバー操作
→ [－] / [ロック]







（7）省エネ設定

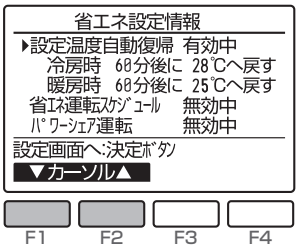
《設定温度自動復帰の設定方法》

手順 1 「設定温度自動復帰」を選択します。

省エネメニュー画面にて「省エネ設定」を選択し、 決定 ボタンを押します。

※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。(初期値 : [0000])

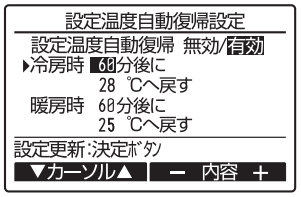
▶ F1 F2 ボタンで「設定温度自動復帰」を選択し、 決定 ボタンを押します。

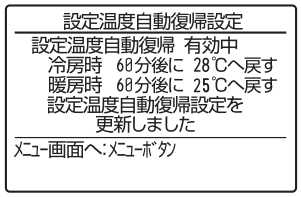


《現在の設定状況が表示されます》

手順 2 無効 / 有効・時間・復帰温度を設定します。

▶ F1 F2 ボタンで変更したい項目を選択、 F3 F4 ボタンでご希望の設定に切り換え、 決定 ボタンを押します。





■「設定温度自動復帰」の設定 [無効] / [有効]

■「冷房時」の設定 時間の設定範囲 : 30 分～ 120 分(10 分単位)
温度の設定範囲 : 10℃～ 30℃

■「暖房時」の設定 時間の設定範囲 : 30 分～ 120 分(10 分単位)
温度の設定範囲 : 10℃～ 28℃

※「冷房時」はドライ・自動冷房、「暖房時」は自動暖房を含みます。

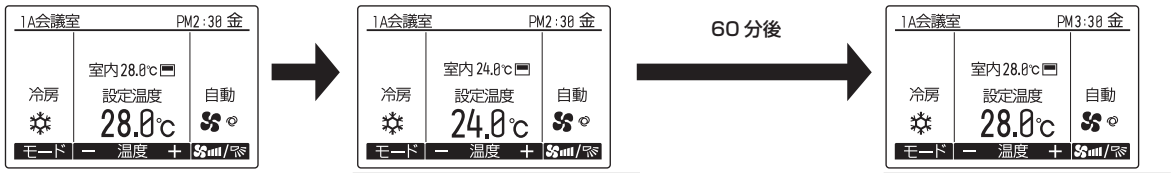
■設定温度範囲制限が有効中および集中管理中(禁止項目が「タイマー機能、設定温度」の場合)は、本設定は実行されません。

■本リモコンで運転モード、運転 / 停止操作を行うと設定時間に関係なく、設定温度が戻ります。

■温度の範囲制限は、接続している室内ユニットにより異なります。

【「設定温度自動復帰」設定中の画面表示】

例)設定温度を 24℃に下げる → 60 分後 : 28℃に戻す設定。



夏場外から帰ってきた営業マンが設定温度を 24℃に下げる。

60 分後 : 28℃に戻す設定をしていれば、自動で復帰。

《省エネ運転スケジュールの設定方法》
1 週間の省エネ運転開始時刻と終了時刻、能力セーブ値を設定します。

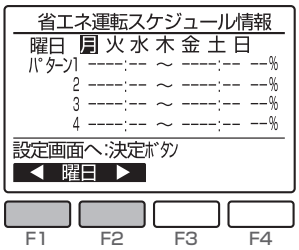
手順 1　省エネ運転スケジュール情報が表示されます。

省エネメニュー画面にて「省エネ運転スケジュール」を選択し、
決定 ボタンを押します。

※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。(初期値 : [0000])

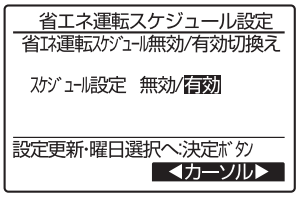
▶《現在の設定状況が表示されます》
F1 F2 ボタンで、月～日曜日までの設定内容が確認できます。

▶ 決定 ボタンを押し、設定画面に進みます。



手順 2　無効 / 有効 を設定します。

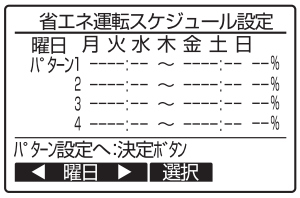
▶ F3 F4 ボタンで「 無効/有効 」を選択し、 決定 ボタンを押します。



手順 3　設定する曜日を選択します。

▶ F1 F2 ボタンで曜日を選択、 F3 ボタンで設定する曜日を確定し、
決定 ボタンを押します。(曜日は複数選択できます)

※曜日ごとに 4 パターンまで設定できます。



手順 4　開始時刻・終了時刻・能力セーブ値を設定します。

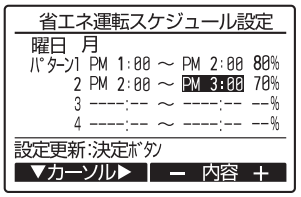
▶ F1 ボタンでパターンを選択し、 F2 ボタンで変更したい項目を選択します。

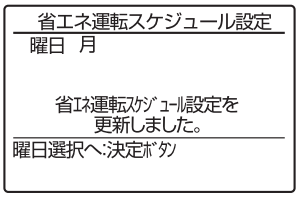
▶ F3 F4 ボタンでご希望の設定に切り換え、 決定 ボタンを押します。

■「 開始時刻 」の設定
5 分単位で設定できます。ボタンを押し続けると連続で数字が変わります。

■「 終了時刻 」の設定
5 分単位で設定できます。ボタンを押し続けると連続で数字が変わります。

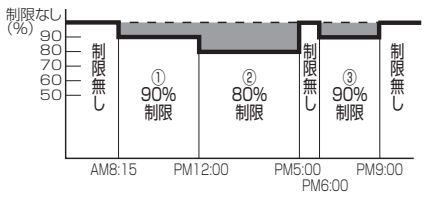
■「能力セーブ値」の設定
設定範囲 : 最大能力に対して 90%～ 50%、0%（室外ユニット停止）
10%単位で設定できます。
※数値が低い程、省エネ効果が高くなります。
※開始時刻・終了時刻・能力セーブ値のいずれかが「－－」表示での設定では制御を実行できません。



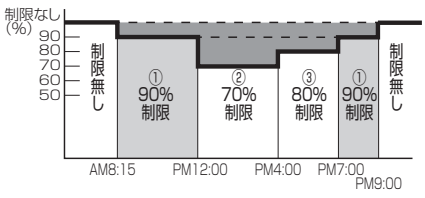


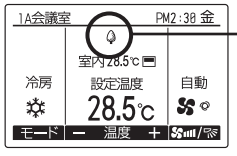
■重複した時刻の設定も可能です。動作のしかたについては《使用例 2》を参照ください。

《使用例 1》
•パターン 1 : AM8:15～PM12:00/90%　•パターン 3 : PM6:00～PM9:00 /90%
•パターン 2 : PM12:00～PM5:00/80%　•パターン 4 :



《使用例 2》
•パターン 1 : AM8:15～PM9:00/90%　•パターン 3 : PM4:00～PM7:00 /80%
•パターン 2 : PM12:00～PM4:00/70%　•パターン 4 :



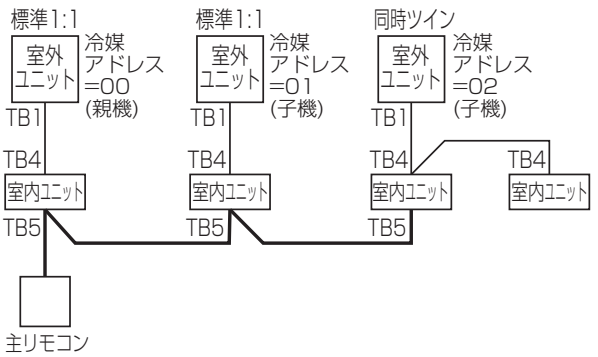


「省エネ」制御中は、詳細メイン画面に が表示されます。
また、システムコントローラーや室外ユニットのデマンド端子による省エネ制御中も表示されます。

《パワーシェア運転の設定方法》

この機能有効時は各冷媒系統が協調して運転することで全体の電力が最小になるように圧縮機を制御します。
2 ～ 4 冷媒系統が 1 グループの場合に設定できる機能になります。
5 冷媒系統以上が接続される場合は設定できません。

パワーシェア運転する場合



※パワーシェア運転は最大4冷媒までです。
※リモコンを2台接続する場合はリモコンの主従設定を行ってください。
※設定は主リモコンからのみ可能です。

記号	名　称
TB1	端子盤(室外:電源および内外接続線)
TB4	端子盤(室内:内外接続線)
TB5	端子盤(リモコン伝送線)

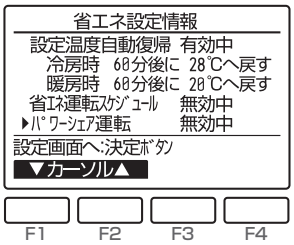
※冷媒アドレスの設定は、室外ユニットのディップ SW にて行います。
グループ設定の詳細は室外ユニットの据付説明書をご覧ください。

手順 1 「パワーシェア運転」を選択します。

メインメニュー画面から「省エネ」→「省エネ設定」→「パワーシェア運転」を選択し、
決定 ボタンを押します。

※管理者用パスワードが必要です。詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。(初期値 : [0000])

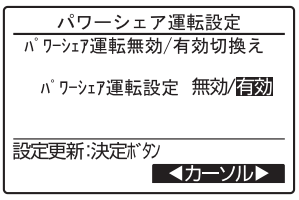
▶ 決定 ボタンを押し、設定画面に進みます。

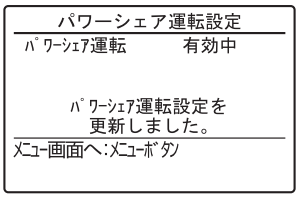


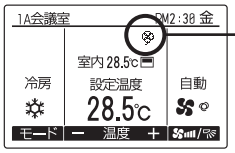
手順 2 無効 / 有効 を設定します。

▶ F3 F4 ボタンで「 無効/有効 」を選択し、 決定 ボタンを押します。

▶設定確定画面が表示されます。







「パワーシェア運転」設定が有効中は、詳細メイン画面に ※ が表示されます。

※運転モードが冷房または暖房以外の時は表示しません。

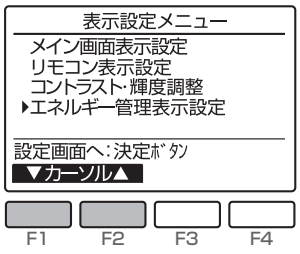
（8）エネルギー管理表示設定

手順 1 「エネルギー管理表示設定」を選択します。

メインメニュー画面から「初期設定」→「表示設定」を選択します。

F1 F2 ボタンで、「エネルギー管理表示設定」を選択し 決定 ボタンを押します。

※本リモコンが管理するグループにエネルギー使用量表示機能に対応していない空調機が存在する場合は、「CO_2 表示設定」と表示されます。



手順 2 各項目を設定します。

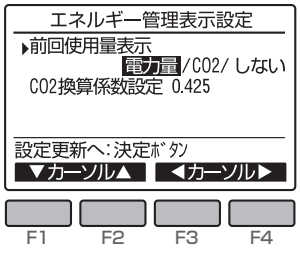
F1 F2 ボタンで変更したい項目を選択します。

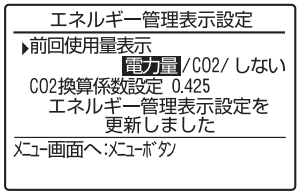
F3 F4 ボタンで希望の設定に切り換えます。

■前回使用量表示
停止操作を行った際に「前回使用量表示」を表示する、または表示する内容を設定します。
（工場出荷時は「電力量」を表示する設定となっています。）

■ CO_2 換算係数設定
CO_2 排出量は表示する際の 1kWh あたりの CO_2 換算係数(kg)を設定します。
（工場出荷時は [0.400]*1）　*1：CO_2 排出係数 0.4kg − CO_2/kWh

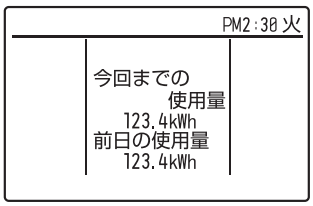
▶設定後、 決定 ボタンを押します。





エネルギー使用量表示

■停止操作時
ワイヤードリモコンにて停止操作を行った際に、当日のエネルギー使用量を表示します。



- エネルギー使用量は停止後 3 分間表示されます。
  ただし、他のメニュー画面に切り換えた時点で表示は消えます。
  再表示するためには、決定 ボタンを 1 秒以上長押ししてください。
- 10 分以上運転した場合にのみ表示します。
- 時刻設定が必要です。
  （時刻設定をしていない場合、「−」で表示されます。）
- エネルギー使用量は小数点第 2 位を繰上げして表示します。
- 空調負荷が小さい時などは 0.0kWh(kg) で表示されます。
- 従リモコンでは表示されません。
- MA スマートリモコン以外からの停止操作では表示されません。
- 表示させないようにするには**メインメニュー画面**から「初期設定」→「表示設定」→「エネルギー管理表示設定」にて設定を変更してください。出荷時は [電力量] 設定です。

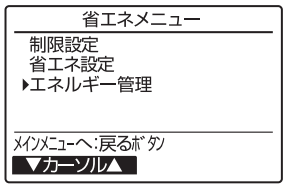
※本リモコンが管理するグループにエネルギー使用量表示機能に対応していない空調機が存在する場合は、「CO_2 排出量」が表示されます。

エネルギー使用量表示(単位時間・月次／日次データ)

エネルギー使用量を単位時間データ(1 ヵ月分)、及び月次 / 日次データ(14 ヵ月分)として確認できます。

手順 1 「エネルギー管理」を選択します。

メインメニュー画面から「省エネ」→「エネルギー管理」を選択し、決定ボタンを押します。

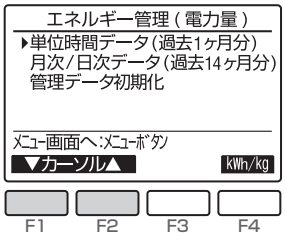


手順 2 単位時間・月次／日次データを選択します。

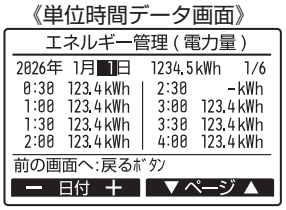
F1 F2 ボタンで「単位時間データ」「月次／日次データ」を選択し、決定ボタンを押します。

▶「単位時間データ」「月次／日次データ」が表示されます。

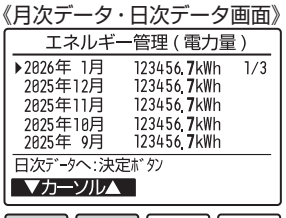
※F4 ボタンで「CO_2 排出量表示」に切り換わります。

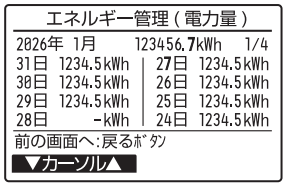


《単位時間データ画面》



《月次データ・日次データ画面》





■単位時間データ

本日から 31 日分のエネルギー使用量を表示します。

・日付変更　：F1 F2 ボタン

・ページ変更：F3 F4 ボタン

※エネルギー使用量を正常に収集できなかった場合「-」で表示されます。

※収集時刻に電源を切っていた場合など、その後、正常に収集された時刻に加算されます。

■月次データ／日次データ

当月から 14 ヵ月分のエネルギー使用量を表示します。

月次データ表示画面で F1 F2 ボタンで

「月」を選択し決定ボタンを押すと該当月の日次データ表示画面に移動します。

日次データ表示画面で戻るボタンを押すと、該当月の月次データ表示画面に戻ります。

※ 1 ヵ月間電源を切っていた場合などは、該当月のデータが「-」で表示されます。

■ エネルギー使用量は運転状態から推定される消費電力量を元に算出した目安であり、実際の消費電力量とは異なる場合があります。

■ 別売部品のエネルギー使用量は含まれません。

■ 1 つのリモコンで複数のエアコン(複数の冷媒系統)を制御している場合、すべてのエアコンのエネルギー使用量を合算したデータを表示します。

目標CO_2排出量設定方法

省エネ度を表示するための目標CO_2排出量の設定を行います。

設定の手順

手順1 月次CO_2排出量の一覧表示画面にて、F1 ボタンを押します。

※月次CO_2排出量の一覧表示画面への操作方法は上記参照

手順2 月次CO_2排出量のグラフ表示画面にて、F3 、F4 ボタンを押し、目標CO_2排出量を設定します。(10kg単位)

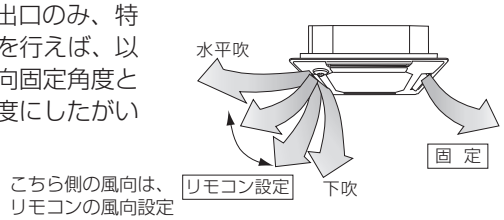
※目標CO_2排出量の設定は月次データからのみ設定可能です。日次の目標CO_2排出量は月次の目標CO_2排出量を31分の1に演算された値となります。

お知らせ

- CO_2排出量は運転状態から推定される消費電力量を元に算出した目安であり、実際の消費電力量から算出される値とは異なる場合があります。
- 別売部品のCO_2排出量は含まれません。
- 室外ユニットタイプにより表示できない場合があります。
- 1つのリモコンで複数のエアコン(複数の冷媒系統)を制御している場合、リモコンに接続されている全冷媒系統のCO_2排出量の合計が表示されます。室内ユニット毎、冷媒系統毎のCO_2排出量は、表示できません。
- 「初回」または「目標CO_2排出量0kg設定」の場合には、電源投入時に目標CO_2排出量の仮の値が自動的に設定されます。
  ※仮の目標CO_2排出量は、使用環境や使用状況により実際の目標CO_2排出量とは一致しない場合があります。
- 当日分のCO_2排出量は停止操作時に算出されます。運転中のCO_2排出量はリアルタイムに表示できません。

（9）上下風向角度の固定設定のしかた　※ PLZG-P・MHA 形のみ、ワイヤードリモコンから設定できます。

PLZG-P・MHA 形の場合、下記の設定で特定の吹出口のみ、特定の風向角度に固定することができます。一度設定を行えば、以後エアコンを運転した際、設定された吹出口のみ風向固定角度となります。(その他の風向は、リモコンの風向設定角度にしたがいます。)



こちら側の風向は、リモコンの風向設定にしたがいます。

こちらの風向は、特定の角度に固定されます。
※風があたって、寒い場合などは、水平吹き固定にして直接風があたるのを避けることができます

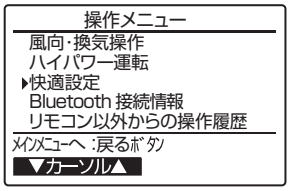
設定の手順

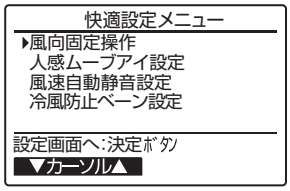
リモコンから室内ユニットの吹き出し口ベーンの固定設定が行えます。

手順1　エアコンを『停止』にして、リモコンを「風向固定操作」画面にします。

①操作メニュー画面で「快適設定」を選択し 決定 ボタンを押します。

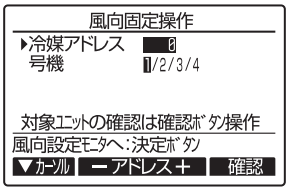
②[F1] [F2] ボタンにより「風向固定操作」を選択し
決定 ボタンを押します。





手順2　設定したい「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。

① [F1] ボタンで「冷媒アドレス」、「号機」を選択します。
[F2] [F3] ボタンにより設定する「冷媒アドレス」「号機」を選択し 決定 ボタン押します。
·冷媒アドレス:0～15
·号機:1／2／3／4
※接続されている冷媒アドレス、号機のみ選択できます。

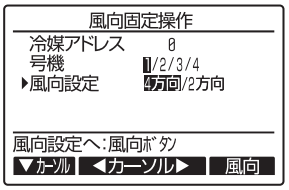


お知らせ

●設定ユニットを確認したい場合、上記1の手順で「冷媒アドレス」と「号機」を選択し [F4] ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。詳細は次頁の冷風防止ベーン設定方法の 確認の手順 を参照願います。

手順3　4方向か2方向を選択します。

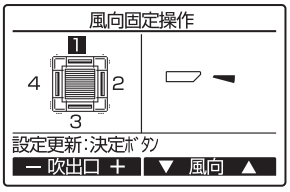
① [F1] ボタンで「風向設定」を選択します。
[F2] [F3] ボタンで、4方向か2方向かを選択し [F4] ボタンを押します。



手順4　現在の設定内容が表示されます。

①現在の設定内容が表示されます。
[F1] [F2] ボタンで「吹出口」を選択します。
選択した「吹出口」の現在の固定設定状態が下図のように表示されます。





手順5 風向を設定します。

①設定したい「吹出口」、「風向」を設定します。
F1 F2 ボタンで固定したい「吹出口」を選択します。
·吹出口:1,2,3,4,全て(1～4全て反転表示)
F3 F4 ボタンで設定したい「風向」を選択します。
選択し終わったら 決定 ボタンを押します。設定中画面が表示されます。

お知らせ

●選択している「吹出口」に対して設定を行います。
各吹出口を別々の風向で設定したい場合は、吹出口ごとに設定を行ってください。

手順6 各「吹出口」の「風向」を設定します。

①【手順5】を参考に、各吹出口の設定を行います。
②他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、【手順4】の画面で 戻る ボタンを押して【手順2】の画面に戻し、【手順2】～【手順5】を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施してください。

手順7 風向固定操作の終了

①【手順2】にて 戻る ボタンを押して操作メニュー画面に戻ります。
② メニュー ボタンを押すとメンテナンス終了処理を実施(約30秒)後、メインメニューに戻ります。

【固定内容のクリア方法】
●上記【手順5】の操作にてクリアしたい「吹出口」を選択して、風向設定で「設定無し」 を設定してください。

(10) 冷風防止ベーン設定方法 ※ PLZG-P·MHA 形のみ、ワイヤードリモコンから設定できます。

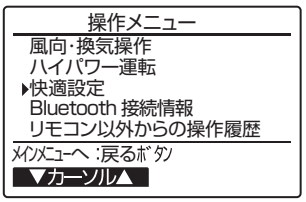
· PLZG-P·MHA形の場合、下記の設定でベーン設定角度を標準位置よりも高めに設定し、水平吹き出しによる冷房時のドラフト感を抑えることができます。

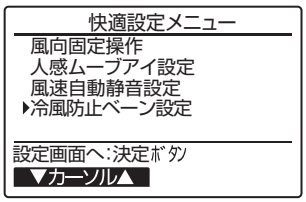
⚠注意
- 冷風防止ベーン設定をした場合、吹出した空気により天井が汚れる場合があります。
- 冷風防止ベーン設定時は、設定温度19℃以上にてご使用ください。露付き、露たれの原因になります。

設定の手順

手順1 エアコンを『停止』にして、リモコンを『冷風防止ベーン設定』画面にします。

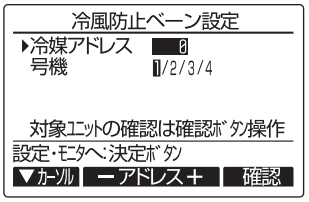
①操作メニュー画面で「快適設定」を選択し 決定 ボタンを押します。
② F1 F2 ボタンにより「冷風防止ベーン設定」を選択し 決定 ボタンを押します。





手順2 設定したい「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。

① F1 ボタンで「冷媒アドレス」、「号機」を選択します。
F2 F3 ボタンにより設定する「冷媒アドレス」「号機」を選択し 決定 ボタンを押します。
·冷媒アドレス:0～15
·号機:1／2／3／4
※接続されている冷媒アドレス、号機のみ選択できます。

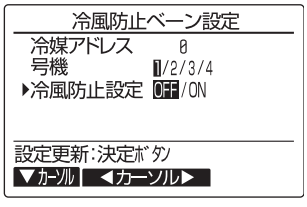


お知らせ

●設定ユニットを確認したい場合、上記1の手順で「冷媒アドレス」と「号機」を選択し F4 ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。詳細は 確認の手順 を参照願います。

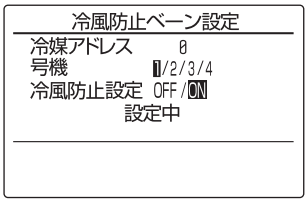
手順3 現在の設定内容が表示されます。

①【手順2】で指定した室内ユニットの現在の設定内容が表示されます。
·冷風防止設定:OFF(標準設定)／ON(冷風防止設定)



手順4　冷風防止ベーンを設定します。

①[F2] [F3] ボタンにより「冷風防止ベーン設定」を設定し [決定] ボタンを押します。



お知らせ

●設定完了後、「冷媒アドレス」、「号機」を変更すると【手順2】にもどります。

手順5　他の室内ユニットへの設定

①【手順4】を参考に、各室内ユニットの設定を行います。

②他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、【手順4】の画面で「冷媒アドレス」、「号機」を変更して【手順2】の画面に戻し、【手順2】～【手順4】を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施してください。

手順6　冷風防止ベーン設定の終了

①【手順2】にて [戻る] ボタンを押して操作メニュー画面に戻ります。

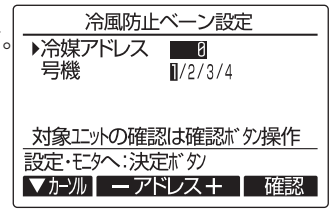
② [メニュー] ボタンを押すとメンテナンス終了処理を実施（約30秒）後、メインメニューに戻ります。

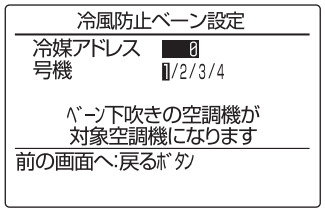
確認の手順

手順1　最初に「冷媒アドレス」=0,「号機」=1から確認します。

①[F1] ボタンで「冷媒アドレス」、「号機」を選択します。
[F2] [F3] ボタンにより確認する「冷媒アドレス」「号機」を設定し [F4] ボタンを押します。
・冷媒アドレス:0～15
・号機:1／2／3／4
※接続されている冷媒アドレス、号機のみ選択できます。

②[F4] ボタン操作後、約15秒お待ちください。……エアコンの状態は?
→吹き出し口が下吹きになる。→「冷媒アドレス」=0,「号機」=1のエアコンです。
→全ての吹き出し口が塞がる。→【手順2】へ
[戻る] ボタンを押して、① の画面に戻します。



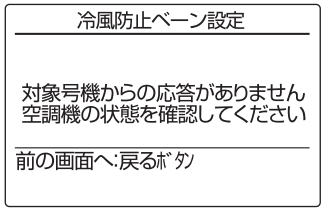


手順2　「号機」を順次変更して確認します。

①[F1] ボタンで「号機」を選択します。
[F2] [F3] ボタンにより確認する「号機」を変更し [F4] ボタンを押します。

②[F4] ボタン操作後、約15秒お待ちください。……エアコンの状態は?
→吹き出し口が下吹きになる。→ リモコンに表示されているエアコンです。
→全ての吹き出し口が塞がる。→ [戻る] ボタンを押して、① からの操作を続けます。
→右記、メッセージ画面が表示される。→ この冷媒アドレスの中に、対象号機が存在しません。【手順3】へ

③ [戻る] ボタンを押して、【手順1】① の画面に戻します。



手順3　「冷媒アドレス」を次の番号に変更して確認します。

①【手順1】の操作を参考に冷媒アドレスを変更して確認を続けます。

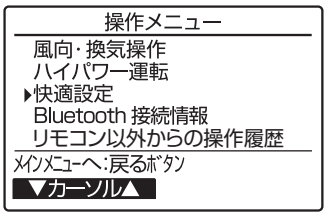
（11）風速自動静音設定

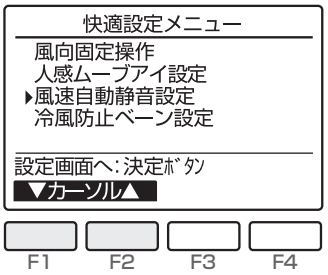
風速自動設定時、最大風速設定を使用しない設定ができます。
能力不足を感じた場合は、静音自動モードを通常にしてください。
ワイヤレスリモコンからの設定はできません。

手順 1 「風速自動静音設定」を選択します。

メインメニュー画面で「操作」→「快適設定」を選択します。

▶ F1 F2 で、「風速自動静音設定」を選択し、 決定 ボタンを押します。





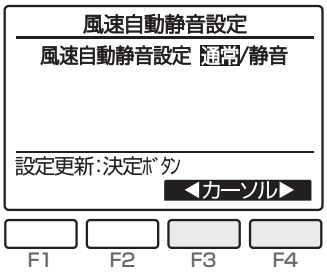
手順 2 通常 / 静音を設定します。

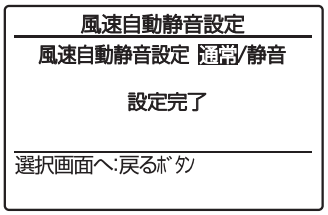
▶ F3 F4 ボタンでご希望の選択に切り換えます。

■通常
風速自動設定時、最大風速設定を使用します。

■静音
風速自動設定時、最大風速設定を使用しません。

ご希望の設定に切り換えた後、 決定 ボタンを押します。





（12）運転データ収集機能

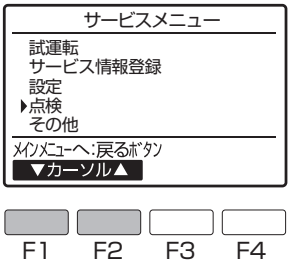
運転データ収集機能により、現在の運転状態のデータ 16 項目を同時に取り出すことができます。
※室外ユニットとの組み合わせにより一部機種は対応しておりません。

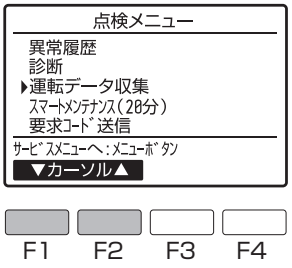
操作の手順

手順1　リモコンを『点検』に切り換えます。

① サービスメニュー画面で「点検」を選択し、
決定 ボタンを押します。

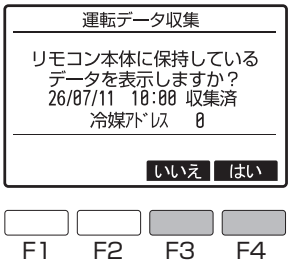
② 「運転データ収集」を選択し、決定 ボタンを押します。





<前回収集したデータを保持している場合>
前回収集日時･冷媒アドレスが表示されます。
[F4]ボタンを押すと、収集済みの運転データが表示されます。**【手順3へ】**
[F3]ボタンを押すと、冷媒アドレス選択画面が表示されます。**【手順2へ】**

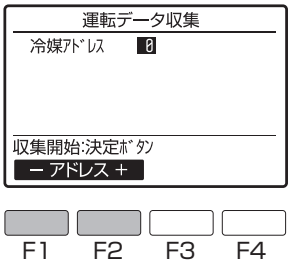
<前回収集したデータを保持していない場合>
冷媒アドレス選択画面が表示されます。**【手順2へ】**

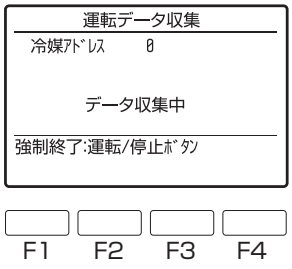


手順2　冷媒アドレスを選択します。

① 運転データ収集画面でデータ収集を行いたい空調機の
「冷媒アドレス」を選択し、決定 ボタンを押します。

･冷媒アドレス:0～15

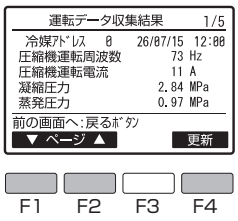


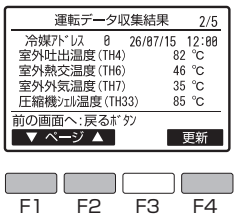


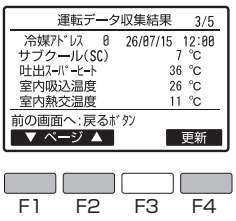
手順3　運転データが表示されます。

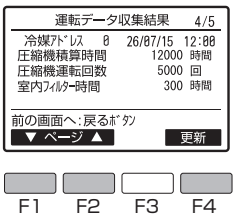
① 運転データが表示されます。
F4 ボタンを押すと運転データを更新します。

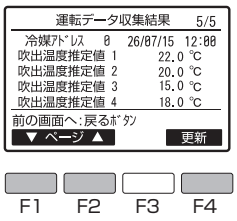
①









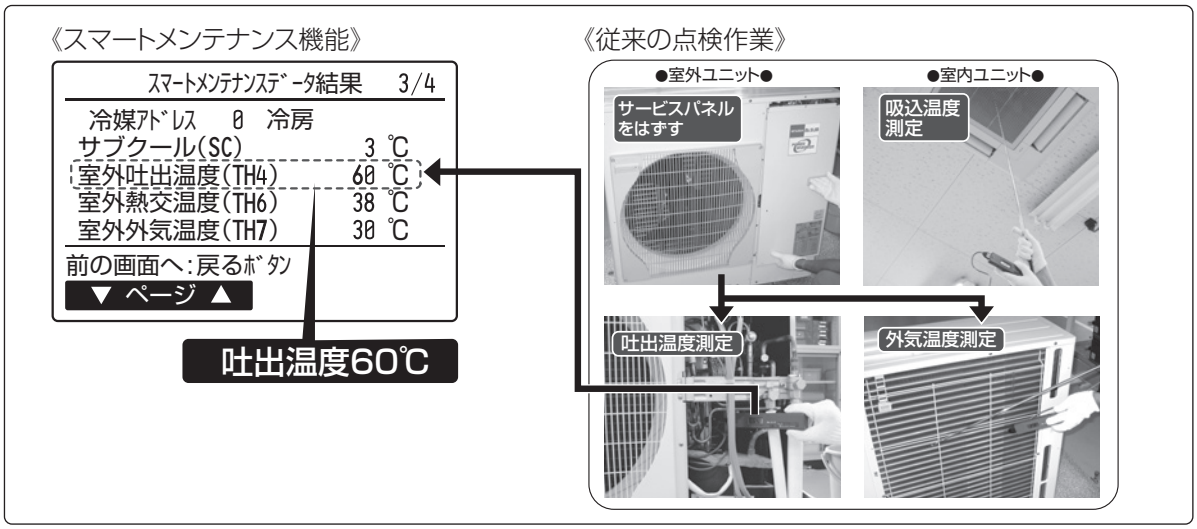


手順4　運転データ収集機能の終了

① メニュー ボタンや 戻る ボタンによりメインメニュー画面に戻ります。

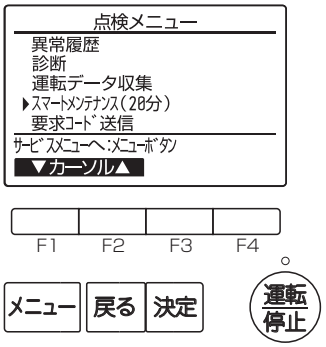
（13）スマートメンテナンス機能

メンテナンス作業の手間を大幅に削減します。
室内に居ながら室外・内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。
また、今まではデータをもとにグラフへプロットし運転状態を確認していましたが、今度のスマートメンテナンス機能では、診断結果をリモコン画面へ表示でき、さらにスムースになりました。



■メンテナンスモード操作方法

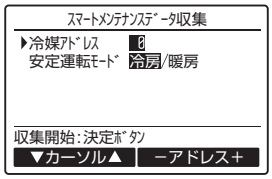
《PAR-48MA の場合》



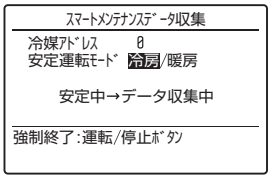
※試運転中はできません。
※室外ユニットとの組み合わせにより一部機種は対応しておりません。本機能の有無はカタログでご確認ください。

❶「スマートメンテナンス」を選択します。
メインメニュー画面で「サービス」→「点検」を選択します。
F1 F2 ボタンで「スマートメンテナンス」を選択し、決定ボタンを押します。

❷各項目を設定します。
F1 F2 ボタンで変更したい項目を選択します。
F3 F4 ボタンで変更したい項目を選択します。

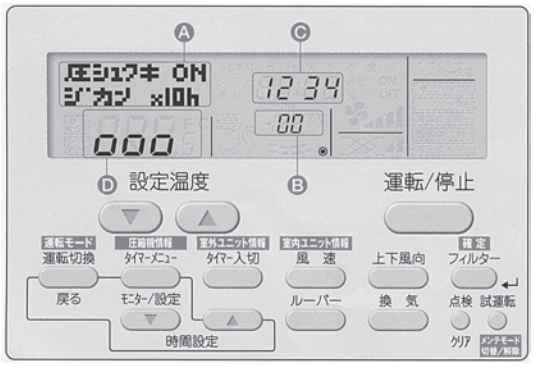


❸ 決定 ボタンを押し、安定運転を開始します。
※安定運転には 10 ～ 20 分必要です。



■「冷媒アドレス」の設定　[0] ～ [15]
■「安定運転モード」の設定　[冷房] / [暖房]

《PAR-26MA2 の場合》



メンテモードには、運転中 / 停止中どちらの状態でも入ることができます。
※試運転中は入れません。
※停止中でもメンテナンス情報の確認は可能です。

❶メンテモードに切替えます。
試運転 ボタンを 3 秒間押し、メンテモードに切り換えます。
[表示 Ⓐ] メンテモード
安定運転が不要または停止状態でデータを確認する場合は(4)へ。

❷安定運転を開始します。
運転周波数を固定し、運転を安定させることが可能です。
停止中の場合は、この操作で運転を開始します。

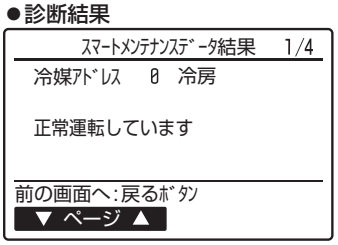
運転切換 ボタンを押し、運転モードを選択します。
[表示 Ⓐ] → 冷房安定運転（レイボウアンテイ） → 暖房安定運転（ダンボウアンテイ） → 安定運転解除（アンテイカイジョ）

❸ フィルター ボタンを押し、確定します。

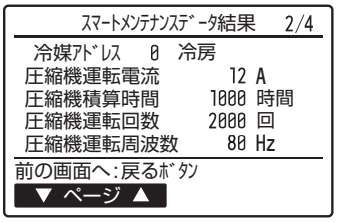
《PAR-48MA の場合》 つづき

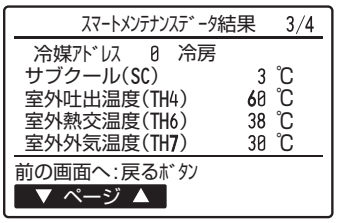
❹運転データが表示されます。

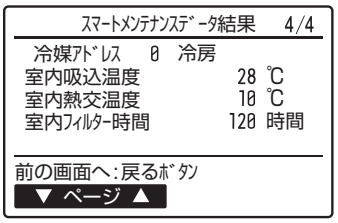
●診断結果



●運転データ







※ 1. 圧縮機積算時間は 10 時間単位の表示です。
(例)実際の圧縮機積算時間 : 1006 時間
↓
表示 : 1000 時間

※ 2. 圧縮機運転回数は 100 回単位の表示です。
(例)実際の圧縮機運転回数 : 2058 回
↓
表示 : 2000 回

《PAR-26MA2 の場合》 つづき

❹データを測定します。
安定状態(リモコン表示 Ⓓ)が ooo になったら、メンテナンスデータを計測します。

設定温度 △ ▽ ボタンで冷媒アドレスを選定します。

[表示 Ⓑ] → 00 ↔ 01 ↔ ····· ↔ 15 ←

❺表示させるデータの種類を選定します。
いずれか 1 つを選択したら(6)へ

【圧縮機情報】
タイマーメニュー ボタン

[表示 Ⓐ] → ❶運転積算時間 (圧シュクキON ジカン ×10h) → ❷ON/OFF回数 (圧シュクキON カイスウ ×100) → ❸ 運転電流 (圧シュクキON デンリュウ (A))

【室外ユニット情報】
タイマー入切 ボタン

[表示 Ⓐ] → ❹熱交換器温度 (シツガイキ ネツコウ オンド) → ❺ 吐出温度 (シツガイキ トシュツ オンド) → ❻外気温度 (シツガイキ ガイキ オンド)

【室内ユニット情報】
風速 ボタン

[表示 Ⓐ] → ❼ 吸込温度 (シツナイキ スイコミ オンド) → ❽熱交換器温度 (シツナイキ ネツコウ オンド) → ❾フィルター使用時間 (シツナイキ フイルタージカンh)

❻ フィルター ボタンを押し、確定します。
【運転積算時間表示例】
表示 Ⓒ 点滅 1234
応答待ち 約10秒後 12,340時間

❼ [表示 Ⓒ] にデータが表示されます。
❺～❼の操作の繰り返しで各データを確認できます。

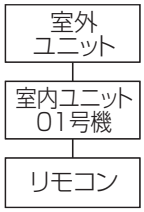
❽メンテモードを解除する場合は、試運転 ボタンを3 秒押します。
または 運転 / 停止 ボタンを押します。

冷媒アドレス

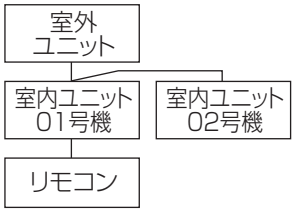
単一冷媒系

単一冷媒系では、冷媒アドレス00で操作不要です。
同時ツインは単一冷媒系です。

[1:1]
冷媒アドレス=00

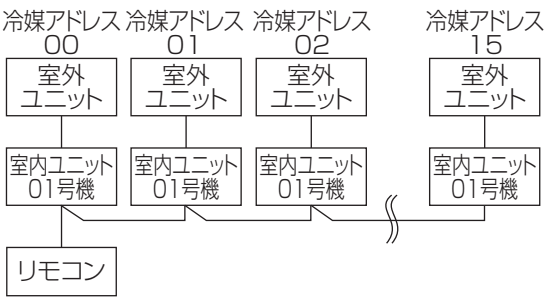


[ツイン]
冷媒アドレス=00



複数冷媒系(グループ制御)

1リモコンで最大16媒体(室外ユニット16台)まで接続可能です。冷媒アドレスの設定は、室外ユニット制御基板上のディップSW1(3～6)で行います。
詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。



■点検の目安（PAR-26MA2 の場合）

※ PAR-48MA では、運転データから自動で診断し、リモコンに結果を表示します。(前頁)

【点検の目安(チェックポイント)】

右表の⑤④⑦⑧の温度差を下記グラフへプロットしてください。
プロットした領域から運転状況を判断します。
データ測定の際には、メンテモードに入る前に、室内風量を強ノッチに合わせてください。

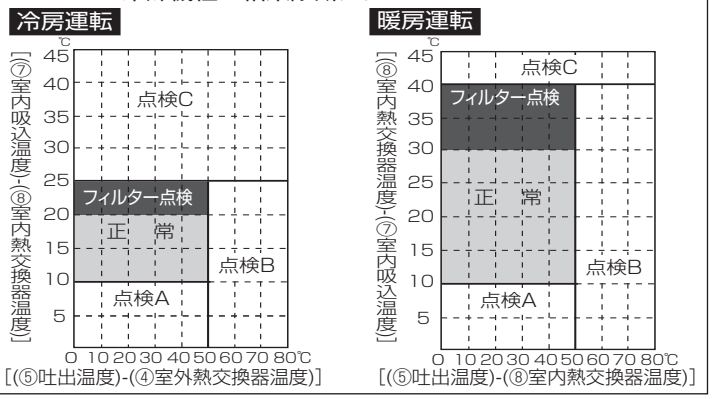
分類		項目	結果	
冷房	点検	リモコン表示Ⓓが安定状態(点灯)になりますか。	安定	安定しない
	温度差	(⑤吐出温度)－(④室外熱交換器温度)		℃
		(⑦室内吸込温度)－(⑧室内熱交換温度)		℃
暖房	点検	リモコン表示Ⓓが安定状態(点灯)になりますか。	安定	安定しない
	温度差	(⑤吐出温度)－(⑧室内熱交換器温度)		℃
		(⑧室内熱交換器温度)－(⑦室内吸込温度)		℃

※以下のような温度条件では、安定運転できない場合があります。
A)冷房で室外吸込温度が 40℃以上または室内吸込温度が 23℃以下の時
B)暖房で室外吸込温度が 20℃以上または室内吸込温度が 25℃以上の時

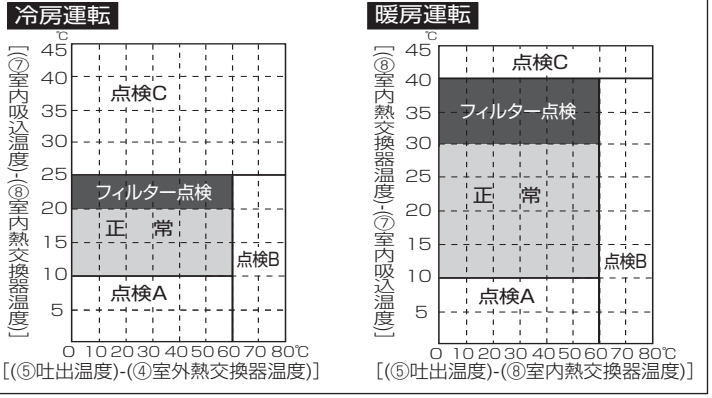
※上記温度条件に該当せず、30 分以上経過しても安定運転できない場合は点検を行ってください。

※暖房では室外熱交換器への着霜により、運転状態が変化することがあります。

<R410A冷媒機種の結果診断グラフ>



<R32冷媒機種の結果診断グラフ>



結果

領域	確認項目	判定	
		冷房	暖房
正常	正常な運転状態		
フィルター点検	フィルターが目詰まりしている可能性があります。※1		
点検A	能力が低下している可能性があります。		
点検B	冷媒が不足気味です。		
点検C	フィルターや室内ユニットの熱交換器が目詰まりしている可能性があります。		

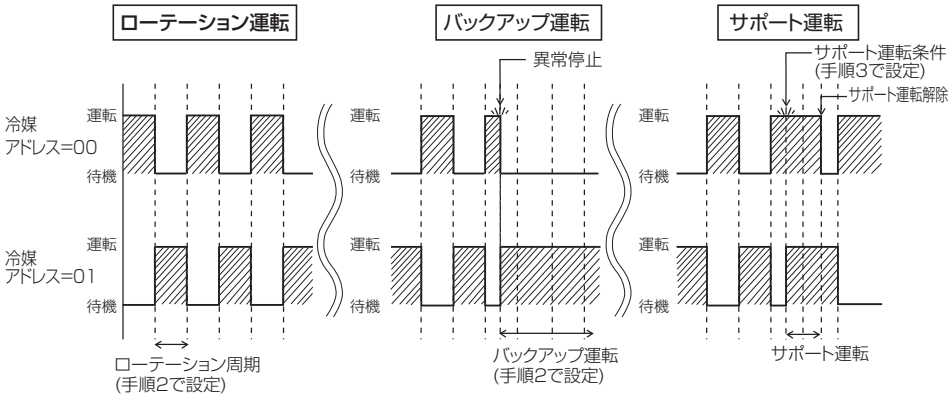
※ 1 室内および室外の温度により、目詰まりしていなくても「フィルター点検」が入る場合があります。

※ 2 点検の目安となるグラフはユニットの試験データを基に作成していますが、据付状態や温度条件により判定値がばらつく場合があります。

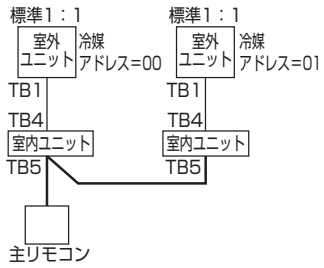
点検項目				結果	
電源関係	配線緩み	端子台	開閉器	良好	増締
			室外ユニット	良好	増締
			室内ユニット	良好	増締
	(絶縁抵抗)				MΩ
	(電圧)				V
圧縮機関係	①運転積算時間				時間
	② ON/OFF 回数				回
	③電流				A
室外ユニット	温度	④冷媒・熱交換器温度		冷房　℃	暖房　℃
		⑤冷媒・吐出温度		冷房　℃	暖房　℃
		⑥空気・外気温度		冷房　℃	暖房　℃
		(空気・吐出温度)			
	汚れ	外観		良好	要清掃
		熱交換器		良好	要清掃
		音・振動		なし	なし
室内ユニット	温度	⑦空気・吸込温度		冷房　℃	暖房　℃
		(空気・吐出温度)		冷房　℃	暖房　℃
		⑧冷媒・熱交換器温度		冷房　℃	暖房　℃
		⑨フィルター使用時間※			時間
	汚れ	化粧パネル		良好	要清掃
		フィルター		良好	要清掃
		送風機		良好	要清掃
		熱交換器		良好	要清掃
		音・振動		なし	なし

（14）ローテーション設定

●MAスマートリモコンにより2系統の1:1システムに限り、ローテーション運転やバックアップ運転の設定が可能です。
●ローテーション運転は、各系統を交互運転させ、運転時間の均一化を図ることができます。
●バックアップ運転は、1系統が異常停止した場合でも待機中の系統が起動し、空調を継続することができます。
●サポート運転(パワフルツイン冷房)は、1系統では能力が不足する場合に、自動的に待機中の系統が起動し、補助運転を行います。



ローテーション設定を行う場合

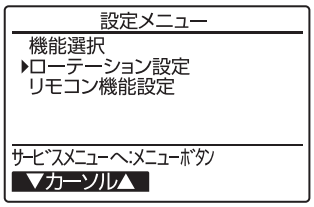


※リモコンを2台接続する場合は、リモコンの主従設定を行ってください。

設定手順

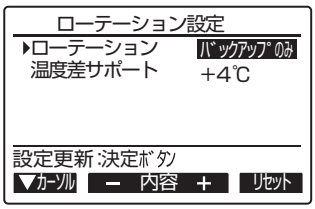
手順1 リモコンを「ローテーション設定」に切り換えます。

サービスメニュー画面から「設定」→「ローテーション設定」を選択し、決定 ボタンを押します。



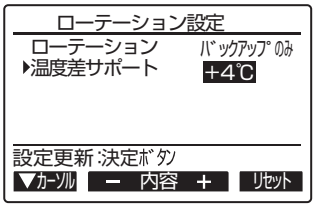
手順2 ローテーション運転を設定します。

F1 ボタンで「ローテーション」を選択します。
F2 、F3 ボタンでローテーション周期またはバックアップを選択します。
選択項目：無し、1日、3日、5日、7日、14日、28日、バックアップのみ
※1日～28日を選択した場合は、バックアップ機能も有効となります。
※「バックアップのみ」を選択した場合は、冷媒アドレス=00の系統がメインとして運転し、冷媒アドレス=01の系統がバックアップとして待機状態となり、ローテーション運転されません。



手順3 サポート運転を設定します。

F1 ボタンで「温度サポート」を選択します。
F2 、F3 ボタンでサポート運転が動作する「吸込み温度と設定温度の差」を選択します。
選択項目：無し、+4℃、+6℃、+8℃
※サポート運転は冷房設定時のみ有効です。（暖房、ドライ、自動設定時は動作しません。）
※サポート運転はローテーション設定で「無し」以外に設定した場合に有効になります。



手順4 設定更新

決定 ボタンを押し、設定を更新します。

リセット方法

F4 ボタンでローテーション運転時間がリセットされ、冷媒アドレス=00の系統からの運転となります。
※冷媒アドレス=01の系統がバックアップ運転中の場合は、冷媒アドレス=00が運転に戻ります。

4．ユニットの機能選択

（1）ワイヤードリモコンによる機能選択

《MA スマートリモコンからの機能選択》

● MA スマートリモコン〈PAR-48MA〉から必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。

サービスメニュー〈サービス用パスワードが必要です〉

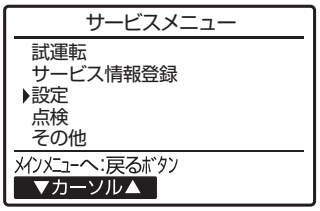
メイン画面から「メインメニュー」→「サービス」より、各種サービスメニューでの設定・操作を行います。
「サービス」を選択すると「サービス用パスワード画面」が表示されますので、現在設定されているサービス用パスワード（数字 4 桁）を入力します。



▶ F1 F2 ボタンで桁を選択し、 F3 F4 ボタンで 0 ～ 9 の数字を設定します。

▶ 4 桁のパスワード入力後、 決定 ボタンを押します。

■サービス用パスワードの初期値は [9999] です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じてパスワードの変更を行ってください。
パスワードは必要な方が分かるよう適切に保管してください。



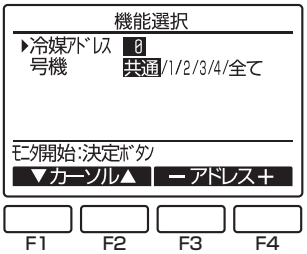
● サービスメニューの項目によっては空調機を停止させる必要があります。
また、システムコントローラーから集中管理中は操作できない場合があります。

操作の手順

手順 1　『機能選択』を選択します。

サービスメニュー画面にて「機能選択」を選択し、 決定 ボタンを押します。

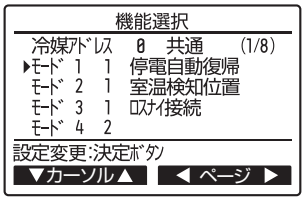
▶ F1 ～ F4 ボタンで接続されている室内ユニットの冷媒アドレス・号機を設定し、 決定 ボタンを押します。



手順 2　登録する冷媒アドレス・室外ユニット・室内ユニットを選択します。

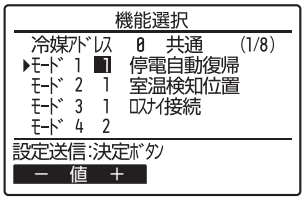
▶室内ユニットからのデータ収集が完了すると、現在の設定番号が反転して表示されます。

● 反転表示が無いモードは機能が無いことを表しています。
号機で指定した共通・号機によりモニタ結果画面が異なります。



手順 3　ご希望の設定に変更します。

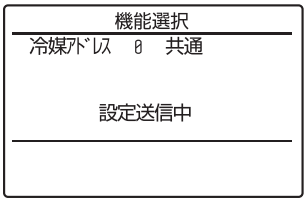
▶ F1 F2 ボタンでモード番号を選択し、 F1 F2 ボタンで設定番号を変更します。



手順 4　設定を確定 / 送信します。

▶ 決定 ボタンを押します。

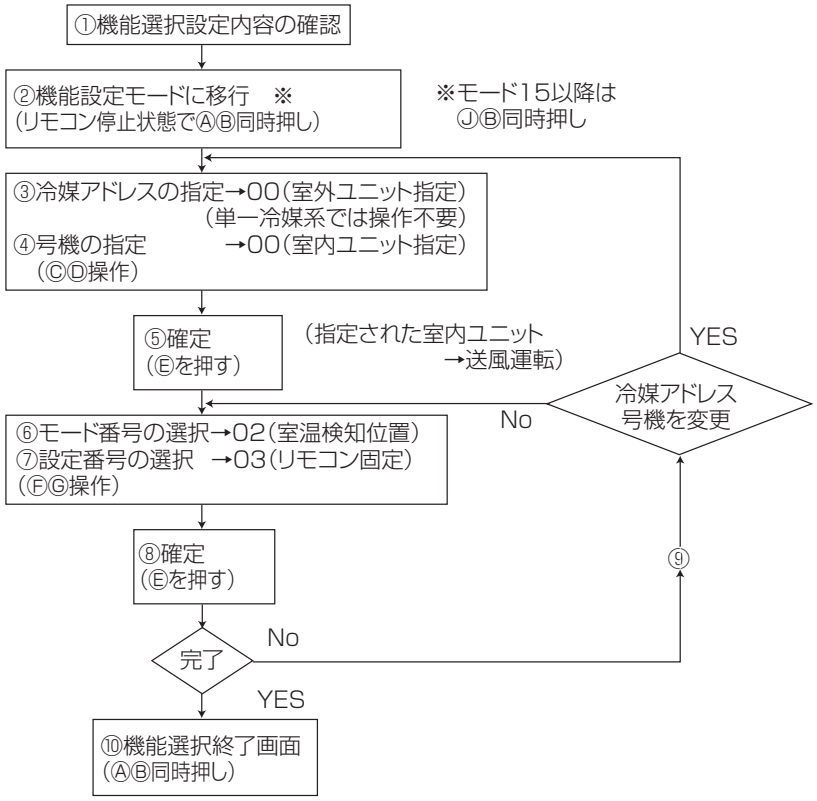
設定が完了すると【手順2】の画面に戻ります。



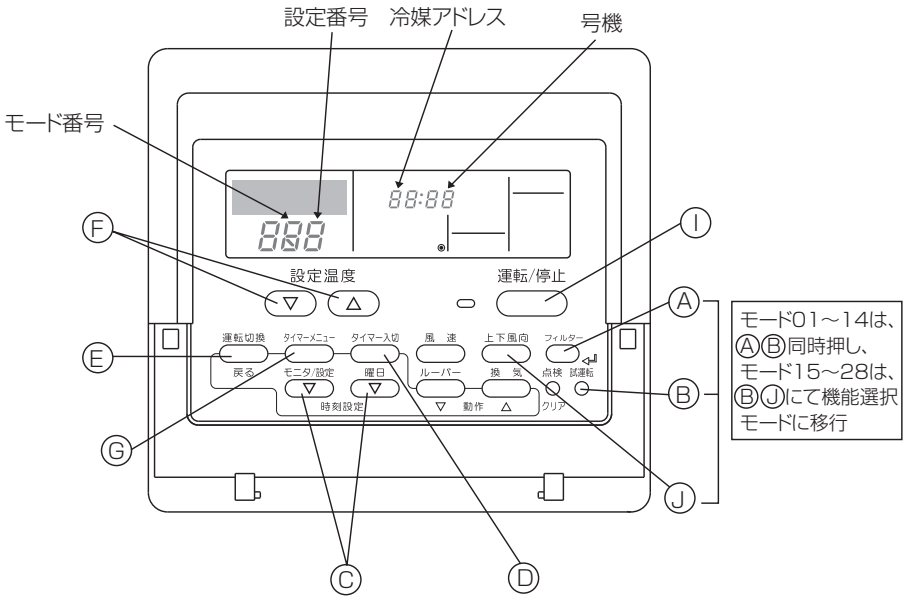
《MA スムースリモコンの機能選択》

機能選択の流れ

まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは＜表 1＞機能選択内容の“室温検知位置”の設定を例に説明します。
実際の操作については操作手順①～⑩をご覧ください。



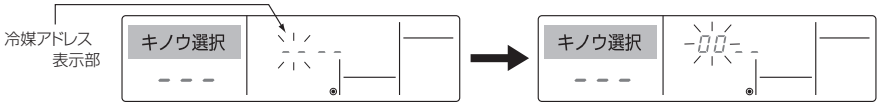
変更が必要な場合のみ設定してください。



操作の手順

①機能選択の設定内容を確認してください。
機能選択にて各モードの設定内容を変更した場合、そのモードの機能が変わります。②～⑦に従い現在の全設定内容を確認、前頁<機能選択内容>表のチェック覧に記入の上、設定を変更してください。なお、工場出荷時の設定については室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

②リモコンを停止にします。
モード 01 ～ 14 を設定する場合は、
Ⓐ フィルター と Ⓑ 試運転 ボタンを
モード 15 ～ 28 を設定する場合は、
Ⓙ 上下風向 と Ⓑ 試運転 ボタンを、同時に 2 秒以上押します。
キノウ選択 が点滅し、しばらくするとリモコンの表示が下図の表示になります。

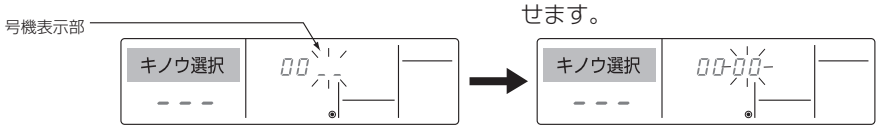


③室外ユニットの冷媒アドレス No. を合わせます。
Ⓒ △▽(時刻設定または時間設定)ボタンを押すと冷媒アドレス No. が 00 ～ 15 の間で前後するので機能選択したい冷媒アドレスに合わせます。
(単一冷媒系では 00 に合わせてください。)

※ キノウ選択 および室温表示部に「88」を 2 秒間点滅後、停止状態となる場合は、通常異常が考えられます。
伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

お願い　途中で操作を間違えた場合は、一度⑩にて機能選択を終了し、再度②より操作を行ってください。

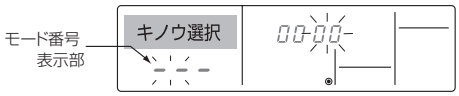
④室内ユニットの号機を合わせます。
Ⓓ タイマー入切 ボタンを押し、号機表示部「－－」を点滅させます。



Ⓒ △▽ (時刻設定または時間設定)ボタンを押すと号機が 00 → 01 → 02 → 03 → 04 → AL と変化するので機能選択したい室内ユニットの号機に合わせます。

※モード 01 ～ 06 またモード 15 ～ 22 を設定する場合は、「00」に合わせてください。
※モード 07 ～ 14 をまたはモード 23 ～ 28 を設定する場合は、
・ 各室内ユニットごとに行う場合は、「01 ～ 04」に合わせてください。
・ 全室内ユニット一括に行う場合は、「AL」に合わせてください。

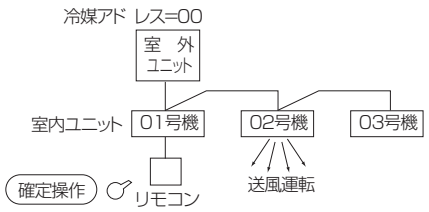
⑤冷媒アドレス、号機の確定
Ⓔ 運転切換 ボタンを押し、冷媒アドレス、号機を確定します。
しばらくするとモード番号表示部「－－」が点滅します。



※室温表示部に「88」が点滅表示する場合、選択した冷媒アドレスがシステム内にありません。
また、号機表示部が「F」となり、冷媒アドレス表示部が点滅表示となる場合は、選択した号機が存在しません。
②、③にて冷媒アドレス、号機を正しく設定してください。

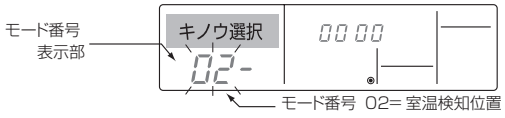
※室内ユニットの号機確認方法
Ⓔ 運転切換 ボタンにて確定操作をすることにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。
機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのか知りたい場合はこれにより確認してください。
なお、号機が 00、AL の場合は選択した冷媒アドレスの全室内ユニットが送風運転します。

例) 冷媒アドレス00、号機=02確定時の場合



※異冷媒系統でグルーピング時、指定した冷媒アドレス以外の室内ユニットが送風運転する場合、ここで設定した冷媒アドレスの重複が考えられます。
再度、室外ユニットのディップスイッチにて冷媒アドレスの確認をしてください。

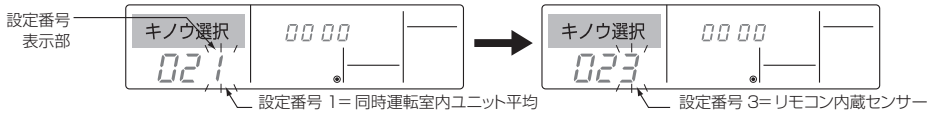
⑥モード番号の選択
Ⓕ △▽ (設定温度)ボタンにより設定したいモード番号を設定します。
(設定可能なモード番号のみ選択できます。)



⑦選択したモードの設定内容を選択します。

Ⓖ タイマーメニュー ボタンを押すと、現在設定されている設定番号が点滅します。これにより現在の設定内容を確認してください。

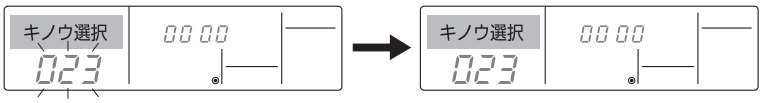
Ⓕ △ ▽ (設定温度)により設定番号を選択します。



⑧ ③～⑦の設定内容を確定させる。

Ⓔ 運転切換 ボタンを押すと、モード番号と設定番号が点滅し、登録を開始します。

モード番号、設定番号の点滅が点灯に変わり、設定が完了します。



※モード番号および設定番号が「－－－」となり室温表示部に「88」が点滅表示となる場合は、通信異常が考えられます。
伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

⑨更に、他の機能選択を行う場合は、操作③～⑧の作業を繰り返し行ってください。

注 . ただし、モード 07 ～ 14 を設定し、更にモード 23 ～ 28 を設定したい場合、またはモード 23 ～ 28 を設定し、更にモード 07 ～ 14 を設定したい場合は、一度操作⑩にて機能選択を終了し、再度①より操作を行ってください。
この際、機能選択終了後すぐに操作すると、室温表示部に「88」を表示する場合がありますので、30 秒間は操作しないでください。

⑩選択機能を終了します。

モード 01 ～ 14 を設定した場合は、
Ⓐ フィルター と Ⓑ 試運転 ボタンを
モード 15 ～ 28 を設定した場合は、
Ⓙ 上下風向 と Ⓑ 試運転 ボタンを同時に 2 秒以上押します。
しばらくすると機能選択画面が解除され、空調機停止画面へ復帰します。

※機能選択終了後、30 秒間はリモコンより操作しないでください。(操作しても受付けません。)



お願い　工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を前頁＜機能選択内容＞表のチェック欄に○印等で記入してください。

(2) 霜取り制御切替 (標準 / 北陸仕様)

■霜取り制御切替は、室外基板上のディップスイッチ SW7-6 にて行います。

※リモコンによる機能選択でも設定可能です。
※北陸仕様設定 : 霜取り禁止時間を短めにします。
高湿度の環境で着霜が多い時に使用します。

	スイッチ操作による動作	
	ON	OFF
SW7-6	北陸仕様	標準

5．特殊機能

（1）吸込グリルの昇降操作のしかた　※ PLZG-P･MHA 形 , PCZG-P･MKA14 形のみ

■吸込グリル下降距離の設定

この自動昇降パネル / キットは、吸込グリルの下降距離を設置場所に合わせてお客様の要望により、8 段階に設定することができます。

※工場出荷時は、本体より 1.6m で自動停止します。距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください。

＜ PLZG-P･MHA 形の場合＞

自動昇降基板での設定

①ネジ 2 本をゆるめ、化粧パネルの電気品カバーをスライドさせて開きます。

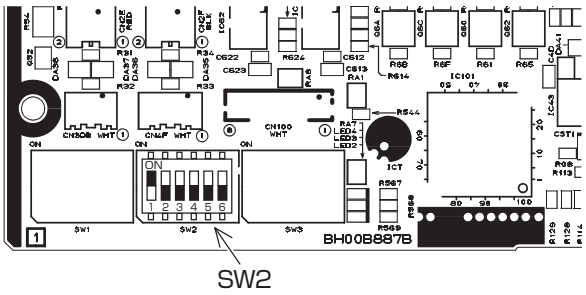
②自動昇降基板の SW2 のディップスイッチを下表の設定にします。

※設定を変更する際には、必ずディップスイッチの記号が SW2 であることを確認してください。

③化粧パネルの電気品カバーを①と逆手順で再取付けします。

■がスイッチの位置を示します。

下降距離（天井高さの目安）	リモコンでの設定値	SW2（下降距離設定）	下降距離（天井高さの目安）	リモコンでの設定値	SW2（下降距離設定）
1.2m（~2.4m）	設定1	ON OFF 123456	1.6m（2.4m~2.8m）	設定2	工場出荷仕様 ON OFF 123456
2.0m（2.8m~3.2m）	設定3	ON OFF 123456	2.4m（3.2m~3.6m）	設定4	ON OFF 123456
2.8m（3.6m~4.0m）	設定5	ON OFF 123456	3.2m（4.0m~4.4m）	設定6	ON OFF 123456
3.6m（4.4m~4.8m）	設定7	ON OFF 123456	4.0m（4.8m~5.2m）	設定8	ON OFF 123456



※気流到達距離は、室内ユニット･吹出口数設定･風量(天井高さ)設定により異なりますので、上表の天井目安高さまで気流が到達しない可能性があります。

＜ PCZG-P･MKA14 形の場合＞

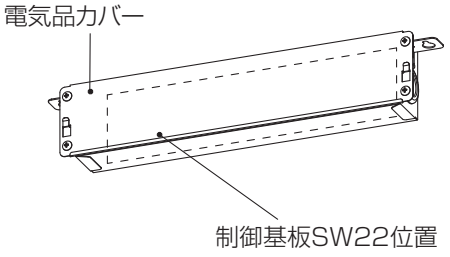
1）昇降電気品箱のカバーを外します。

2）下降距離に合わせ、制御基板のディップスイッチ SW22 を下表の設定にします。

※自動昇降キット　PAC-SJ79JK および PAC-SJ80JK の場合。

■がスイッチの位置を示します。

下降距離（天井高さの目安）	SW22（下降距離設定）	下降距離（天井高さの目安）	SW22（下降距離設定）
1.2m（~2.7m）	ON OFF 12345678910	1.6m（2.7m~3.1m）	工場出荷仕様 ON OFF 12345678910
2.0m（3.1m~3.5m）	ON OFF 12345678910	2.4m（3.5m~3.9m）	ON OFF 12345678910
2.8m（3.9m~4.3m）	ON OFF 12345678910	3.2m（4.3m~4.7m）	ON OFF 12345678910
3.6m（4.7m~5.1m）	ON OFF 12345678910	4.0m（5.1m~5.5m）	ON OFF 12345678910



※気流到達距離は、室内ユニット、風量(天井高さ)設定により異なりますので、左表の天井目安高さまで気流が到達しない可能性があります。

3）電気品カバーを元どおりに取付けます。

■昇降パネルリモコンからの操作



①エアコンの運転を、必ず『停止』にしてください。

②リモコンの“下げる”ボタンを押し、吸込グリルを降ろします。

※工場出荷時は、天井面より１．６mの下降距離で自動停止します。
PLZG-P・MHA 形：1.2m/1.6m/2.0m/2.4m/2.8m/3.2m/3.6m/4.0m
PCZG-P・MKA14 形：1.2m/1.6m/2.0m/2.4m/2.8m/3.2m/3.6m/4.0m の設定変更ができます。(PAC-SJ80JK の場合)距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください。

※下降中に停止したい場合は、リモコンの“止める”または“上げる”ボタンを押すと、任意の位置で停止します。

③フィルターや吸込グリルを外し、清掃します。(取扱説明書のお手入れのしかたの項目をご確認ください。)

④リモコンの“上げる”ボタンを押し、吸込グリルを収納します。

※１回で収納しない場合は、自動的に収納動作を繰り返します。

※上昇中に停止したい場合は、リモコンの“止める”または“下げる”ボタンを押すと、任意の位置で停止します。

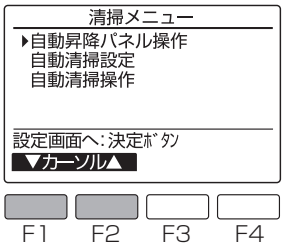
■ワイヤードリモコンからの操作

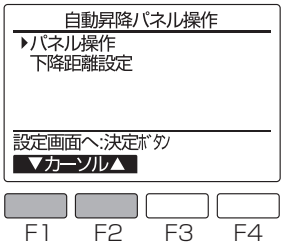
**※リモコンが管理しているエアコンのうち、特定のエアコンを指定して吸込グリルを昇降させます。
リモコンの位置からエアコンが見えないと下降するグリルに人や物が接触し損傷を与えるおそれがありますので、
リモコンが管理する全てのエアコンが見渡せる位置にリモコンを設置してください。**

手順１　エアコンを『停止』にして、リモコンを『自動昇降パネル操作』に切換えます。

① (運転停止)ボタンで、エアコンを停止にします。
メインメニュー画面から「メンテナンス」→「清掃」を選択します。

② F1 F2 ボタンで、「自動昇降パネル操作」を選択し、決定ボタンを押します。



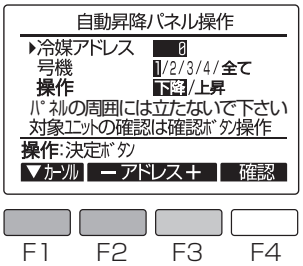


【お知らせ】(スリムエアコンの場合)
カンタン自動パネルを据付けているのに「自動昇降パネル操作」“無”と表示されている場合は「リモコン機能設定」にて「アドレス･号機全指定」を“する”に切換えてください。
詳細はリモコンの「据付工事説明書(設定編)」を参照ください。

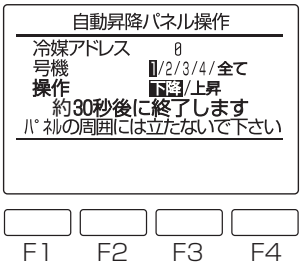
手順２　吸込グリルを下降させます。

③ F1 ボタンで「冷媒アドレス」「号機」「操作」を選択します。
F2 または F3 ボタンで操作するユニットの「冷媒アドレス」と「号機」「操作」を“下降”に設定し、決定ボタンを押すことで、吸込グリルが下降します。

冷媒アドレス:0～15、一括
号機アドレス:1～4、全て



決定 ボタン



【お知らせ】
操作したいユニットがわからない場合は F4 ボタンを押すと、しばらくしてから表示対象のエアコンのみ上下風向角度が下吹きになります。（対象以外のエアコンのベーンは閉じた状態となります）
確認ができたら 戻る ボタンを押してください。

●途中で停止させることはできません。
※下降中に 戻る ボタンを押すと止まる場合がありますが、すぐには止まりません。

●工場出荷時は、天井面より1.6mの下降距離で自動停止します。
※下降距離を変更したい場合は、「■吸込グリル下降距離の設定」の項を参照してください。
（距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください）

手順3　フィルターや吸込グリルをはずし、清掃します。

④ カンタン自動パネルの取扱説明書を参照し、フィルターや吸込グリルの清掃をおこなってください。

手順4　吸込グリルを収納します。

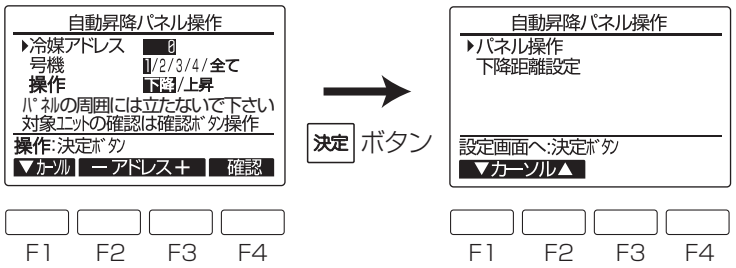
⑤【手順2】を参考に「冷媒アドレス」「号機」を選択し、“上昇”を選択したら 決定 ボタンを押します。

●途中で停止させることはできません。
※上昇中に 戻る ボタンを押すと止まる場合がありますが、すぐには止まりません。

手順5　『自動昇降パネル操作』 を解除します。

⑥ 戻る ボタンを押して、メンテナンスメニュー画面にもどります。

⑦ メインメニュー画面から「メンテナンス」→「清掃」 を選択します。
終了処理を実行し、メインメニューにもどります。



（2）低騒音優先（室外サイレント）モード

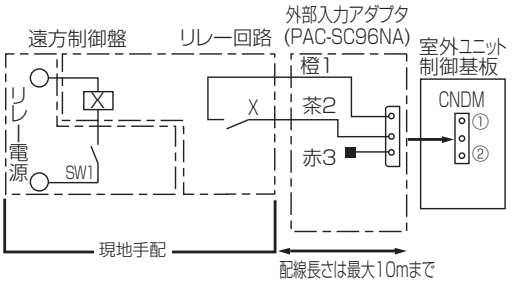
室外ユニットへの外部入力により、室外ユニットの低騒音運転を行います。
※外気温度条件などによっては能力が不足することがあります。

《室外ユニットの外部入力による設定》

市販のタイマーまたは ON − OFF 切替スイッチの接点入力を室外制御基板上の CNDM（別売接点デマンド入力）に追加することにより、低騒音優先モードになります。

【設定方法】

別売「外部入力アダプタ（PAC-SC96NA）」を使用し、下記のような回路を組みます。



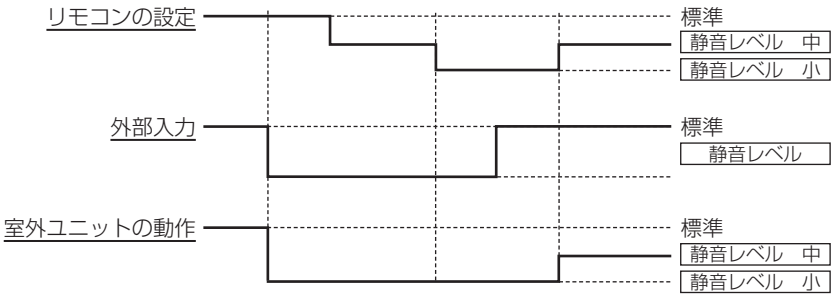
	室外基板DIP SW7-1	SW1	SW2	機能
低騒音優先モード	OFF	ON	—	低騒音優先モード作動

X :リレー
（接点定格　DC15V　0.1A以上
最小適用負荷　DC5V　1mA以下）

《リモコン設定と外部入力の併用時の動作》

リモコン・外部入力を併用している場合、低い設定値が有効となります。

（リモコン静音レベル中 > 室外外部入力＝リモコン静音レベル小）



（3）デマンド機能

MA スマートリモコンによる設定または室外ユニットへの外部入力により、デマンド制御を行います。

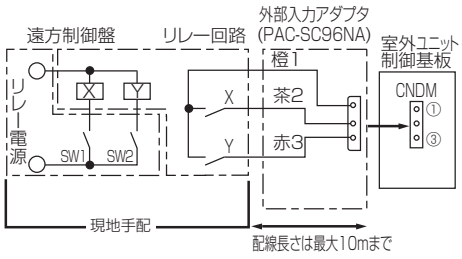
《MA スマートリモコンによる設定》（4. MA スマートリモコンによる操作・設定 (7) 省エネ設定の項参照）

《室外ユニットの外部入力による設定》

市販のタイマーまたは ON − OFF 切替スイッチの接点入力を室外制御基板上の CNDM（別売接点デマンド入力）に追加することにより、デマンド制御が行えます。

【設定方法】

別売「外部入力アダプタ（PAC-SC96NA）」を使用し、下記のような回路を組みます。

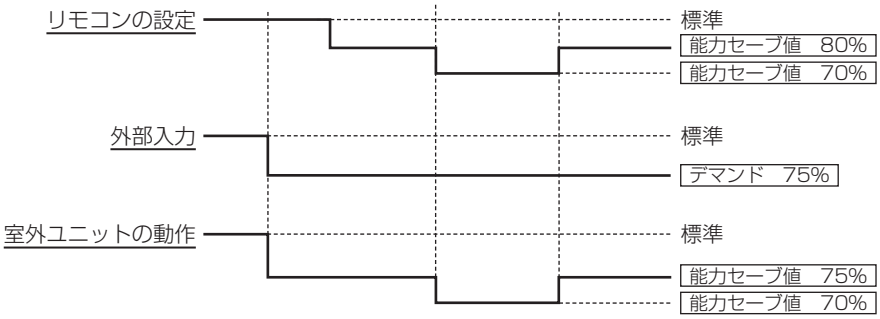


	室外基板DIP SW7-1	SW1	SW2	機能
デマンド	ON	OFF	OFF	100%（通常）
		ON	OFF	75%
		ON	ON	50%
		OFF	ON	0%（停止）

X,Y :リレー
（接点定格　DC15V　0.1A以上
最小適用負荷　DC5V　1mA以下）

《リモコン設定と外部入力の併用時の動作》

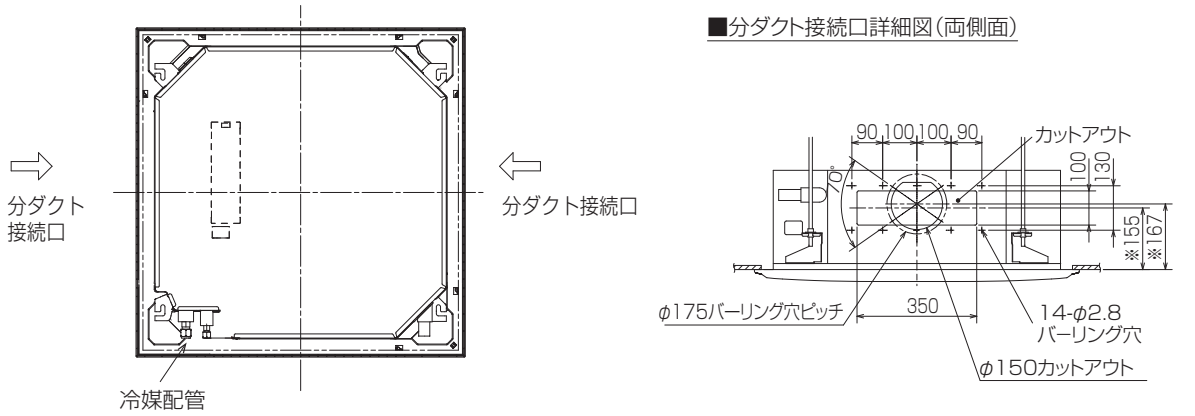
リモコン・外部入力を併用している場合、低い設定値が有効となります。



（4）分ダクト

- 室内ユニットの側面パネルのカットアウト穴を切り離し、現地で分ダクトを設けることにより、分ダクトによる吹き出しが可能になります。
- 分ダクト接続口は 2 箇所ありますが、いずれか 1 箇所（片方）をご利用ください。（2箇所の分ダクトはできません）
- ダクトは現地にて手配してください。4 方向天井カセット形 <i- スクエアタイプ > のダクトフランジは、別売部品 PAC-SH66BF をご利用ください。

■分ダクト取付位置・外形寸法図（4方向天井カセット形）



※別売多機能ケースメント取付時、図中の※印部の寸法は、135mm加算されます。

特性は、Ⅳ . 製品データ 4. 分ダクト特性項を参照ください。

6．故障診断

（1）室外ユニットによる点検表示機能

室外制御基板に LED 1（ミドリ）、LED2（アカ）を追加し、異常発生時には双方の LED の点滅を組み合わせることで、内容を判別します。
室外制御基板上のコネクタ CNM に別売部品の A 制御サービス点検キット PAC-SG50ST を接続することにより、詳細な運転モニターを判別できます。

[表示方法]

（1）通常状態

状　態	室外制御基板		A制御サービス点検キット	
	LED1（ﾐﾄﾞﾘ）	LED2（ｱｶ）	エラーコード	内　　容
電源投入時（立上げ時）	点灯	点灯	－⇔－	交互点滅表示
停止	点灯	消灯	00等	運転モード表示
拘束通電	点灯	消灯	08等	
運転	点灯	点灯	C5,H7等	

（2）異常状態

表示方法		異常項目	
室外制御基板		異常コード ※1	内　容
LED1（ﾐﾄﾞﾘ）	LED2（ｱｶ）		
1回点滅	4回点滅	Fb	室内制御基板異常
2回点滅	1回点滅	EA※2	内外接続誤配線、室内ユニット台数オーバー
		Eb※2	内外接続誤配線（テレコ、はずれ）
		EC※2	立上げ時間オーバー
	2回点滅	E6	内外通信異常（受信異常）室内検出
		E7	内外通信異常（送信異常）室内検出
		E8※2	内外通信異常（受信異常）室外検出
		E9※2	内外通信異常（送信異常）室外検出
	3回点滅	E0	リモコン通信異常（受信異常）リモコン検出
		E3	リモコン通信異常（送信異常）リモコン検出
		E4	リモコン通信異常（受信異常）室内検出
		E5	リモコン通信異常（送信異常）室内検出
	4回点滅	※3	ドレンフロートスイッチコネクタはずれ、その他の異常
	5回点滅	Ed	シリアル通信異常＜室外制御基板−パワー基板間通信＞ ＜室外制御基板−M-NET基板間通信＞
		A0～A8	M-NET系通信異常
3回点滅	1回点滅	U2	圧縮機シェル温度異常
		U7	低吐出スーパーヒート異常
	2回点滅	U1	高圧圧力異常（63H作動）
		UL	低圧圧力異常（63L作動）
	3回点滅	Ud	過昇保護
		U8	室外ファンモータ回転数異常
	4回点滅	UF	圧縮機過電流遮断（ロック）
		UP	圧縮機過電流遮断
		U6	パワーモジュール異常
		UH	電流センサ異常
	5回点滅	U3	圧縮機シェルサーミスタ（TH33）オープン/ショート
		U4	室外液管サーミスタ（TH3/TH32）オープン/ショート
			室外二相管サーミスタ（TH6）オープン/ショート
			外気温サーミスタ（TH7）オープン/ショート
			放熱板サーミスタ（TH8）オープン/ショート
	6回点滅	U5	放熱板温度異常
	7回点滅	U9	電圧異常
4回点滅	1回点滅	P1	室内吸込みセンサー（TH1）異常
		P2	室内配管（液管）センサー（TH2）異常
		P9	室内配管（二相管）センサー異常
	2回点滅	P4	室内ドレンセンサー（DS）異常
		P5	室内ドレンオーバーフロー保護
		PA	漏水異常（冷媒系）
	3回点滅	P6	凍結（冷房時）、過昇保護（暖房時）
	4回点滅	P8	配管温度異常
	5回点滅	Pb	室内ファンモータ異常
－	－	E1,E2	リモコンH/W異常

※1.リモコンまたはA制御サービス点検キットで表示する異常コード
※2.リモコンには表示されない異常コード
※3.その他の異常（P4,EF,EH,PF,PH未定義の異常など）

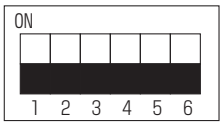
（2）室外ユニット運転モニター機能

■ A 制御機種

[別売部品 A 制御サービス点検キット PAC-SG50ST を室外制御基板 CNM に接続した場合]

別売部品　A 制御サービス点検キット PAC-SG50ST のディップスイッチ SW2 を操作することにより、デジタル表示発光ダイオード LED1 に 2 桁の数値および記号で運転状態およびエラーコードの内容を知ることができます。

＜運転表示＞　SW2：自己診断表示切換

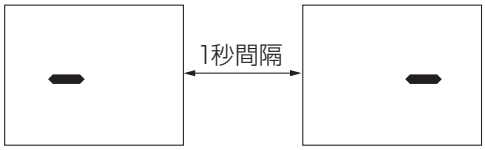
SW2 設定	表示内容	表示説明	単位
			

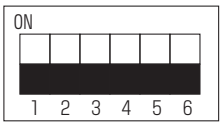
＜デジタル表示発光ダイオード(LED1)の作動説明＞

（SW2 の 1 ～ 6 番が全て「OFF」であることを確認してください）

(1)電源投入時の表示

電源投入時は 、点滅表示を交互に行います。最大 4 分お待ちください。

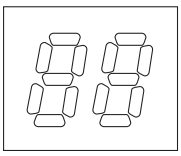




（出荷状態）

(2)点灯の場合(正常運転)

①運転モード表示

LED1 （点灯）

十の位：運転モード

表示	運転モード
O	停止･送風
C	冷房･ドライ
H	暖房
d	霜取

一の位：リレー出力

表示	圧縮機運転中	圧縮機	四方弁	電磁弁
0	—	—	—	—
1	—	—	—	ON
2	—	—	ON	—
3	—	—	ON	ON
4	—	ON	—	—
5	—	ON	—	ON
6	—	ON	ON	—
7	—	ON	ON	ON
8	ON	—	—	—
A	ON	—	ON	—

②異常猶予中の表示

（保護装置が作動して圧縮機停止）：猶予コードを表示します。

異常猶予期間中は、猶予コードを表示します。

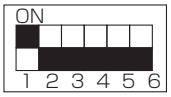
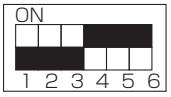
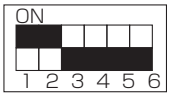
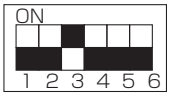
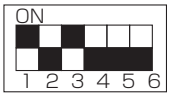
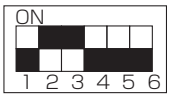
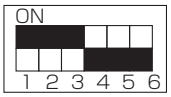
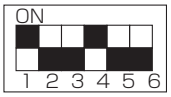
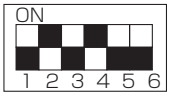
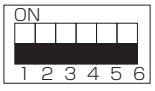
(3) 点滅の場合（保護装置が作動して運転停止）：点検モードを表示します。

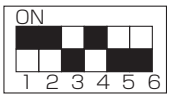
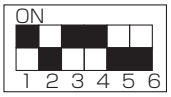
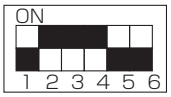
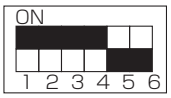
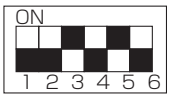
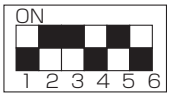
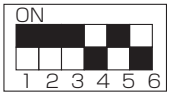
表示	点検ユニット
0	室外ユニット
1	室内ユニット(1)
2	室内ユニット(2)
3	室内ユニット(3)
4	室内ユニット(4)

表示	点検内容(電源投入時)
E8	室内-室外間通信 受信異常(室外ユニット)
E9	室内-室外間通信 送信異常(室外ユニット)
EA	内外接続線誤配線、室内ユニット台数オーバー
Eb	内外接続線誤配線(テレコ、はずれ)
Ec	立ち上げ時間オーバー
E0~E7	室外ユニット以外の通信異常
EE	室内･室外組合わせ異常

表示	点検内容(運転中)
U1	高圧圧力異常(63H作動)
U2	圧縮機シェル温度異常、冷媒不足異常
U3	圧縮機シェルサーミスタ(TH33)オープン/ショート 吐出管サーミスタ(TH4)オープン/ショート
U4	室外サーミスタ(TH3/TH32*1,TH6,7,8)オープン／ショート
U5	放熱板温度異常
U6	パワーモジュール異常
U7	低吐出スーパーヒート異常
UF	圧縮機過電流遮断(ロック)
UH	電流センサ異常
UL	低圧圧力異常(63L作動)
UP	圧縮機過電流遮断
P1~P8	室内ユニット異常
A0~A7	上位系(M-NET)通信異常

＜運転モニター機能＞ PU(Z)G-MP･M(K)(H)(L)A(3)の場合

SW2設定	表示内容	表示説明	単位
	液管温度(TH3) −40〜90	−40〜90 (0以下のとき"−"と温度を交互に表示) (例)−10のとき 0.5秒 0.5秒 2秒 −□ → 10 → □□	℃
	圧縮機シェル温度(TH33) 3〜217	3〜217 (100以上のとき百の位と十、一の位交互表示) (例)125のとき 0.5秒 0.5秒 2秒 □1 → 25 → □□	℃
	室外FAN出力ステップ 0〜16	0〜16	ステップ
	圧縮機ON/OFF回数 0〜9999	0〜9999 (100以上のとき百の位と十、一の位交互表示) (例)42500回のとき 0.5秒 0.5秒 2秒 □4 → 25 → □□	100回
	圧縮機運転積算時間 0〜9999	0〜9999 (100以上のとき百の位と十、一の位交互表示) (例)2450時間のとき 0.5秒 0.5秒 2秒 □2 → 45 → □□	10時間
	圧縮機運転電流 0〜50	0〜50 ※小数点以下の切り捨て	A
	圧縮機運転周波数 0〜2550	0〜2550 (100以上のとき 百、十の位と一、十分の一の位を交互に表示) (例)125のとき 0.5秒 0.5秒 2秒 (12.5Hz) □1 → 25 → □□	0.1Hz
	室外異常猶予コード履歴(1)	猶予コード表示 点滅:猶予中 点灯:猶予解除 異常猶予無しの場合は"00"	コード表示
	異常発生時の運転モード	異常停止した時の運転モード SW2の設定が下記のときのコードで表示します。 (SW2) 	コード表示

SW2設定	表示内容	表示説明	単位
	異常発生時の室外液管温度(TH3) −40〜90	−40〜90 (0以下のとき“−”と温度を交互に表示) (例)−15のとき　0.5秒　0.5秒　2秒 −□　→　15　→ □□	℃
	異常発生時の圧縮機運転電流 0〜50	0〜50	A
	エラーコード履歴(1)(最新) 異常号機･エラーコードを反転表示	エラーコード履歴無しの場合は “0□”⟷“−−”	コード表示
	エラーコード履歴(2) 異常号機･エラーコードを反転表示	エラーコード履歴無しの場合は “0□”⟷“−−”	コード表示
	室内ユニット(1号機)液配管温度 (TH2(1)) −39〜88	−39〜88 (0以下は“−”と温度を交互に表示)	℃
	室内ユニット(1号機)二相配管温度 (TH5(1)) −39〜88	−39〜88 (0以下は“−”と温度を交互に表示)	℃
	室内ユニット(2号機)液配管温度 (TH2(2)) −39〜88	−39〜88 (0以下は“−”と温度を交互に表示)	℃
	室内ユニット(2号機)二相配管温度 (TH5(2)) −39〜88	−39〜88 (0以下は“−”と温度を交互に表示)	℃

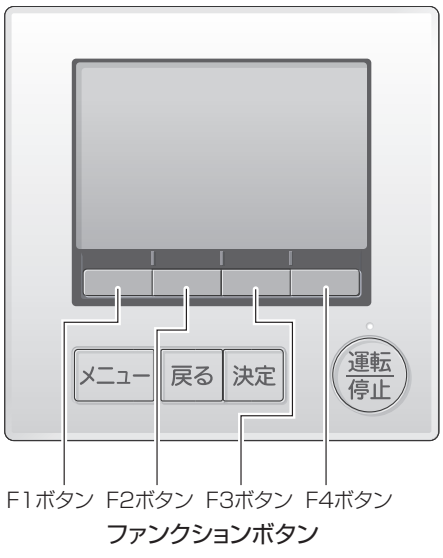
（3）リモコンによる自己診断

《MA スマートリモコン(PAR-48MA)の場合》

【運転中、電源投入時に不具合が生じた場合】

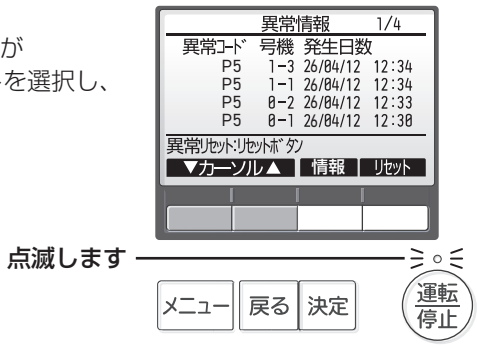
■異常情報表示

異常リスト画面に異常が発生しているユニットの一覧を表示します。

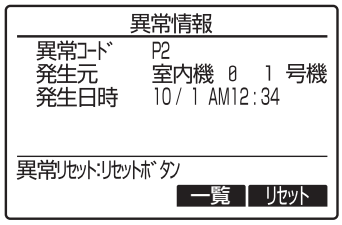


①異常リストを表示します。

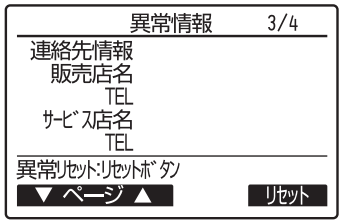
F1 F2 ボタンで異常が発生している室内ユニットを選択し、F3 ボタンを押します。



②異常コード、異常発生元の冷媒アドレス、ユニット号機、異常発生日時、形名、製造番号が表示されます。
※形名、製造番号はあらかじめ収集又は入力されている場合に表示されます。



③異常リスト画面でカーソルが一番下を選択している際に、F1 ボタンを押すことで次のページを表示します。最後から 2 ページ目に連絡先情報(販売店名、販売店の電話番号、サービス店名、サービス店の電話番号)が表示されます。
※あらかじめ入力されている場合に表示されます。
※最大ページ数は発生している異常の件数によって変化します。



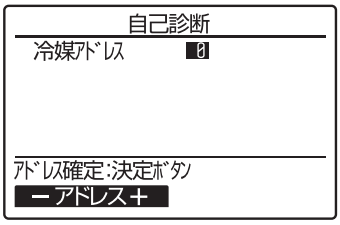
④点検コード検索サービスサイトの二次元コードが表示されます。



【メンテナンスサービス時の場合】

■自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。



①「自己診断」を選択します。

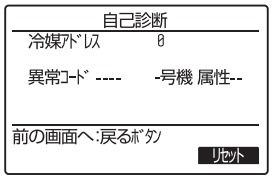
メインメニュー画面から「サービス」→「点検」→「診断」→「自己診断」を選択します。

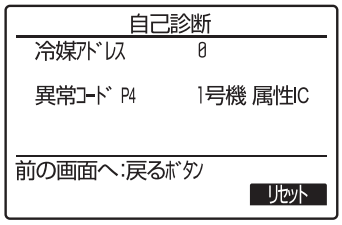
F1 F2 ボタンで「冷媒アドレス」を選択し、決定 ボタンを押します。

②「異常履歴」が表示されます。

異常コード・号機・属性が表示されます。

《異常履歴がない場合の画面例》

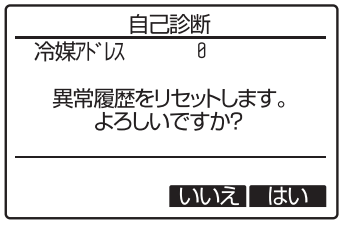




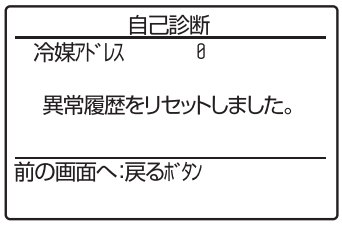
③「異常履歴」を消去します。

異常履歴が表示されている画面で、F4 ボタン(リセット)を押します。

F4 ボタン(はい)を押し、異常履歴を消去します。



消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」
ユニットから応答が無い場合は「対象ユニットが存在しません。」
を表示します。

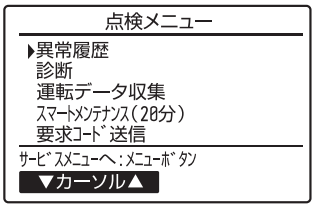


■異常履歴表示

リモコンが記憶している過去の異常履歴を確認できます。

①「異常履歴」を選択します。

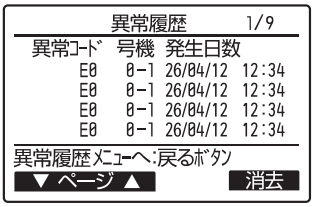
サービスメニュー画面から →「点検」→「異常履歴」→「異常履歴」を選択し、決定 ボタンを押します。



②「異常履歴」を確認します。

異常履歴を最大 36 件表示します。

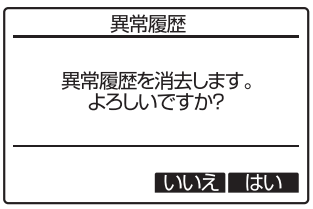
※各頁に4件ずつ表示され、1/9 ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。



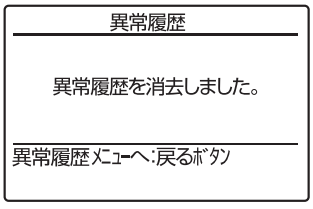
③「異常履歴」を消去します。

異常履歴が表示されている画面で、F4 ボタンを押します。

再度 F4 ボタンを押し、異常履歴を消去します。



④ 戻る ボタンを押し、「異常履歴メニュー」に戻ります。

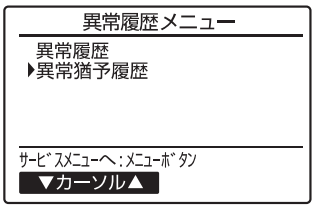


■異常猶予履歴表示

リモコンが記憶している過去の異常猶予履歴を確認できます。

①「異常猶予履歴」を選択します。

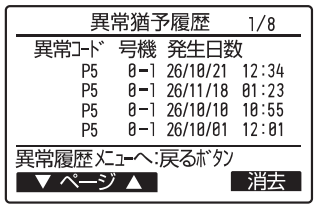
サービスメニュー画面から →「点検」→「異常履歴」→「異常猶予履歴」を選択し、決定ボタンを押します。



②「異常猶予履歴」を確認します。

異常猶予履歴を最大 32 件表示します。

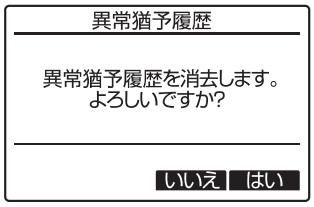
※各頁に４件ずつ表示され、1/8 ページの先頭の表示が最新の異常猶予履歴となります。



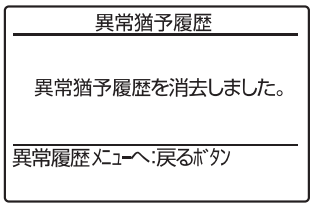
③「異常猶予履歴」を消去します。

異常猶予履歴が表示されている画面で、F4 ボタンを押します。

再度 F4 ボタンを押し、異常猶予履歴を消去します。



④戻るボタンを押し、「異常履歴メニュー」に戻ります。

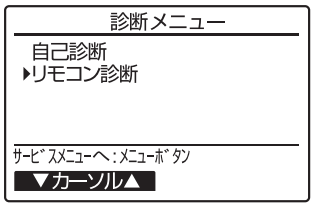


■リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行います。

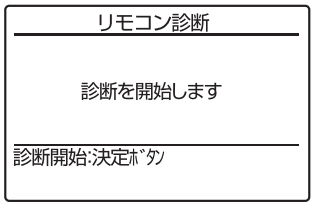
①「リモコン診断」を選択します。

メインメニュー画面で「サービス」→「点検」→「診断」→「リモコン診断」を選択し、決定ボタンを押します。



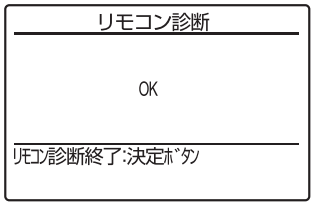
②リモコン診断を開始します。

決定ボタンを押し、リモコン診断を開始します。



③リモコン診断結果を表示します。

診断結果	対応
OK	リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。
E3、6832	伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラーを調査してください。
NG (ALL0、ALL1)	リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。
ERC (データエラー数)	データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。



④決定ボタンを押し、リモコン診断を終了します。

▶自動的に再立上げが行われます。

本機能を行う前にリモコン表示の有無を確認してください。
リモコンに正常な電圧(DC8.5 ～ 12V)が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。この場合はリモコン配線・室内ユニットを点検してください。

《MA スムースリモコン(PAR-26MA2)の場合》

【運転中に不具合が生じた場合】

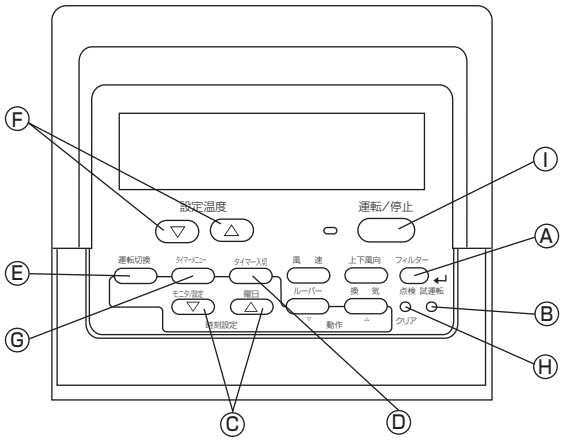
■異常情報表示

エアコンに不具合が生じると、室内ユニット、室外ユニットとも停止、“何が不具合なのか”デジタル表示します。

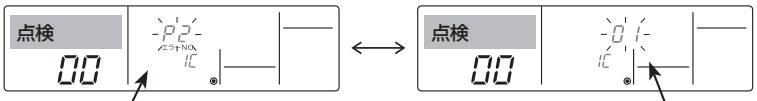
① 設定温度表示部に“点検”および冷媒アドレスが表示され下図のように点検コードとユニット号機を交互に表示します。
(異常発生ユニットが室外ユニットの場合はユニット号機は 00 となります。)

② 1 リモコンで複数冷媒のグループ制御方式を採用している場合の表示は、最初に不具合が発生 (点検コードを受信) したユニットの冷媒アドレスと点検コードを液晶表示します。

③ 点検コードの解除は① 運転／停止 ボタンを押してください。



(交互に表示)



異常コード 4 ケタまたは、2 ケタ

アドレス 3 ケタまたは、号機 2 ケタ

ただし、遠方・手元併用の遠方操作時および MELANS の上位コントローラーによる集中管理中はリモコンでの解除ができません。遠方 OFF で解除並びに上位コントローラーの 運転／停止 ボタンで解除してください。

【メンテナンスサービス時の場合】

■自己診断

各ユニットには、エラーコードを記憶する機能が付いていますので、リモコンでエラー表示解除、または電源が OFF されても、下記操作で最新の点検コードが検索できます。

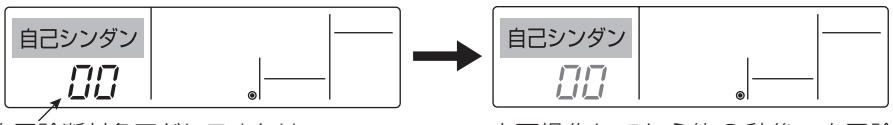
①自己診断モードに切り換えます。

Ⓗ 点検 ボタンを 3 秒以内に 2 回押すと、下図の表示になります。

②自己診断したいアドレスまたは、冷媒アドレス No. を合わせます。

Ⓕ ▽ △ (設定温度)ボタンを押すと 01 ～ 50 または、00 ～ 15 の間で前後するので自己診断したい自己診断対象アドレス No. または、冷媒アドレス No. に合わせます。

(交互に表示)

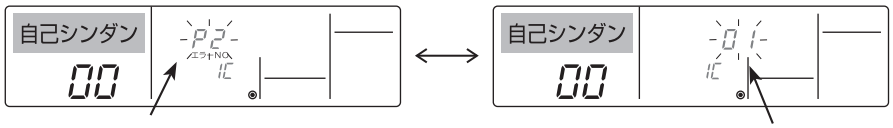


自己診断対象アドレスまたは、
自己診断対象冷媒アドレス

変更操作してから約 3 秒後、自己診断冷媒アドレスが点灯から点滅に変わり診断処理を開始します。

③診断結果表示

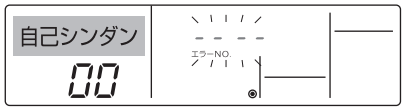
〈エラーコード履歴がある場合〉(エラーコードの内容は室内ユニットの据付工事説明書またはサービスハンドブックをご覧ください。)



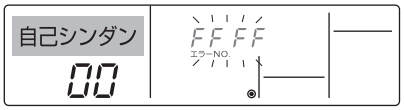
異常コード 4 ケタまたは、2 ケタ

アドレス 3 ケタまたは、号機 2 ケタ

〈異常履歴がない場合〉

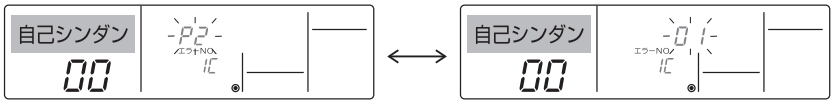


〈相手が存在しない場合〉



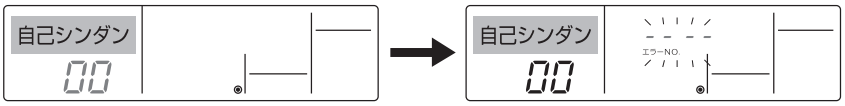
④異常履歴リセット操作

③の診断結果表示画面にて異常履歴を表示させます。



Ⓓ [タイマー入切] ボタンを連続で 3 秒以内に 2 度押しすると自己診断対象アドレスまたは、冷媒アドレスが点滅します。

異常履歴がリセットされた場合、下図の表示になります。なお、異常履歴リセットに失敗した場合は異常内容が再度表示されます。



⑤自己診断の解除

自己診断の解除には次の 2 とおりの方法があります。

Ⓗ [点検] ボタンを 3 秒以内に 2 度押す → 自己診断を解除し、自己診断前の状態になります。

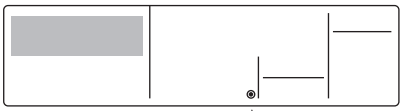
Ⓘ [運転／停止] ボタンを押す → 自己診断を解除し、室内ユニットが停止となります。
（操作禁止状態時、この操作は無効です。）

■リモコン診断

リモコンからの操作ができない場合、本機能により、リモコン診断を行ってください。

①まずは通電マークを確認してください。

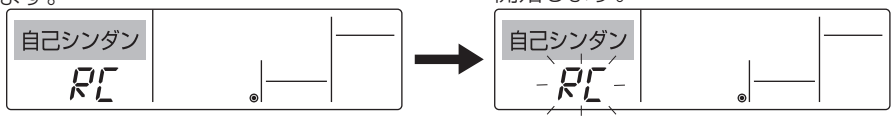
リモコンに正常な電圧(DC12V)が印加されていない場合、通電マークは消灯しています。通電マークが消えている場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。



②リモコン診断モードに移行

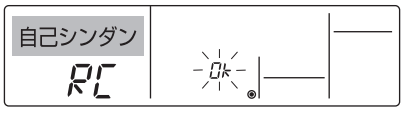
Ⓗ [点検] ボタンを 5 秒以上押し続けると、下図の表示になります。

Ⓐ [フィルター] ボタンを押すと、リモコンの診断を開始します。



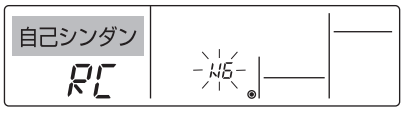
③リモコン診断結果

リモコン正常時



リモコンに問題はありませんので他の原因を調査してください。

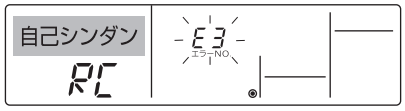
リモコン不良時 (異常表示 1)「NG」が点滅
→リモコン送受信回路不良



リモコンの交換が必要です。

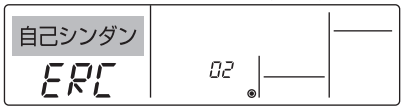
リモコン診断したリモコン以外に問題が考えられる場合

(異常表示 2)「E3」「6833」「6832」が点滅
→送信不可

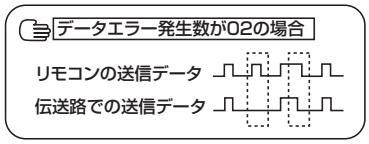


伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラーを調査してください。

(異常表示 3)「ERC」とデータエラー数を表示
→データエラーの発生



データエラー発生数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を意味します。この場合、ノイズ等の影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。



④リモコン診断の解除

Ⓗ [点検] ボタンを 5 秒以上押すと、リモコン診断を解除し、「PLEASE WAIT」、運転ランプが点滅し、約 30 秒後、リモコン診断前の状態に戻ります。

Ⅳ. 製品データ

1. 能力特性

（1）能力線図

■冷房能力係数　PU(Z)G-MP･MKA3, PU(Z)G-MP･MHA3, PU(Z)G-MP･MLA3, PU(Z)G-MP･MKA

※冷房標準条件 (室内側：20℃ DB/15℃ WB、室外側：35℃ＤＢ）を１としたときの係数を示します。

室内吸込空気湿球温度 <℃ WB>	能力補正係数 室外吸込空気乾球温度<℃ DB >										
	-5	0	5	10	15	20	25	30	35	40	43
8	0.92	0.92	0.91	0.88	0.86	0.84	0.81	0.78	0.73	0.66	0.63
10	0.98	0.98	0.97	0.95	0.93	0.91	0.88	0.85	0.81	0.74	0.70
12	1.06	1.06	1.05	1.03	1.01	0.99	0.96	0.93	0.89	0.82	0.78
14	1.12	1.12	1.11	1.10	1.08	1.06	1.03	1.00	0.97	0.90	0.85
15	1.15	1.15	1.14	1.13	1.11	1.09	1.07	1.04	1.00	0.93	0.88
16	1.18	1.18	1.18	1.17	1.15	1.13	1.10	1.07	1.04	0.97	0.92
18	1.26	1.26	1.25	1.24	1.22	1.20	1.18	1.15	1.12	1.05	1.00
20	1.31	1.31	1.31	1.30	1.28	1.26	1.25	1.22	1.19	1.12	1.06
22	1.38	1.38	1.38	1.37	1.35	1.33	1.32	1.29	1.27	1.20	1.14

■冷房消費電力係数　PU(Z)G-MP･MKA3, PU(Z)G-MP･MHA3, PU(Z)G-MP･MLA3, PU(Z)G-MP･MKA

※冷房標準条件 (室内側：20℃ DB/15℃ WB、室外側：35℃ＤＢ）を１としたときの係数を示します。

室内吸込空気湿球温度 <℃ WB>	消費電力補正係数 室外吸込空気乾球温度<℃ DB >										
	-5	0	5	10	15	20	25	30	35	40	43
8	0.71	0.71	0.70	0.71	0.72	0.76	0.79	0.85	0.91	0.98	1.03
10	0.73	0.73	0.72	0.73	0.75	0.78	0.82	0.88	0.94	1.01	1.06
12	0.74	0.74	0.74	0.75	0.77	0.80	0.84	0.90	0.96	1.03	1.08
14	0.75	0.76	0.76	0.77	0.79	0.83	0.87	0.92	0.99	1.06	1.11
15	0.77	0.77	0.77	0.78	0.80	0.83	0.88	0.93	1.00	1.07	1.12
16	0.77	0.77	0.78	0.79	0.82	0.85	0.89	0.95	1.01	1.09	1.13
18	0.79	0.79	0.80	0.81	0.84	0.87	0.92	0.97	1.04	1.11	1.16
20	0.81	0.81	0.82	0.83	0.87	0.90	0.95	1.00	1.07	1.14	1.19
22	0.83	0.83	0.84	0.85	0.89	0.92	0.98	1.02	1.10	1.17	1.22

注）本線図は、圧縮機運転周波数一定の場合を示します。
室内湿球温度低下時は、室内機の熱交換器の凍結を防止するため、圧縮機周波数を低下させ蒸発温度を低下させないように運転します。
そのため上記能力・入力線図で読みとった値を下記の補正率で補正してください。

室内 WB	8℃	9℃	10℃	11℃	12℃	13℃	15℃
能力補正率	81.6%	88.4%	98.4%	100%	100%	100%	100%
入力補正率	45.6%	54.1%	72.8%	100%	100%	100%	100%

■暖房能力係数　PU(Z)G-MP･MKA3, PU(Z)G-MP･MHA3, PU(Z)G-MP･MLA3, PU(Z)G-MP･MKA

室内吸込空気湿球温度 <℃ WB>	能力補正係数																	
	※暖房標準条件 (室内側：20℃ DB、室外側：7℃ DB/6℃ WB) の定格暖房能力を基準																	
	室外吸込空気湿球温度 <℃ WB>																	
	-12	-11	-10	-9	-7	-6	-5	-3	-1	1	3	4	6	8	10	12	14	16
10	0.69	0.71	0.73	0.75	0.80	0.82	0.84	0.89	0.93	0.97	1.02	1.07	1.07	1.12	1.17	1.23	1.27	1.31
15	0.60	0.62	0.64	0.67	0.72	0.74	0.76	0.81	0.86	0.91	0.96	0.99	1.03	1.08	1.13	1.19	1.23	1.27
20	0.54	0.56	0.59	0.61	0.66	0.69	0.71	0.76	0.81	0.86	0.91	0.93	1.00	1.05	1.10	1.15	1.19	1.24
25	0.43	0.46	0.49	0.51	0.57	0.60	0.63	0.68	0.74	0.79	0.84	0.84	0.95	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20

■暖房消費電力係数　PU(Z)G-MP･MKA3, PU(Z)G-MP･MHA3, PU(Z)G-MP･MLA3, PU(Z)G-MP･MKA

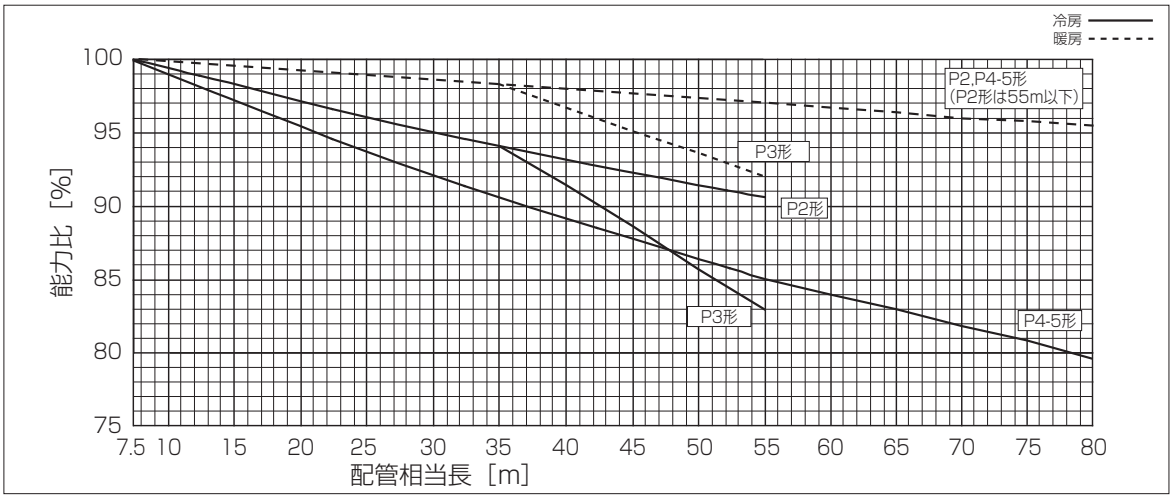
室内吸込空気湿球温度 <℃ WB>	消費電力補正係数																	
	※暖房標準条件 (室内側：20℃ DB、室外側：7℃ DB/6℃ WB) の定格暖房能力を基準																	
	室外吸込空気湿球温度 <℃ WB>																	
	-12	-11	-10	-9	-7	-6	-5	-3	-1	1	3	4	6	8	10	12	14	16
10	0.57	0.59	0.60	0.62	0.65	0.67	0.68	0.71	0.75	0.78	0.81	0.81	0.87	0.90	0.94	0.98	0.98	1.02
15	0.61	0.63	0.65	0.66	0.70	0.72	0.73	0.77	0.80	0.84	0.87	0.88	0.94	0.97	1.01	1.05	1.06	1.10
20	0.66	0.68	0.70	0.72	0.75	0.77	0.79	0.83	0.87	0.91	0.95	0.95	1.00	1.04	1.08	1.12	1.15	1.18
25	0.68	0.71	0.73	0.75	0.79	0.81	0.84	0.88	0.92	0.96	1.01	1.01	1.07	1.12	1.16	1.20	1.26	1.26

注）室外吸込み空気湿球温度 1℃ WB 未満においては、着霜を考慮しない場合の能力 (ピーク時)
注）上記特性・係数は、基準に対して圧縮機周波数一定の場合を示します。

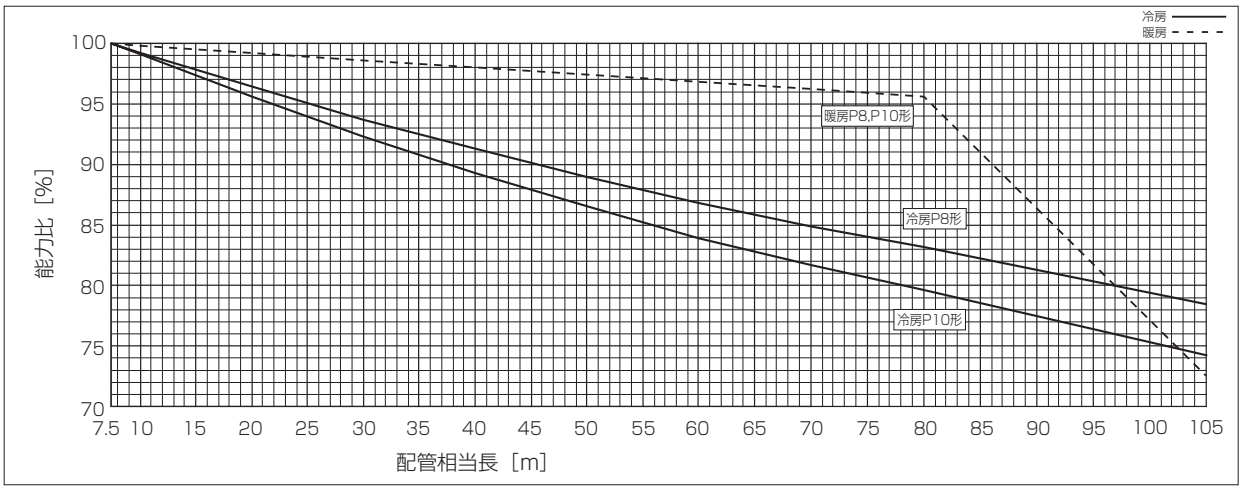
（2）配管長による能力変化

配管相当長［m］＝ 実長［m］＋ 0.3［m］× ベンド数

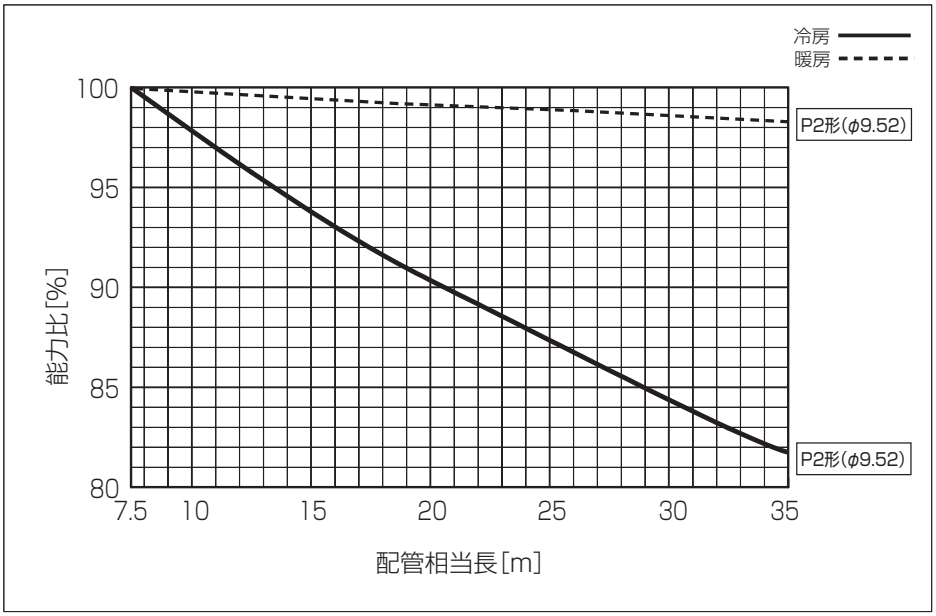
■ PU(Z)G-MP2MKA3, PU(Z)G-MP3MHA3, PU(Z)G-MP4,5MLA3 形 (通常配管径) <図 1>



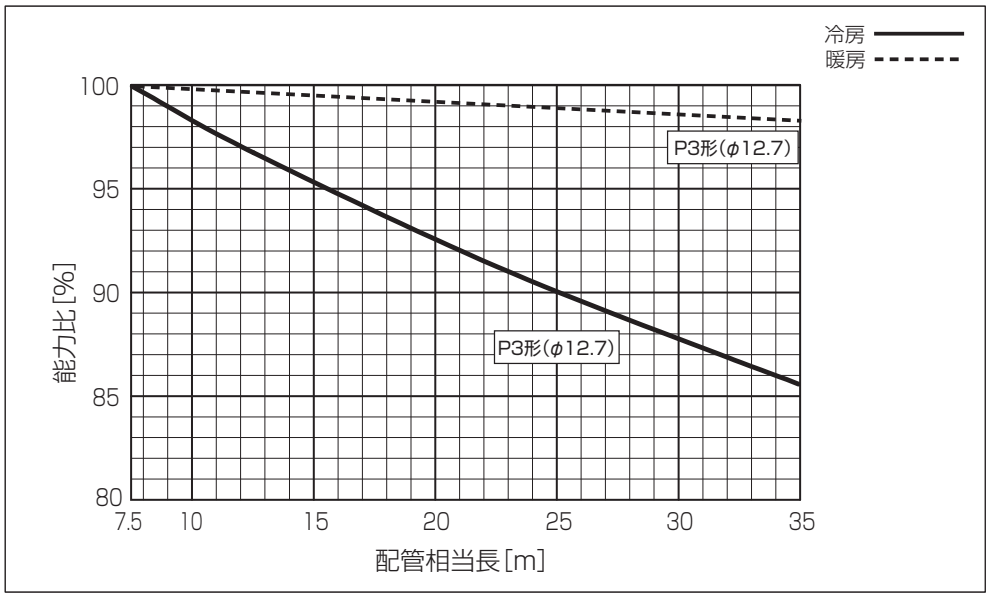
■ PU(Z)G-MP8,10MKA 形 (通常配管) <図 2>



■ PU(Z)G-MP2MKA3 形 (ガス管径が 1 ランクダウン時) <図 3>

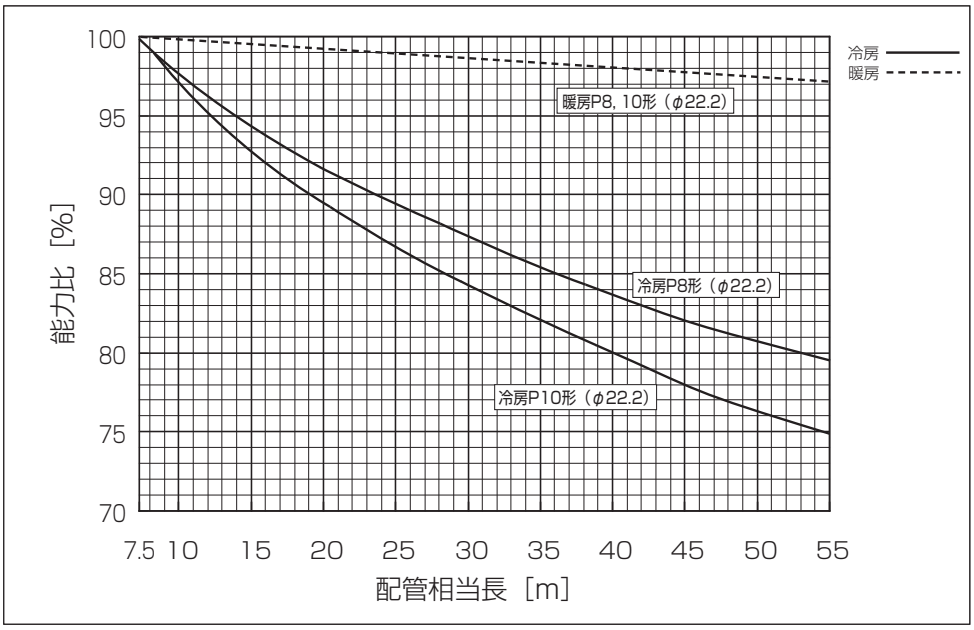


■ PU(Z)G-MP3MHA3 形 (ガス管径が 1 ランクダウン時) <図 4>

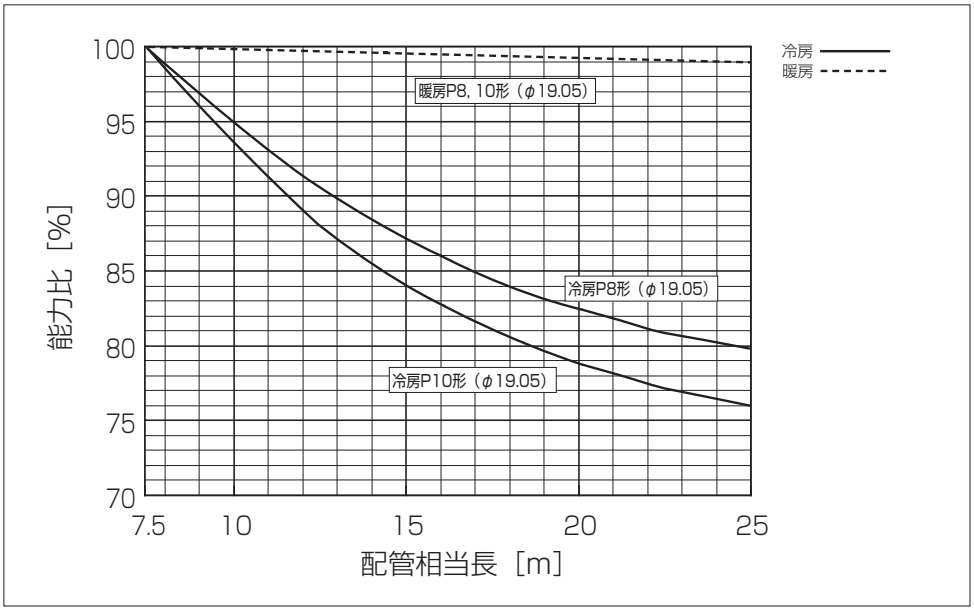


＜注意＞ ● P4,5 形のガス管径の 1 ランクダウンはできません。
● P2 形、P4,5 形のガス管径が 1 ランクアップ時は、標準サイズの能力線図＜図 1＞により算出してください。
（P3 形のガス管径の 1 ランクアップはできません。）

■ PU(Z)G-MP8,10MKA 形 (ガス管径が 1 ランクダウン時) <図 5>



■ PU(Z)G-MP8,10MKA 形 (ガス管径が 2 ランクダウン時) <図 6>



P10 形ガス管φ 19.05 は
O 材の肉厚 1.2 ㎜または
½H、H 材を使用してください。

（3）運転状態確認

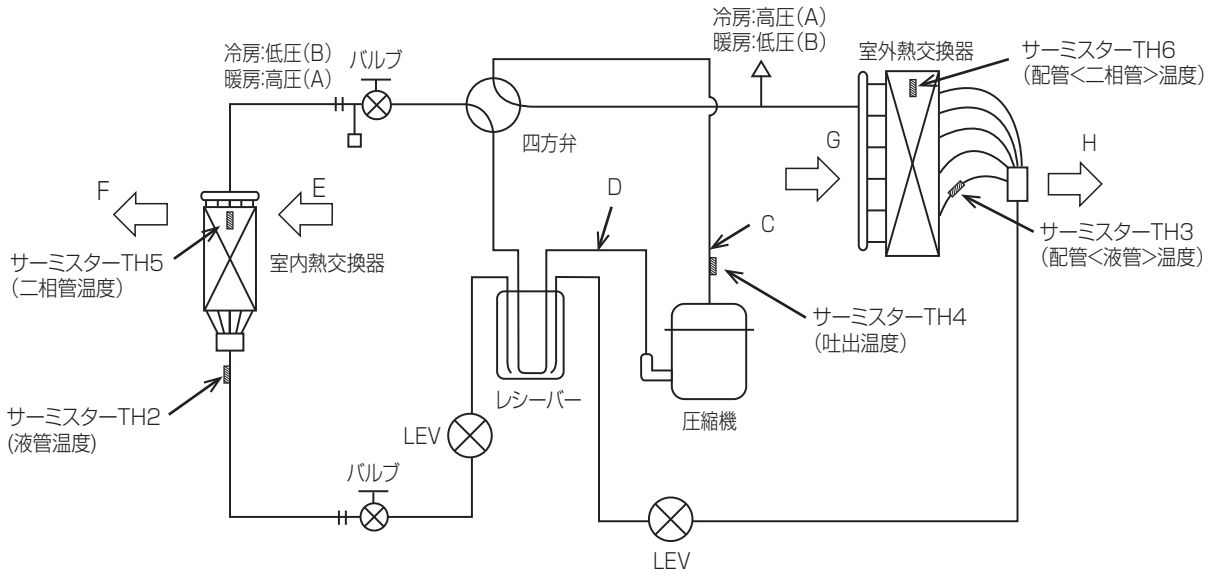
■測定ポイントと項目について

測定ポイントの項目および標準運転条件付近の圧力と温度を表、図に示します。
表の測定方法を参考にして温度・圧力を測定してください。
測定時間は冷媒回路が安定してから（30 分～ 1 時間後）測定されるよう注意してください。

	測定項目	標準運転条件付近の圧力･温度	測定方法･備考
A	高圧圧力(MPa)	冷房2.3～3.0　暖房2.0～3.2	高圧側チェックバルブに圧力計を接続
B	低圧圧力(MPa)	0.55～1.0	低圧側チェックバルブに圧力計を接続
C	吐出管温度(℃)	50～100	配管表面温度計にて測定
D	吸入管温度(℃)	−2～+18	配管表面温度計にて測定
E	室内吸込温度(℃)	冷房20　暖房20	リモコンへ表示可能
F	室内吹出温度(℃)	冷房5～15 暖房30～50	温度計にて測定
G	室外吸込温度(℃)	冷房35　暖房7	温度計にて測定
H	室外吹出温度(℃)	冷房40～50　暖房0～5	温度計にて測定

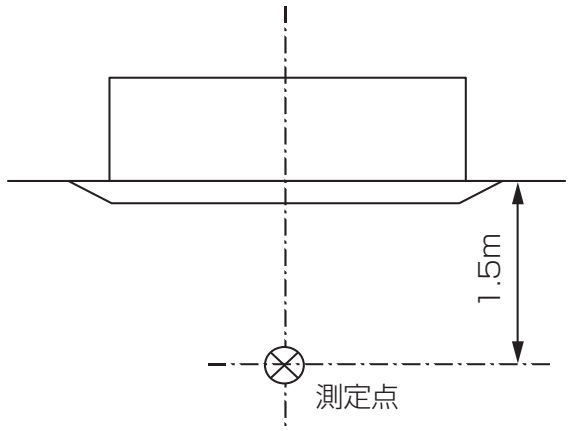
注:インバーター機種のため、圧縮機の運転周波数により運転状態が変動します。

●本図は基本冷媒回路図を示します。

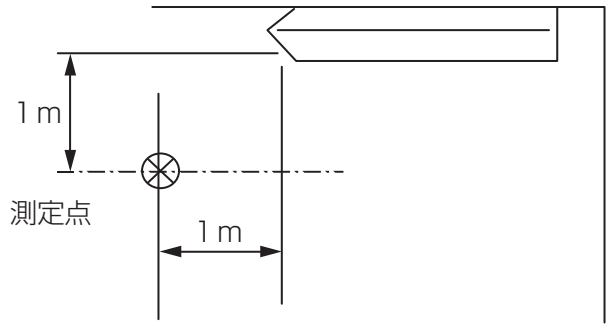


2．運転音 (SPL) 測定位置

■PLZG-P･MHA

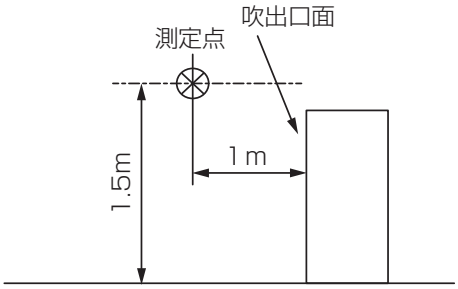


■PCZG-P･MKA14/MBA10/MHA15



室外ユニット

■PU(Z)G-MP･MKA3/MHA3/MLA3
PU(Z)G-MP･MKA



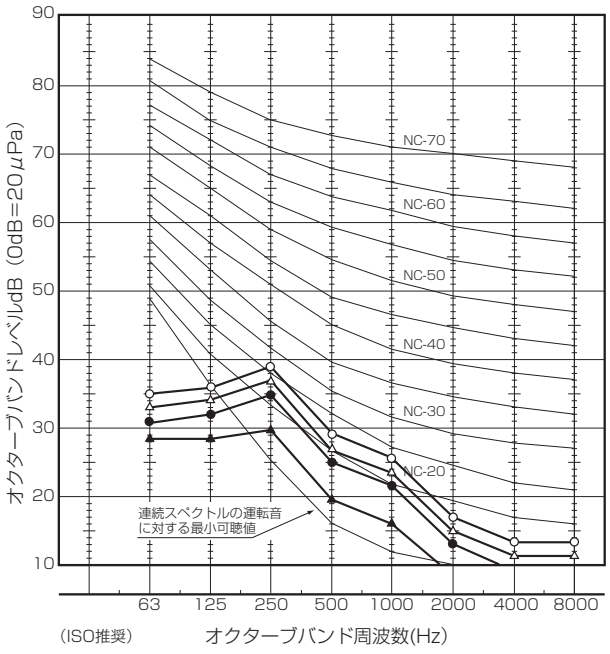
3．運転音特性

（1）室内ユニット (SPL)

■4方向天井カセット形（i- スクエアタイプ）

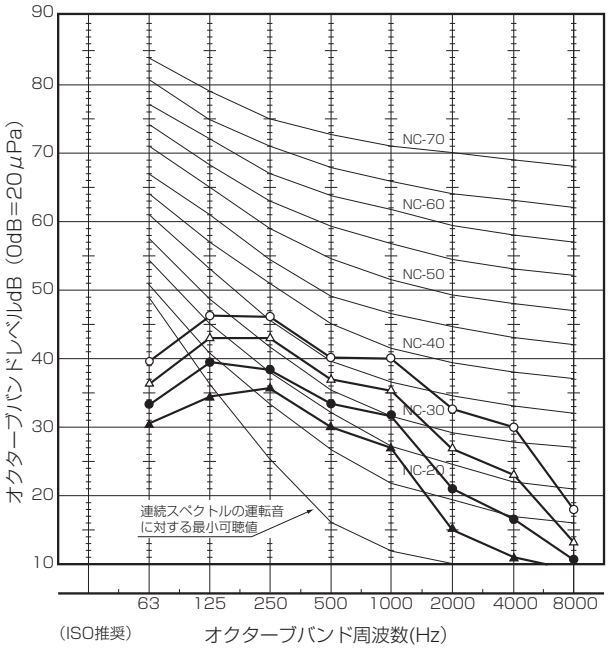
PLZG-P2MHA

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	34.9	36.2	39.0	29.1	25.6	16.9	13.4	13.5	33
△	中	32.9	34.2	37.0	27.1	23.6	14.9	11.4	11.5	31
●	弱	30.9	32.2	35.0	25.1	21.6	12.9	9.4	9.5	29
▲	静粛	28.6	28.4	29.8	19.6	16.1	8.8	8.3	8.8	24



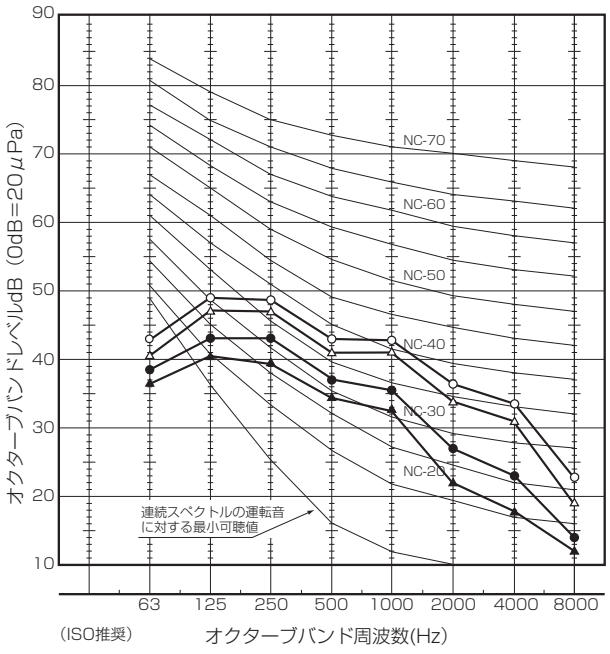
PLZG-P3MHA

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	39.7	46.3	46.1	40.2	40.0	32.8	29.9	18.2	44
△	中	36.5	42.9	42.9	37.0	35.6	27.2	22.9	13.2	40
●	弱	33.4	39.6	38.7	33.4	31.8	20.9	16.7	10.9	36
▲	静粛	30.4	34.6	35.3	30.1	27.1	15.2	11.3	9.8	32



PLZG-P4MHA，PLZG-P5MHA

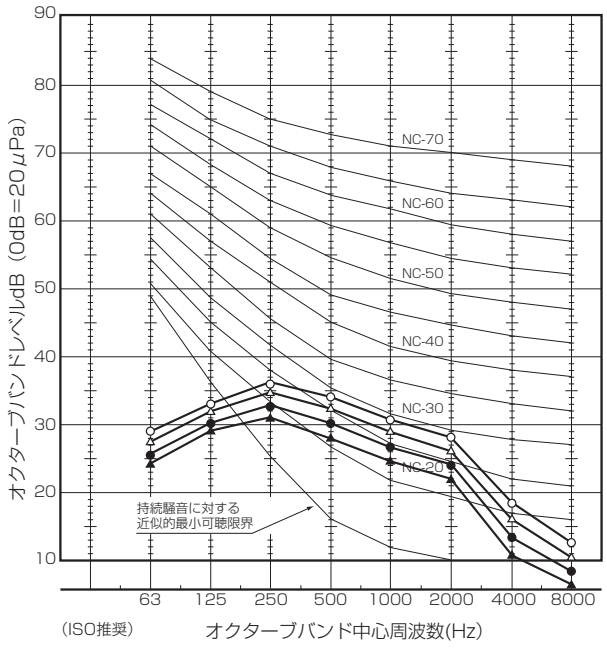
記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	42.8	49.2	48.6	43.2	42.9	36.6	33.7	22.7	47
△	中	40.7	47.3	47.1	41.2	41.0	33.8	30.9	19.2	45
●	弱	38.5	42.9	42.9	37.0	35.6	27.2	22.9	14.2	40
▲	静粛	36.4	40.6	39.7	34.4	32.8	21.9	17.7	11.9	37



■天吊形

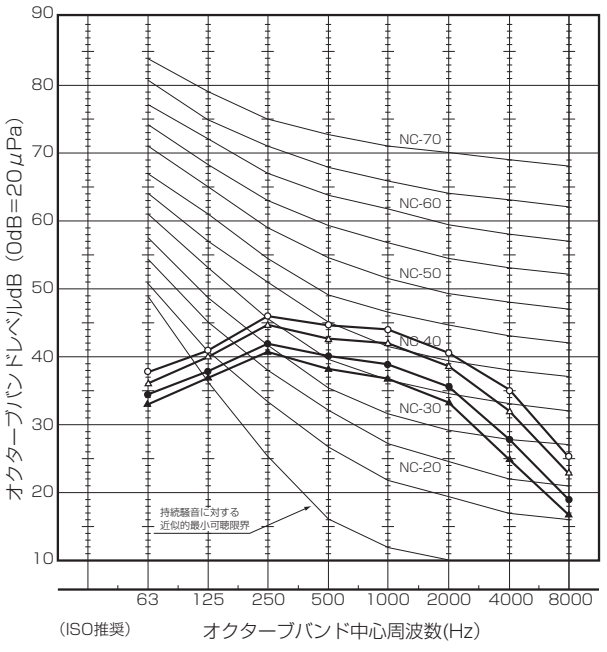
PCZG-P2MKA14

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	29.2	33.0	35.8	34.2	30.7	28.2	18.6	12.5	36
△	中	27.4	31.7	34.3	32.2	28.7	26.1	16.0	10.4	34
●	弱	25.7	30.2	32.7	30.1	26.7	23.9	13.4	8.3	32
▲	静粛	23.9	28.8	31.1	28.0	24.6	21.7	10.8	6.3	30



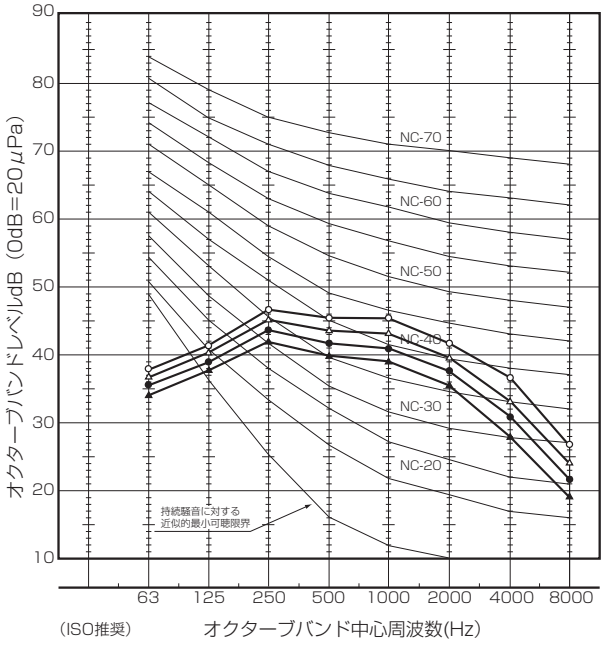
PCZG-P3MKA14

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	37.3	40.9	45.9	44.4	44.1	40.5	35.1	25.2	48
△	中	36.1	39.8	44.4	42.7	42.0	38.4	32.1	22.8	46
●	弱	34.2	37.9	42.0	40.0	38.9	35.3	27.7	19.1	43
▲	静粛	32.8	36.6	40.4	38.2	36.8	33.2	24.9	16.7	41



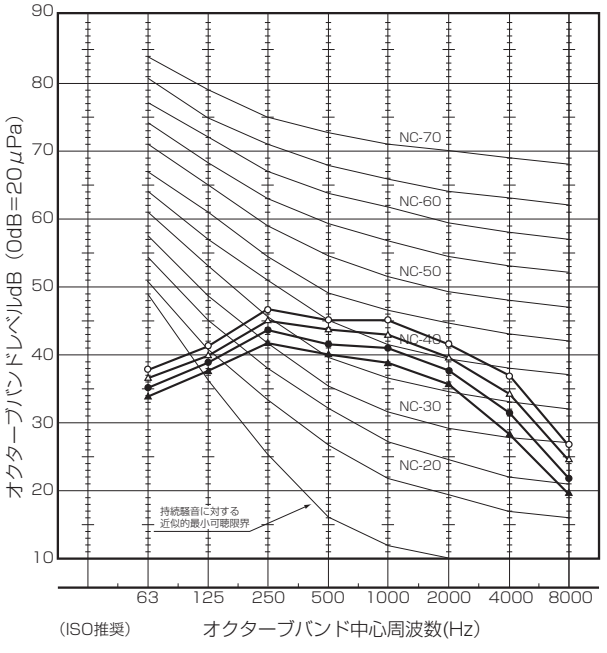
PCZG-P4MKA14

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	37.7	41.2	46.5	45.2	45.1	41.6	36.8	26.5	49
△	中	36.6	40.2	45.1	43.5	43.1	39.5	33.8	24.1	47
●	弱	35.3	39.0	43.5	41.7	41.0	37.4	30.8	21.6	45
▲	静粛	34.0	37.7	42.0	39.9	38.9	35.3	28.0	19.2	43



PCZG-P5MKA14

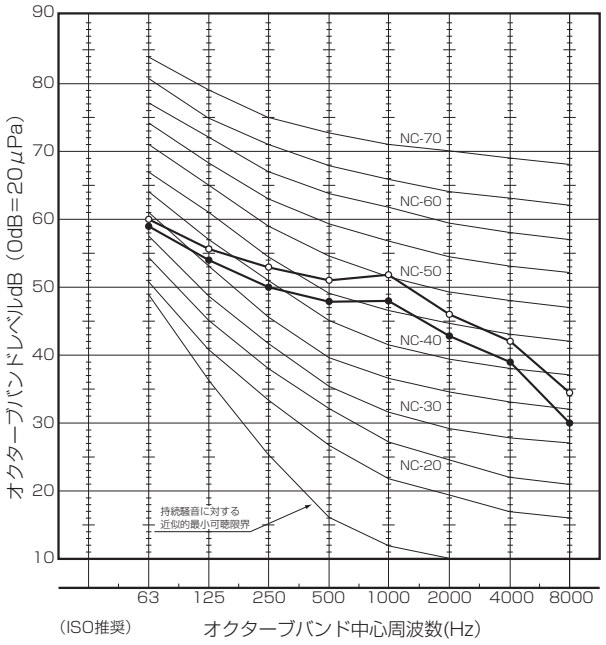
記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	37.7	41.2	46.5	45.1	45.1	41.6	36.8	26.5	49
△	中	36.3	39.8	44.9	43.4	43.1	39.5	34.1	24.2	47
●	弱	35.1	38.7	43.4	41.6	41.0	37.5	31.2	21.8	45
▲	静粛	33.8	37.5	41.8	39.9	38.9	35.4	28.2	19.4	43



■厨房用

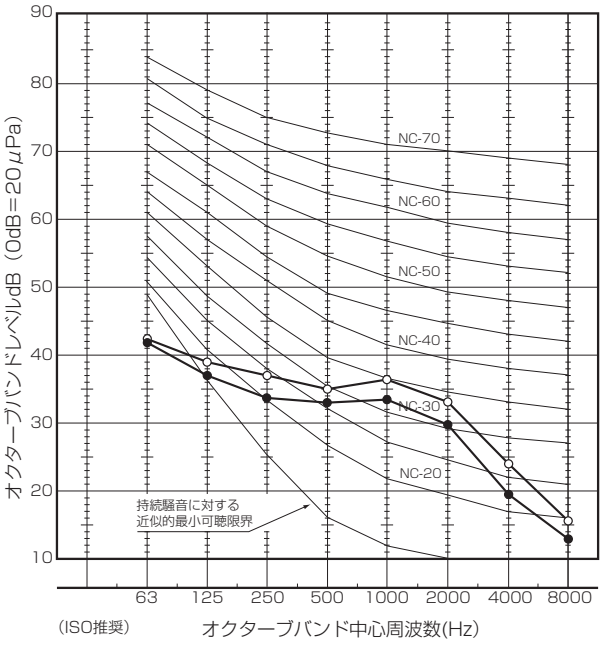
PCZG-P8,10MBA10

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	60.0	55.6	52.9	51.0	51.8	46.0	42.0	34.5	55
●	弱	59.0	54.0	50.0	47.9	48.0	42.8	39.0	30.0	52



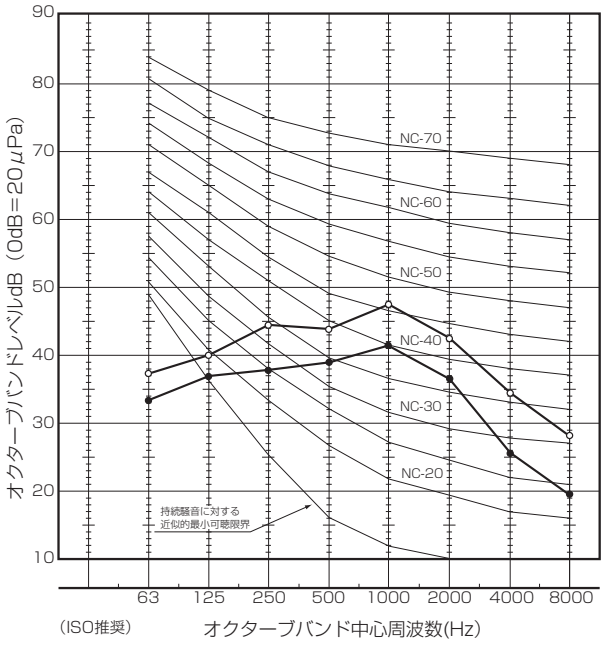
PCZG-P2MHA15

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	42.5	38.9	37.1	35.1	36.4	33.3	24.1	15.7	40
●	弱	41.7	36.9	33.7	33.0	33.5	29.8	19.6	12.8	37



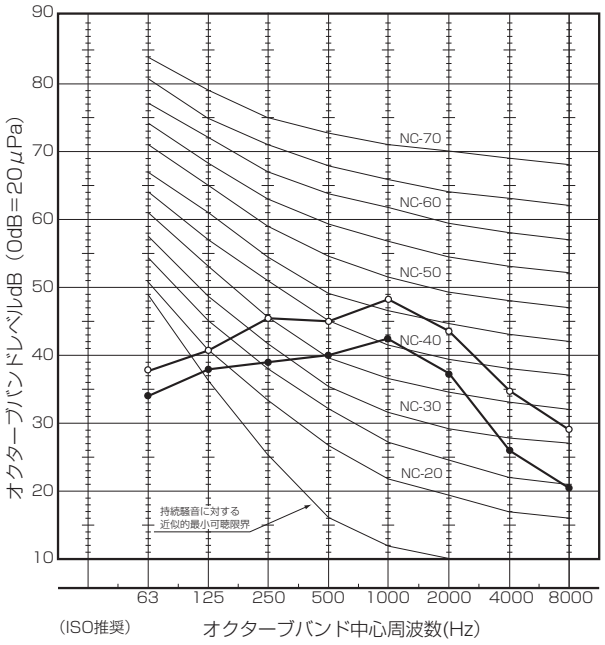
PCZG-P3,4MHA15

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	37.5	40.0	44.5	44.0	47.5	42.5	34.5	28.0	50
●	弱	33.5	37.0	38.0	39.0	41.5	36.5	25.5	19.5	44



PCZG-P5MHA15

記号	風量	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	38.5	41.0	45.5	45.0	48.5	43.5	35.5	29.0	51
●	弱	34.5	38.0	39.0	40.0	42.5	37.5	26.5	20.5	45

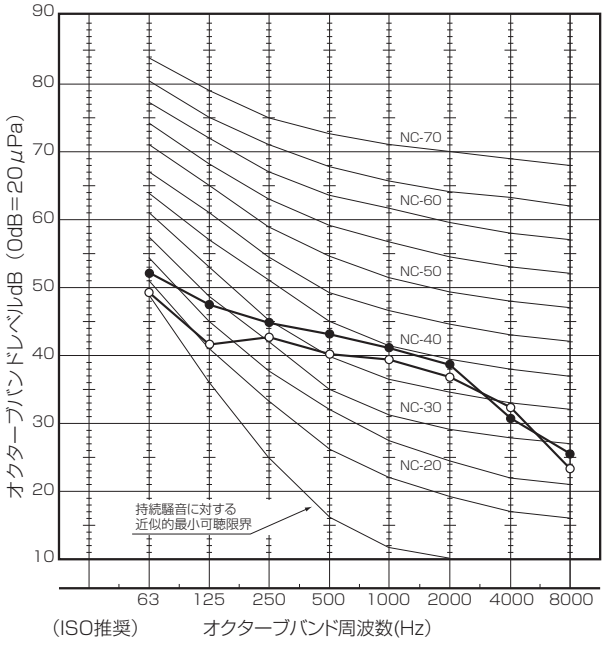


（2）室外ユニット (SPL)

PU(Z)G-MP2MKA3

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

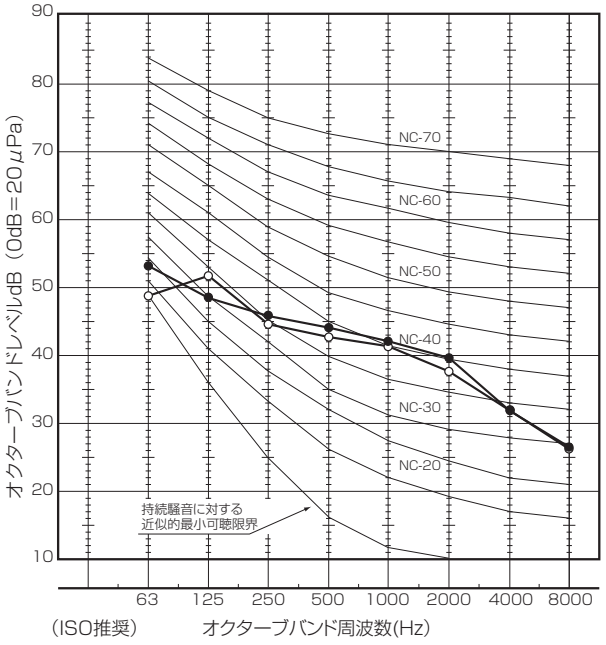
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	49.3	41.6	42.7	40.2	39.4	36.8	32.3	23.3	44
●	暖房	52.2	47.5	44.8	43.1	41.1	38.7	30.8	25.5	46



PU(Z)G-MP3MHA3

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

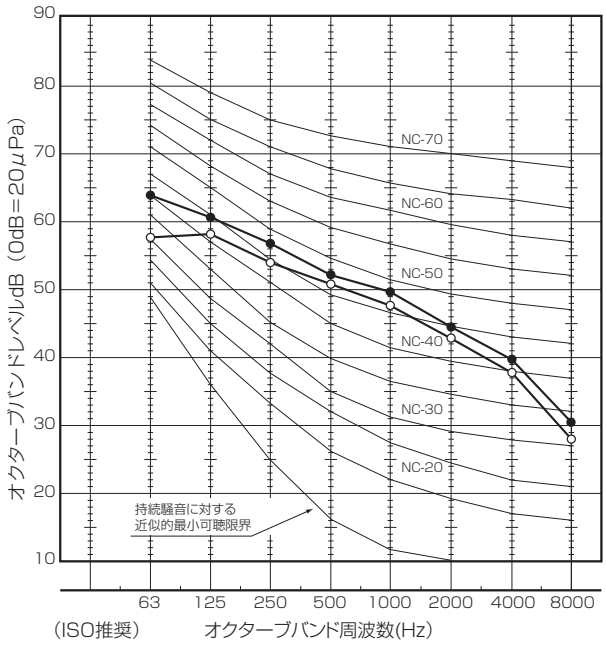
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	48.8	51.7	44.6	42.7	41.3	37.6	31.7	26.2	46
●	暖房	53.2	48.5	45.8	44.1	42.1	39.7	31.8	26.5	47



PU(Z)G-MP4MLA3

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

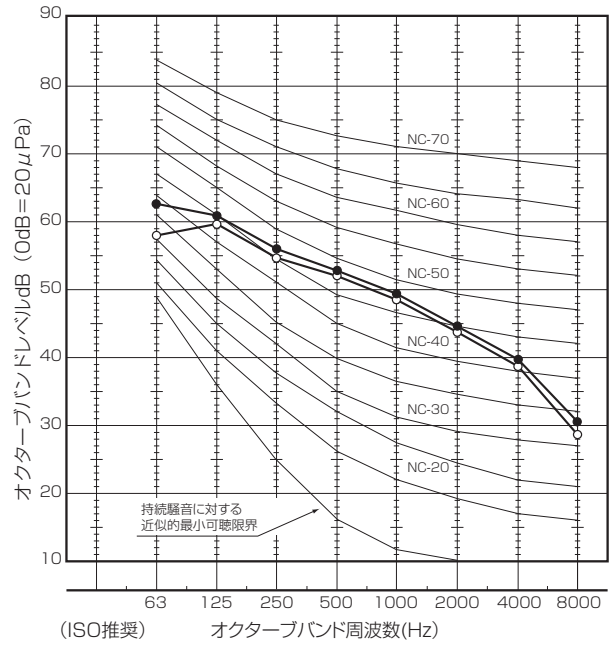
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	57.7	58.2	54.0	50.8	47.6	42.8	37.8	28.0	53
●	暖房	64.0	60.6	56.8	52.1	49.7	44.5	39.7	30.4	55



PU(Z)G-MP5MLA3

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

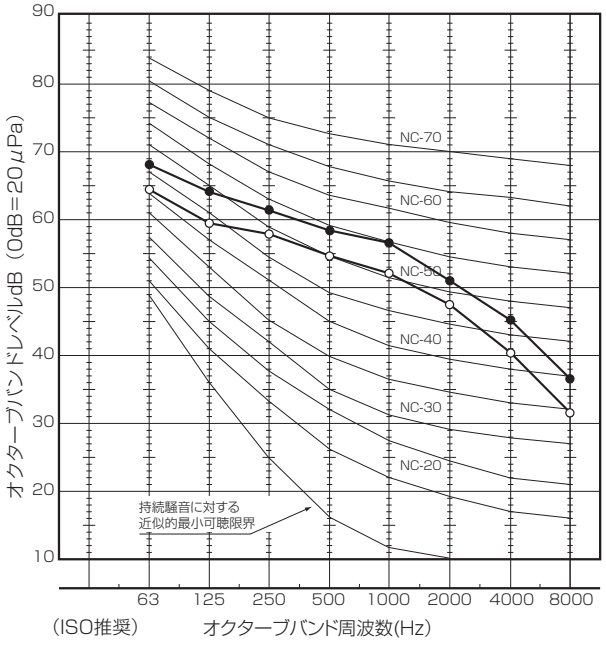
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	58.0	59.7	54.7	52.0	48.5	43.7	38.7	28.7	54
●	暖房	62.6	60.9	56.0	52.8	49.4	44.5	39.7	30.5	55



PU(Z)G-MP8MKA

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

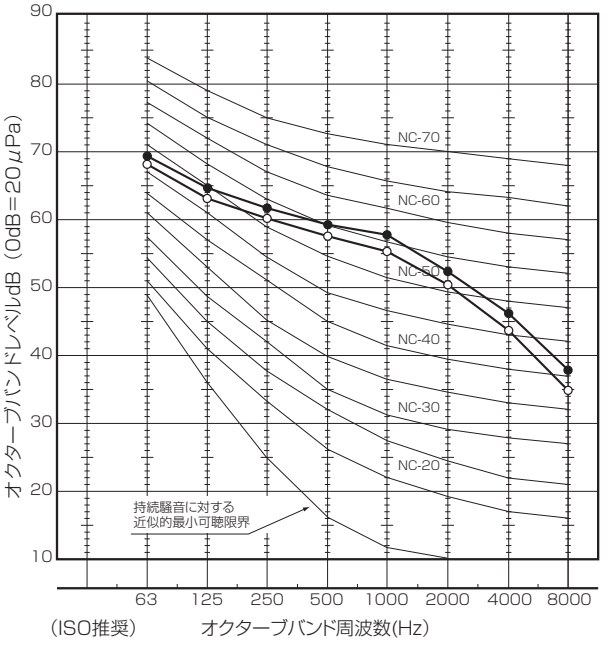
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	64.4	59.5	57.9	54.7	52.1	47.5	40.4	31.6	57
●	暖房	68.1	64.2	61.3	58.4	56.6	51.0	45.2	36.6	61



PU(Z)G-MP10MKA

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	68.2	63.1	60.2	57.6	55.3	50.4	43.7	34.9	60
●	暖房	69.4	64.7	61.7	59.3	57.8	52.3	46.2	37.9	62



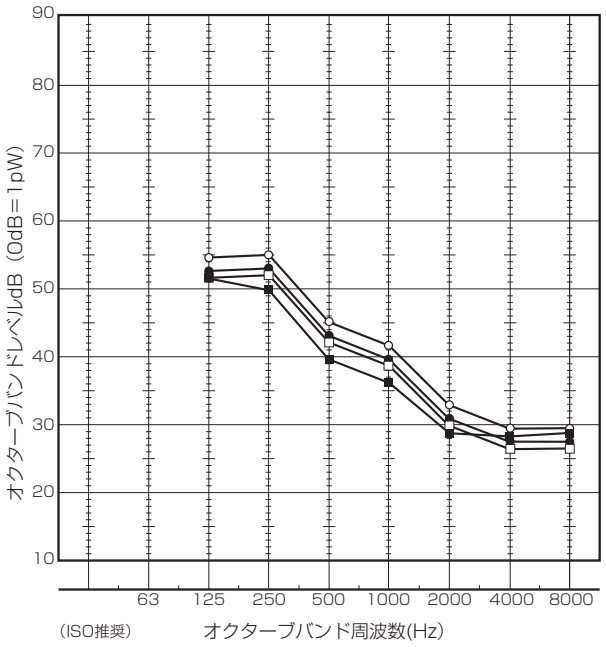
3．運転音特性

（3）室内ユニット (PWL)

■4方向天井カセット形（i- スクエアタイプ）

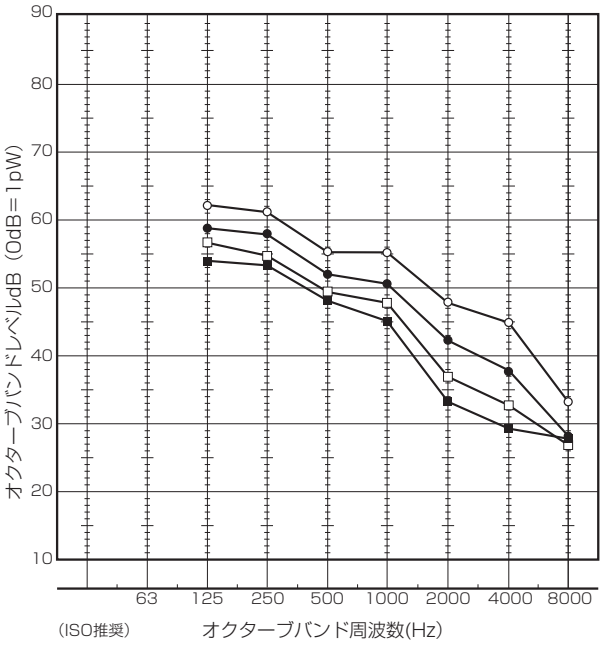
PLZG-P2MHA

記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	54.6	55.0	45.1	41.6	32.9	29.4	29.5	49
●	中	52.6	53.0	43.1	39.6	30.9	27.4	27.5	47
□	弱	51.6	52.0	42.1	38.6	29.9	26.4	26.5	46
■	静粛	51.5	49.8	39.6	36.1	28.8	28.3	28.8	44



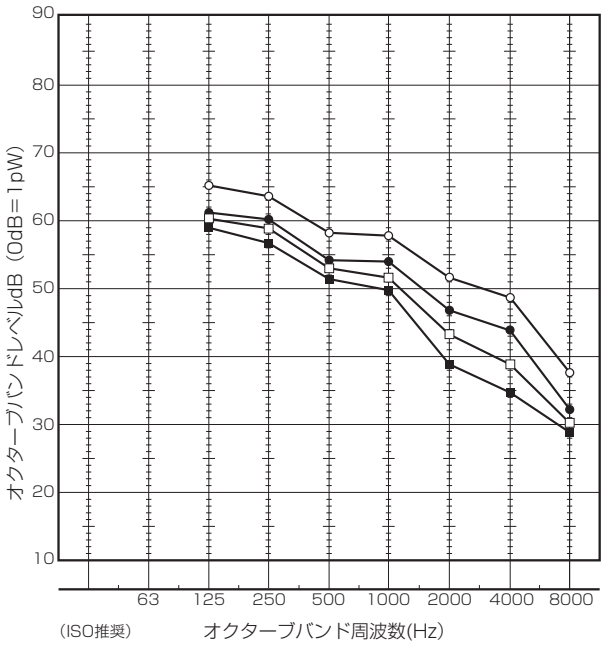
PLZG-P3MHA

記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	62.2	61.1	55.2	55.0	47.8	44.9	33.2	59
●	中	58.8	57.9	52.0	50.6	42.2	37.9	28.2	55
□	弱	56.6	54.7	49.4	47.8	36.9	32.7	26.9	52
■	静粛	54.0	53.3	48.1	45.1	33.2	29.3	27.8	50



PLZG-P4MHA，PLZG-P5MHA

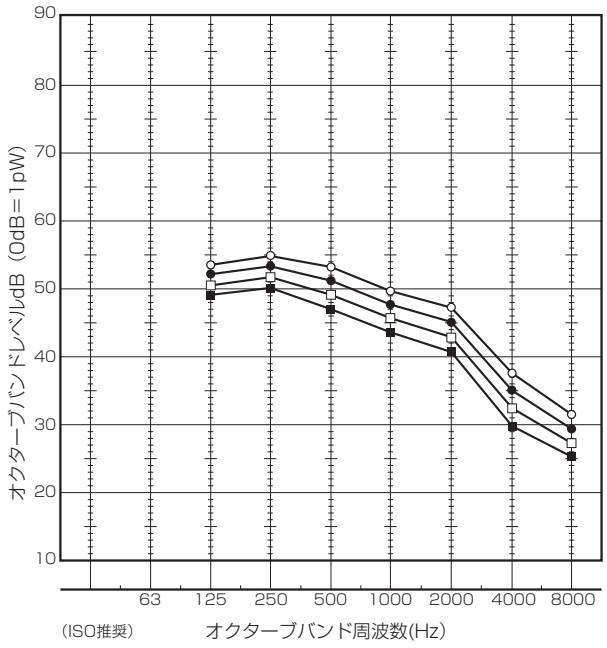
記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	65.1	63.6	58.2	57.9	51.6	48.7	37.7	62
●	中	61.2	60.1	54.2	54.0	46.8	43.9	32.2	58
□	弱	60.3	58.9	53.0	51.6	43.2	38.9	30.2	56
■	静粛	59.0	56.7	51.4	49.8	38.9	34.7	28.9	54



■天吊形

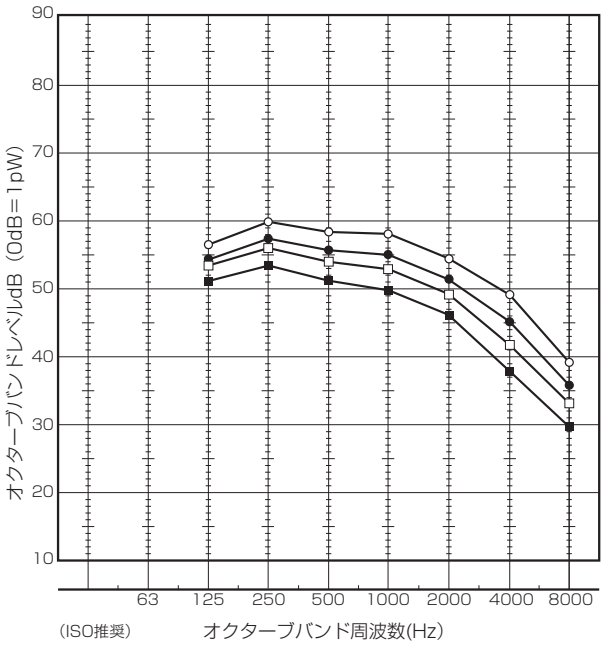
PCZG-P2MKA14

記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	53.5	54.8	53.2	49.7	47.2	37.6	31.5	55
●	中	52.1	53.3	51.2	47.7	45.1	35.0	29.4	53
□	弱	50.5	51.7	49.1	45.7	42.9	32.4	27.3	51
■	静粛	49.1	50.1	47.0	43.6	40.7	29.8	25.3	49



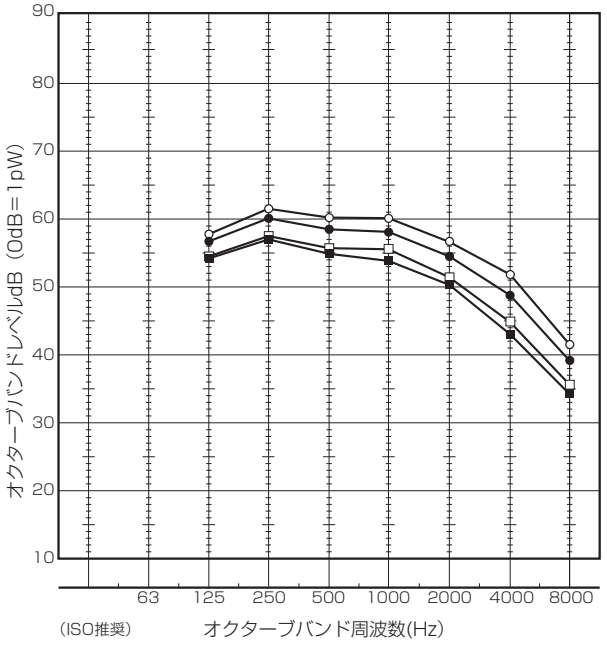
PCZG-P3MKA14

記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	56.5	59.9	58.4	58.1	54.5	49.1	39.2	62
●	中	54.3	57.4	55.7	55.0	51.4	45.1	35.8	59
□	弱	53.4	56.0	54.0	52.9	49.3	41.7	33.1	57
■	静粛	51.1	53.4	51.2	49.8	46.2	37.9	29.7	54



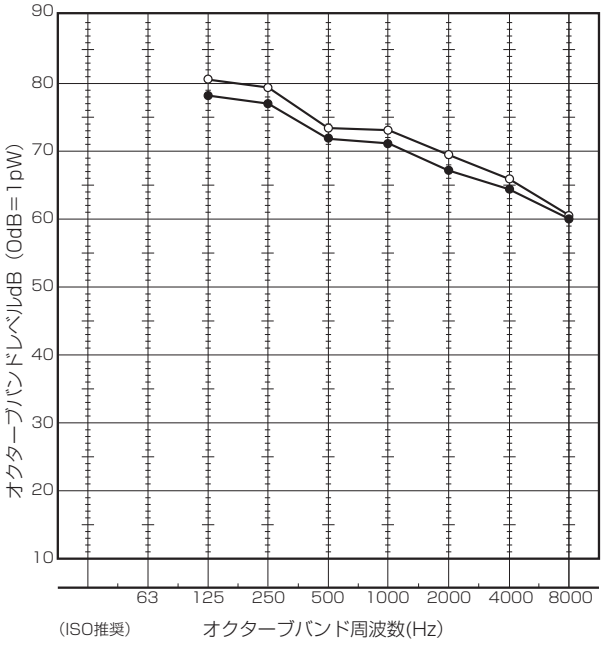
PCZG-P4,5MKA14

記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	57.8	61.5	60.2	60.1	56.6	51.8	41.5	64
●	中	56.7	60.1	58.5	58.1	54.5	48.8	39.1	62
□	弱	54.5	57.5	55.7	55.0	51.4	44.8	35.6	59
■	静粛	54.2	57.0	54.9	53.9	50.3	43.0	34.2	58



PCZG-P8MBA10

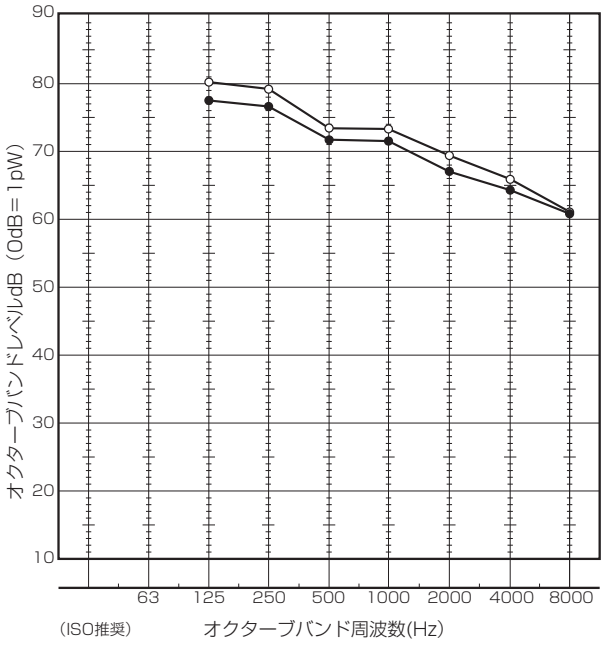
記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	80.5	79.4	73.4	73.1	69.5	65.9	60.5	78
●	弱	78.2	77.0	71.8	71.1	67.2	64.4	60.0	76



■厨房用

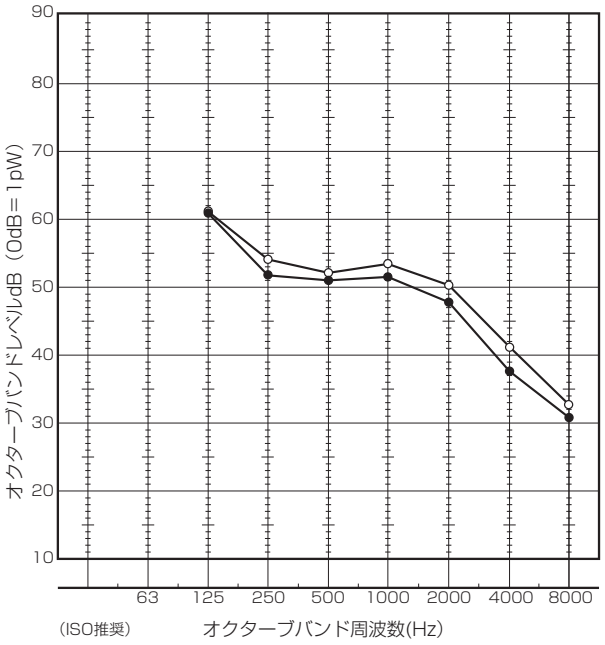
PCZG-P10MBA10

記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	80.2	79.2	73.4	73.3	69.4	65.9	61.1	78
●	弱	77.5	76.6	71.7	71.5	67.0	64.3	60.8	76



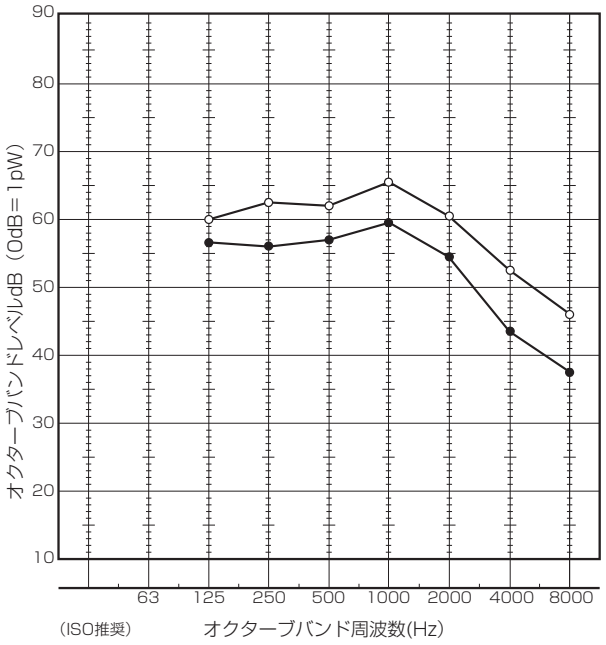
PCZG-P2MHA15

記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	61.1	54.1	52.1	53.4	50.3	41.1	32.7	57
●	弱	60.9	51.7	51.0	51.5	47.8	37.6	30.8	55



PCZG-P3,4,5MHA15

記号	風量	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	強	60.0	62.5	62.0	65.5	60.5	52.5	46.0	68
●	弱	56.6	56.0	57.0	59.5	54.5	43.5	37.5	62

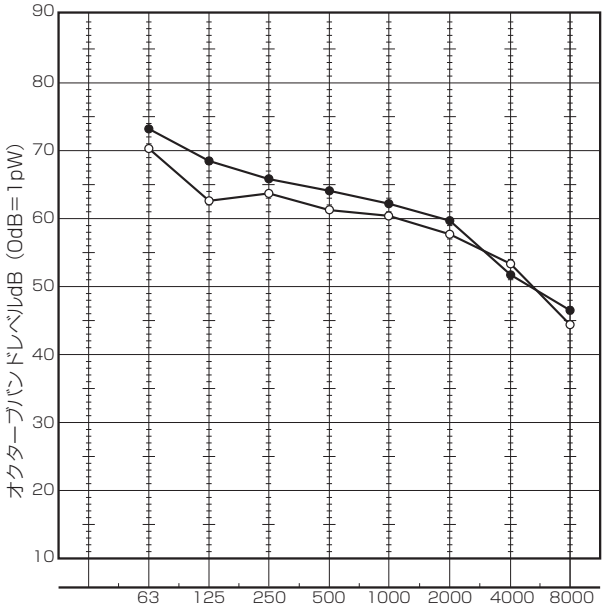


(4) 室外ユニット (PWL)

PU(Z)G-MP2MKA3

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

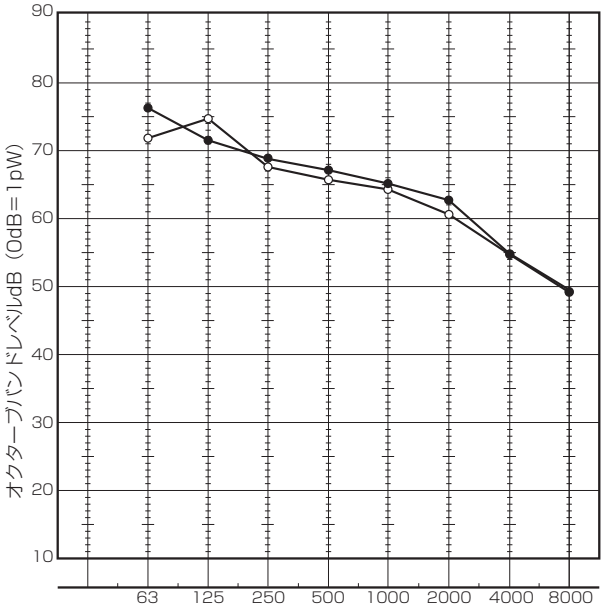
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	70.3	62.6	63.7	61.2	60.4	57.8	53.3	44.3	65
●	暖房	73.2	68.5	65.8	64.1	62.1	59.7	51.8	46.5	67



PU(Z)G-MP3MHA3

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

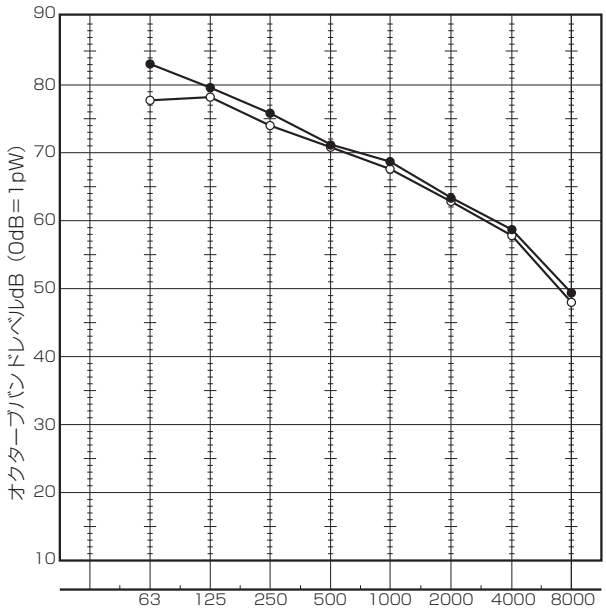
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	71.8	74.7	67.6	65.7	64.3	60.6	54.7	49.2	69
●	暖房	76.2	71.5	68.8	67.1	65.1	62.7	54.8	49.5	70



PU(Z)G-MP4MLA3

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

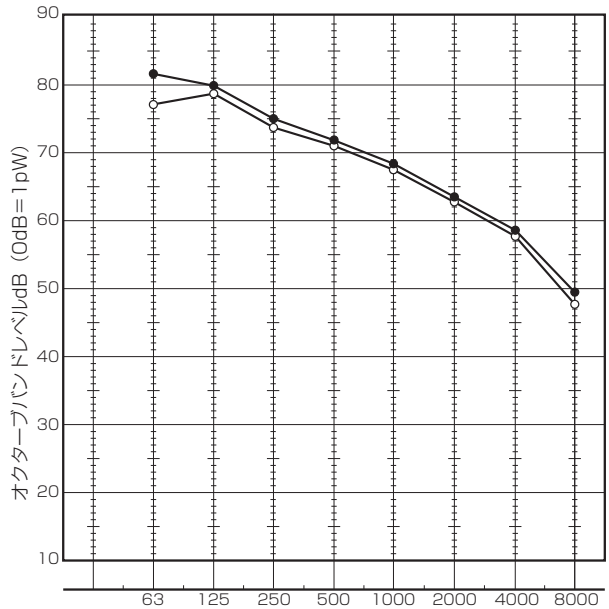
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	77.7	78.2	74.0	70.8	67.6	62.8	57.8	48.0	73
●	暖房	83.0	79.6	75.8	71.1	68.7	63.5	58.7	49.4	74



PU(Z)G-MP5MLA3

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

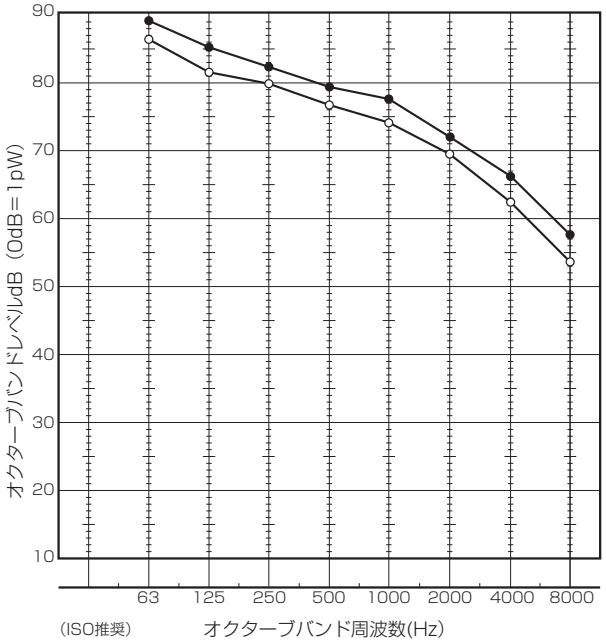
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	77.0	78.7	73.7	71.0	67.5	62.7	57.7	47.7	73
●	暖房	81.6	79.9	75.0	71.8	68.4	63.5	58.7	49.5	74



PU(Z)G-MP8MKA

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

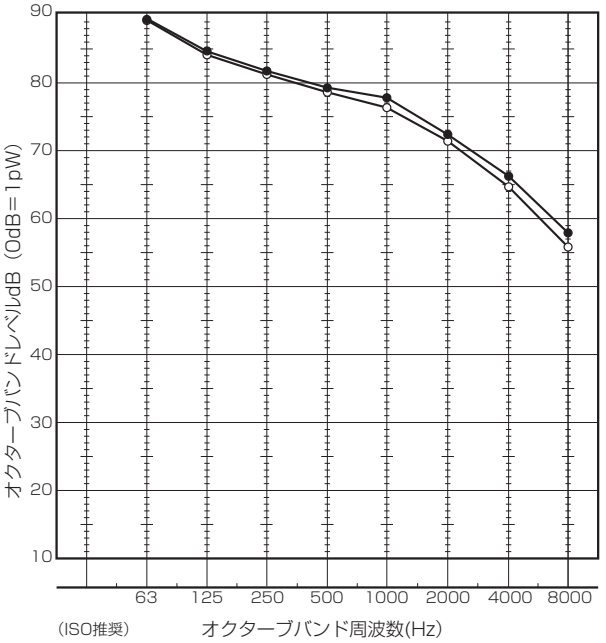
記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	86.4	81.5	79.9	76.7	74.1	69.5	62.4	53.6	79
●	暖房	89.1	85.2	82.3	79.4	77.6	72.0	66.2	57.6	82



PU(Z)G-MP10MKA

（測定ポイント：吹出前 1m、高さ 1.5m）

記号		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A 特性
○	冷房	89.2	84.1	81.2	78.6	76.3	71.4	64.7	55.9	81
●	暖房	89.4	84.7	81.7	79.3	77.8	72.3	66.2	57.9	82

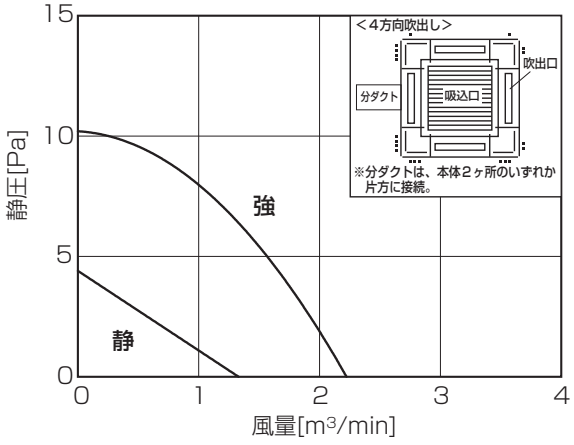


4．分ダクト

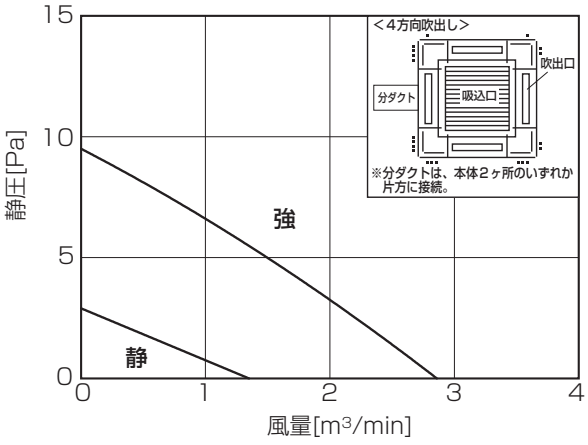
■4方向天井カセット形（i-スクエアタイプ）

PLZG-P2MHA

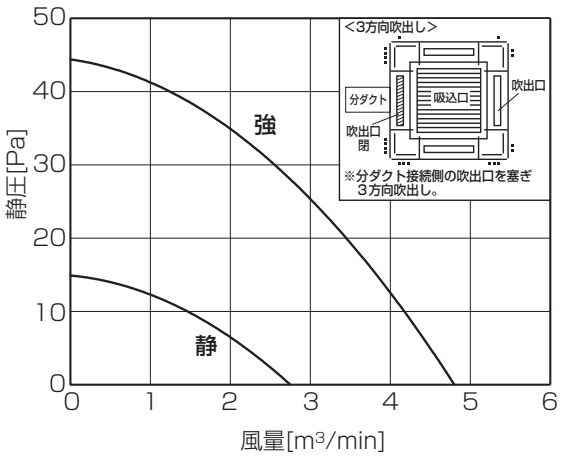
●4方向吹出し（ベーン水平）丸形ダクト 1方向分岐



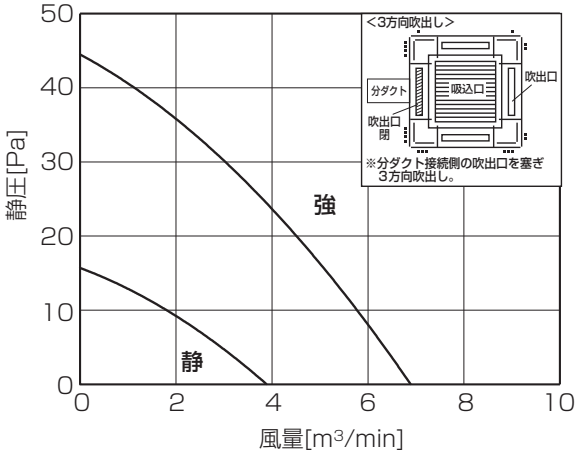
●4方向吹出し（ベーン水平）角形ダクト 1方向分岐



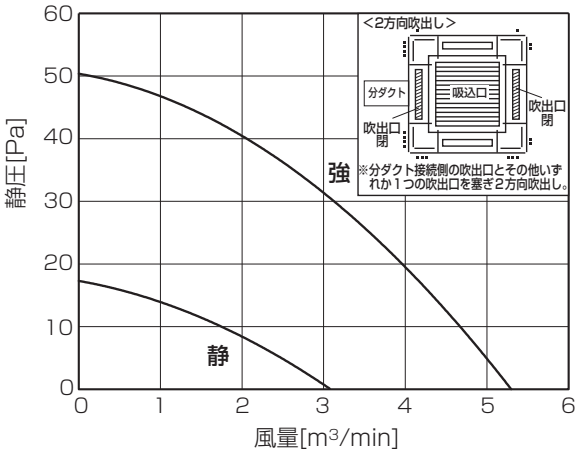
●3方向吹出し（ベーン水平）丸形ダクト 1方向分岐



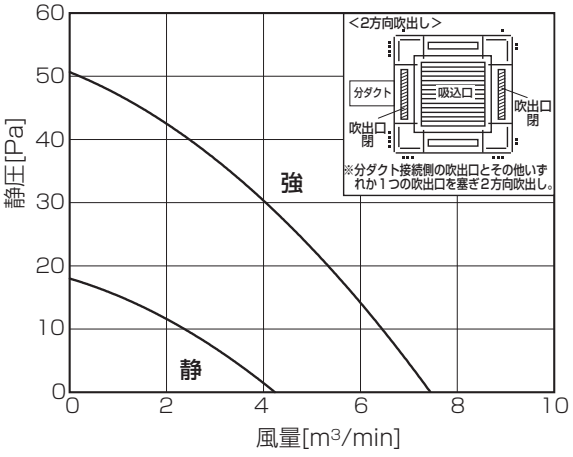
●3方向吹出し（ベーン水平）角形ダクト 1方向分岐



●2方向吹出し（ベーン水平）丸形ダクト 1方向分岐



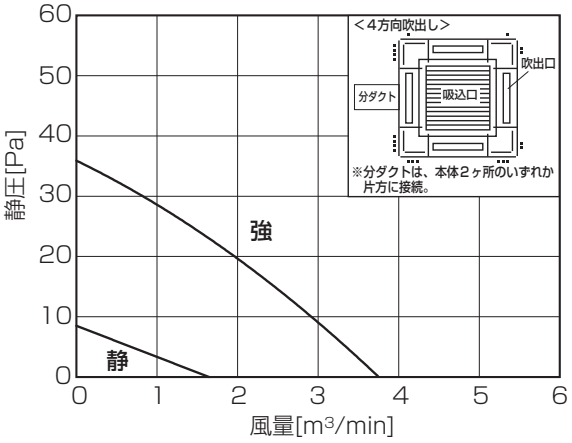
●2方向吹出し（ベーン水平）角形ダクト 1方向分岐



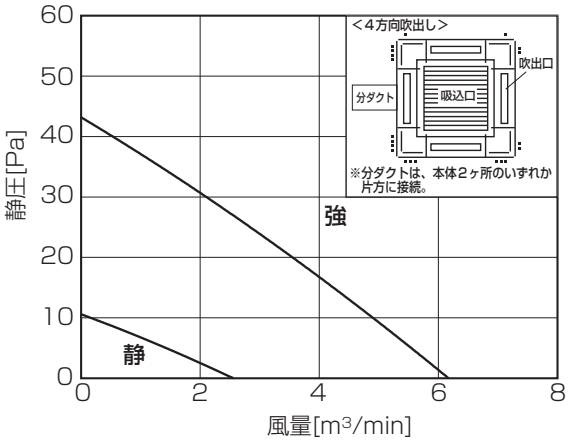
・分ダクトは2箇所ありますが、いずれか1箇所でご利用ください。
・3方向吹出し、2方向吹出しにする場合は、別売の吹出口シャッタープレート（PAC-SK67SP）をご利用ください。

PLZG-P3MHA

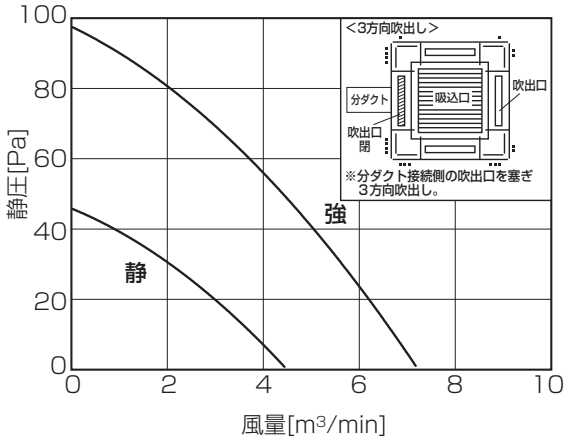
●4方向吹出し(ベーン水平)丸形ダクト 1方向分岐



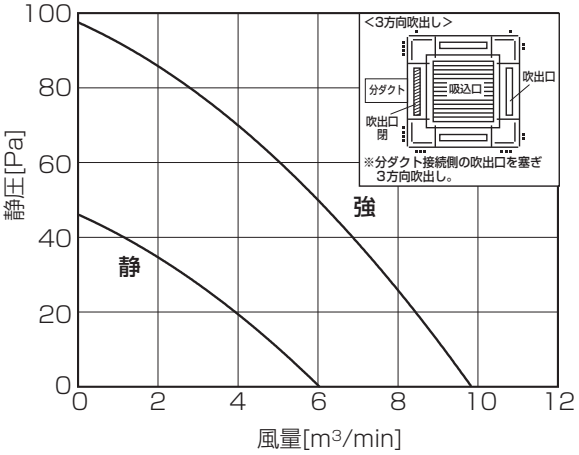
●4方向吹出し(ベーン水平)角形ダクト 1方向分岐



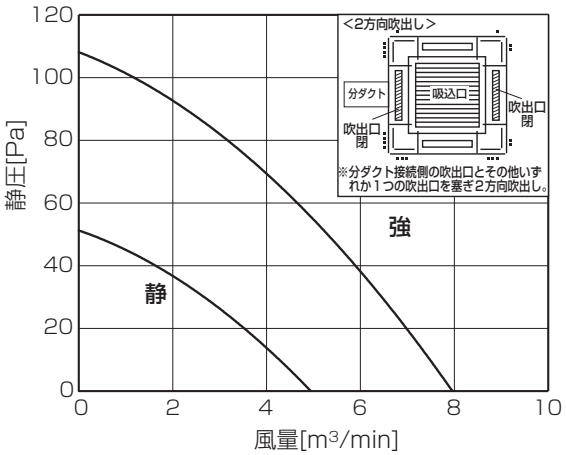
●3方向吹出し(ベーン水平)丸形ダクト 1方向分岐



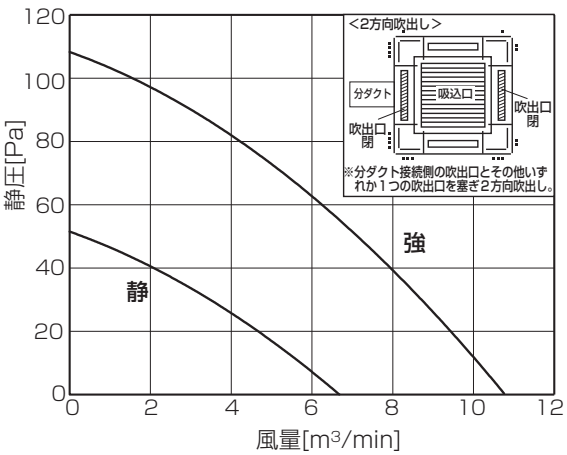
●3方向吹出し(ベーン水平)角形ダクト 1方向分岐



●2方向吹出し(ベーン水平)丸形ダクト 1方向分岐



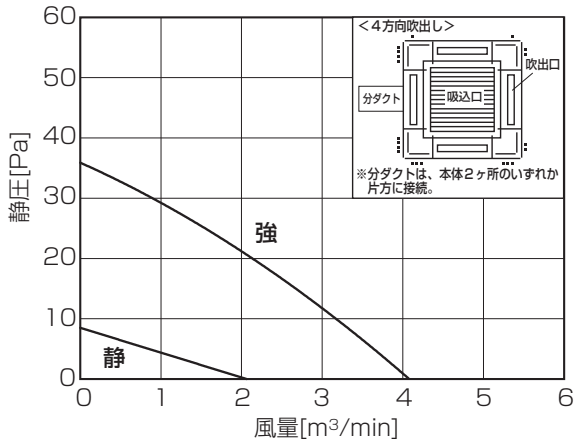
●2方向吹出し(ベーン水平)角形ダクト 1方向分岐



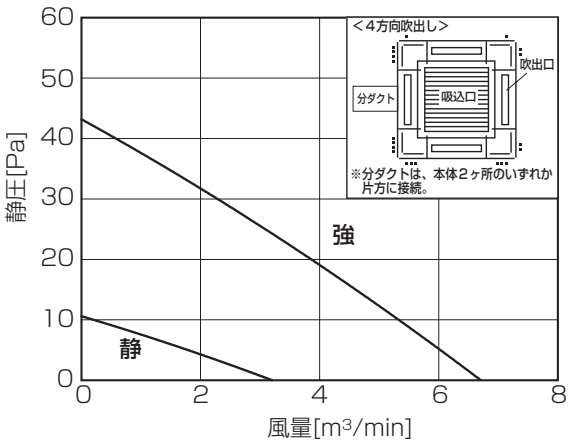
・分ダクトは2箇所ありますが、いずれか1箇所でご利用ください。
・3方向吹出し、2方向吹出しにする場合は、別売の吹出口シャッタープレート(PAC-SK67SP)をご利用ください。

PLZG-P4,5MHA

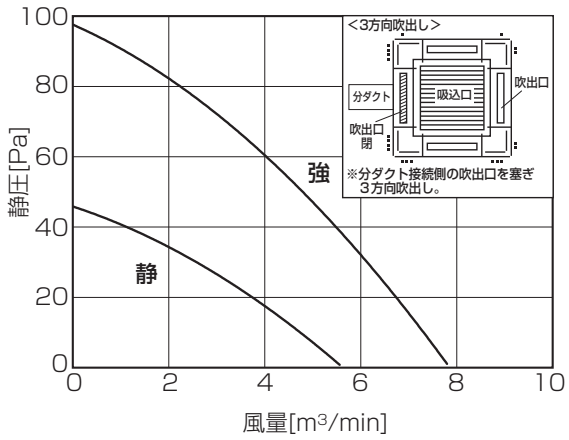
●4方向吹出し(ベーン水平)丸形ダクト 1方向分岐



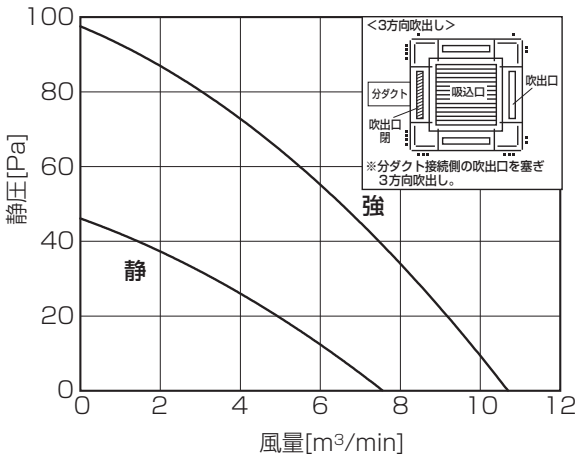
●4方向吹出し(ベーン水平)角形ダクト 1方向分岐



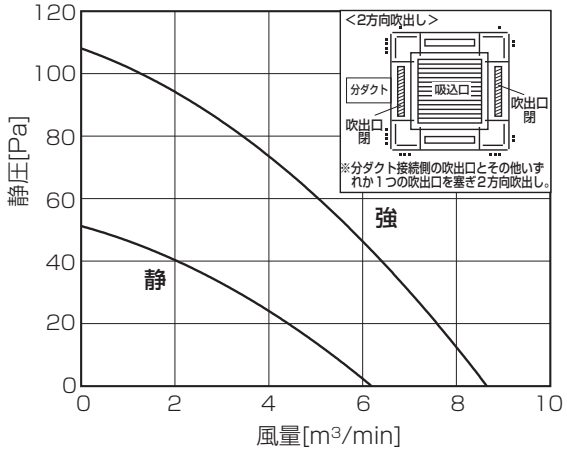
●3方向吹出し(ベーン水平)丸形ダクト 1方向分岐



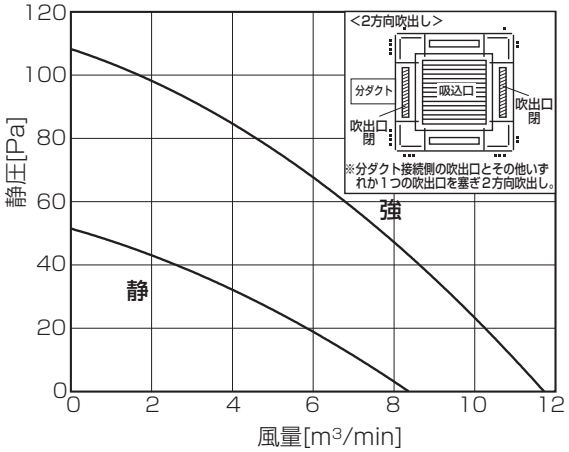
●3方向吹出し(ベーン水平)角形ダクト 1方向分岐



●2方向吹出し(ベーン水平)丸形ダクト 1方向分岐



●2方向吹出し(ベーン水平)角形ダクト 1方向分岐



・分ダクトは2箇所ありますが、いずれか1箇所でご利用ください。
・3方向吹出し、2方向吹出しにする場合は、別売の吹出口シャッタープレート(PAC-SK67SP)をご利用ください。

5．温度・気流分布図

（温度分布は部屋内の広さ、物の配置等によって変化します。）

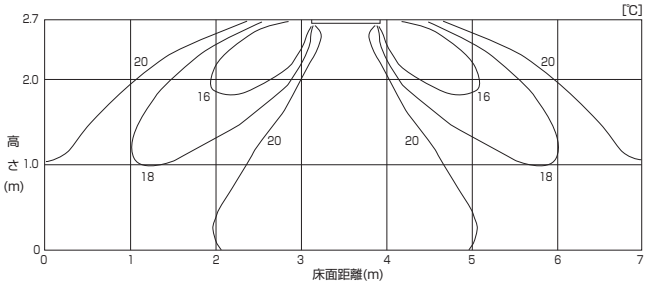
■4方向天井カセット形（i- スクエアタイプ）

PLZG-P2MHA 形

●冷房温度分布

＜天井高さ：2.7m ＞

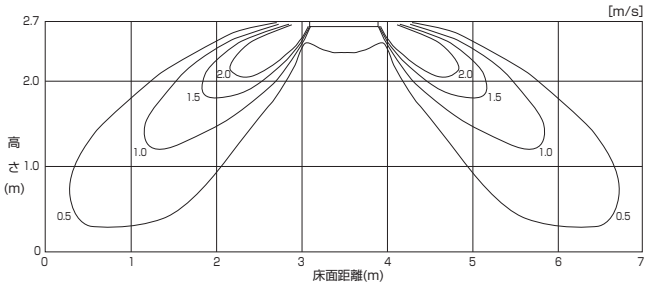
強風・水平吹き 35°・20℃設定運転時



●冷房風速分布

＜天井高さ：2.7m ＞

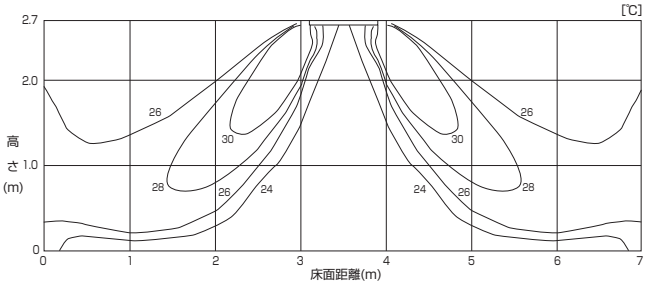
強風・水平吹き 35°・20℃設定運転時



●暖房温度分布

＜天井高さ：2.7m ＞

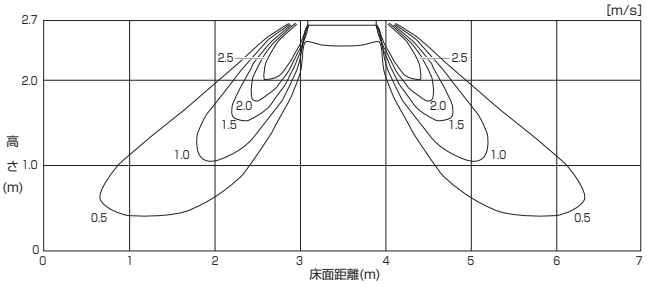
強風・下吹き 60°・20℃設定運転時



●暖房風速分布

＜天井高さ：2.7m ＞

強風・下吹き 60°・20℃設定運転時

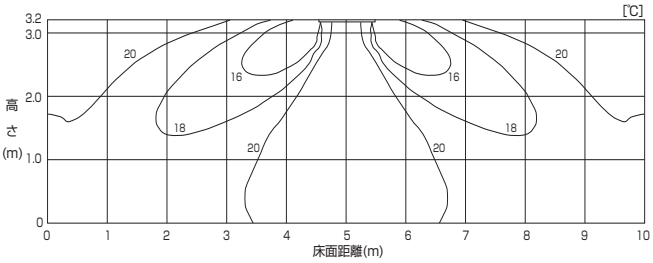


PLZG-P3MHA 形

●冷房温度分布

＜天井高さ：3.2m ＞

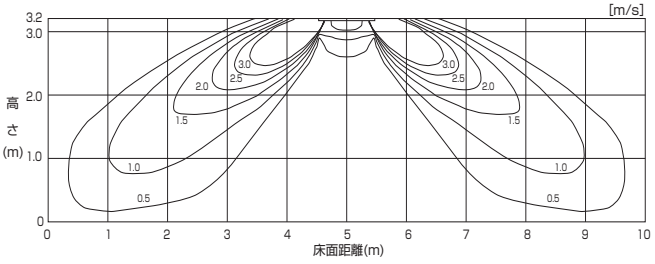
強風・水平吹き 35°・20℃設定運転時



●冷房風速分布

＜天井高さ：3.2m ＞

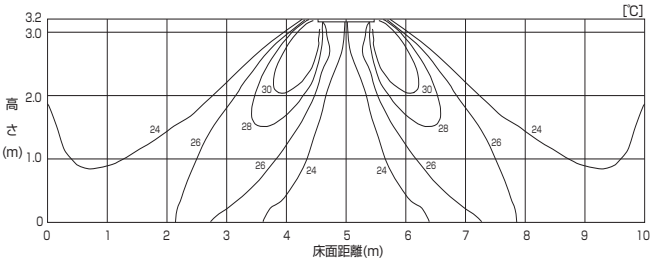
強風・水平吹き 35°・20℃設定運転時



●暖房温度分布

＜天井高さ：3.2m ＞

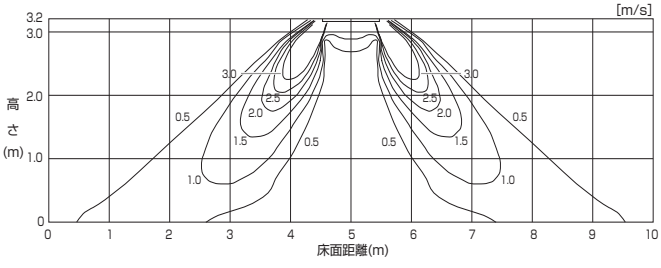
強風・下吹き 60°・20℃設定運転時



●暖房風速分布

＜天井高さ：3.2m ＞

強風・下吹き 60°・20℃設定運転時

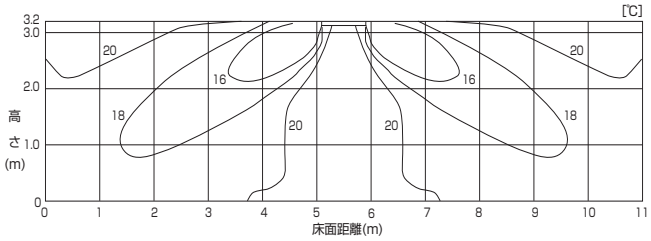


PLZG-P4,5MHA 形

●冷房温度分布

＜天井高さ：3.2m ＞

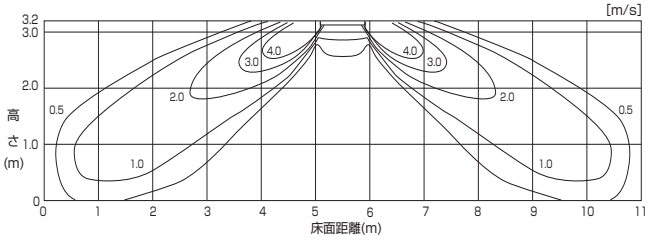
強風・水平吹き 35°・20℃設定運転時



●冷房風速分布

＜天井高さ：3.2m ＞

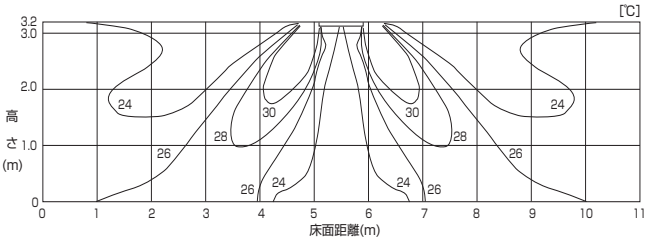
強風・水平吹き 35°・20℃設定運転時



●暖房温度分布

＜天井高さ：3.2m ＞

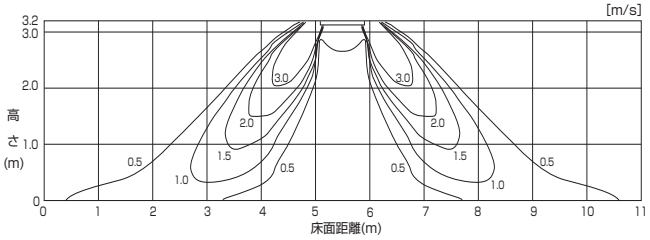
強風・下吹き 60°・20℃設定運転時



●暖房風速分布

＜天井高さ：3.2m ＞

強風・下吹き 60°・20℃設定運転時



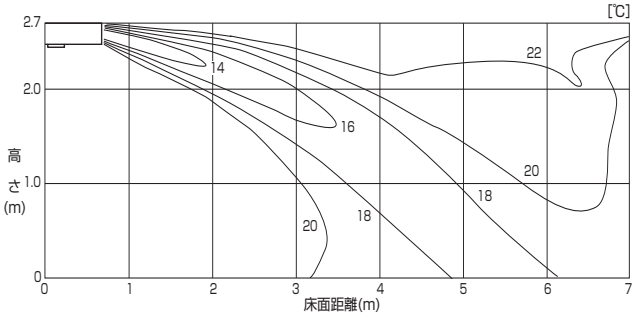
■天吊形

PCZG-P2MKA14 形

●冷房温度分布

＜天井高さ：2.7m ＞

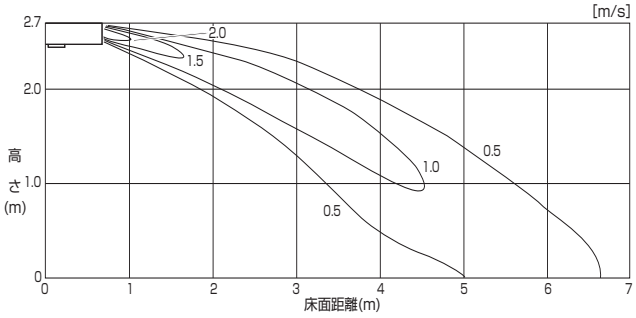
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



●冷房風速分布

＜天井高さ：2.7m ＞

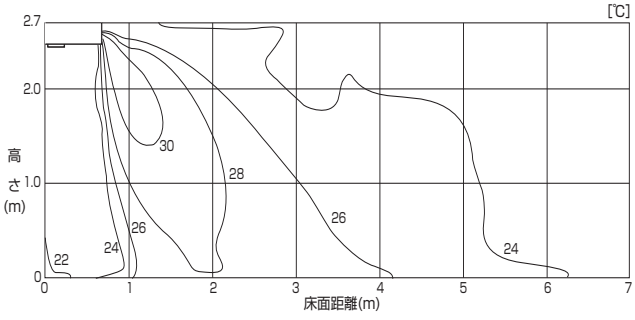
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



●暖房温度分布

＜天井高さ：2.7m ＞

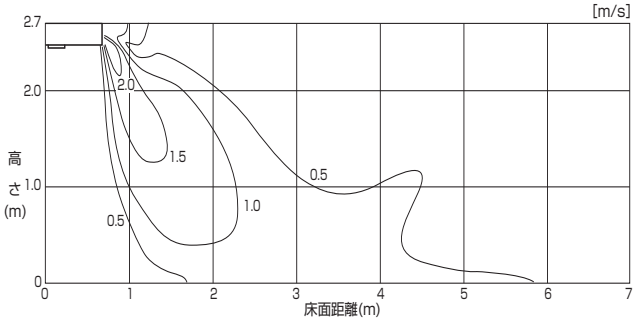
強風・下吹き 60°・20℃設定運転時



●暖房風速分布

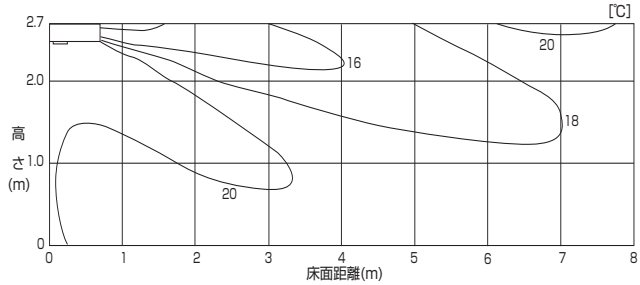
＜天井高さ：2.7m ＞

強風・下吹き 60°・20℃設定運転時

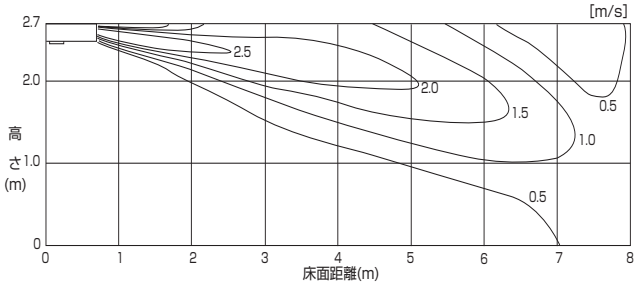


PCZG-P3MKA14 形

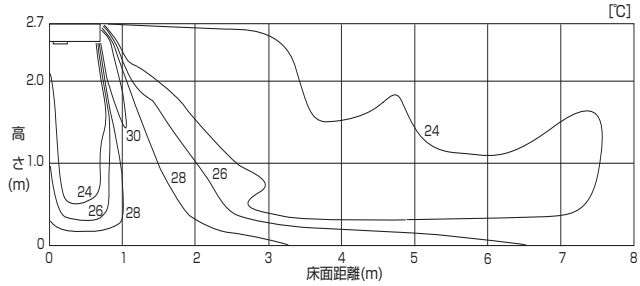
●冷房温度分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



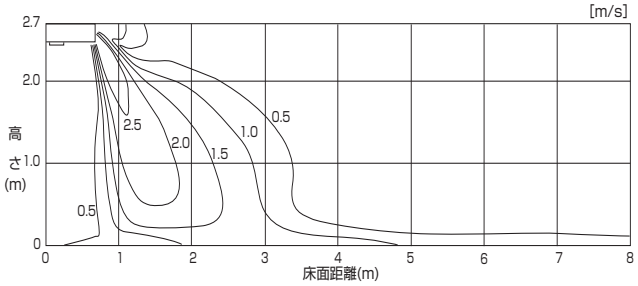
●冷房風速分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



●暖房温度分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・下吹き 60°・20℃設定運転時

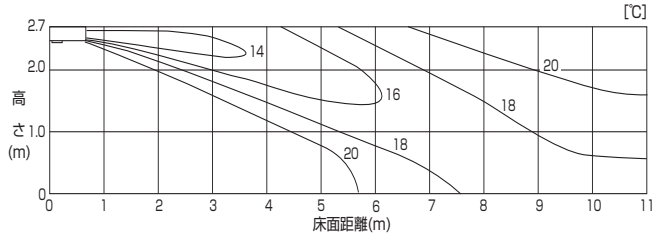


●暖房風速分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・下吹き 60°・20℃設定運転時

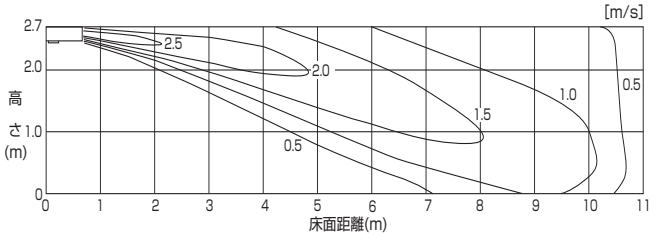


PCZG-P4,5MKA14 形

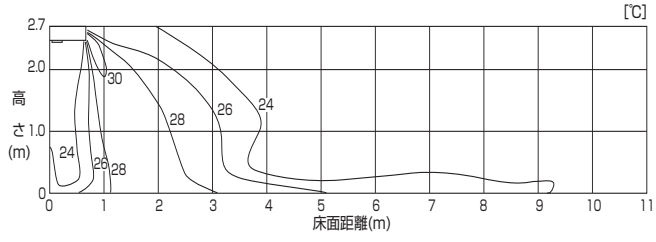
●冷房温度分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



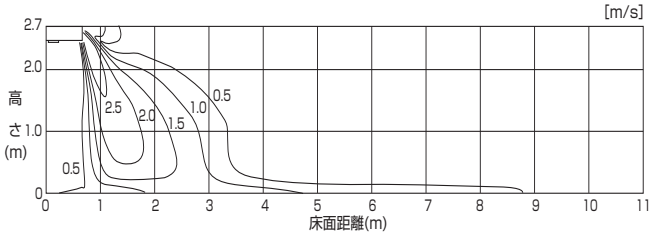
●冷房風速分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



●暖房温度分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・下吹き 60°・20℃設定運転時



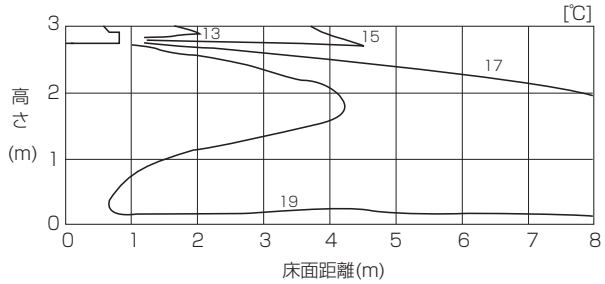
●暖房風速分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・下吹き 60°・20℃設定運転時



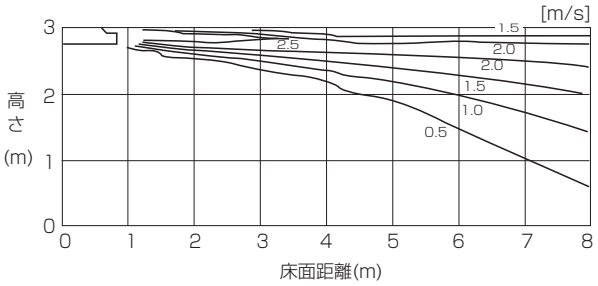
PCZG-P･MBA10 形

●冷房温度分布

強風・水平吹き

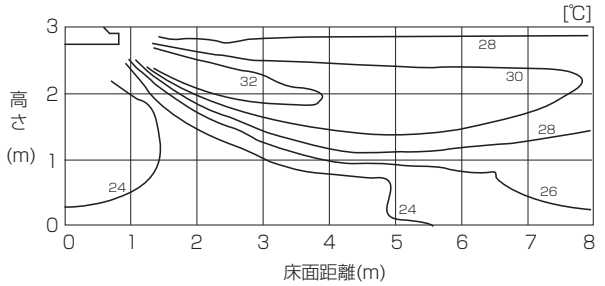


強風・水平吹き

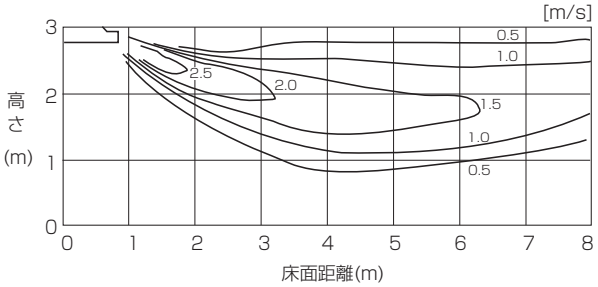


●暖房温度分布

強風・下吹き



強風・下吹き



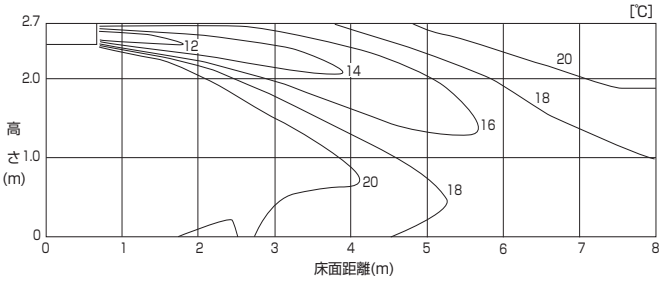
■厨房用

PCZG-P2MHA15 形

●冷房温度分布

＜天井高さ：2.7m ＞

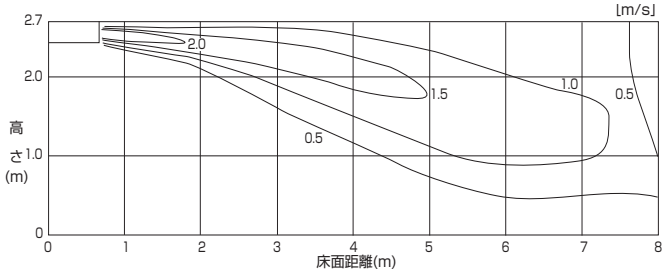
強風・水平吹き 10° ・20℃設定運転時



●冷房風速分布

＜天井高さ：2.7m ＞

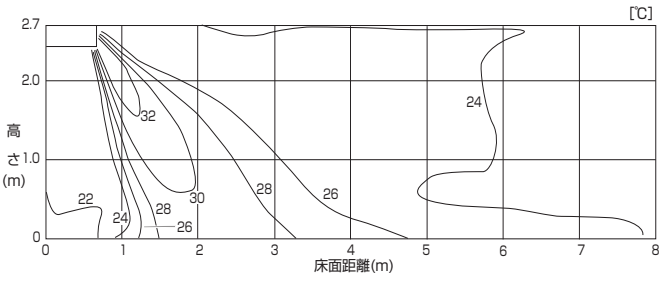
強風・水平吹き 10° ・20℃設定運転時



●暖房温度分布

＜天井高さ：2.7m ＞

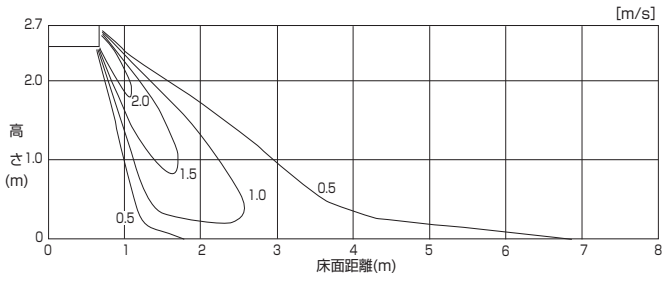
強風・下吹き 45° ・20℃設定運転時



●暖房風速分布

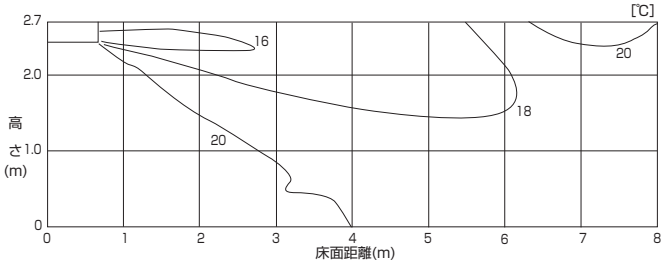
＜天井高さ：2.7m ＞

強風・下吹き 45° ・20℃設定運転時

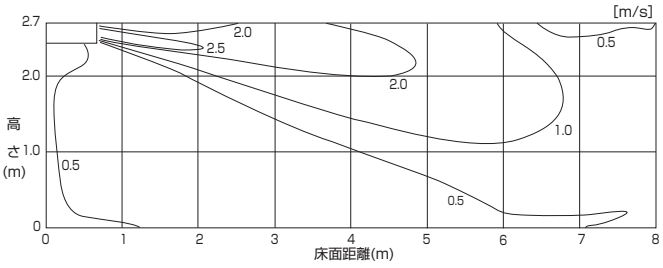


PCZG-P3MHA15 形

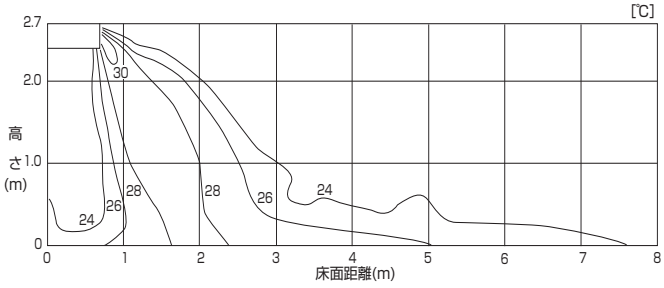
●冷房温度分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



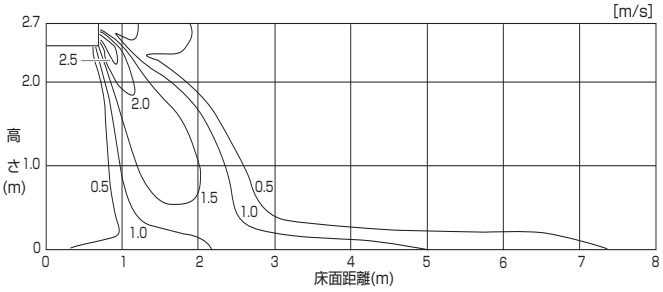
●冷房風速分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



●暖房温度分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・下吹き 45°・20℃設定運転時

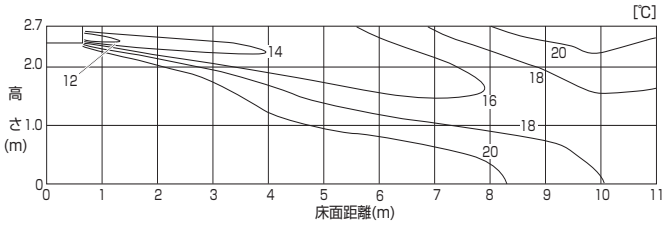


●暖房風速分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・下吹き 45°・20℃設定運転時

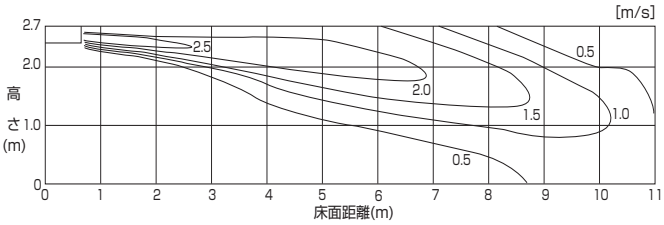


PCZG-P4.5MHA15 形

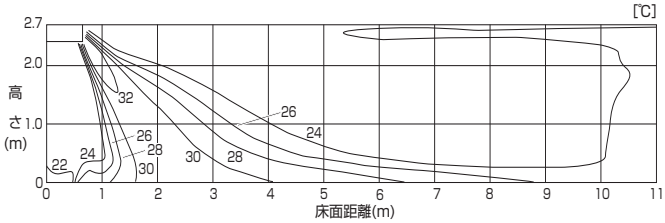
●冷房温度分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



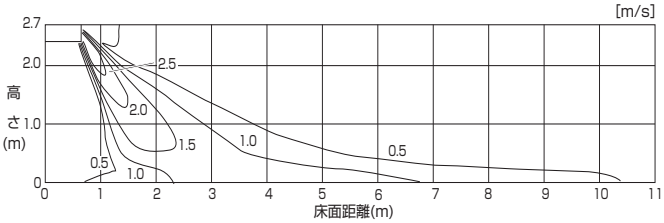
●冷房風速分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・水平吹き 10°・20℃設定運転時



●暖房温度分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・下吹き 45°・20℃設定運転時



●暖房風速分布
＜天井高さ：2.7m ＞
強風・下吹き 45°・20℃設定運転時



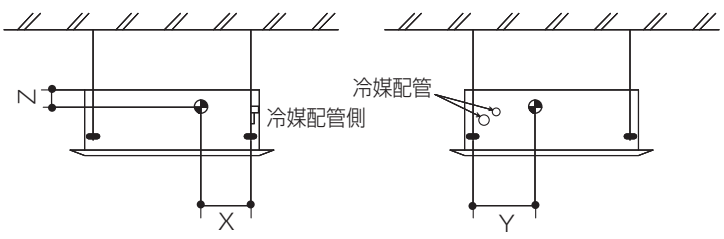
6．吹出し風速及び到達距離

●到達距離は強ノッチで水平設定で吹出した場合の風速 0.25m/s ポイントの値です。
●部屋の大きさや形、調度品によっても異なりますので目安としてご覧ください。
●到達距離は、吹出口の形状により変化します。

タイプ	形　名	風量 (m^3／min)	吹出風速＜強＞ (m／s)	到達距離 (m)
天井カセット形	PLZG-P2MHA	20	2.9	4.9
	PLZG-P3MHA	35	5.1	8.4
	PLZG-P4,5MHA	38	5.5	9.1
天吊形	PCZG-P2MKA14	17	2.9	8.6
	PCZG-P3,4,5MKA14	35	4.4	15.5
	PCZG-P8,10MBA10	70	5.9	22.0
厨房用	PCZG-P2MHA15	17	2.9	8.9
	PCZG-P3,4,5MHA15	38	4.7	16.5

7. 重心位置

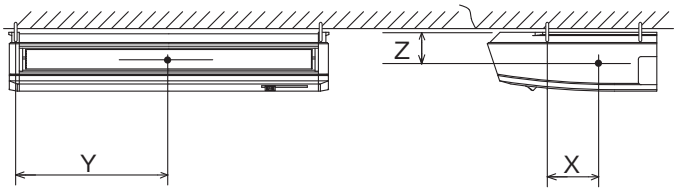
PLZG-P･MHA 形



単位[mm]

形　名	X	Y	Z
PLZG-P2MHA	340	400	90
PLZG-P3,4,5MHA	340	400	130

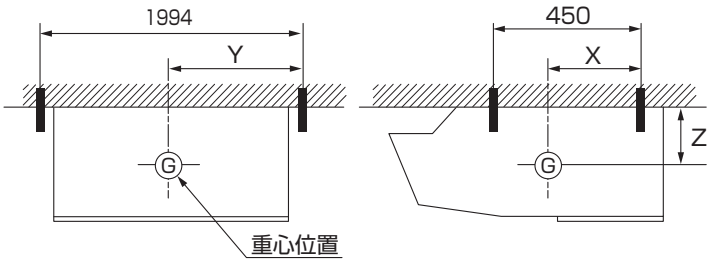
PCZG-P･MKA14 形



単位[mm]

形　名	X	Y	Z
PCZG-P2MKA14	110	610	115
PCZG-P3MKA14 PCZG-P4MKA14 PCZG-P5MKA14	110	770	115

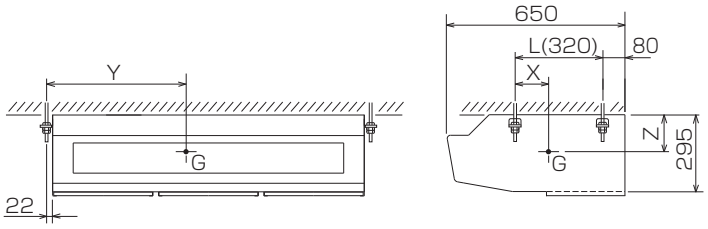
PCZG-P･MBA10 形



単位[mm]

形　名	X	Y	Z
PCZG-P8MBA10 PCZG-P10MBA10	258	997	154

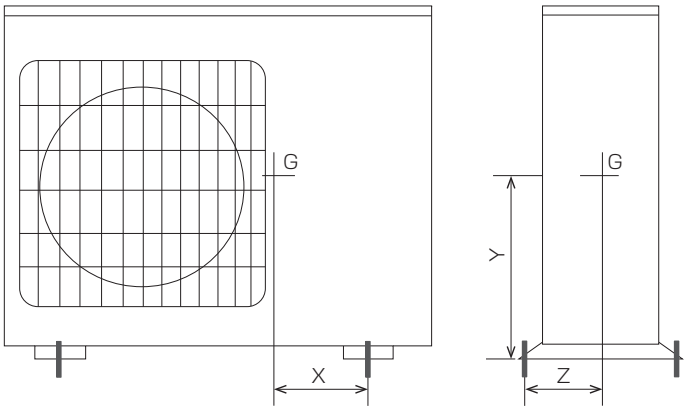
PCZG-P･MHA15 形



単位[mm]

形　名	X	Y	Z
PCZG-P2MHA15	125	575	170
PCZG-P3MHA15 PCZG-P4MHA15 PCZG-P5MHA15	95	765	150

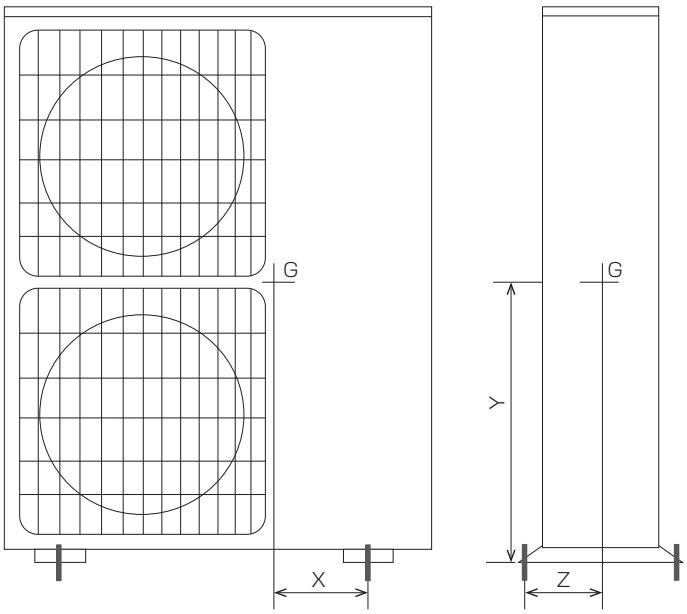
PU(Z)G-MP2MKA3 形
PU(Z)G-MP3MHA3 形
PU(Z)G-MP4・5MLA3 形



単位 [mm]

形　名	X	Y	Z
PU(Z)G-MP2MKA3	130	290	135
PU(Z)G-MP3MHA3	185	403	190
PU(Z)G-MP4･5MLA3	153	412	196

PU(Z)G-MP8・10MKA 形



単位 [mm]

形　名	X	Y	Z
PU(Z)G-MP8MKA	198	565	192
PU(Z)G-MP10MKA	165	570	180

名称	セット	機器定格 容量 P [kVA]	機器定格 電流 [A]	回路種別 分類番号 K**	6ﾊﾟﾙｽ 換算係数 Ki	等価容量 P*Ki [kVA]	基本波電流に対する高調波電流発生率[%] 5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
中温用パッケージ	PLZGX-MP8MH6	6.19	17.9	K10	1.8	11.14	34	12	9.3	3.1	3.2	3.5	2.9	2.0
	PLZGX-MP10MH6	8.46	24.5	K10	1.7	14.38	31	12	9.5	3.1	3.3	3.5	2.9	2.3
	PLGX-MP8MH6	7.05	20.4	K10	1.8	12.69	32	12	9.4	3.0	3.2	3.5	2.9	2.1
	PLGX-MP10MH6	9.41	27.2	K10	1.7	16.00	30	12	9.5	3.2	3.3	3.4	2.9	2.4
	PCZG-MP8MB6	7.20	20.8	K33	1.8	12.96	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2
	PCZG-MP10MB6	9.29	26.9	K33	1.8	16.72	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2
	PCZGX-MP8MK6	6.70	19.4	K10	1.8	12.06	32	13	12	1.6	3.4	2.7	2.7	1.9
	PCZGX-MP10MK6	9.00	26.0	K10	1.8	16.20	29	14	12	3.1	4.1	2.3	2.5	2.2
	PCG-MP8MB6	7.71	22.3	K33	1.8	13.88	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2
	PCG-MP10MB6	10.01	28.9	K33	1.8	18.02	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2
	PCGX-MP8MK6	7.57	21.9	K10	1.8	13.63	31	13	12	2.2	3.7	2.5	2.6	2.1
	PCGX-MP10MK6	9.78	28.2	K10	1.8	17.60	28	14	12	3.6	4.4	2.1	2.4	2.3
	PCZGX-MP8MH6	7.57	21.9	K33	1.8	13.63	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2
	PCZGX-MP10MH6	9.56	27.6	K33	1.8	17.21	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2
	PCGX-MP8MH6	8.01	23.1	K10	1.8	14.42	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2
	PCGX-MP10MH6	10.05	29.0	K33	1.8	18.09	30	13	8.4	5.0	4.7	3.2	3.0	2.2

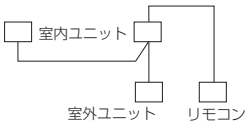
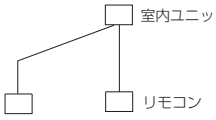
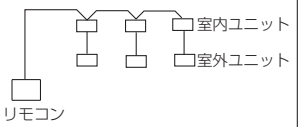
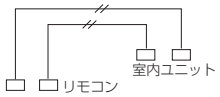
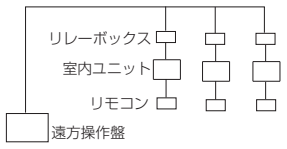
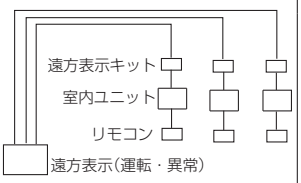
アクティブフィルター PAC-KR51EAC取付時

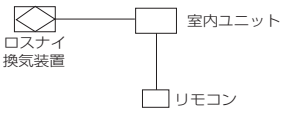
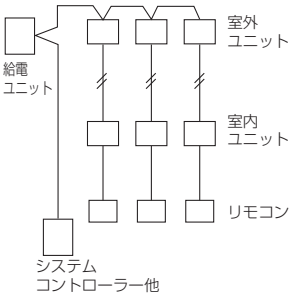
名称	セット	機器定格 容量 P [kVA]	機器定格 電流 [A]	回路種別 分類番号 K**	6ﾊﾟﾙｽ 換算係数 Ki	等価容量 P*Ki [kVA]	基本波電流に対する高調波電流発生率[%] 5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
中温用パッケージ	PLZGX-MP8MH6	6.19	17.9	K10	0.46	2.86	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PLZGX-MP10MH6	8.46	24.5	K10	0.46	3.90	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PLGX-MP8MH6	7.05	20.4	K10	0.46	3.25	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PLGX-MP10MH6	9.41	27.2	K10	0.46	4.34	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCZG-MP8MB6	7.20	20.8	K10	0.46	3.32	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCZG-MP10MB6	9.29	26.9	K10	0.46	4.29	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCZGX-MP8MK6	6.70	19.4	K10	0.46	3.09	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCZGX-MP10MK6	9.00	26.0	K10	0.46	4.15	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCG-MP8MB6	7.71	22.3	K10	0.46	3.56	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCG-MP10MB6	10.01	28.9	K10	0.46	4.62	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCGX-MP8MK6	7.57	21.9	K10	0.46	3.49	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCGX-MP10MK6	9.78	28.2	K10	0.46	4.51	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCZGX-MP8MH6	7.57	21.9	K10	0.46	3.49	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCZGX-MP10MH6	9.56	27.6	K10	0.46	4.41	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCGX-MP8MH6	8.01	23.1	K10	0.46	3.70	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1
	PCGX-MP10MH6	10.05	29.0	K10	0.46	4.64	3.0	1.8	1.8	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1

Ⅴ. システム関連

1. システムコントロール一覧

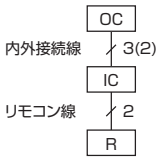
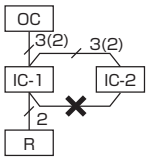
別売部品、リレー回路、制御盤などを使用し、下記のようなシステムコントロール（応用制御）が行えます。

システム名称	システム略図	特　長	標準的（室外・室内ユニット、リモコン）システム以外の手配部品
A. 1リモコン（標準的）制御運転		・リモコンは、ワイヤードタイプのみです。 ・同時ツインは、室内ユニットが同時に運転 / 停止します。	―――――
B. 2リモコン制御運転 （2台のリモコンで手元と遠方の2箇所からコントロールできます。）	 ※ワイヤードリモコンのいずれかの1台を従リモコンに設定してください。	・1グループにリモコン2個まで接続できます。 ・同時ツインは 1 グループと数えます。 ・最新指令で運転コントロール（後押し優先）となります。	ワイヤードリモコン〈追加分〉 （PAR-48MA/PAR-26MA2）
C. グループ制御運転 （1台のリモコンで複数（2～16）冷媒系を一括して運転制御ができます。） ※室外ユニットの冷媒アドレス設定が必要となります。 ※中温機種と標準機種を同じグループに設定しないでください。		・リモコン線を接続し、室外ユニットのアドレス設定をすることにより1グループ最大 16 台までの順次起動ができます。 ・同時ツインは 1 台と数えます。 ・室外ユニットは、個別に吸込センサーによりサーモ ON/OFF します。 ・リモコンは2台まで接続可能です。	―――――
D. 停電自動復帰運転	―――――	・リモコンからのユニットの機能選択により設定可能です。 ・冷媒系統毎に設定してください。	―――――
E. 離れた部屋から個別制御運転		・ワイヤードリモコン用リモコンコードを 500m まで延ばせます。 ※ 2 リモコン使用時は 200m までとなります。ワイヤレスリモコン用受光部コードは延長できません。	リモコン延長コード （0.3mm^2）
F. 遠方 / 手元併用制御運転 （遠方からエアコンの運転 / 停止及び、リモコンによる運転 / 停止操作の禁止・許可が行えます。）		・ 遠方からの全エアコンの一括 ON/OFF ができます。 ・遠方制御 / 手元制御の切換ができます。 ・リモコン操作禁止中でも、運転 / 停止以外の操作（温度調整・風速・風向など）はできます。 ・同時ツインの場合、1 室内ユニットに対して接続してください。2 室内ユニット以上に接続すると異常（運転⇔停止）を生ずることがあります。 ・外部タイマーを接続することでタイマーによる制御が可能です。	遠方発停用アダプタ （PAC - SE55RA） リレーボックス（現地工事） 遠方操作盤（現地工事）
G. パルス信号による運転	―――――	・HA·JEM-A 端子を利用して、HA(ホームオートメーション) に対応できます。(パルス信号)	HA 端子接続ケーブル （PAC-SK31HN） ※ PLZG-P·MHA PCZG-P·MKA14 PCZG-P·MHA15
H. 外部信号による制御と遠方表示（モニター信号）への取出し （離れた場所から運転状態の表示や運転 / 停止をコントロールできます。）		無電圧接点出力の取り出し ①別売部品「遠方表示キット」と「遠方表示盤」(現地工事) と接続して、運転・異常・冷房・暖房・送風機 ON・サーモ ON の各信号の無電圧接点出力と遠方入力機能（入力パターン選択可）が付加できます。	A制御遠方表示キット （PAC - SE56RM） 遠方表示盤（現地工事）
		②別売部品「運転表示キット」と「遠方表示盤」(現地工事) と接続して、運転・異常の無電圧接点出力と運転／停止入力機能が付加できます。	・A制御運転表示キット （PAC - SF40RM） PLZG-P・MHA の場合 ・A 制御運転表示セット （PAC-SK52RM-ST） 遠方表示盤（現地工事）
		有電圧 (DC12V) 接点出力取り出し ③別売部品「遠方表示用アダプタ」と「遠方表示盤」(現地工事) と接続して、運転・異常の有電圧 (DC12V) 接点出力と運転 / 停止入力機能が付加できます。	遠方表示用アダプタ （PAC-SA88HA） 遠方表示盤（現地工事）
		離れた場所で運転信号の取出しと外部信号による運転・停止ができます	M-NET 接続用インターフェース （PAC-SL78MF）

システム名称	システム略図	特　長	標準的（室外・室内ユニット、リモコン）システム以外の手配部品
I．タイマー運転 （運転 / 停止のコントロールができます。） ※外部タイマーによる制御は**「F．遠方 / 手元併用制御運転」**をご覧ください。	―――――	①別売の「遠方発停用アダプタ」を用いて、市販タイマーでのユニットの発停ができます。	遠方発停用アダプタ (PAC-SE55RA)
		②手元リモコンを利用して、各リモコンのタイマー運転ができます。 **MA スマートリモコン**：オン／オフタイマー／消忘れ防止タイマー／週間タイマー **MA スムースリモコン**：簡易タイマー／消し忘れタイマー	PAR-48MA PAR-26MA2
		③システムコントローラーのスケジュール機能により、タイマー運転ができます。	空調冷熱総合管理システム (AE-CZJ)
J．エアコン周辺機器との連動運転		・ロスナイと室内ユニットを接続し、換気の連動運転、単独運転と風量をコントロールできます。 （ロスナイはマイコンタイプのみ可能）	ロスナイ連動ケーブル (PAC-SB81VS)
	―――――	・室内ユニットの送風機と連動してダクトファンを運転することができます。	遠方表示キット (PAC-SE56RM)
K．信号の取出し方法	―――――	・エアコンの暖房運転に連動した加湿信号が取り出せます。	―――――
		・別売の「外部出力用アダプター」を利用し圧縮機運転信号が取り出せます。	外部出力用アダプター (PAC-SC97SA)
L．温度センサーの外付け方法	―――――	・エアコンの温度センサーは室内ユニット吸込口とワイヤードリモコンの 2 箇所に標準装備されています。 ワイヤードリモコンからのユニットの機能選択により、切替えできます。	―――――
	―――――	・別売部品「温度センサー」を室内ユニットの吸込口センサーと差し換えて、外付けとすることができます。	温度センサー (PAC-SE40TS-W)
M．集中管理	<M-NET 系との接続 >  ※システムコントローラー等の上位系からの操作の場合、設定温度が下記となります。 冷房 :10 ～ 30℃ 暖房・自動 :10 ～ 28℃	・室外ユニットに M-NET 接続用アダプタを接続するか、または室内ユニットに M-NET 接続用インターフェースを接続することで、MELANS システムコントローラー（M-NET 用）を接続することができます。 ・MELANS のシステム制約における、室内ユニット管理台数は、A 制御の場合室外ユニッを管理台数として計算します。 （同時ツイン・トリプル・フォーの場合はいずれも 1 台となります。） ・室外ユニット管理台数 空調冷熱総合管理システム：50 台 （AE - CZJ） システムリモコン：1 グループ 16 台 最大 50 グループで総数 50 台まで （PAC - SF50AT2）	M-NET 接続用アダプタ (PAC-SL74MA/PAC-SL75MA) M-NET 接続用インターフェース (PAC-SL78MF) 空調冷熱総合管理システム (AE-CZJ) システムリモコン (PAC-SF50AT2）など

A．1リモコン（標準的）制御運転

■ワイヤードリモコンの場合

スリムエアコンのシステム		標準 1：1	同時ツイン
リモコンの接続回路（制御線配線）	室外ユニット OC 室内ユニット IC ワイヤードリモコン R		

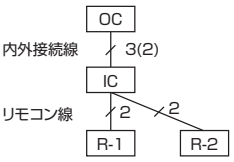
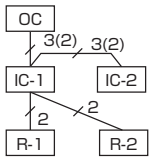
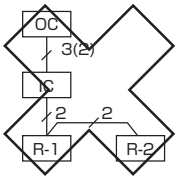
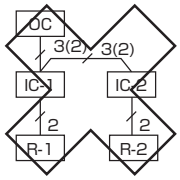
※（ ）内は内外別受電方式等の場合

【備考】① 同時ツインの場合は、いずれか 1 台の室内ユニットにリモコンを接続してください。
②同時ツインで室内ユニット間のリモコン渡り配線はしないでください。（禁止事項）

B．2リモコン制御運転

■ワイヤードリモコン 2 個の場合

(R-1 主リモコン　R-2 従リモコン)

スリムエアコンのシステム		標準 1：1	同時ツイン
リモコンの接続回路（制御線配線）	室外ユニット OC 室内ユニット IC ワイヤードリモコン R		
	室外ユニット OC 室内ユニット IC ワイヤードリモコン R		

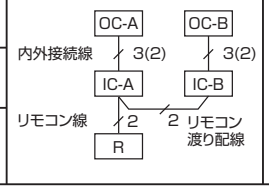
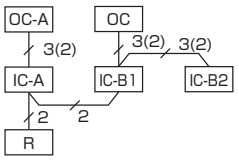
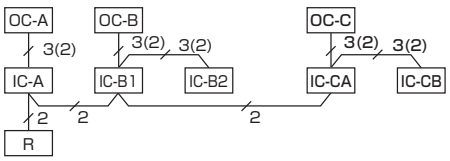
※（ ）内は内外別受電方式等の場合

【備考】① 同時ツインの場合は、いずれか 1 台の室内ユニットにリモコンを接続してください。異なる機種（異タイプ）が混在しても接続された室内ユニットの機能を全て制御できます。
②同時ツインで室内ユニット間のリモコン渡り配線はしないでください。（禁止事項）
③リモコン主従設定（リモコンの機能選択）で、1 つを「主」（工場出荷状態）残り 1 つを「従」に設定してください。
④リモコン線は、必ず室内ユニットのリモコン端子台に接続してください。リモコンの端子台からの渡り配線はできません。(リモコンの端子台には、配線 1 本しか接続できません。)
⑤2 リモコンの場合は総延長 200m までとなります。

C．グループ制御運転 (複数 (2 ～ 16) 冷媒系を一括して運転制御する)

- 中温機種と標準機種を同じグループに設定しないでください。
- 1台のリモコンで最大 16 冷媒 (室外ユニット 16 台) のスリムエアコンを同一設定 (運転モード、設定温度等) で運転することができます。室温コントロールは、各冷媒ごとに吸込センサーにより ON ／ OFF 制御します。
- 1 グループに2台まで接続できます。
- リモコンコードの総延長は 500 mです。
  ・リモコン線は、0.3mm^2 の2芯ケーブルを使用してください。(現地手配)
  ・2 リモコンの場合は総延長 200m となります。
  ・誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用はさけてください。
  ・リモコンコードはアース（建物の鉄骨部分または金属など）及び電源配線・内外接続線からできるだけはなして施工してください。

※同時ツインは1冷媒系で複数冷媒系ではありません。

スリムエアコンのシステム		標準 1：1×2	標準 1：1 + 同時ツイン	標準 1：1 + 同時ツイン + 同時ツイン
リモコンの接続回路 (制御線配線)	室外ユニット OC			
	室内ユニット IC			
	ワイヤードリモコン R			

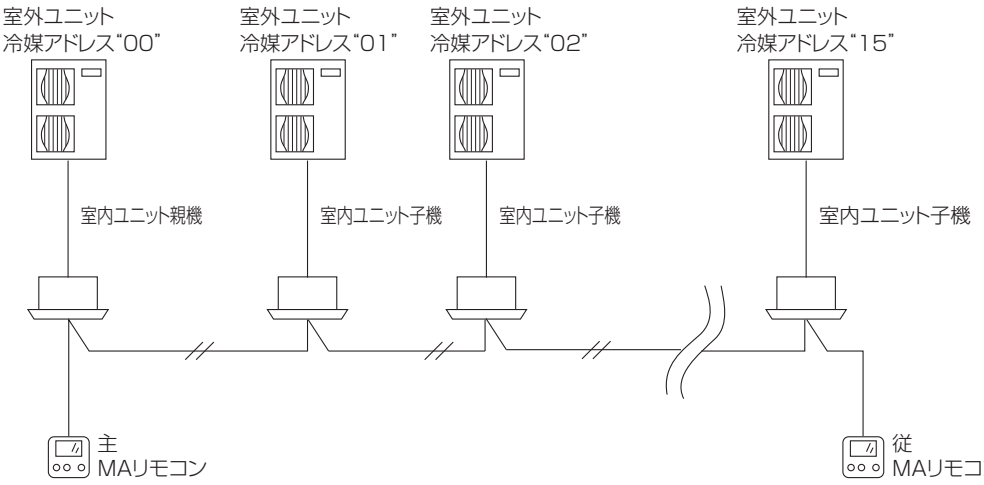
※ ( ) 内は内外別受電方式等の場合

【備考】 ①2リモコン制御の場合は、2リモコン制御運転の項を参照してください。
②冷媒アドレス“00”の室外ユニットには、グループの中で最も機能の高い室内ユニットを接続してください。
リモコンの操作はそのユニット（機能が高いユニット）の機能に適応します。

項目			4方向カセット	天吊		天吊(厨房用)
			PLZG-P・MHA	PCZG-P・MKA14	PCZG-P・MBA10	PCZG-P・MHA15
機能	ファン	切換速数	4 速＋自動	4 速＋自動	2 速	2 速
	上下オートベーン	有 / 無	○	○	×	×
		切換段数	5 段＋自動	5 段＋自動	×	×
		スイング機能	○	○	×	×

③同時ツインで室内ユニット間のリモコン渡り配線はしないでください。(禁止事項)

[システム図]



室外ユニット No.（冷媒アドレス）	00	01	02			15	スイッチで設定
室内ユニット No.（号機）	1	1	1			1	自動設定
リモコン給電（室内ユニット親機）	○	−	−			−	自動設定

[作業要領]

●リモコンをいずれかの室内ユニットに接続し、各冷媒間をわたり配線にて接続します。
　必ず室内ユニットから配線してください。

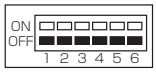
●各室外ユニットの冷媒アドレスをセットし、電源を投入します。
　冷媒アドレスは電源投入前にセットしてください。

※リモコン給電ユニットは自動的に冷媒アドレス 00 の室内ユニットに設定されます。
　（室内制御基板の LED2 が点灯します。）

[冷媒アドレスの設定方法]

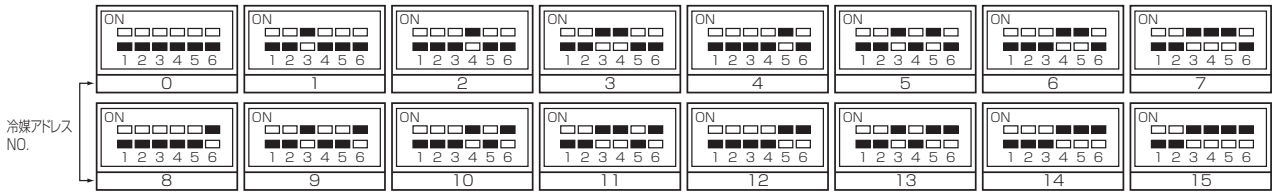
工場出荷時はＳＷ１の３～６すべて OFF した状態で、冷媒アドレスは、"0" となっております。
同じ冷媒アドレスのものがあると、自己診断時及び機能選択時に対象ユニットが不明となります。
したがって、必ず下図のセット方法により、すべての室外ユニットに異なった冷媒アドレスをセットしてください。

〈SW1〉



SW1 のアドレス設定

		機　能	スイッチ操作による動作	
			ON	OFF
SW1	1	強制霜取	開　始	通常
	2	異常履歴クリア	クリア	通常
（機能切換）	3	冷媒系アドレス設定	室外ユニットアドレス 0～15の設定	
	4	↑		
	5	↑		
	6	↑		



[順次起動タイマー]

冷媒アドレスはラッシュ電流をおさえるために順次起動タイマー（1 秒おき）を兼用しています。
工場出荷時 (冷媒アドレス 0) は、順次起動タイマーが "0" となり、遅延時間※ 0 ～ 9 となります。上記 3 ～ 6 番のスイッチの組合せにより、1 ～ 15（遅延時間は 10 ～ 24）まで 1 秒おきに順次起動させることができます。

※リモコン操作タイミングにより異なります。
(例) 順次起動タイマー　12 = 8 + 4 → 5、6 番スイッチ ON

ＳＷ１(3 番～6 番）各スイッチの操作による冷媒アドレス設定と順次起動タイマー

操作内容				
冷媒アドレス	1	2	4	8
順次起動タイマー	1	2	4	8
遅延時間（秒）	10	11	13	17

[室外ユニットのアドレス確認方法]

指定した冷媒アドレスの室外ユニットがどこにあるか知りたい場合、自己診断モードで冷媒アドレスを指定すると、指定した室外ファンが間欠運転をします。

■複数個のリモコンによるグループ運転

● 1 グループに 2 個までリモコンが接続できます。この場合は、 B. 2リモコン制御運転 の項を参照ください。

D．停電自動復帰運転

●停電あるいは電源装置の切換えにより、エアコン運転中に電源が OFF → ON したとき、自動的に前回のモードでエアコンの運転を復帰させる機能です。

[設定方法]

リモコンからの機能選択により設定できます。(MA スマートリモコン操作マニュアルの機能選択の項 参照)
グループ制御をしている場合、全冷媒での設定が必要です。

[動　　作]

停電自動復帰有効設定時の動作

停電前のエアコンの状態	動　　作
運転中	電源 OFF → ON で、自動的に「運転」で復帰します。 ただし、電源 ON から約 4 分間はシステムの立ち上げ及び圧縮機保護のため、停止状態になります。
停止中	電源 OFF → ON で、自動的に「停止」で復帰します。
タイマー設定中	①停電期間中に MA スマートリモコンのタイマー動作が設定されている場合、そのタイマー動作はキャンセルされます。 ②停電しても MA スマートリモコンのタイマー設定は消えません。停電復帰後に設定されたタイマー動作を行います。 ③停電が 3 日以上続くと時計がリセットされる場合があり、このときは正常動作中でも MA スマートリモコンのタイマーが動作しません。時計表示が点滅しているときは時刻設定をしてください(タイマーの再設定は不要です)。

※エアコン運転中に 1 秒以内の瞬時停電の場合、「停電した／しなかった」の判断が不確実な事があります。
※エアコンの電源切換を行う場合などには電源 OFF 時間を 2 秒間以上確保してください。
「停電しない」と判断した場合はそのまま運転を継続します。
※遠方／手元制御と併用しており(F. 遠方／手元併用制御運転 参照)、「遠方／手元」切換が“遠方(SW2=ON)”入力となっている場合は、停電自動復帰機能はキャンセルされ、遠方操作入力(SW1)の内容が優先されます。
※集中管理コントローラーから手元リモコンの操作禁止(発停操作)を行っている場合、停電自動復帰が動作しません。

■瞬時停電における停電判断

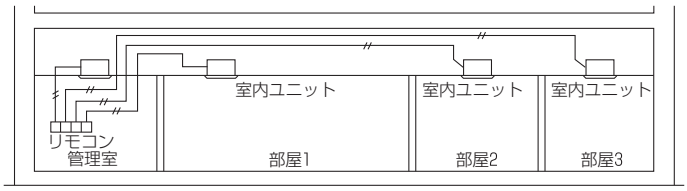
瞬時停電が発生した場合、その時間により下記に示すように空調機は停電を判断します。停電と見なした場合は空調機は停止します(瞬停後復電しても停止したままとなります)。

停電時のユニット動作		
瞬停の場合	停電からユニットの動作が変化するまでの時間	標準機種(インバーターレス機種)　約 40ms インバーター機種　約 100ms (運転時の電源電圧、運転状態によって変化します。)
	上記を超える時間となると、どのような状態になるか	運転停止 (室外ユニットの圧縮機過電流遮断で異常猶予に入り、3 分後に再起動する場合もあります。異常猶予に入る時間は運転負荷・電源電圧によって異なります。)
	電源が復帰すればどのようになるか	運転停止を継続 ただし、停電自動復帰設定時には停電前の状態に復帰
停電の場合 1 分以上の	停電時どのような状況になるか	運転停止
	電源が復帰すればどのようになるか	運転停止を継続 ただし、停電自動復帰設定時には停電前の状態に復帰
停電時のユニット動作		停電自動復帰設定にし、復帰時に、停電前の状態に復帰するようにできます。(注)停電自動復帰は、リモコンの機能選択で設定できます。

※ 1. 復電後、停電前の空調機の運転状態に戻したい (運転中であれば運転を再開し、停止中であれば停止のままとする) 場合は、リモコンによる機能選択で「停電自動復帰」のモードを「有り」に設定してください。
これにより空調機が運転を再開する場合、復電後システム立上げ時間 (20 秒～ 1 分間) と圧縮機保護のための均圧時間 (3 分間) が経過した後、空調機が運転を開始します。

E．離れた部屋から個別制御運転

●各部屋に設置されたエアコンのリモコンを、離れた管理室に集中させるだけで各部屋のエアコンを個別制御及び集中監視できます。
●室内ユニットとリモコン間の配線は、0.3mm^2 の 2 芯ケーブルで総延長 500m まで離れた所でもエアコンのコントロールができます。2 リモコンの場合は総延長 200 mとなります。



●リモコンを各部屋と管理室に設置する場合は、 B.2 リモコン制御運転 の項を参照ください。

F．遠方／手元併用制御運転

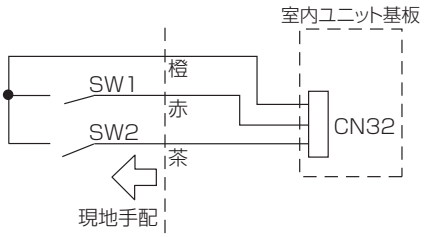
● 別売の遠方発停用アダプタ (PAC－SE55RA) とリレーボックス (現地工事) を介して 、遠方からの運転／手元禁止／停止ができます。また 、遠方制御を解除した時は 、手元リモコンでの運転・停止が可能となります。

■遠方発停用アダプタ (PAC-SE55RA)

[仕様表]

項　目	内　容
機　能	外部信号によるON／OFF 外部信号有効(リモコン運転禁止)／外部信号無効(リモコン運転許可)の切換
入力信号	無電圧接点(ON／OFFレベル信号)
コネクタ	3P(室内ユニット制御基板CN32へ接続)
線　種	3芯ケーブル 配線を延長する場合:シース付ビニルコードまたはケーブル0.5から1.25mm²
線　長	2m(現地配線延長により最長10m)

[配線図]



[制御説明]

遠方／手元切換 SW2		遠方操作 SW1		状　態
ON	遠方制御 (リモコンでの運転停止操作のみ禁止)	ON	運転	遠方操作／運転
		OFF	停止	遠方操作／停止
OFF	手元制御 (リモコンの操作で運転停止)	無効		リモコン操作有効

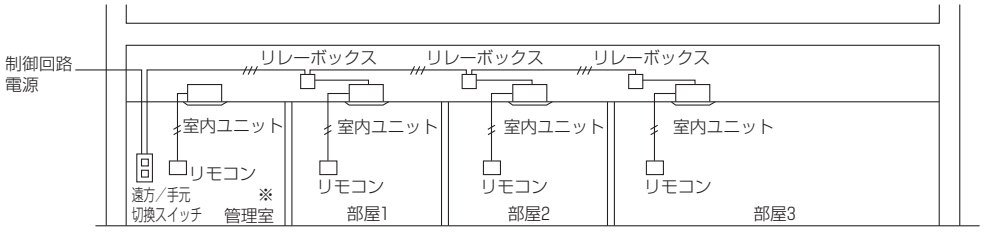
● SW1 は遠方操作用 ON ／ OFF スイッチです。SW2 は遠方／手元の切換スイッチです。
● SW2 が ON(遠方) の場合は、ＳＷ１遠方操作用 ON ／ OFF スイッチにより ON で運転、OFF で停止となります。
このときリモコンでの［運転／停止］操作はできません。他の操作 (温度設定、風速切換など) は、できます。
● SW2 が OFF(手元) の場合は、リモコンでの［運転／停止］操作ができます。
このとき SW1 遠方操作用 ON ／ OFF スイッチを操作しても信号は取り込みません。

■基本システム配線例

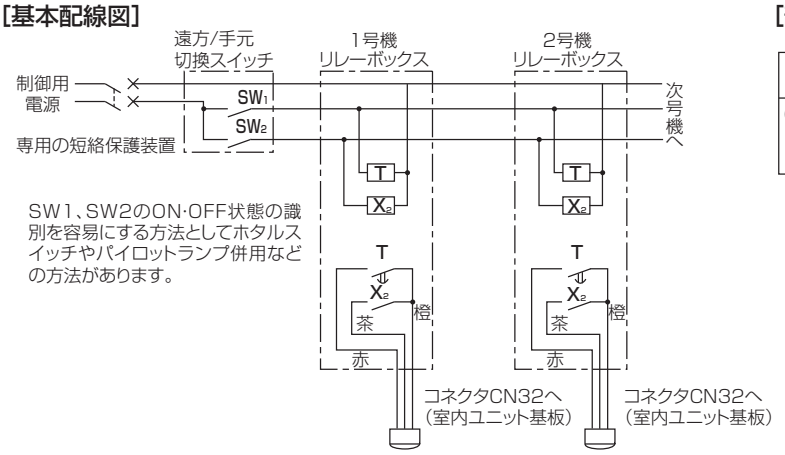
遠方発停用アダプタ (PAC-SE55RA) を用いて 、リレーボックスと遠方／手元切換スイッチからなる『遠方からの発停回路』を 、遠方発停アダプタを介して室内ユニット基板上のコネクタ CN32 に接続してください。

[システム図]

※管理室のエアコンは遠方／手元併用制御システムからはずすのが一般的です。



[基本配線図]



[部品仕様]

① 遠方/手元切換スイッチ	② 遠方発停用アダプタ	③リレーボックス
(例) 単極単投スイッチ （125V定格）	別売部品 形名コード PAC-SE55RA	Ⓣタイマー (オンディレー方式) Ⓧリレー

注）グループ制御の場合 、冷媒アドレス”０”の室内に接続してください。

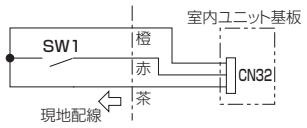
注意ポイント

①遠方 / 手元切換スイッチとリレー (X2) の定格電源電圧は 、共に制御用電源に合わせてください。
②タイマーを用いて複数台の室外ユニットを一括制御する場合は 、全ユニットが同時一斉起動しないようタイマーは必ず組込んでください。これを実施しないと一斉起動により過大な電流が流れて電源開閉器の動作などが発生するおそれがあります。
③オンディレー方式とは 、ON 信号をうけて限時動作 、復帰は瞬時 OFF のタイマー仕様のことです。
④遠方配線等で配線長が 10m を超える場合は中継用リレーを使用してください。これを行わないと正常に動作しなくなることがあります。

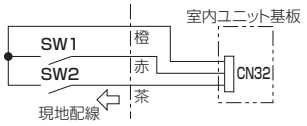
■システム応用例

- いずれの場合も、運転指令が出てからユニットが運転開始するまで、数秒の遅れ時間があります。
- 同時ツインのシステムまたは、複数冷媒系統をグループ制御しているシステム（ C. グループ制御運転 参照) の場合においては、冷媒アドレス 0 の室内ユニットのいずれか 1 台のみへ接続配線してください。

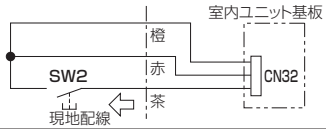
①遠方操作で運転／停止を行い、リモコンからの運転／停止を禁止したい場合。

	補足
	・ SW1がONで「運転」、OFFで「停止」となります。 ・ リモコンからの運転／停止操作は禁止（※）となります。 ※リモコンからの運転／停止操作のみ禁止であり、他の設定（温調、風速、風向など）の操作は可能です。

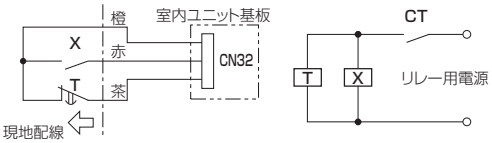
②遠方操作による運転／停止と、リモコンからの運転／停止を使い分ける場合。

	補足
	・ SW2がONの場合、リモコンからの運転／停止操作が禁止（※）となり、SW1がONで「運転」、OFFで「停止」となります。 ・ SW2がOFFの場合、リモコンからの運転／停止操作可能となり、SW1による運転／停止は無効となります。 注）SW2のON／OFF切換は、SW1で切換時の状態（運転か停止か）を決めてから切り換わる構成としてください。 ※リモコンからの運転／停止操作のみ禁止であり、他の設定（温調、風速、風向など）の操作は可能です。

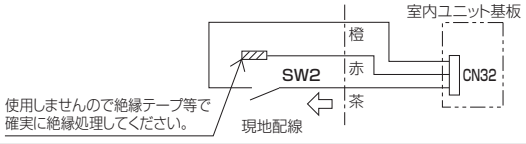
③遠方操作により運転を開始させ、以後はリモコンでの運転／停止を自由に行いたい場合。

	補足
 ・ SW2はモーメンタリースイッチ（手動操作自動復帰スイッチON時間1秒以上）をご使用ください。	・ SW2を押す（ON時間1秒以上）と運転を開始します。以後はリモコンによる停止または再運転ができます。 ・ 遠方からの「停止」操作はできませんが、常にSW2による遠方からの「運転」操作が可能です。

④外部タイマーONで運転開始、OFFで停止とし、タイマーONの間のみリモコン操作可能とする場合。（コインタイマー等による遠方制御の例）

	補足
 CT :コインタイマー等の接点 T :オンディレータイマー（数秒遅れて動作するもの）	・ CTがON（閉）で運転開始し、ONの間はリモコンからの運転／停止操作も可能です。 ・ CTがOFF（開）で停止となり、リモコン操作も禁止となります。 左記以外にも、コインタイマーとの連動使用例として、PAC-SE56RMを使用する方法もあります。 （H.外部信号による制御と遠方表示 項 参照）

⑤リモコンでの運転の許可／禁止を遠方操作で行う場合。

	補足
	・ SW2をがONであれば禁止（リモコンでの「運転／停止」操作ができない。 ・ SW2をがOFFであれば許可（リモコンでの「運転／停止」操作ができる。

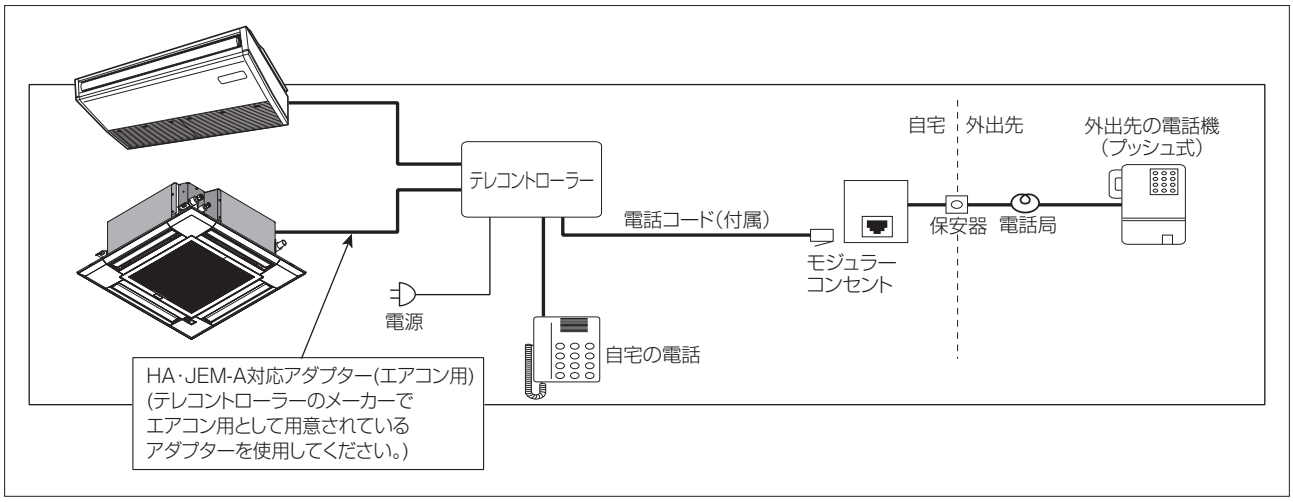
G．パルス信号による運転

室内ユニットの HA 端子を用いて、パルス信号による運転コントロールをすることができます。

■テレコントローラーとの接続

JEMA の HA 端子を利用して、他メーカーのテレコントローラーと連動できます。
HA･JEM-A 対応コネクタ、アダプターを室内ユニットの CN41 に接続してください。
※次の機種は、CN41 コネクターが実装されておりません。
PLZG-P･MHA,PCZG-P･MKA14,PCZG-P･MHA15
別売部品「PAC-SK31HN」を使用し、CN51 端子に接続してください。
詳細は、別売部品の据付工事説明書をご確認ください。

[テレコントロールシステム系統図]



テレコントロールの制御につきましてはメーカーにより異なりますので、テレコントローラーの製造メーカーへお問合せください。また、テレコントローラーを接続するために、テレコントローラーのメーカーで用意されているエアコン用アダプターを使用してください。

H. 外部信号による制御と遠方表示 (モニター信号) への取出し

(1)「A 制御遠方表示キット」(別売形名 PAC-SE56RM) の場合

A 制御専用の別売「遠方表示キット」を室内ユニット基板に接続することにより、各種の運転信号の取出しと、外部信号によるエアコンの運転 / 停止をすることができます。

[部品確認]

「遠方表示キット」の梱包箱の中には、据付説明書の他に次の部品が梱包されています。

品　名	個 数
A制御遠方表示キット本体	1
M4トラスネジ(M4×20)本体固定用	4
室内通信ケーブル(10m)	1

上記部品以外に、使用する機能ごとで必要となる部品は異なりますが、下表を参考に現地で手配ください。

項 目	手配していただく部品名	形 名
据付け	5個用スイッチボックス (カバー付き)	JIS-C8340
	カバープレート	パナソニック(株)WN7595、WN6595またはこれらに相当するもの。
	電源線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線サイズ… 単線:φ1.6mm～φ2.0mm 撚線を使用の場合はJST製特殊形裸圧着端子 TUB-1.25;TUB-2 またはこれらに相当するもので加工し接続してください。
外部出力機能	外部出力信号線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類… CV、CVS、またはこれらに相当するもの。 電線サイズ… 単線:φ0.65mm～φ1.2mm 撚線:0.5mm^2 ～1.25mm^2
	外部出力連動機器 (リレーなど)	外部出力端子の接点は以下の容量ですので、接点定格にあった負荷ならびに電源をご用意ください。 AC200V(DC30V)/1A　無電圧a接点
外部入力機能	遠方発停用アダプタ	別売PAC-SE55RA
	電線	外部入力機能を使用する場合または配線を延長する場合には、シール付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類… CV、CVS、またはこれらに相当するもの。 電線サイズ… 単線:φ0.65mm～φ1.2mm 撚線:0.3mm^2～1.25mm^2
	中継用リレー　※	外部入力を50m以上の延長時に使用します。
	スイッチ　※	単極単投スイッチ
	外部タイマー　※	無電圧a接点出力タイマー(電源回路とスイッチ回路が別のもの) (例)TSQ-1DKP(三菱電機)、H2Eオールディタイマー(オムロン)

※これらの部品は A 制御遠方表示キット本体に組み込めません、別置きになります。
外部入力信号にパルスを使用する場合は、パルス幅が 200ms 以上になるように外部入力信号発生元にご指定し、現地設計ください。

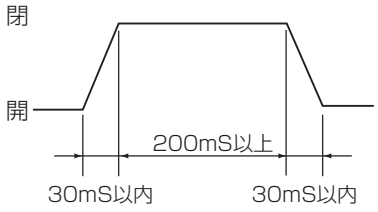
[仕様表]

項　目	内 容
寸　法	112(H)×226(W)×58.3(D)mm
質　量	0.7kg
電　源	AC100VまたはAC200V （50/60Hz）
使用環境	温度　0～40℃ 湿度　85%RH以下（結露なきこと）
消費電力	5W
適合入出力伝送線サイズ	CV、CVS、または、これらに相当するもの 単線：φ0.65mm、φ0.9mm、φ1.2mm 撚線：0.3mm²～0.5mm²
室内ユニット接続伝送線	室内通信ケーブル（付属品）
	遠方発停用アダプタ（PAC-SE55RA）（別売部品）
据付方法	JISC8340の5個用スイッチボックスカバー付き（現地手配品）へ取付け
接続形態	1冷媒系統に1台対応

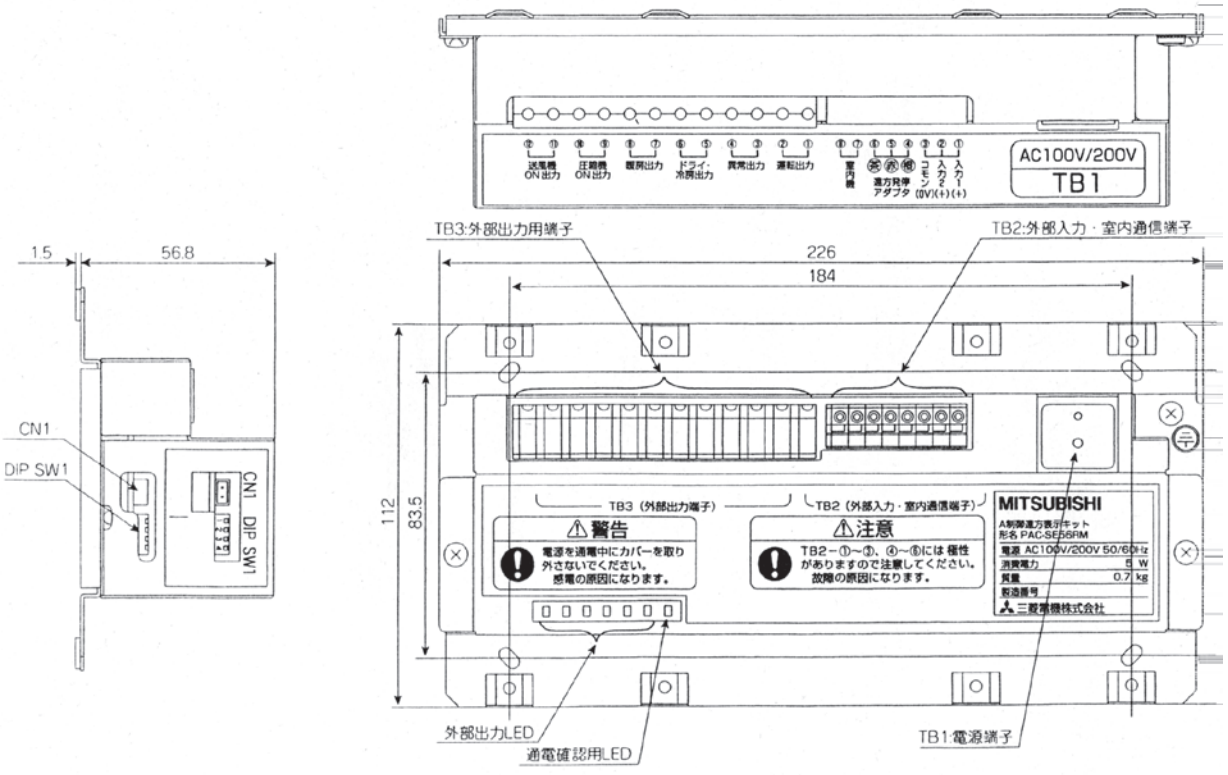
出力仕様

項　目	内 容
出力点数	6点（運転/異常/冷房/暖房/圧縮機ON/送風機ON）
出力方式	リレー接点方式（無電圧a接点）
出力接点定格電流	1A
出力接点定格電圧	DC30V、AC200V
出力接点最小適用負荷	10mA

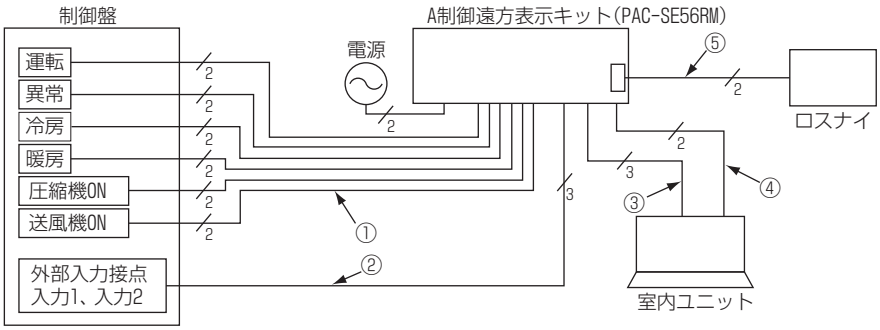
入力仕様

項　目	内 容
入力点数	2点
入力信号	パルス/レベル（無電圧接点）
パルス規格接点/信号	

[外形寸法図]



[システム構成]



作業ポイント

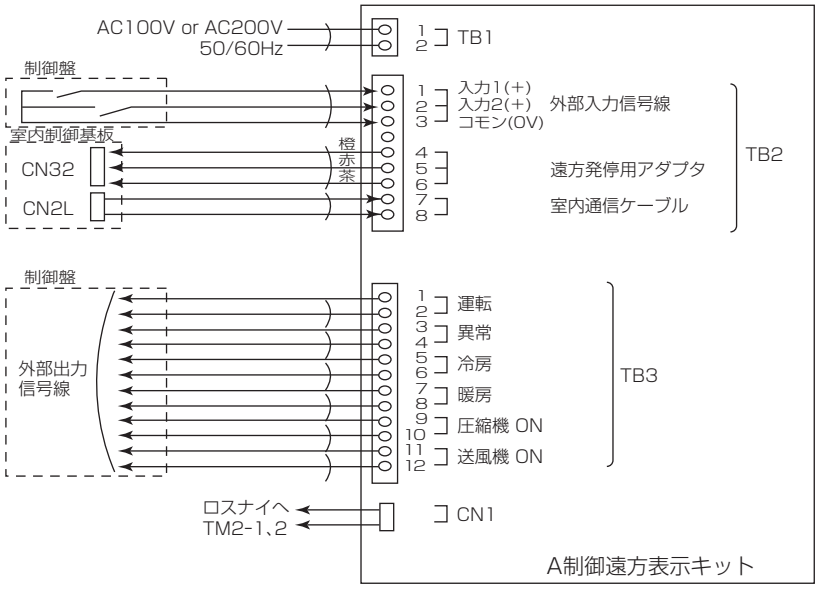
(1) エアコンが複数台グルーピングされているシステム(同時ツインを含む)で本機の外部入力機能を使用する場合は、必ず親機（冷媒アドレス“00”の室内ユニット）系統内の室内ユニット基板に接続してください。この場合、自動モード中の冷／暖、異常、圧縮機・送風機状態は親機の状態のみ出力します。
(2) 外部出力機能を使用する場合は、冷媒系統ごとに、本キットが必要となります。

＜各信号線の配線長＞

番　号	信　号　線	配　線　長
①	外部出力信号線	―――
②	外部入力信号線	50m以内（最大配線長）
③	遠方発停用アダプタ（PAC-SE55RA）	10m以内（最大配線長）
④	室内通信ケーブル（付属品）	10m以内（最大配線長）
⑤	ロスナイ連動ケーブル（PAC-SB81VS）	50m以内（総配線長（④+⑤））

※外部入力信号線を延長する場合には、中継用リレーをご使用ください。

[配線図]



＜室内ユニット側の接続＞

1）外部出力機能を使用する場合

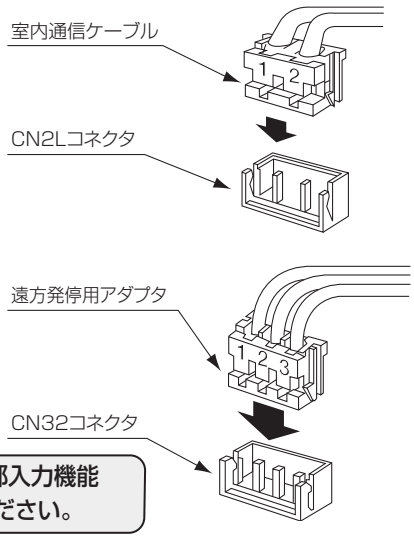
①室内制御基板上の CN2L に付属の室内通信ケーブルのコネクタ側を差込みます。

※コネクタには方向性があり、逆差込みはできませんのでご注意ください。無理に押し込むと破損することがありますのでご注意ください。

2）外部入力機能を使用する場合

①室内制御基板上の CN32 に遠方発停用アダプタ（PAC-SE55RA）を差込みます。（遠方発停用アダプタ（別売形名 PAC-SE55RA）を手配ください。）

※コネクタには方向性があり、逆差込みはできませんのでご注意ください。無理に押し込むと破損することがありますのでご注意ください。



お願い　**空調機が複数台グルーピングされているシステムで遠方表示キットの外部入力機能を使用する場合、必ず冷媒アドレス“０”の室内制御基板に接続してください。**

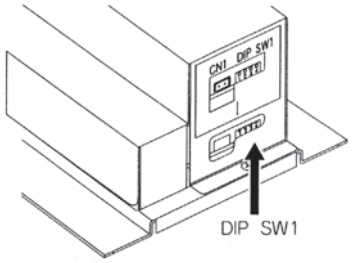
■初期設定方法

[外部入力機能設定]

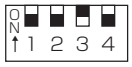
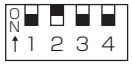
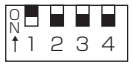
外部入力機能設定は、本体に電源が投入されていない状態で行ってください。
本機の側面にある DIP SW1（4 極）は、外部入力の機能設定を行うためのもので、下表を参照ください。
DIP SW1 の 4 番は外部入力の接点レベル切換用です。







出荷時は全て OFF 状態（モード 0）に設定しています。

モード	DIP SW1の設定状態図	信号形態（SW1の4番がOFF時:a接点）		動作内容
		入力1（TB2-1）	入力2（TB2-2）	
0		運転パルス 閉 開 	停止パルス 閉 開 	●常時、入力1、入力2のパルス信号でエアコンの発停操作が行えます。 ●また常に手元リモコンからの操作も有効です。 ●パルス信号幅は200msec
1		運転/停止 レベル 閉:運転 開:停止	遠方/手元 レベル 閉:遠方操作 開:手元操作	●入力2の状態が遠方操作時のみ入力1の信号で発停操作が行えます。この時手元リモコンからの操作は行えません。 ●入力2の状態が手元操作時は、入力1の信号での発停操作はできません。手元リモコンからのみ操作が行えます。
2		運転/停止 レベル 閉:運転 開:停止	手元禁止/許可 レベル 閉:手元禁止 開:手元許可	●常時、入力1のレベル信号でエアコンの発停操作が行えます。 ●入力2のレベル信号で手元リモコンからの操作を禁止/許可できます。
3		レベル 閉:手元許可 開:停止・ 手元禁止	—	●入力1の信号ONで手元操作許可となり、手元リモコンからの操作ができます。入力1の信号OFFでエアコン停止、遠方状態になり、手元リモコンからの操作はできません。 ●カードリーダー等と運転するときに便利です。
4		レベル 閉:運転・手元許可 開:停止・手元禁止	—	●入力1の信号ONでエアコン運転、手元操作許可となり、手元リモコンからの操作ができます。入力1の信号OFFでエアコン停止、遠方状態になり、手元リモコンからの操作はできません。 ●コインタイマー等と連動するときに便利です。

※ b 接点使用により開閉の意味付けを逆にするには、DIP SW1 の 4 番を ON にしてください。

作業ポイント

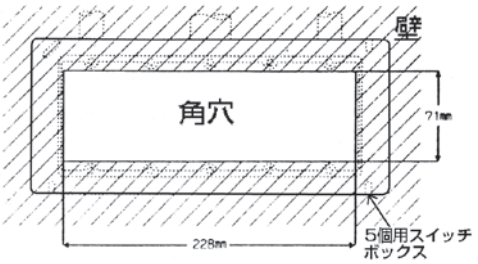
(1) モード 0、2 においてエアコンの運転状態と外部入力からの操作状態が異なることがあります。
そのような場合は、一度エアコンの運転状態に操作状態を合わせてから操作してください。
(2) モード 0、2 において外部から操作を行ったとき、手元リモコンの液晶上に「集中管理中」の文字が一瞬表示されることがあります。これは本機が一時的に行っている現象で、手元リモコンの故障ではありません。

■据付方法

・本機の据付けは 5 個用スイッチボックスを使用してください。
・スイッチボックス側で D 種接地工事を行ってください。
・天井裏などに設置する場合、必ず本機を固定してください。固定時の取付ピッチは、［仕様表］、［外形寸法図］の項を参照ください。

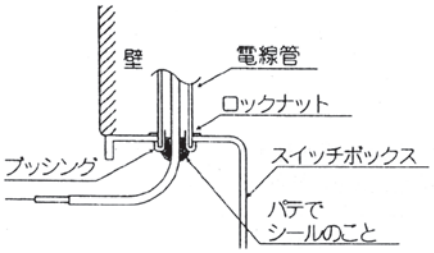
[現地手配部品]

①５個用スイッチボックス（カバー付）（JIS-C8340）をご用意ください。
②５個用カバープレートをご用意ください。
③電線管に合うロックナット、ブッシングをご用意ください。



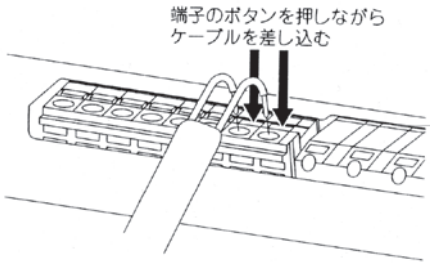
[スイッチボックスの設置]

①壁に 71mm × 228mm の穴を開け、5 個用スイッチボックスを設置してください。
②露、水滴、ゴキブリ、虫などの侵入防止のため配線引込口をパテで確実にシールしてください。



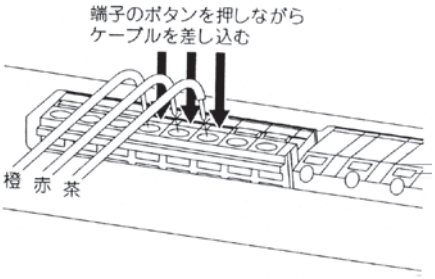
■取付方法

①外部出力機能を仕様する場合は、本機の室内通信端子（TB2-7,8）に室内通信ケーブル（付属品）を接続してください。このとき室内通信ケーブルのコード端末被覆をむいて、端子のボタンを押しながら差し込み、他端のコネクタ側を室内ユニット基板上のコネクタ CN2L に接続してください。
・電線サイズ: φ 0.65mm ～φ 1.2mm(単線)　0.5mm² ～ 1.25mm²(撚線)
・標準むき線長さ：11mm



②ロスナイを連動する場合は、本機の CN1 にロスナイ連動ケーブルのコネクタ側を接続してください。
・ロスナイ連動ケーブル：別売形名 PAC-SB81VS

③外部入力機能を使用する場合は、本機の遠方発停用アダプタ端子（TB-2-4 ～ 6）に遠方発停用アダプタを接続してください。このとき遠方発停用アダプタのコード端末被覆をむいて、端子のボタンを押しながら差し込み他端のコネクタ側を室内ユニット基板上のコネクタ CN32 に接続してください。
・遠方発停用アダプタ：別売形名 PAC-SE55RA
・標準むき線長さ：11mm
・遠方発停用アダプタを延長するときは、シース付ビニルコードまたはケーブルをご使用ください。
・ 電線サイズ：φ 0.65mm ～φ 1.2mm（単線）　0.3mm² ～ 1.25mm²（撚線）
・標準むき線長さ：11mm



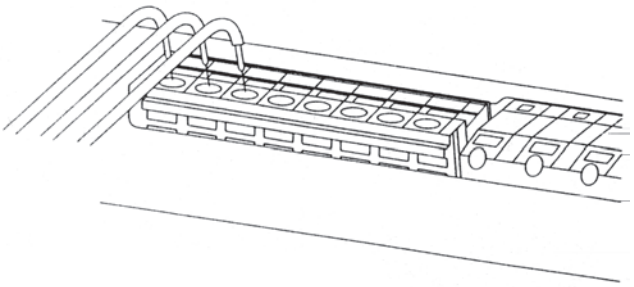
作業ポイント

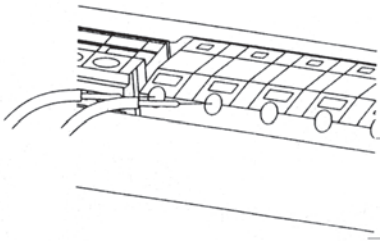
配線の延長は 10m 以内としてください。

④本機の外部入力端子（TB2-1 ～ 3）または外部出力端子（TB3）に、使用用途に合わせてそれぞれの信号線を接続します。このとき各信号線のコード端末被覆を剥いて端子に差し込んでください。

・電線サイズ：TB2-1 ～ 3　φ 0.65mm ～φ 1.2mm（単線）　0.3mm² ～ 1.25mm²（撚線）
・標準むき線長さ：11mm

TB3-1 ～ 12　φ 0.65mm ～φ 1.2mm（単線）　0.5mm² ～ 1.25mm²（撚線）
標準むき線長さ：10mm



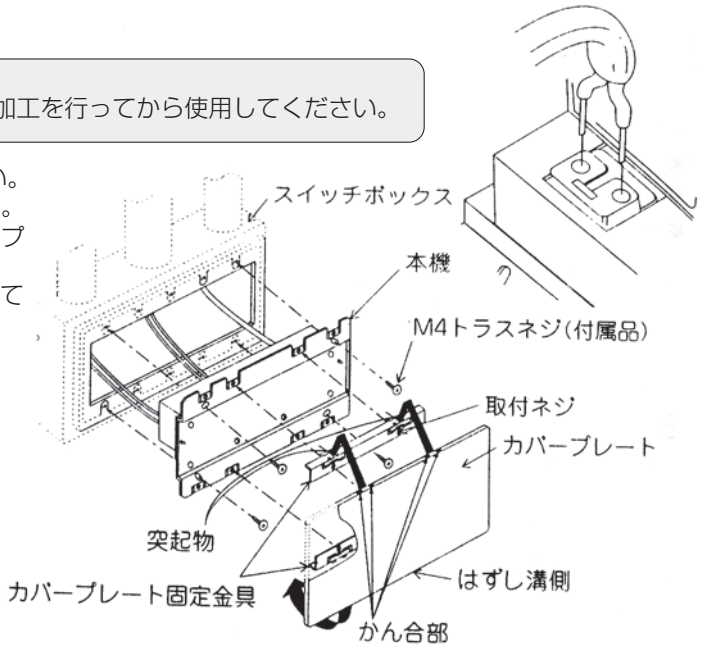


⑤本機の電源端子（TB1）に電源線を接続してください。
・電線サイズ：φ 1.6mm ～φ 2.0mm（単線）
・標準むき線長さ：12mm

作業ポイント

撚線を使用する場合には、特殊形裸圧着端子で端末加工を行ってから使用してください。

⑥本機を 5 個用スイッチボックスへ取付けてください。
⑦カバープレート固定金具を本機に取付けてください。
⑧カバープレート固定金具上部の突起部にカバープレートのかん合部を合わせて引っ掛けてください。
⑨カバープレート下部のはずし溝とツメ部を合わせてカバープレートを押し込んでください。



■試運転

・本機ならびにエアコンの電源を投入し、下記の試運転を行ってください。
・外部出力機能のみを使用する場合は手順 1、2、3 を、外部入力機能のみを仕様する場合は手順 1、4 の確認を行ってください。

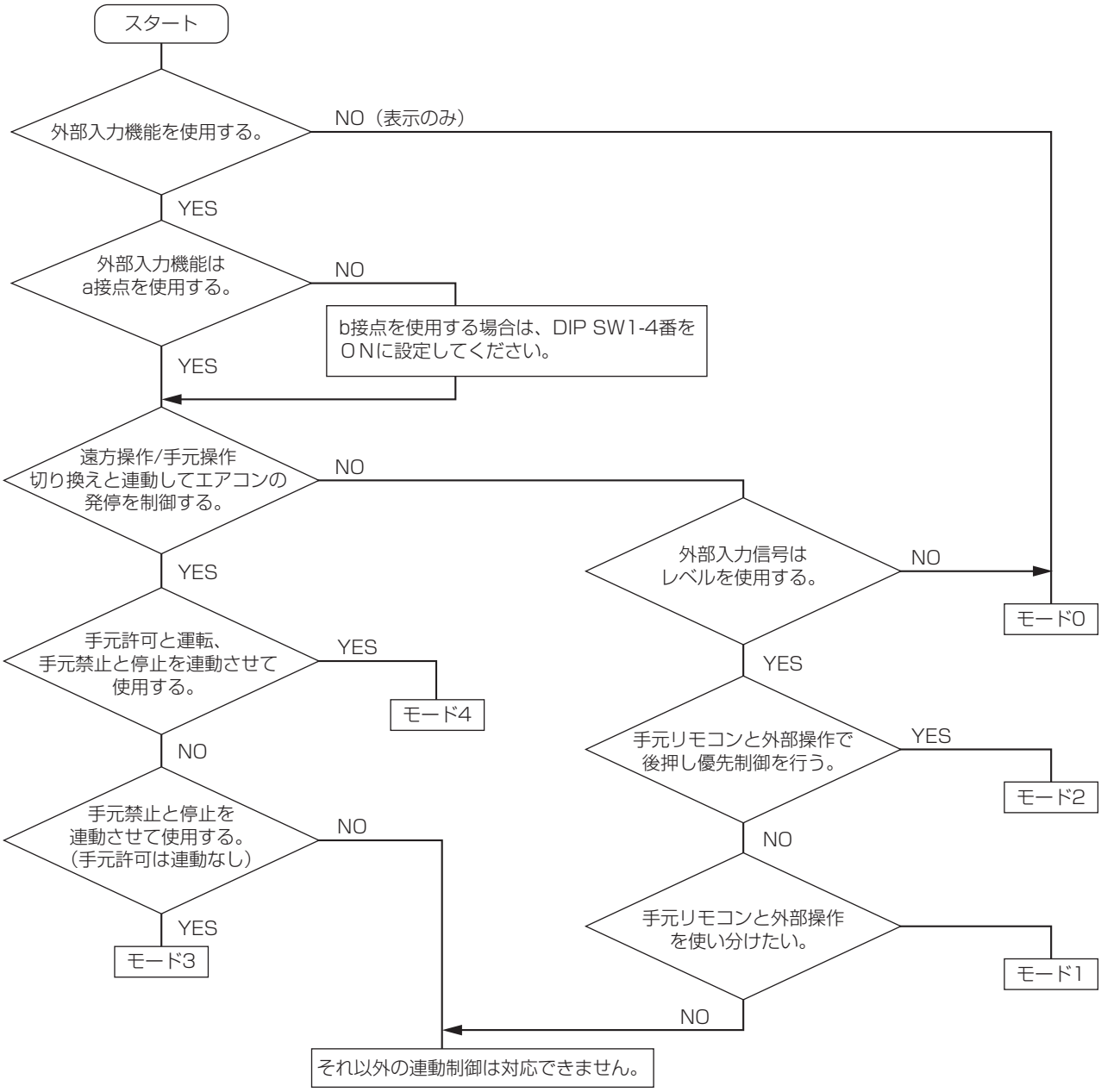
手順	項目	作業内容	確認内容	処理内容 （確認内容の用にならない場合）
1	通電チェック	本機ならびにエアコンの電源を投入する。	①本機の通電確認用LEDが点灯する。 ②エアコンが運転、もしくは停止する。	→電源線にAC100Vもしくは200Vが通電されているかどうか確認。 →室外ユニットならびに室内ユニットの電源電圧の確認。
2	外部出力機能チェック	リモコンからエアコンを運転させる。	運転出力端子に接続した機器が反応する。	→室内通信ケーブルの接続状況、または運転出力端子の接続を確認。
3	外部出力機能チェック	リモコンからエアコンの運転状態を変える。	各出力端子に接続した機器が反応する。	→手順2が正常に動作し手順3が正常でない場合、各外部出力端子の接続の確認。
4	外部入力機能チェック	外部入力から操作する。	手元リモコンの表示が変化する。	→遠方発停用アダプタの接続状況、また外部入力線の接続状況の確認。

作業ポイント

(1) 電気配線後に、絶縁抵抗試験をされる場合は本機の電源端子台で、電源線を外して電源線とアース間で行ってください。電気サージなどの保護装置の作動により正しく計測できません。
(2) 外部出力機能を使用しない場合は、室内通信ケーブルを接続しないようにしてください。試運転の為だけに接続した場合は、一度本機の電源を落として室内通信ケーブルを外してから、本機の電源を再投入してください。

■システム使用例

[モード設定フローチャート]



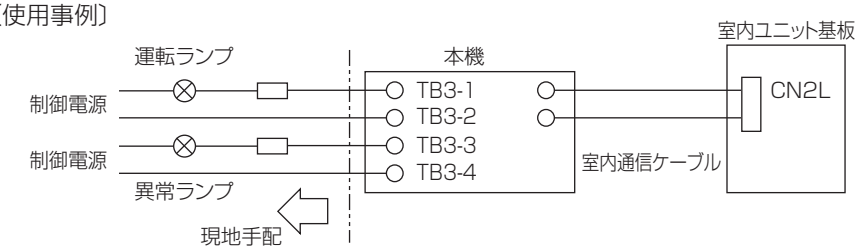
[外部出力機能]

・本機の外部出力端子（TB3）から、エアコン状態の接点信号が出力されます。使用用途に応じて対応の接点に負荷を接続してください。

※ TB3 の接点定格は AC200V (DC30V)/1A です。定格にあった電源と抵抗を現地手配ください。

・外部出力機能のみの使用の場合は DIP SW1 による設定の必要はありません。（工場出荷時は、DIP SW1 はすべて OFF）

〔使用事例〕



お願い TB3 の接点定格は以下のとおりですので、定格にあった電源と抵抗を現地に手配してください。

接点定格電圧：
AC200V（DC30V）/1A

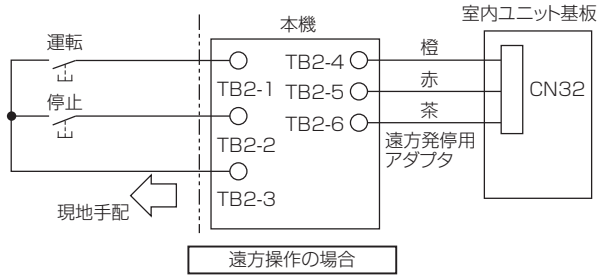
[外部入力機能]

・本機の外部入力端子（TB2-1 ～ 3）からエアコンの運転 / 停止や遠方操作 / 手元操作の切り換え制御などが行えます。

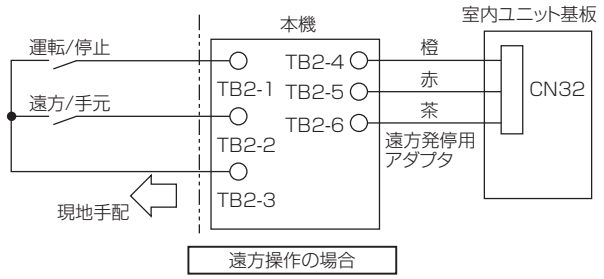
・ご希望の制御内容によって、DIP SW1 の設定が必要となります。■初期設定方法の項を参照に設定してください。

・各モードにおいて、外部入力指令を出力されてから室内ユニット制御の確認、本機の信号出力までに 2 ～ 3 秒の時間が必要です。お待ちください。

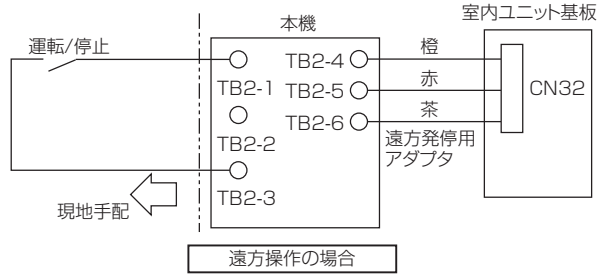
①常時、遠方操作からの運転／停止を行いたい場合。DIP SW1 はモード 0 に設定します。
（■初期設定方法　参照）



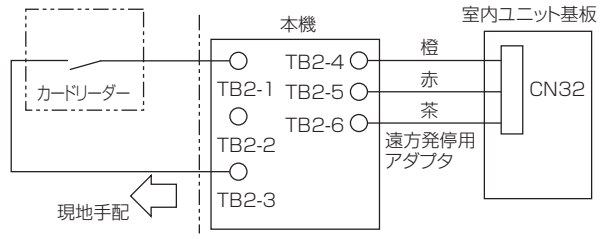
②遠方操作からの運転／停止と、手元リモコンからの運転／停止を使い分けたい場合。
DIP SW1 はモード 1 に設定します。（ ■初期設定方法　参照）



③遠方操作と手元リモコンを併用して、発停操作を後押し優先で行いたい場合。
DIP SW1 はモード 2 に設定します。（ ■初期設定方法　参照）



④カードリーダーと連動させたい場合。DIP SW1 はモード 3 に設定します。（ ■初期設定方法　参照）

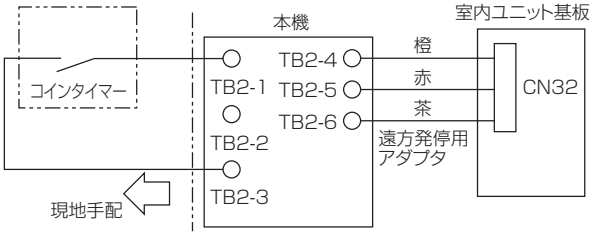


●カードリーダーがONすると、エアコンの手元リモコン操作許可状態になり、OFFするとエアコン停止で、手元リモコン操作禁止状態になります。

作業ポイント

カードリーダーの接点は無電圧 a 接点を使用してください。また、カードリーダー用の電源は別途設けてください。

⑤コインタイマーと連動させたい場合。DIP SW1 はモード 4 に設定します。（ ■初期設定方法　参照）



●コインタイマーがONすると、エアコンの運転操作が手元リモコンで可能状態になり、コインタイマーがOFFするとエアコンは停止し、手元リモコンでの操作も禁止状態となります。

作業ポイント

コインタイマーの接点は無電圧 a 接点を使用してください。また、コインタイマー用の電源は別途設けてください。

（2）「A 制御運転表示キット」(別売形名 PAC-SF40RM) の場合 (無電圧接点信号を取り出す場合)

A 制御運転表示キット（PAC - SF40RM）を使用して 、運転・異常信号 (無電圧接点信号) の取り出しと、外部信号によるエアコンの運転 / 停止をすることができます。

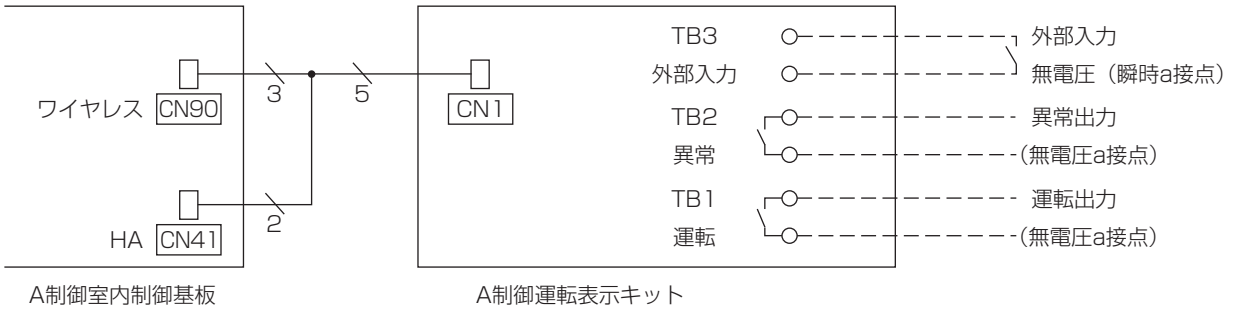
※次の機種は、CN41 コネクターが実装されておりません。

PLZG-P・MHA、PCZG-P・MKA14、PCZG-P・MHA15

別売部品 A 制御運転表示セット「PAC-SK52RM-ST」を使用し、CN51 端子に接続してください。

詳細は、別売部品の据付工事説明書をご確認ください。

[配線方法]



⚠注意	TB3 は接点入力専用端子です。電圧は投入しないでください。室内制御基板の故障の原因となります。

＜室内ユニット側の接続＞

1）外部出力機能を使用する場合

室内制御基板上の CN90 に付属のケーブルの 9 極コネクタ (3 芯) 側を差込みます。

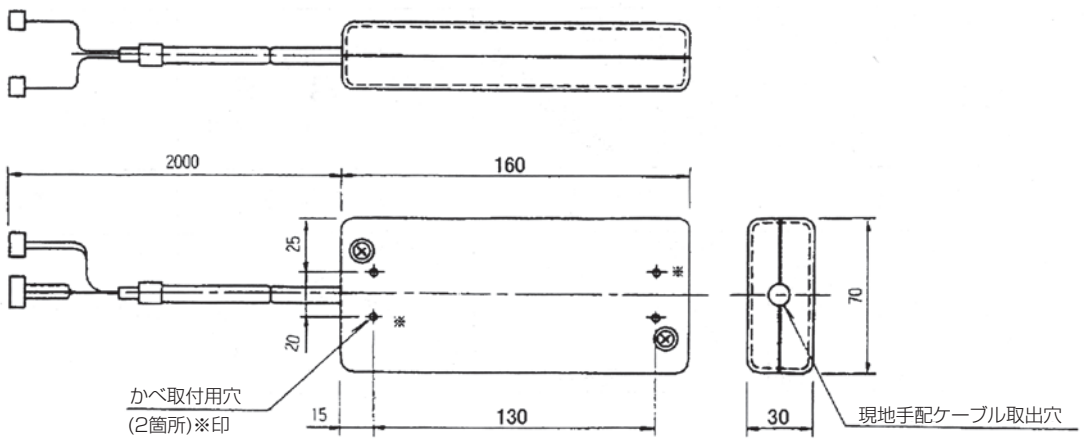
2）外部入力機能を使用する場合

室内制御基板上の CN41 に付属のケーブルの 4 極コネクタ (2 芯) 側を差込みます。

※コネクタには方向性があります。ご確認の上間違いのないよう正しく差込んでください。
決して無理に押し込まないでください。破損等の原因となります。

[現地手配部品]

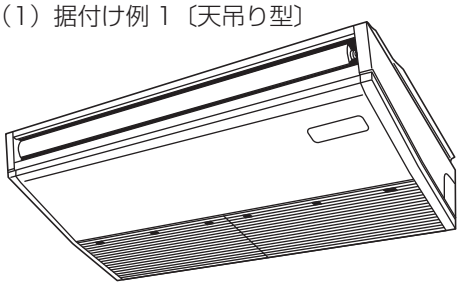
項　目	品　　名	形　　名 ・ 仕　　様
外部出力機能	外部出力信号線	シース付きビニールコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類　CV、CVSまたはこれらに相当するもの 電線サイズ　より線0.5mm^2～1.25mm^2 単線　φ0.65mm～φ1.2mm
	表示ランプ等	無電圧a接点AC200V（DC30V）、1A以下
外部入力機能	外部入力信号線	シース付きビニールコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類　CV、CVSまたはこれらに相当するもの 電線サイズ　より線0.5mm^2～1.25mm^2 単線　φ0.65mm～φ1.2mm
	スイッチ	無電圧瞬時a接点 （200ms以上のパルスを入力することにより、運転/停止が切替わります。）

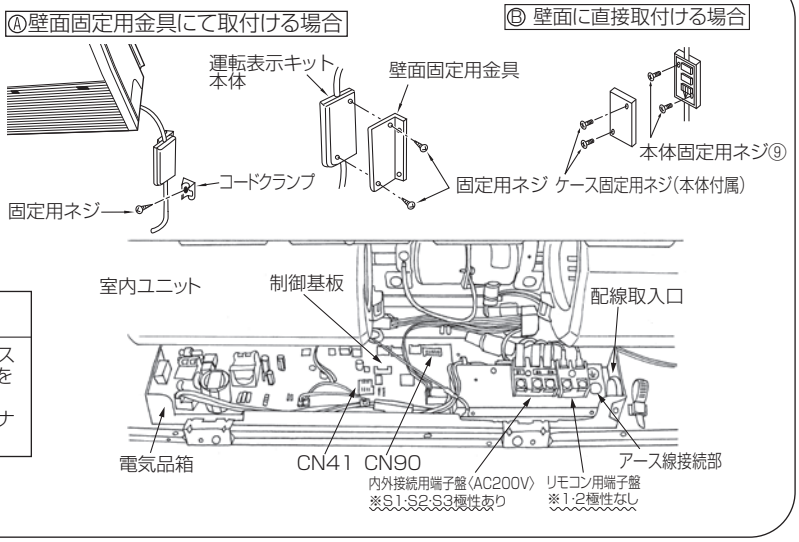


[据付方法]

運転表示キット本体の取付けはⒶ固定用金具を用いる、Ⓑ直接取付ける、Ⓒクッション材を用いるの３とおりがあります。

（1）据付け例１〔天吊り型〕

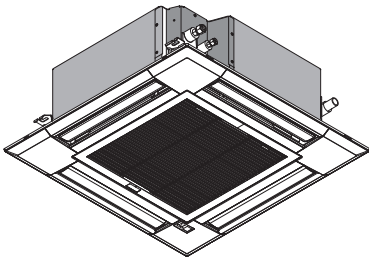


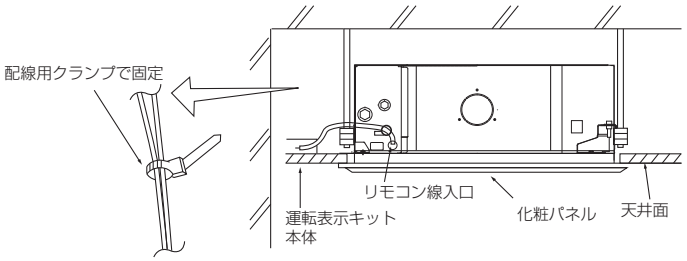


⚠注意

1）運転表示キット本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁等に固定金具を使って固定してください。
2）取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナによりとりまとめてください。

（2）据付け例２〔カセット型〕





⚠注意

1）運転表示キット本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁等に固定金具を使って固定してください。
2）取回しにより、たるみが生じたリード 線はファスナによりとりまとめてください。

[仕様表]

項　目	仕　様
電　源	パッケージエアコン室内機から受電
外形寸法 (長さ×奥行き×高さ)	160×70×30(mm)
使用環境条件	0～40℃　35～85%RH(保存は30～90%RH)屋内専用
信号線	撚線 0.5mm²～1.25mm²　単線 φ0.65mm～φ1.2mm
信号線配線距離	外部出力:max100m 外部入力:max10m (10mを超える場合は、中継用リレーを仕様してください。)
室内ユニット接続線	5芯(3芯+2芯)
製品質量	200g

入力仕様

項　目	内　容
入力点数	1点
入力信号	パルス(無電圧接点)
パルス規格	閉 開　200ms以上

出力仕様

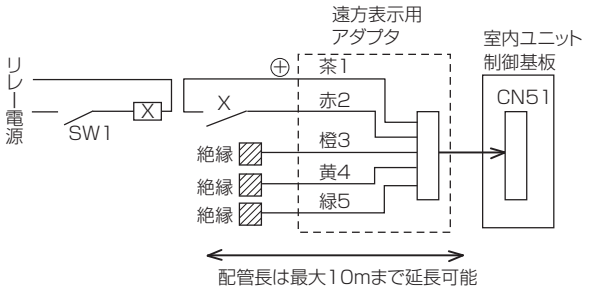
項　目	内　容
出力点数	2点
出力方式	リレー接点方式
出力接点定格	電圧　DC30V, AC200V　電流　1A
出力接点最小負荷	10mA

(3)「遠方表示用アダプタ」(別売形名 PAC-SA88HA) の場合 (有電圧 (DC12V) 接点信号を取り出す場合)

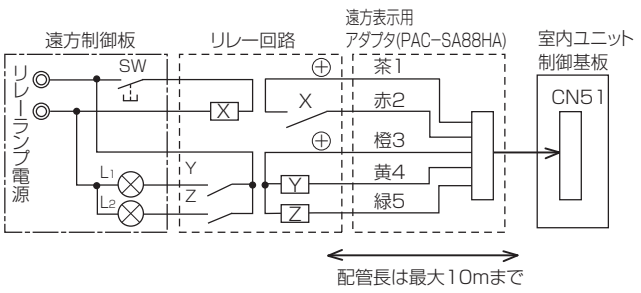
遠方表示用アダプタ (PAC-SA88HA) を使用して、運転・異常信号 (DC12V 有電圧接点信号) の取り出しと、外部信号によるエアコンの運転 / 停止をすることができます。

[配線方法]

CN51 (発停入力のみ)



CN51 (発停(パルス)入力･運転状態･異常出力)



＜室内ユニット側の接続＞

室内制御基板上の CN51 に遠方表示用アダプタを差込みます。

※コネクタには方向性があります。ご確認の上間違いのないよう正しく差込んでください。
決して無理に押し込まないでください。破損等の原因となります。

[現地手配部品]

項　目	品　　名	形　　名　・　仕　　様
外部出力機能	リレー(リレー回路)	Y,Z：外部出力(運転、異常出力用リレー) コイル側：DC12V用　コイル定格0.9W以下
	表示ランプ(遠方制御盤)	L_1：運転表示ランプ L_2：異常表示ランプ
外部入力機能	リレー(リレー回路)	X：外部入力(発停(パルス)入力用リレー) 接点側：最小適用負荷 DC12V 1mA
	スイッチ(遠方制御盤)	SW：遠方発停スイッチ(モーメンタリースイッチ) ＊無電圧接点 スイッチを押す毎に(200ms以上のパルスを入力することにより) 運転／停止が切替わります。

Ⅰ. タイマー運転

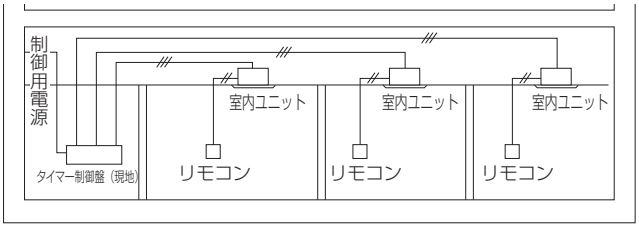
タイマー運転の方法には、次の 3 種類があります。システムに応じて、最適な方法をお選びください .

	タイマー種類	主な手配部品	内　　容
①	市販タイマーを利用する方法	市販タイマー 遠方発停用アダプタ (PAC-SE55RA)	・タイマーの無電圧接点を遠方発停用アダプタ(PAC-SE55RA)を介して、室内ユニット基板上のコネクタ CN32 に接続することにより、任意のタイマー運転が可能です。
②	手元リモコンを利用する方法	MAスマートリモコン (PAR-48MA)	オン / オフタイマー／消忘れ防止タイマー／週間タイマーを使用可能です。 **【オン / オフタイマー】**：運転開始時刻と停止時刻の設定が可能です。設定は 5 分単位で、1 回のみ / 繰返しの選択ができます。 **【消忘れ防止タイマー】**：運転開始後、設定された時間が経過した時に自動的に停止させます。設定時間の範囲は、10 分単位で 30 ～ 240 分までです。 **【週間タイマー】**：曜日ごとに動作時刻、運転 / 停止、設定温度を最大 8 パターンまで設定できます。週間スケジュールは 2 種設定可能です。
		MA スムースリモコン (PAR-26MA2)	簡易タイマー／消忘れ防止タイマーの何れかを使用可能です。 **【簡易タイマー】**：72 時間以内の 1 時間単位で運転･停止の各 1 回以内の設定が可能です。タイマーは 1 回限り有効です。 **【消忘れ防止タイマー】**：運転開始後、設定された時間が経過した時に自動的に停止させます。設定時間の範囲は、30 分単位で 4 時間までです。
③	集中コントローラーを利用する方法	M-NET 集中コントローラー M-NET 接続用アダプタ	集中コントローラー内蔵のスケジュール運転機能により、集中管理システムのグループごとにタイマー予約ができます。(各予約パターンをデータメモリーに記憶でき、最大 50 グループを個別にタイマーで設定することができます。

①市販タイマーを利用する方法

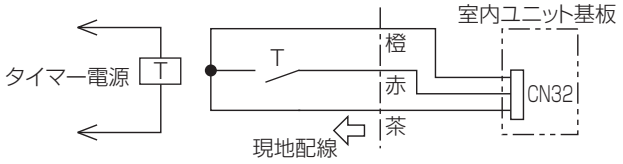
タイマーは無電圧接点出力タイマー (負荷側とタイマー電源側が別回路のもの) をご利用ください。

[システム概要] 別売の「遠方発停用アダプタ」(PAC - SE55RA)を用いて、現地のタイマーに連動させ各ユニットの発停ができます。



＜タイマー単独制御の場合＞

[基本配線図]

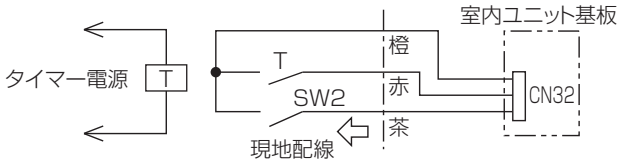


[動　　作]

タイマーＴ接点	状　態	手元リモコンからの操作	
		運転 / 停止操作	その他設定 (温度 / 風速など)
ON	運　転	禁　止	許　可
OFF	停　止	禁　止	停　止

＜タイマー・リモコン併用制御の場合＞

[基本配線図]



[動　　作]

SW2	タイマーＴ接点	動　作	手元リモコンからの操作	
			運転 / 停止操作	その他設定 (温度 / 風速など)
ON	ON	タイマー制御 / 運転	禁　止	許　可
	OFF	タイマー制御 / 停止	禁　止	停　止
OFF	無効	リモコン制御	許　可	許　可

②手元リモコンを利用する方法

タイマーの設定方法について詳しくは、ユニット、リモコンの取扱説明書を参照してください。

③集中コントローラーを利用する方法

集中コントローラーについて詳しくは、MELANS のカタログ、技術資料などを参照してください。

J．エアコン周辺機器との連動運転

■ロスナイとの連動

[特　　長]

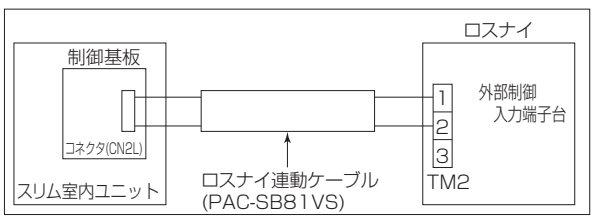
- 室内ユニット基板上の CN2L(遠方キット) にロスナイ連動ケーブル (別売形名 PAC - SB81VS) を接続することによりロスナイと連動することができます。
- MA リモコンでロスナイとの連動運転、単独運転、風量を切り替えることができます。リモコンからの機能選択が必要です。(Ⅲ章、ユニットの機能選択の項を参照ください。)

※接続可能なロスナイは、マイコンタイプに限ります。

[配線要領]

- ロスナイ連動ケーブル（PAC - SB81VS）のコネクタ側をスリム室内ユニット基板上の CN2L に接続します。
- ロスナイ連動ケーブルのリード線側をロスナイ外部制御入力端子台 1・2 に接続します。
  （このとき、入力端子台の 1・2 は無極性）

<配線図>



[配線時の注意点]

ロスナイ連動ケーブルは最大 500 mまで延長可能です。

- ロスナイ連動ケーブルと延長ケーブルは確実に接続し接続部の絶縁処置を実施してください。
  （延長ケーブルの仕様：シース付きビニールコードまたはケーブル 0.5 ～ 0.75mm^2）
- ロスナイ連動ケーブルと電源線（100V、200V 系）は 、誤動作防止のため接触させないよう配線ください。
  （5cm 以上離してください。）

[運転操作]

<ワイヤードリモコンの場合>

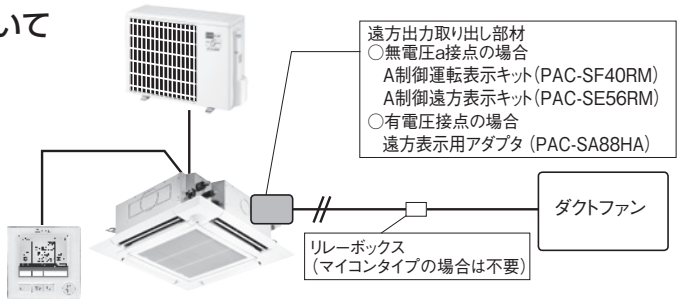
エアコンとロスナイを運転するとき：運転 / 停止ボタンを押す。

ロスナイの単独運転をするとき：エアコンが停止中にメインメニュー画面から「風向・換気操作」を選択し、風向・換気操作画面から換気操作を行います。

ロスナイの風量を変えるとき：風向・換気操作画面から換気ボタンを押すと風量「強」⇔「弱」が切り替わります。

■ダクトファン・スイングファンとの連動について

スリムエアコンに遠方出力取り出し部材を接続し、出力信号にリレーを接続して、リレーを駆動させ、ファンを連動することができます。



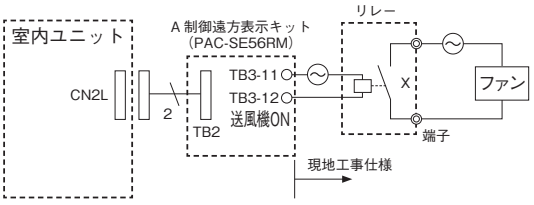
①接続方法

無電圧 a 接点の場合

● PAC-SE56RM を使用の場合

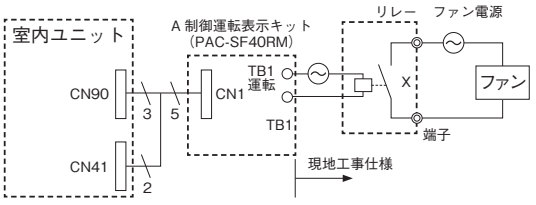
A 制御遠方表示キット (PAC-SE56RM) を室内ユニット基板上のコネクター CN2L へ接続します。
A 制御遠方表示キットの送風機信号出力端子に DC12V または AC100 ～ 200V 用リレーと接続して、リレーを駆動させます。

- A制御遠方表示キット (PAC-SE56RM) には単相 100/200 Vのいずれかの電源工事が必要です。
- 室内ユニットから遠方表示キットまでの配線長は 10 m以内としてください。



X : DC30V、AC200V・1A 以下、接点最小負荷 10mA

● PAC-SF40RM を使用の場合

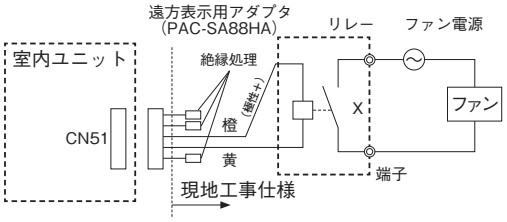


X:AC200V（DC30V）・1A 以下、接点最小負荷 10mA

※ PLZG-P･MHA,PCZG-P･MKA14,PCZG-P･MKA15 機種については、CN41コネクターが実装されていないため、「PAC-SF40RM」を接続できません。上記機種については、別売部品 の A 制御運転表示セット「PAC-SK52RM-ST」を使用し、CN51 端子に接続してください。

有電圧 a 接点の場合

遠方表示用アダプタ（PAC-SA88HA）を室内ユニット基板上のコネクター CN51 へ接続します。
遠方表示用アダプタの運転信号出力にリレー接続して駆動させます。（極性のあるリレーを使用する場合は、橙を＋（プラス）側に接続してください。）



X: コイル側 :DC12V 用 コイル定格 0.9W 以下

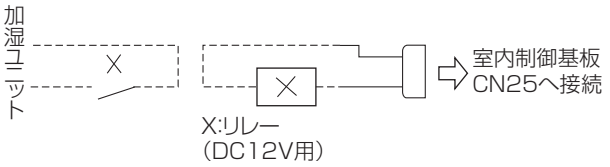
K．信号の取り出し方法

■加湿信号の取り出し方法

●加湿信号用アダプターを室内ユニット基板上のコネクタ CN25 に接続し、現地リレーボックスを介して加湿ユニットへ配線して、エアコンの暖房運転・圧縮機 ON（暖房準備中、霜取中は除く）に連動した加湿信号を取出すことが可能です。

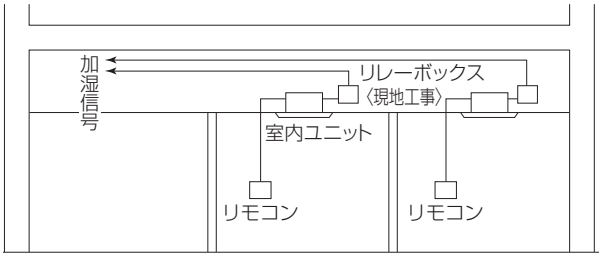
※この場合、機能選択　モード 16 を "NO1: 定時 " に設定します。
なお、モード 16 の初期設定は、"NO2：常時 " となっています。

＜基本配線＞



※加湿信号用アダプターの手配方法については、
三菱電機、代理店、販売会社にご照会ください。

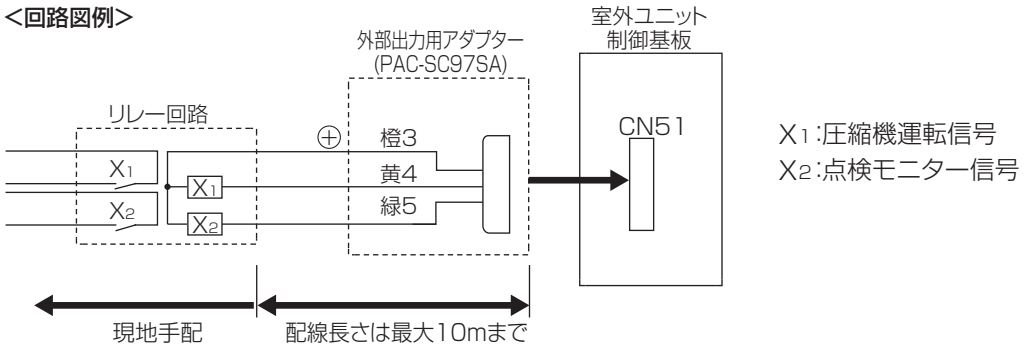
＜システム例＞



■圧縮機運転／点検モニター信号の取り出し方法

CT シリーズより、別売の「外部出力用アダプター」(PAC-SC97SA) をご利用いただき、室外制御基板 CN51 コネクタから圧縮機運転／点検モニター信号 (DC12V) を取り出すことができます。

＜回路図例＞



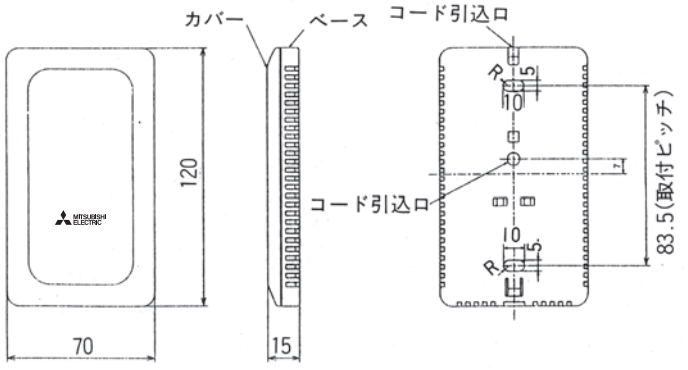
X1 :圧縮機運転信号
X2 :点検モニター信号

＜PAC-SC37SA仕様表＞

項　目	内　　容
機　　能	室外制御基板より圧縮機運転／点検モニター信号を出力
出力信号	ON時DC12Vを出力
コネクタ	5P(室外制御基板 CN51のコネクタへ接続)
線　　種	3芯ケーブル(配線を延長する場合:シース付ビニルコードまたはケーブル0.5～1.25mm^2)
線　　長	3m(現地配線により室外制御基板より最長10m)
出力容量	DC12V 75mA(DC12V 0.9W以下)

L．温度センサーの外付け方法

●温度センサー (別売形名 PAC-SE40TS-W) を室内ユニット基板上のコネクタ (CN20) と接続することにより室内任意の場所の温度で制御することができます。



●ワイヤードリモコン (PAR-48MA) にも温度センサーが内蔵されております。リモコンからのユニット機能選択が必要です。(MA スマートリモコン操作マニュアルの機能選択の項 参照)

M. 集中管理

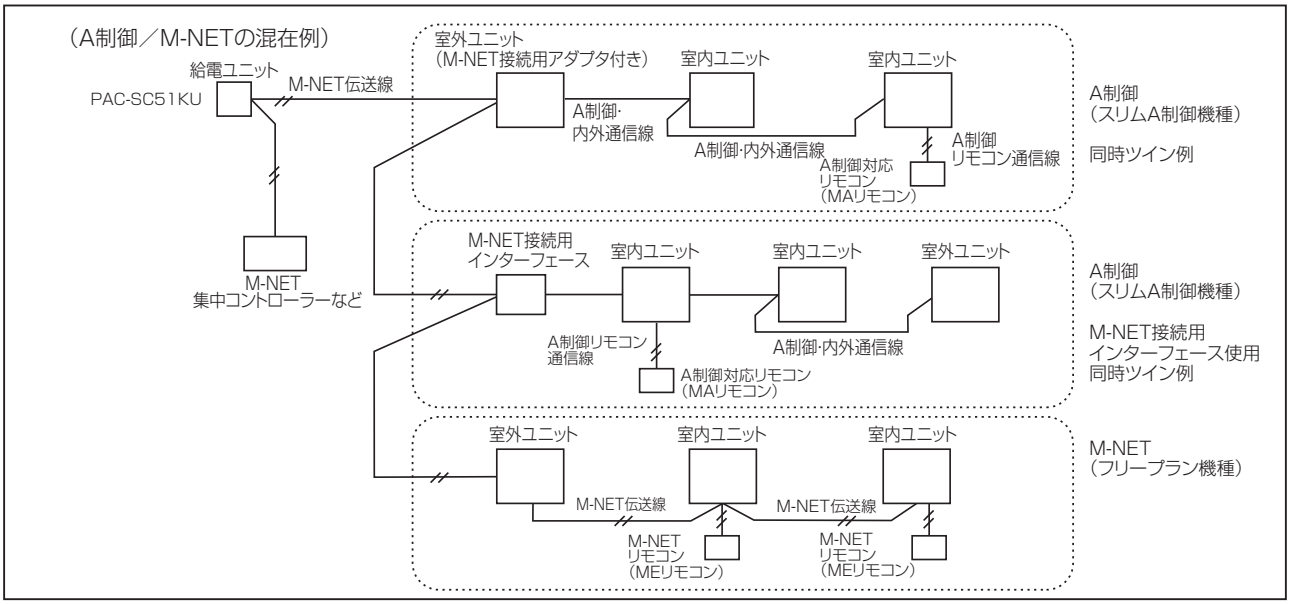
●室外ユニットまたは室内ユニットに、それぞれ別売の M-NET 接続用アダプタ、M-NET 接続用インターフェースを接続することにより、MELANS システムコントロール（M-NET 系）と接続することができます。

■ MELANS システムコントロールとの接続

中温用エアコン（A 制御系）と MELANS システムコントロールを接続する場合は室外ユニットに M-NET 接続用アダプタ（別売）の接続もしくは、室内ユニットに M-NET 接続用インターフェース（別売）の接続が必要となります。
※集中管理コントローラーから手元リモコンの操作禁止 (発停操作) を行っている場合、停電自動復帰が動作しません。
集中コントローラー等の上位系からの操作の場合、設定温度は下記となります。

冷房：14 ～ 30℃
暖房・自動　：14 ～ 28℃

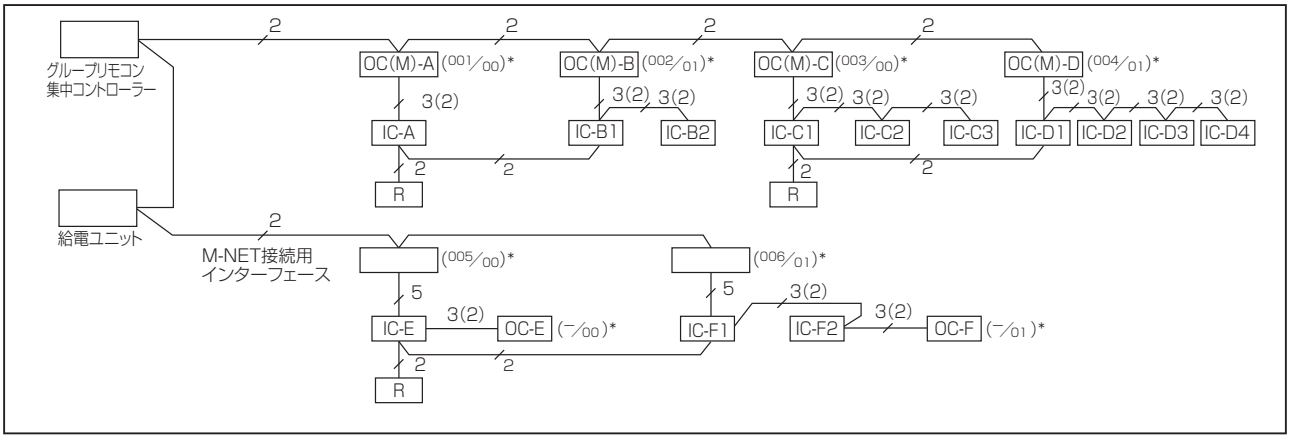
[M-NET 系で集中管理する場合の接続例]



※詳細についてはMELANSのM-NET系資料を参照ください。

■集中管理とグループ制御運転の併用

● M-NET 接続用アダプタ（PAC-SL74MA/PAC-SL75MA）または
M-NET 接続用インターフェース（PAC-SL78MF）を使用の場合



①室外ユニットに M-NET 接続用アダプタ (別売) を接続してください。
　または、室内ユニットに M-NET 接続用インターフェース (別売) を接続してください。

②室外ユニットに M-NET 接続用アダプタを接続した場合、M-NET 接続用アダプタの M-NET アドレス (No.01 ～ 50) と A 制御冷媒アドレス (00 ～ 15) の 2 種類を設定ください。
　室内ユニットに M-NET 接続用インターフェースを接続した場合、室外ユニットの A 制御冷媒アドレス (00 ～ 15) と M-NET 接続用インターフェースの M-NET アドレス (No.01 ～ 50) の 2 種類を設定ください。
　(M-NET 接続用インターフェースの冷媒アドレスは 0 に固定してください)
　※上図では M-NET アドレス /A 制御冷媒アドレスで示してあります。

③ M-NET のグループ設定は A 制御と合わせてください。別設定はできません。
　※上図の場合室外ユニットアドレス 001 と 002、003 と 004、005 と 006 が同一グループとなります。

④ M-NET 接続用アダプタと M-NET 接続用インターフェースは別グループに設定してください。

2．システムコントロール具体例

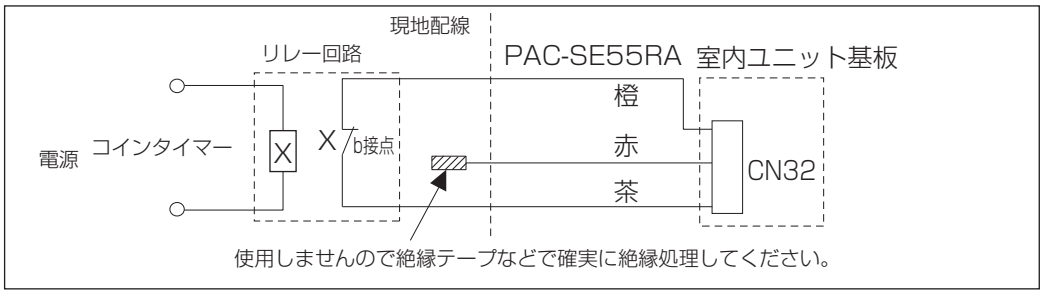
（1）コインタイマーと連動させる方法

コインタイマーとエアコンを連動させる方法は、別売の「遠方発停用アダプタ」(PAC-SE55RA) を用いる方法と、別売の「A制御遠方表示キット」(PAC-SE56RM) を用いる方法があります。
（外部入力で手元リモコンからの運転 / 停止操作を禁止しても、運転と停止のみ操作禁止の為、温度 / 風速変更などは操作可能です。）

■ PAC-SE55RA を利用する場合

①コインを入れるとリモコンでの運転を許可する場合

＜配線図＞

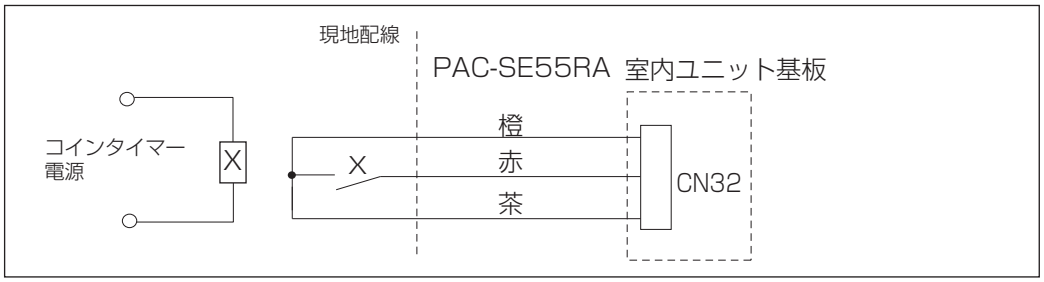


[動　作]

コイン	リレー接点	ユニット	手元リモコンから「運転」「停止」操作の禁止・許可
無	b 接点 ON	停止	禁止
入	b 接点 OFF	停止	許可

②コインを入れるとエアコンは運転開始、リモコンからの運転 / 停止を禁止したい場合

＜配線図＞

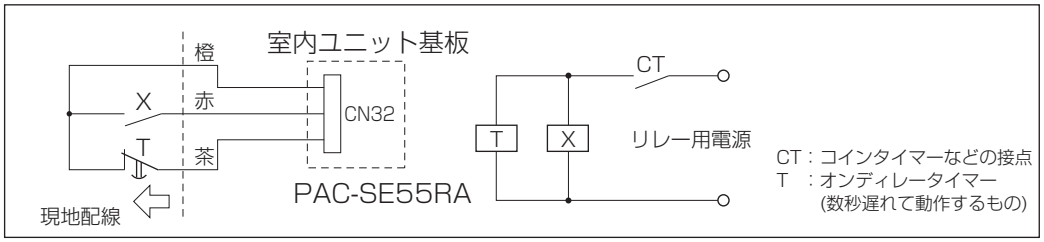


[動　作]

コイン	リレー接点	ユニット	手元リモコンから「運転」「停止」操作の禁止・許可
無	a 接点 OFF	停止	禁止
入	a 接点 ON	運転	禁止

③コインを入れるとエアコンは運転、タイマー ON の間のみリモコン操作を可能とする場合

＜配線図＞

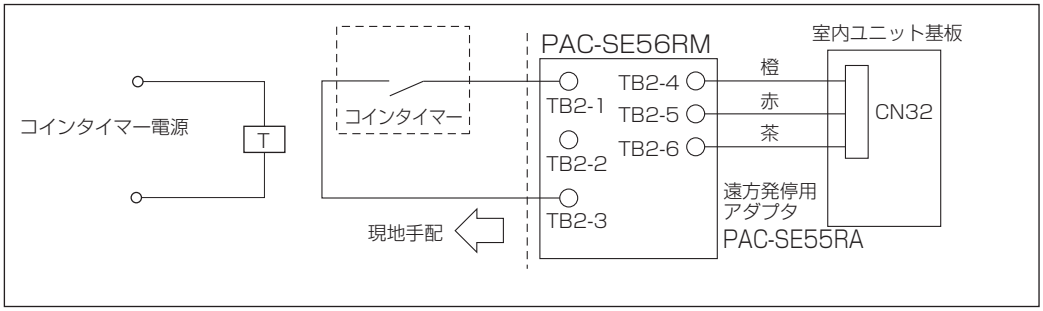


[動　作]

コイン	リレー接点	ユニット	手元リモコンから「運転」「停止」操作の禁止・許可
無	a 接点 OFF	停止	禁止
入	a 接点 ON ↓（数秒遅れ） オンディレータイマー 接点 OFF	運転	許可 （オンディレータイマー接点 OFF 後）

■ PAC-SE56RM を利用する場合

＜配線図＞



PAC-SE56RM の DIP SW1 はモード 4（1 を ON）に設定します。

[動　　作]

コイン	リレー接点	ユニット	手元リモコンから「運転」「停止」操作の禁止・許可
無	a 接点 OFF	停止	禁止
入	a 接点 ON	運転	許可

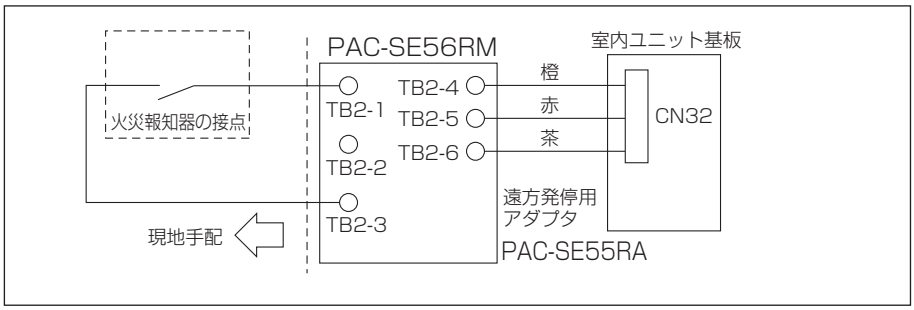
[作業ポイント]
コインタイマーの接点は無電圧 a 接点を使用してください。
コインタイマー用の電源は別途設けてください。

（2）火災報知器と連動してエアコンを停止する方法

別売の「A 制御遠方表示キット」（PAC-SE56RM）を接続することで、火災報知器と連動してエアコンを停止することができます。

■ PAC-SE56RM を利用する場合

＜配線図＞



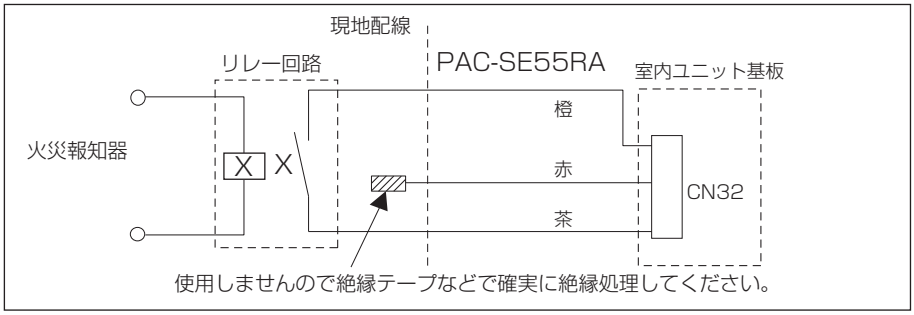
[DIP SW の設定]
PAC-SE56RM の DIP SW1（2 と 3 を ON）に設定します。

[動　　作]
・火災信号の接点 ON で、手元リモコンの運転操作可能。
・火災信号の接点 OFF で停止。手元リモコンでの操作は不可。

[作業ポイント]
・接点の意味づけを逆にする場合は、SW1 の 4 を ON にしてください。

■ PAC-SE55RA を利用する場合

＜配線図＞



[動　　作]
・火災信号の接点 OFF で、手元リモコンでの「運転 / 停止」操作が可能。
・火災信号の接点 ON で停止。手元リモコンでの「運転 / 停止」操作が不可。

参考資料

■化粧パネル（4 方向天井カセット形）

太線枠内は新・旧の互換性があります。

シーズン年度	本体形名	仕様	能力			
			P2	P3	P4	P5
04～05	PLZG-P･MAA2	標準パネル	－	MPLP-P160AWH		
		自動昇降パネル		MPLP-P160AJWH		
06～08	PLZG-P･MBA/2	標準パネル		MPLP-P160BWHG		
		自動昇降パネル		MPLP-P160BJWHG		
08～10	PLZG-P･MBA3	標準パネル		MPLP-P160BWHG3、MPLP-P160BWHG4		
		自動昇降パネル		MPLP-P160BJWHG3、MPLP-P160BJWHG4		
11～12	PLZG-P･MBA5/6	標準パネル		PLP-P160BWHG5		
		自動昇降パネル		PLP-P160BJWHG5		
13～15	PLZG-P･MBA8	標準パネル		PLP-P160BWHG7		
		自動昇降パネル		PLP-P160BJWHG7		
16～17	PLZG-P･MBA11（社名ロゴ変更）	標準パネル		PLP-P160BWHG11		
		自動昇降パネル		PLP-P160BJWHG11		
18～20	PLZG-P･MEA	標準パネル	PLP-P160EWHG			
		自動昇降パネル	PLP-P160EJWHG			
21～25	PLZG-P･MEA2	標準パネル	PLP-P160EWHG2			
		自動昇降パネル	PLP-P160EJWHG2			
26	PLZG-P･MHA	標準パネル	PLP-P160HWHG			
		自動昇降パネル	PLP-P160HJWHG			

■スペースパネル（4 方向天井カセット形）

太線枠内は新・旧の互換性があります。

シーズン年度	本体形名	能力			
		P2	P3	P4	P5
04～05	PLZG-P･MAA2	－	PAC-SH12AS		
06～12	PLZG-P･MBA/2/3/5/6		PAC-SH48AS		
13～17	PLZG-P･MBA8/11		PAC-SJ34AS		
18～25	PLZG-P･MEA/2	PAC-SK05AS（ピュアホワイト）			
26	PLZG-P･MHA	PAC-SK64AS（クリアホワイト）			

■ワイドパネル（4 方向天井カセット形）

太線枠内は新・旧の互換性があります。

シーズン年度	本体形名	能力			
		P2	P3	P4	P5
04～05	PLZG-P･MAA2	－	PAC-SH13WP		
06～12	PLZG-P･MBA/2/3/5/6		PAC-SH49WP（外形寸法 970×1,490mm） PAC-SH50WP（外形寸法 970×1,150mm）		
13～17	PLZG-P･MBA8/11		PAC-SJ35WP（外形寸法 970×1,490mm） PAC-SJ36WP（外形寸法 970×1,150mm）		
18～25	PLZG-P･MEA/2				
26	PLZG-P・MHA	PAC-SK65WP（クリアホワイト）（外形寸法 970×1,490mm） PAC-SK66WP（クリアホワイト）（外形寸法 970×1,150mm）			

MEMO

中温用パッケージエアコン 2026年度版
技術マニュアル

⚠注意

中温用エアコンの運転使用温度範囲

		室内	天井内※1	室外
冷房	乾球温度	10～30℃	～30℃	−5※2～43℃
	湿球温度	6～22.5℃	～RH80%	—
暖房	乾球温度	10～28℃	—	−20 ～21℃
	湿球温度	—	—	−20 ～15℃

※1.天吊形、厨房用<天吊形>の露出タイプは除く。
天井内の温湿度が30℃DB、RH80%をこえると思われる場合は、室内ユニット及び冷媒配管への結露を防止するため、天井内の換気や市販の断熱材/テープを用いた断熱の強化が必要です。

※2.室外ユニットについては、別売のエアガイドで室外ユニット吸込温度−15℃までの年間冷房運転可能です。

暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

WIN²K

製品のカタログ・技術情報等はこちら
www.MitsubishiElectric.co.jp/wink
三菱電機WIN2K 検索

ケータイ・スマホから**簡易点検内容**が検索できます。
https://www.MitsubishiElectric.co.jp/ldg/wink/tc/tc_top.do
検索対象
スリムエアコン ビル用マルチエアコン 冷凍機

三菱電機空調冷熱ワンコールシステム
0120-9-24365（無料） 問合せ先がご不明な際は、こちらにおかけください。

技術相談	平 日	9:00～19:00	土・日・祝	9:00～17:00
修理依頼	業務用	365日 24時間	家庭・店舗用	8:00～19:00
部品相談	業務用	365日 24時間	家庭・店舗用	9:00～17:30

店舗用・ビル用・設備用エアコン、チラー、冷凍機に関する技術相談専用
三菱電機冷熱相談センター
〈全国〉**073-427-2224**
※対応時間はワンコールシステム「技術相談」と同様です

三菱電機株式会社 冷熱システム製作所（静岡） 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1

M-P1001 SIZ2611

この印刷物は、2026年11月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更・修正・訂正することがありますのでご了承ください。

2026年11月作成